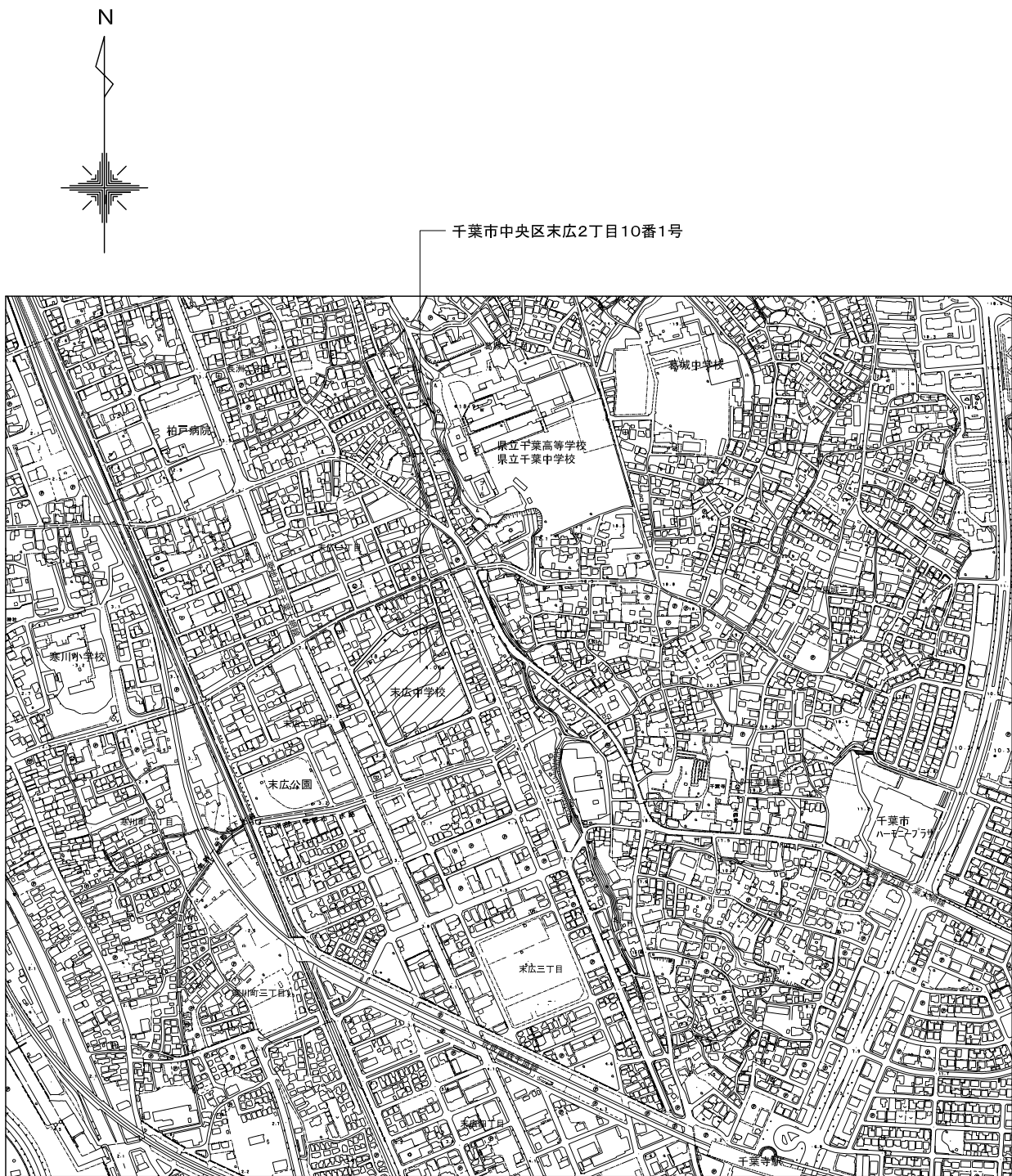


# 千葉市立末広中学校エレベータ設置工事

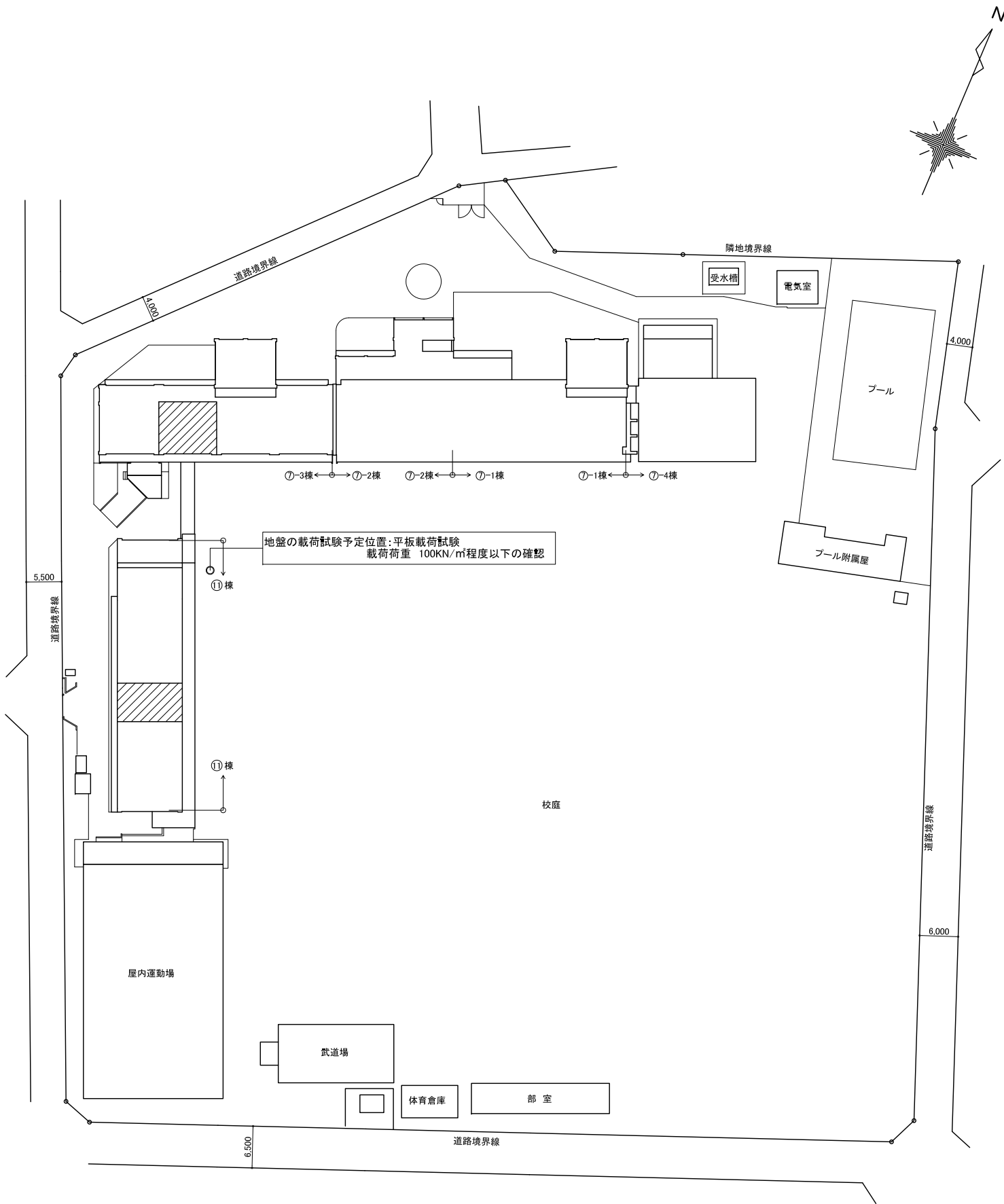
図 面 リ ス ト

図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺	図 面 番 号	図 面 名 称	縮 尺
A ー 01	表紙、図面リスト	N・S	A ー 35	合成木材ウッドデッキ床平面図、桁伏図(参考図)	1/30	E ー 01	分電盤、動力盤改修図	N・S
A ー 02	位置図、配置図	N・S、1/400	A ー 36	合成木材ウッドデッキ断面詳細図(参考図)	1/7.5	E ー 02	改修 1階動力・電灯設備図	1/200
A ー 03	工事概要、耐火リスト、仕上表	N・S	A ー 37	屋内運動場 玄関ホール 既存平面詳細図	1/30	E ー 03	改修 2階動力・電灯設備図	1/200
A ー 04	既存 1階平面図	1/200	A ー 38	屋内運動場 玄関ホール 改修平面詳細図、断面詳細図	1/30	E ー 04	改修 3階動力・電灯設備図	1/200
A ー 05	既存 2階平面図	1/200	A ー 39	既存 建具キープラン	1/150	E ー 05	㉦-3棟 1階、2階、3階動力・電灯設備図	1/100
A ー 06	既存 3階・R階・PH階平面図	1/200	A ー 40	改修 建具キープラン	1/150	E ー 06	㉦棟 1階、2階動力・電灯設備詳細図	1/100
A ー 07	改修 1階平面図	1/200	A ー 41	建具表1(撤去)	1/50	E ー 07	㉦-3棟 1階電灯設備詳細図	1/100
A ー 08	改修 2階平面図	1/200	A ー 42	建具表2(新設・改修)	1/50	E ー 08	㉦-3棟 2階電灯設備詳細図	1/100
A ー 09	改修 3階・R階・PH階平面図	1/200	A ー 43	外部仮設計画図(参考図)	1/300	E ー 09	㉦-3棟 3階電灯設備詳細図	1/100
A ー 10	㉦-3棟 1階昇降口 既存平面詳細図	1/30	A ー 44	1階内外部仮設計画図(参考図)	1/200	E ー 10	㉦棟 1階電灯設備詳細図	1/100
A ー 11	㉦-3棟 2階被服準備室 既存平面詳細図	1/30	A ー 45	2階内外部仮設計画図(参考図)	1/200	E ー 11	㉦棟 2階電灯設備詳細図	1/100
A ー 12	㉦-3棟 3階PTA室・生徒会室 既存平面詳細図	1/30	A ー 46	3階内外部仮設計画図(参考図)	1/200	E ー 12	改修 1階弱電・自動火災報知設備図	1/200
A ー 13	㉦-3棟 1階昇降口 改修平面詳細図	1/30	S ー 01	構造配筋標準図1	N・S	E ー 13	改修 2階弱電・自動火災報知設備図	1/200
A ー 14	㉦-3棟 2階被服準備室 改修平面詳細図	1/30	S ー 02	構造配筋標準図2	N・S	E ー 14	改修 3階弱電・自動火災報知設備図	1/200
A ー 15	㉦-3棟 3階PTA室・生徒会室 改修平面詳細図	1/30	S ー 03	鉄骨構造標準図1	N・S	E ー 15	㉦-3棟 1階、2階、3階弱電・自動火災報知設備詳細図	1/100
A ー 16	㉦-3棟 既存断面詳細図	1/30	S ー 04	鉄骨構造標準図2	N・S	E ー 16	㉦棟 1階、2階弱電・自動火災報知設備詳細図	1/100
A ー 17	㉦-3棟 改修断面詳細図	1/30	S ー 05	㉦-3棟 既存梁伏図、断面リスト	1/100、1/30	E ー 17	㉦棟 1階弱電・自動火災報知設備詳細図	1/100
A ー 18	㉦-3棟 1階昇降口 既存・改修展開図	1/50	S ー 06	㉦-3棟 改修梁伏図	1/100	E ー 18	㉦棟 2階弱電・自動火災報知設備詳細図	1/100
A ー 19	㉦-3棟 2階被服準備室 既存・改修展開図	1/50	S ー 07	㉦-3棟 鉄骨断面詳細図、断面配筋図、鉄骨リスト	1/30			
A ー 20	㉦-3棟 3階PTA室・生徒会室 既存・改修展開図	1/50	S ー 08	㉦棟 既存梁伏図、断面リスト	1/100、1/30	M ー 01	1階平面図(改修後)	1/200
A ー 21	㉦-3棟 1階昇降口 既存・改修天井伏図	1/50	S ー 09	㉦棟 改修梁伏図、断面リスト	1/100、1/30	M ー 02	2階平面図(改修後)	1/200
A ー 22	㉦-3棟 2階被服準備室 既存・改修天井伏図	1/50	S ー 10	㉦棟 鉄骨断面詳細図	1/30	M ー 03	1階平面図(改修前)	1/200
A ー 23	㉦-3棟 3階PTA室・生徒会室 既存・改修天井伏図	1/50				M ー 04	2階平面図(改修前)	1/200
A ー 24	㉦棟 1階既存平面詳細図	1/30	EV ー 01	1階平面図	1/200	M ー 05	3階平面図・空調機器表(改修前)	1/200
A ー 25	㉦棟 2階既存平面詳細図	1/30	EV ー 02	2階平面図	1/200	M ー 06	平面詳細図(改修前)	1/50
A ー 26	㉦棟 1階改修平面詳細図	1/30	EV ー 03	3階平面図	1/200			
A ー 27	㉦棟 2階改修平面詳細図	1/30	EV ー 04	㉦-3棟 1階昇降路平面図(参考図)、エレベータ仕様	1/20			
A ー 28	㉦棟 既存・改修断面詳細図	1/30	EV ー 05	㉦-3棟 2階、3階昇降路平面図(参考図)	1/20			
A ー 29	㉦棟 1階前室・木工準備室・金工準備室・開放廊下 既存展開図	1/50	EV ー 06	㉦-3棟 昇降路縦断面図、出入口正面図(参考図)	1/30			
A ー 30	㉦棟 1階前室・技術科準備室・開放廊下 改修展開図	1/50	EV ー 07	㉦棟 1階、2階昇降路平面図(参考図)、エレベータ仕様	1/20			
A ー 31	㉦棟 2階調理準備室・開放廊下 既存展開図	1/50	EV ー 08	㉦棟 昇降路縦断面図、出入口正面図(参考図)	1/30			
A ー 32	㉦棟 2階調理準備室・EVホール・開放廊下 改修展開図	1/50						
A ー 33	㉦棟 1階前室・木工準備室・金工準備室 2階調理準備室 既存・改修天井伏図	1/50						
A ー 34	㉦棟 家具詳細図	1/30						





位置図 S=N・S



配置図 S=1/400

凡例  
改修対象範囲を示す



工事概要

工事名称	千葉市立末広中学校エレベータ設置工事	用途地域	第二種住居地域
工事場所	千葉市中央区末広2丁目10番1号	防火地域等	法第22条区域
学 校 名	千葉市立末広中学校	その他の地域地区	第二種高度地区（20m）
前面道路	末広30号線 幅員 7.6m	容積率・建ぺい率	200% / 60%
構造・階数	校舎棟：鉄筋コンクリート造 地上3階建、地上2階建	日影規制	4h / 2.5h 4m
工事内容	内付けエレベータ設置（7～3棟 1～3階、11棟 1～2階）、昇降口スロープ設置（7～3棟 1カ所）、開放廊下スロープ設置（11棟 2カ所） 屋内運動場玄関スロープ設置		

耐火リスト

位 置	時間	材 料	認定番号等
鉄骨梁	1 h	ロックウール t=25	FP060BM-9408
壁	1 h	LGS W100+GB-F t=21二重張り（片面）（吉野石膏Sウォール90程度）	FP060NP-0487
壁	1 h	LGS W65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5（両面張り）（吉野石膏ハイパーウォールZ程度）	FP060NP-0473-1（1）
壁	1 h	ALC板 t=50	FP060NE-9293

既 存 ・ 改 修 仕 上 表

階	室 名		床	巾 木		壁	天 井			備 考
				仕 上	H		仕 上	C H	廻 縁	
⑦ 13 棟	昇降口	既存	モルタル下地25角タイル（一部撤去）、人造石研ぎ出し（一部撤去）	木製 OS塗（既存のまま）	120	モルタル金ゴテタイルタイルタイル（既存のまま）	木下地GB-R t=7.0一部GB-P t=7.0（下地共撤去）			
			モルタル下地塗床（一部撤去）					3,100	—	
		改修	モルタル下地タタタ系樹脂塗床（新設）	ビニル巾木（新設）	100	1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,100	ビニル製（新設）	スロープ手すり（新設）
			再生タタタタ t=100 +コンクリート直均し t=130 +タタタ系樹脂塗床（新設）	タタタ打ち差しタタタ系樹脂塗（新設）	100			3,000		
	被服準備室	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（一部撤去）	木製 OS塗（一部撤去）	120	モルタル金ゴテタイルタイル（一部撤去）	木下地GB-R t=7.0一部GB-P t=7.0（下地共撤去）			
						ベニシタ6mm OP塗（既存のまま）				
		改修	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）	
			米ツガ SOP塗（新設）	120	モルタル下地EP-G塗（新設）					
	PTA室	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（一部撤去）	木製 OP塗（一部撤去）	120	モルタル金ゴテEP塗（一部撤去）	LGS下地GB-D t=9.0（下地共撤去）			
								3,000	ビニル製（撤去）	タタタ製可動間仕切（撤去）
		改修	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）	
			米ツガ SOP塗（新設）	120	モルタル下地EP-G塗（新設）					
	生徒会室	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（一部撤去）	木製 OP塗（一部撤去）	120	モルタル金ゴテEP塗（一部撤去）	LGS下地GB-D t=9.0（下地共撤去）			
								3,000	ビニル製（撤去）	タタタ製可動間仕切（撤去）
		改修	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）	
			米ツガ SOP塗（新設）	120	モルタル下地EP-G塗（新設）					
	廊 下	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（一部撤去）	1階：木製 OS塗（既存のまま） 2階：木製 OS塗（一部撤去） 3階：木製 OP塗（一部撤去）	120	モルタル金ゴテタイルタイル（一部撤去）	1階・2階：LGS下地GB-D t=9.5（既存のまま） 3階：LGS下地GB-D t=9.5（一部撤去）			
								3,000	ビニル製（既存のまま）	
改修		既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（一部新設）	3,000	ビニル製（新設）		
		米ツガ SOP塗（新設）	120	モルタル下地EP-G塗（新設）						
⑪ 棟	前 室	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（撤去）	ビニル巾木（撤去）	100	腰壁：モルタル金ゴテAP塗（塗替・一部撤去） 壁：ブラスター塗（塗替・一部撤去）	木下地GB-D t=7.0（下地共撤去）			
						木下地防水ベニシ t=5.5 AP塗（撤去）		3,000	ビニル製（撤去）	
		改修	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	腰壁：既存モルタル下地調整の上EP-G塗（塗替） 壁：既存ブラスター下地調整の上EP-G塗（塗替） RC壁 t=150 モルタル下地EP-G塗（新設）、モルタル下地EP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）	
			再生タタタタ t=150 +コンクリート直均し t=180+ビニル床シート t=2.0（新設）							
	木工準備室 金工準備室 一技術準備室	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（撤去）	ビニル巾木（撤去）	100	腰壁：モルタル金ゴテAP塗（塗替・一部撤去） 壁：ブラスター塗（塗替・一部撤去）	木下地GB-D t=7.0（下地共撤去）			
						木下地防水ベニシ t=5.5 AP塗（撤去）				棚：4,825×500×1,830（撤去）、棚：4,070×500×1,830 2ヶ所（撤去）
		改修	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	腰壁：既存モルタル下地調整の上EP-G塗（塗替） 壁：既存ブラスター下地調整の上EP-G塗（塗替） モルタル下地EP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）	棚：4,800×500×1,830（撤去）、掃除用具入：800×780×1,870 2ヶ所（撤去）
			再生タタタタ t=150 +コンクリート直均し t=180+ビニル床シート t=2.0（新設）			1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）				棚1：1,800×600×1,900 4ヶ所（新設）、棚2：900×600×1,900（新設）、棚3：1,200×600×1,900（新設）
	1階 開放廊下	既存	モルタル金ゴテ（一部撤去）	モルタル金ゴテ（一部撤去）		モルタル下地防水形外装薄塗材E（タタタタリ一部撤去）	軒天：モルタル下地外装薄塗材E（既存のまま）			
								—	—	
		改修	コンクリート金ゴテ（一部新設）	—		モルタル下地防水形外装薄塗材E（タタタタリ一部新設）	—	—	—	スロープ手すり（新設）
	調理準備室	既存	モルタル下地ビニル床シート t=2.0（撤去）	ビニル巾木（撤去）	100	腰壁：モルタル金ゴテAP塗（塗替・一部撤去） 壁：ブラスター塗（塗替・一部撤去）	木下地GB-D t=7.0（下地共撤去）			
				モルタル金ゴテAP塗（既存のまま）	100			3,000	ビニル製（撤去）	戸棚：5,500×500×2,030（撤去）、戸棚：3,675×500×2,030（撤去）、掃除用具入：860×780×1,870（撤去）
		改修	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	腰壁：既存モルタル下地調整の上EP-G塗（塗替） 壁：既存ブラスター下地調整の上EP-G塗（塗替） LGS50+GB-R t=9.5+GB-R-H t=9.5 片面二重張りEP-G塗（新設）、モルタル下地EP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）	木製タタタタ：1,380×410×30（撤去） 戸棚1：1,800×450×1,900 4ヶ所（新設）、掃除用具入：600×450×1,900（新設）
	E Vホール	既存	—	—		—	—			
改修		既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0（新設）	ビニル巾木（新設）	100	腰壁：既存モルタル下地調整の上EP-G塗（塗替） 壁：既存ブラスター下地調整の上EP-G塗（塗替） LGS50+GB-R t=9.5+GB-R-H t=9.5 片面二重張りEP-G塗（新設）、モルタル下地EP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗（新設） 1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗（新設）	LGS下地GB-D t=9.5（新設）	3,000	ビニル製（新設）		
2階 開放廊下	既存	防水モルタル金ゴテ（既存のまま）	モルタル金ゴテ（一部撤去）		モルタル下地防水形外装薄塗材E（タタタタリ一部撤去）	軒天：モルタル下地外装薄塗材E（既存のまま）				
							—	—		
	改修	—	モルタル金ゴテ（新設）		モルタル下地防水形外装薄塗材E（タタタタリ一部新設）	—	—	—	タタタタタ（新設）、スロープ手すり（新設）	
屋 内 運 動 場	玄 関	既存	モルタル金ゴテ（一部撤去）	モルタル金ゴテEP塗（既存のまま）	モルタル金ゴテEP塗（既存のまま）	LGS下地GB-D t=9.5（既存のまま）				
							2,800	ビニル製（既存のまま）	下足入れ：1,560×400×1,530（撤去）	
							2,700			
		コンクリート直押えタタタ系樹脂系塗床タタタタ工法（新設）	ビニル巾木（新設）	100	—	—	2,800	—	スロープ手すり（新設）	

千 葉 市 都 市 局 建 築 部 営 繕 課

工事名称  
千葉市立末広中学校エレベータ設置工事

設計年月日  
令和 6 年 1 1 月 日

施工年月日  
令和 年 月 日

変更年月日  
令和 年 月 日

図  
面  
名

工事概要、耐火リスト、仕上表

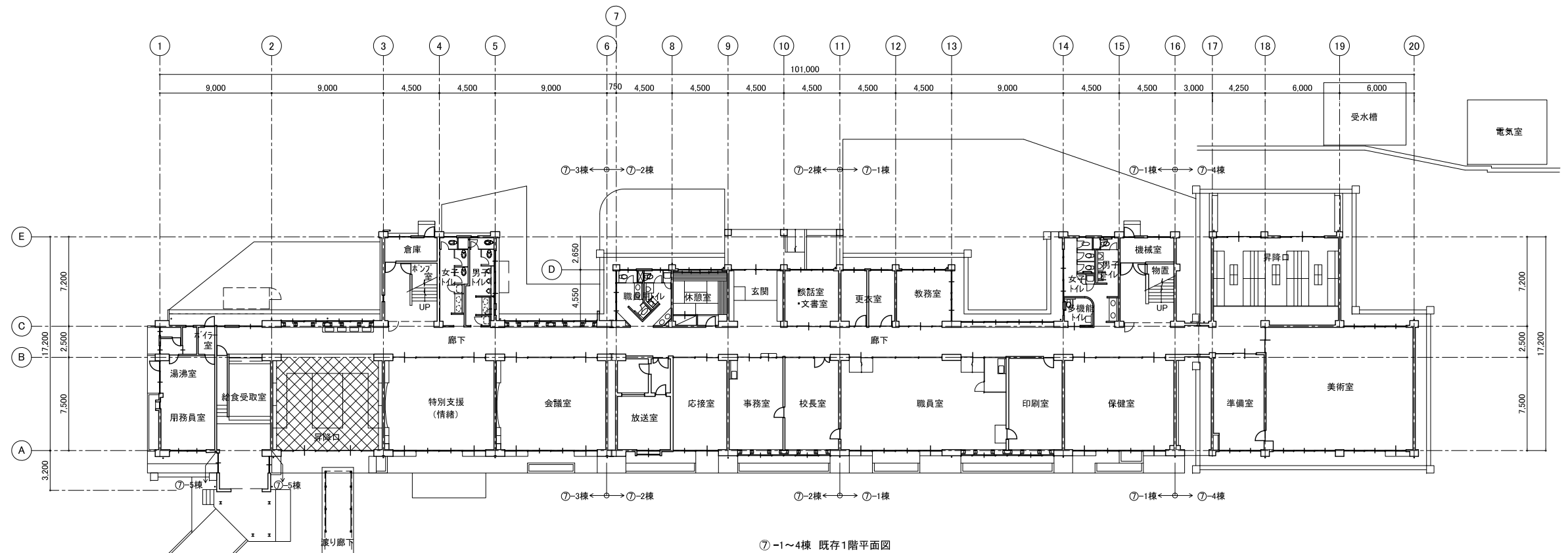
縮  
尺

N・S

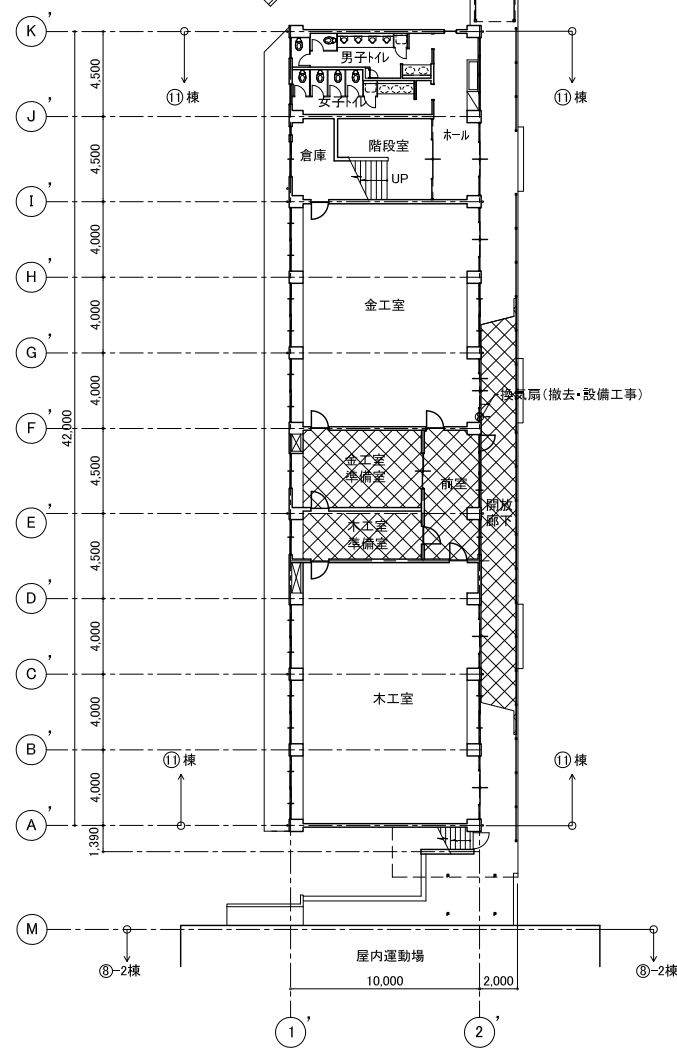
図  
面  
番  
号

A－03

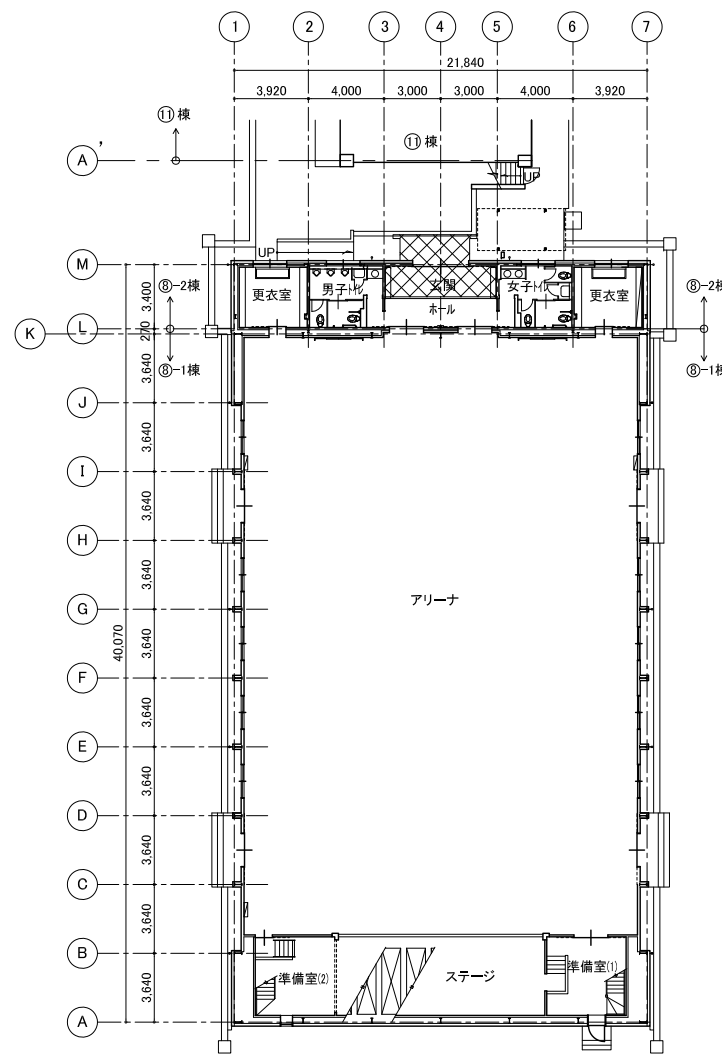




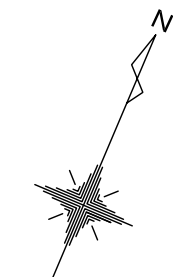
⑦-1～4棟 既存1階平面図



⑪棟 既存1階平面図

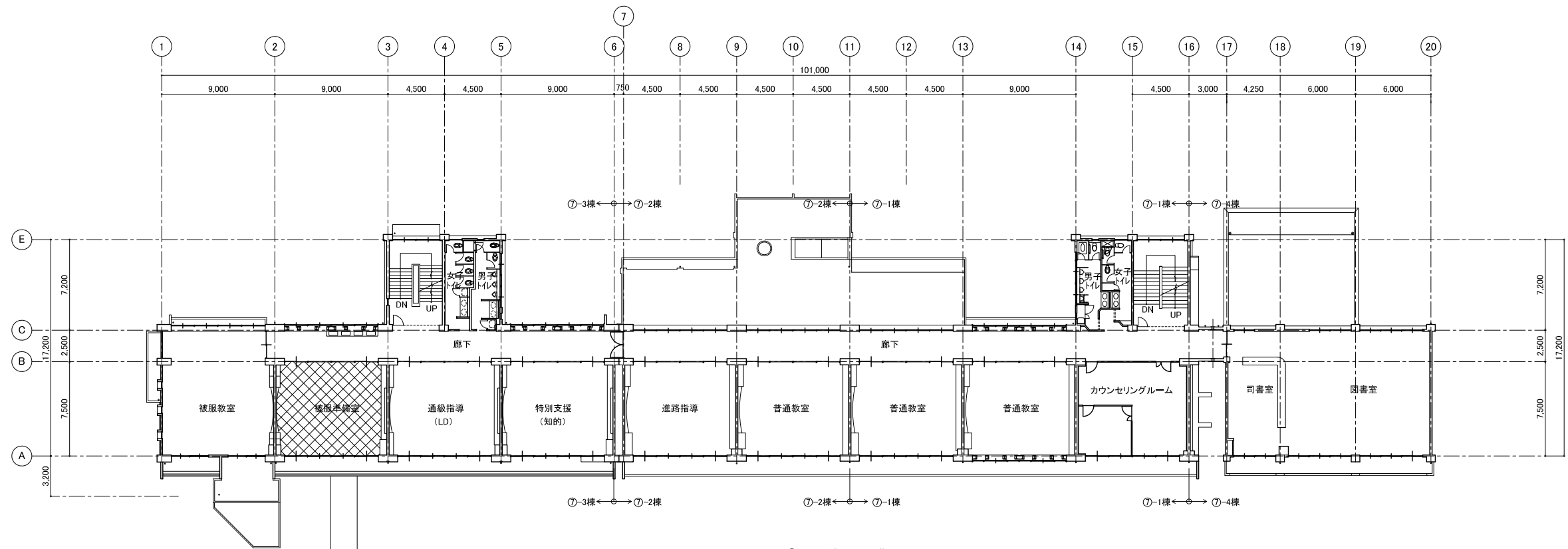


屋内運動場既存1階平面図

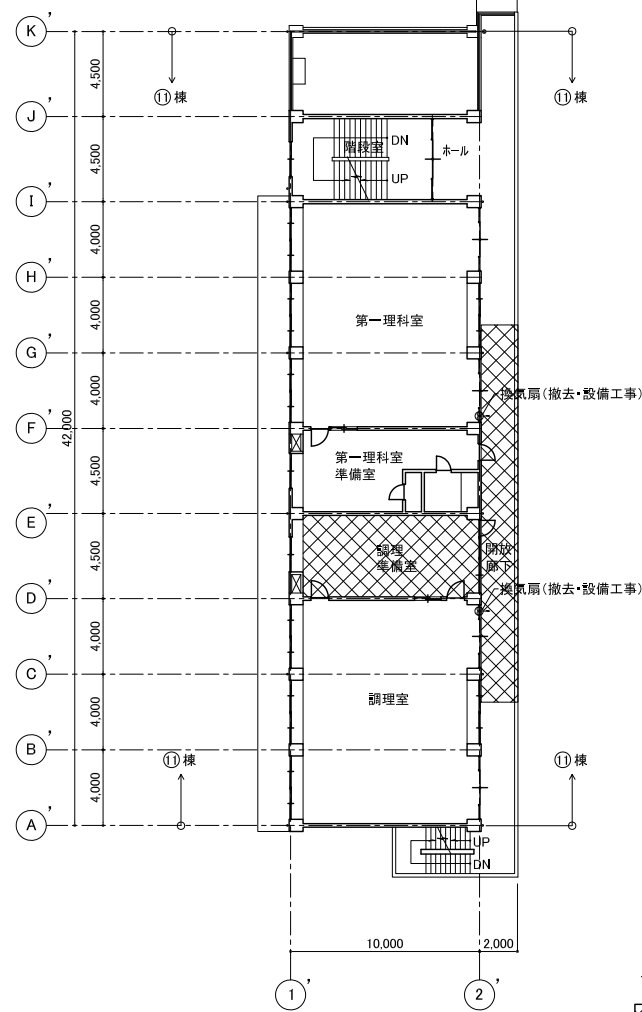


凡例  
改修箇所を示す

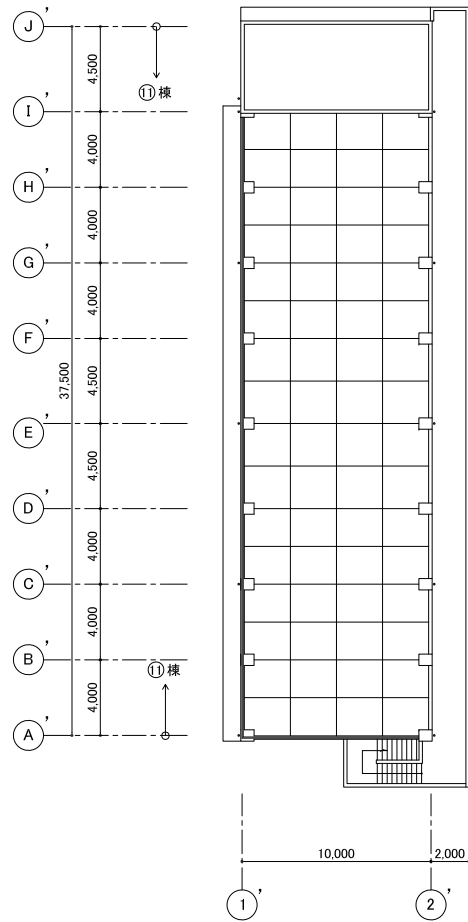




⑦-1～4棟 既存2階平面図

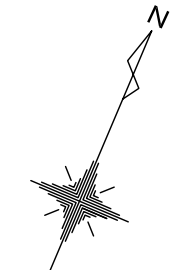


⑪棟 既存2階平面図

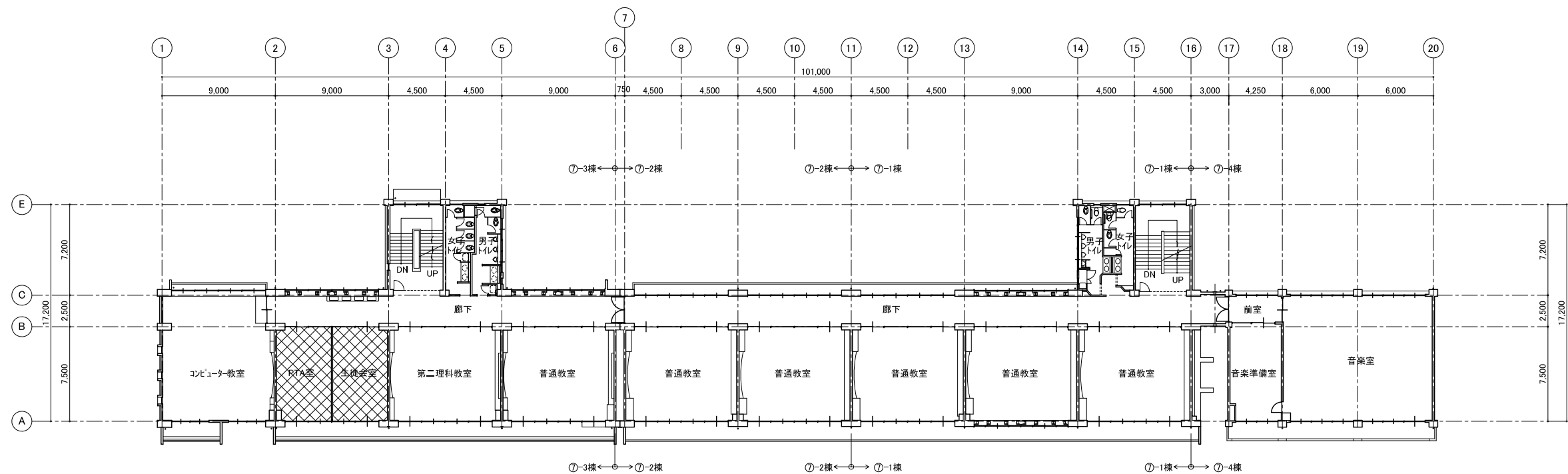


⑪棟 既存R階平面図

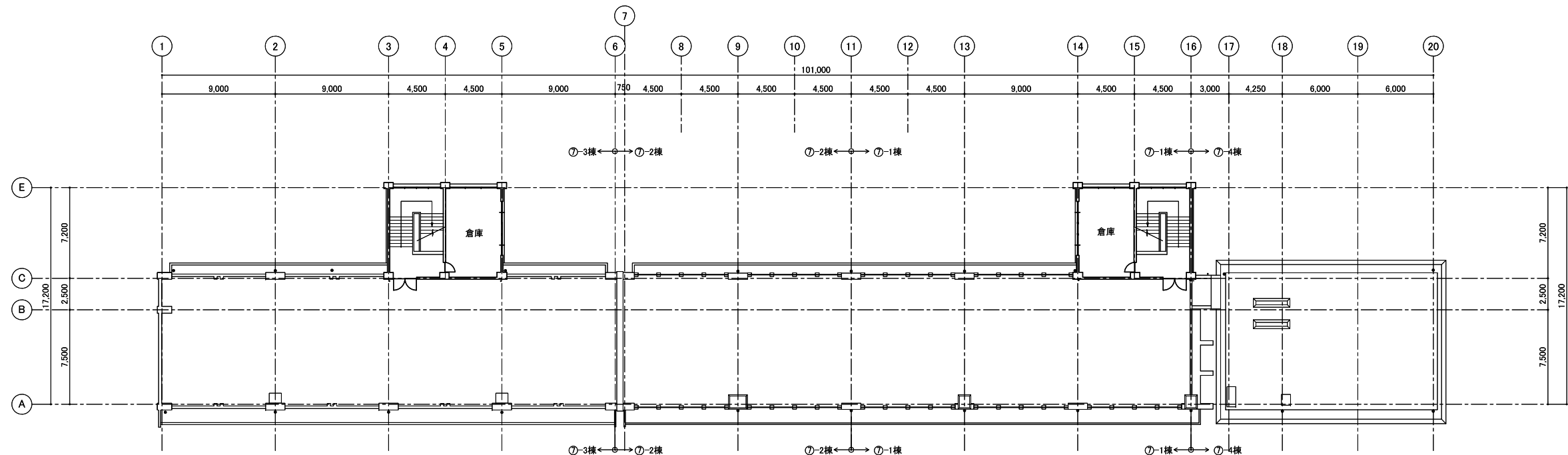
凡例  
改修箇所を示す



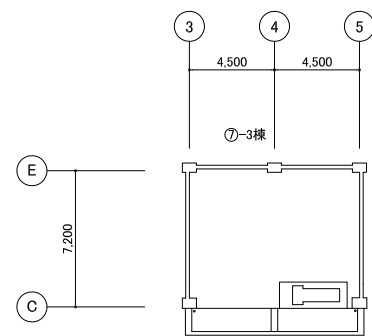




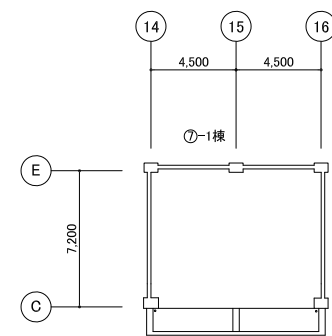
⑦-1～4棟 既存3階平面図



⑦-1～4棟 既存R階平面図

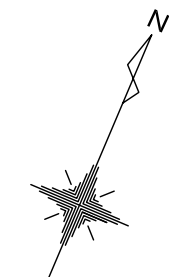


⑦-3棟 既存PH階平面図

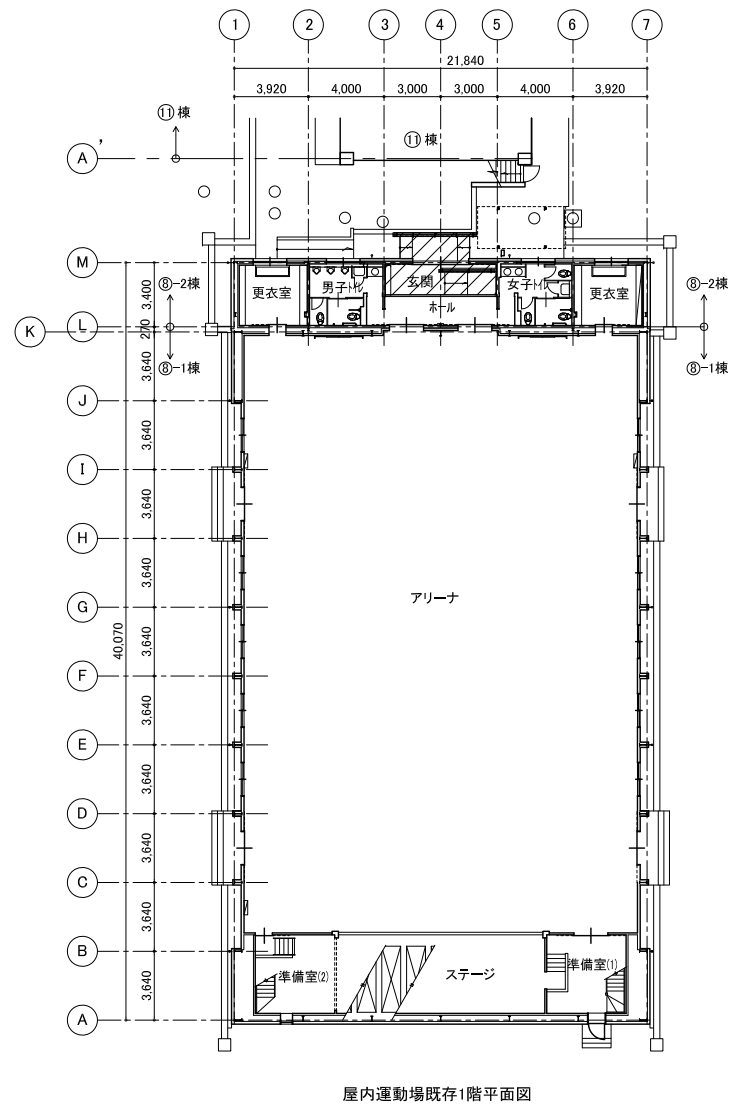
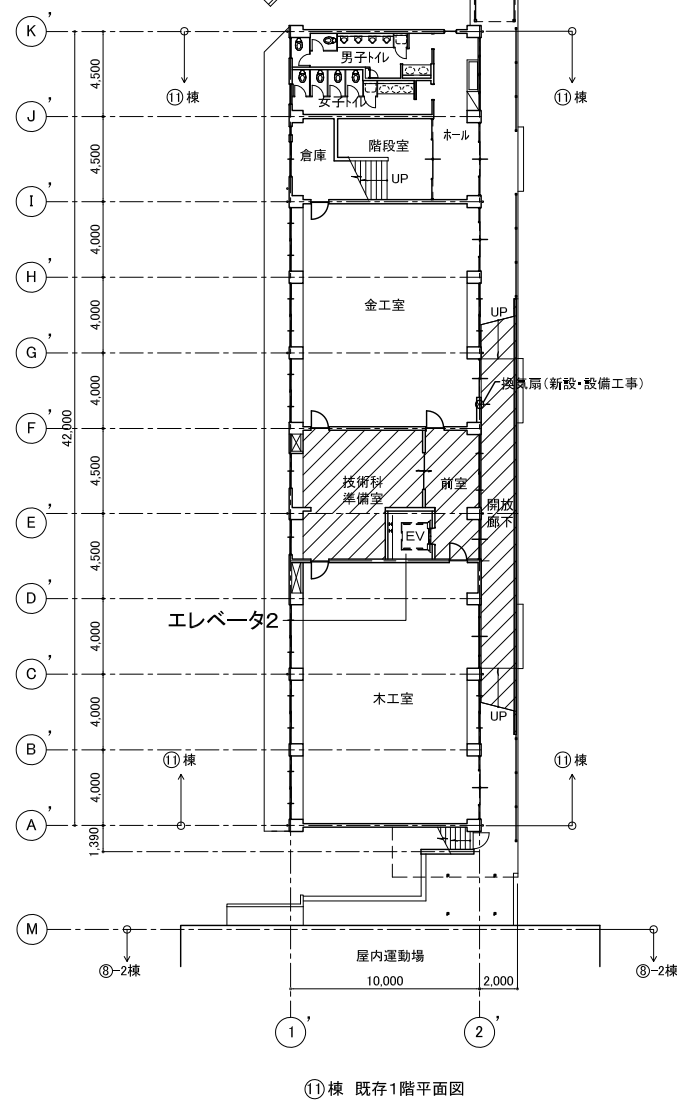
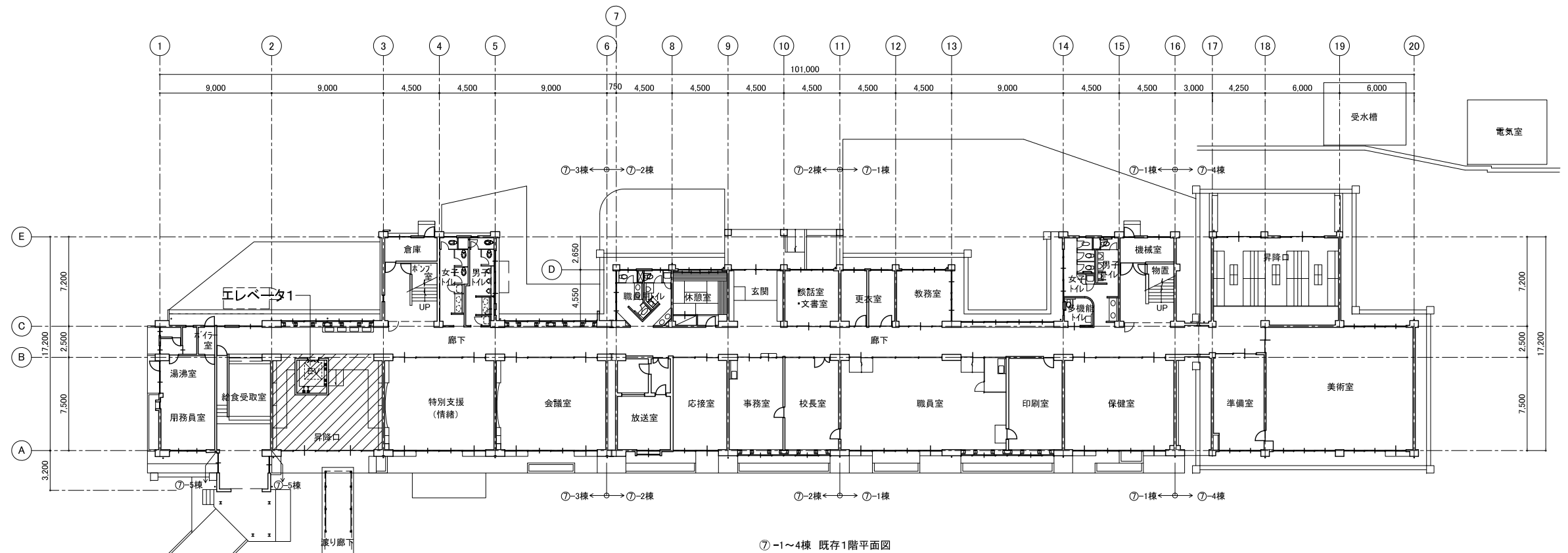


⑦-1棟 既存PH階平面図

凡例  
改修箇所を示す

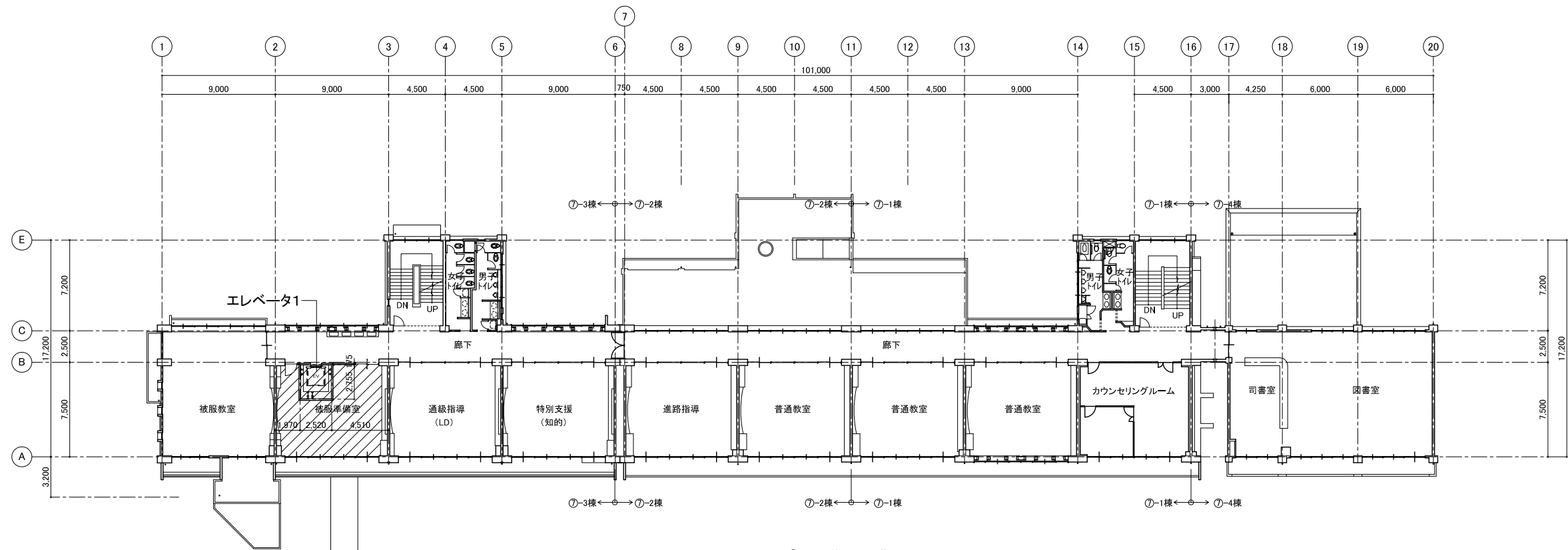




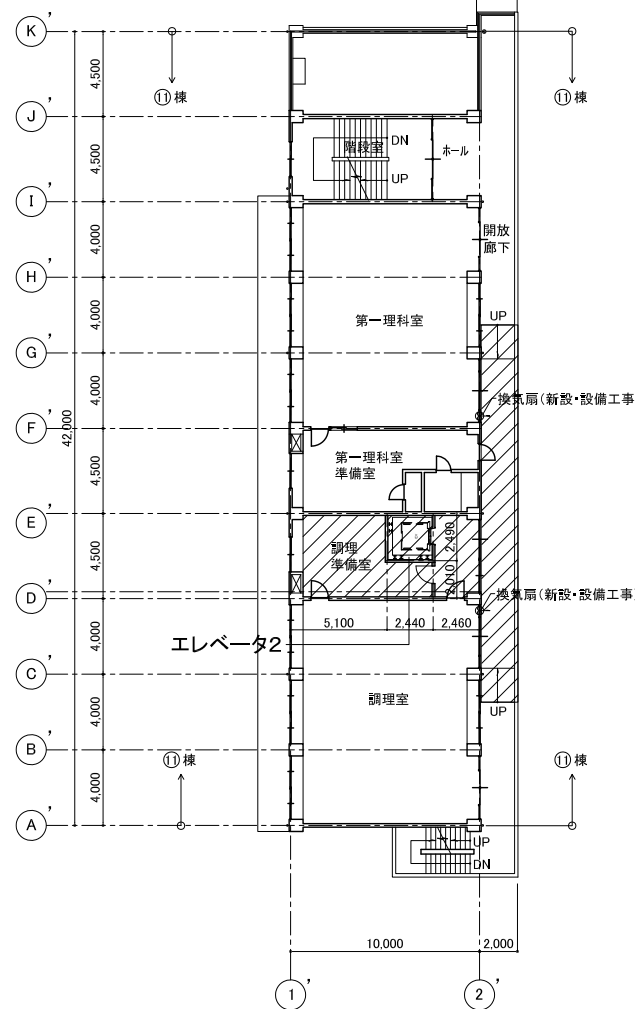


凡例  
改修箇所を示す

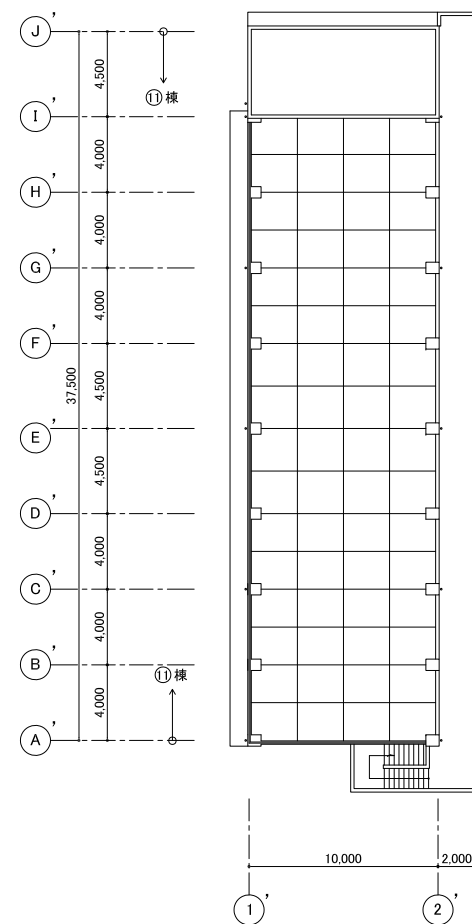




⑦-1～4棟 既存2階平面図



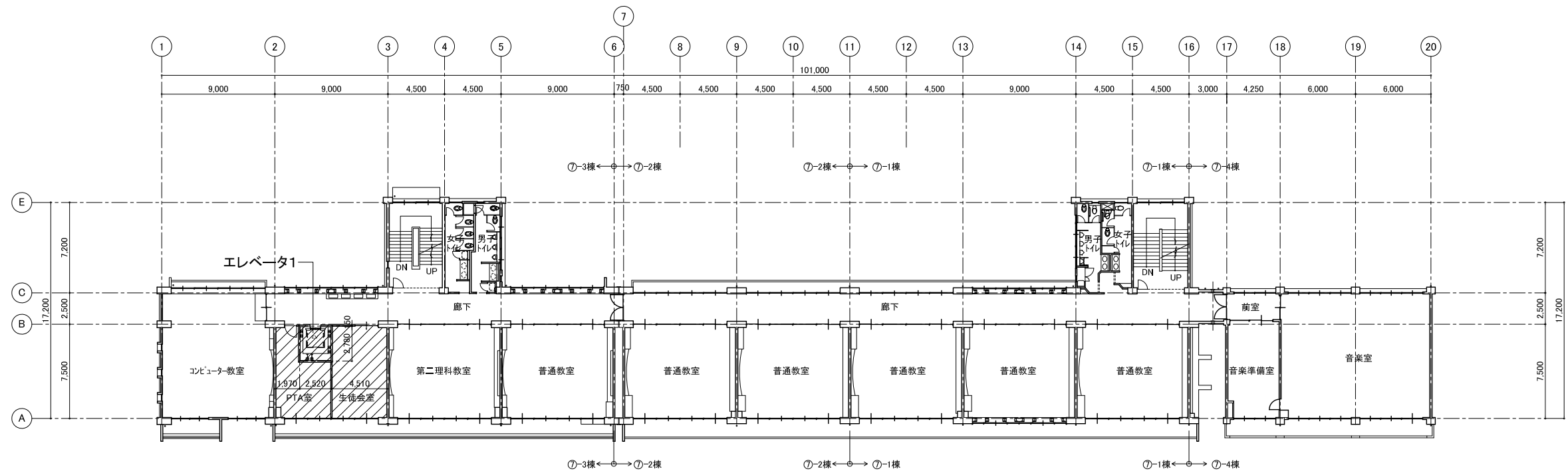
⑪棟 既存2階平面図



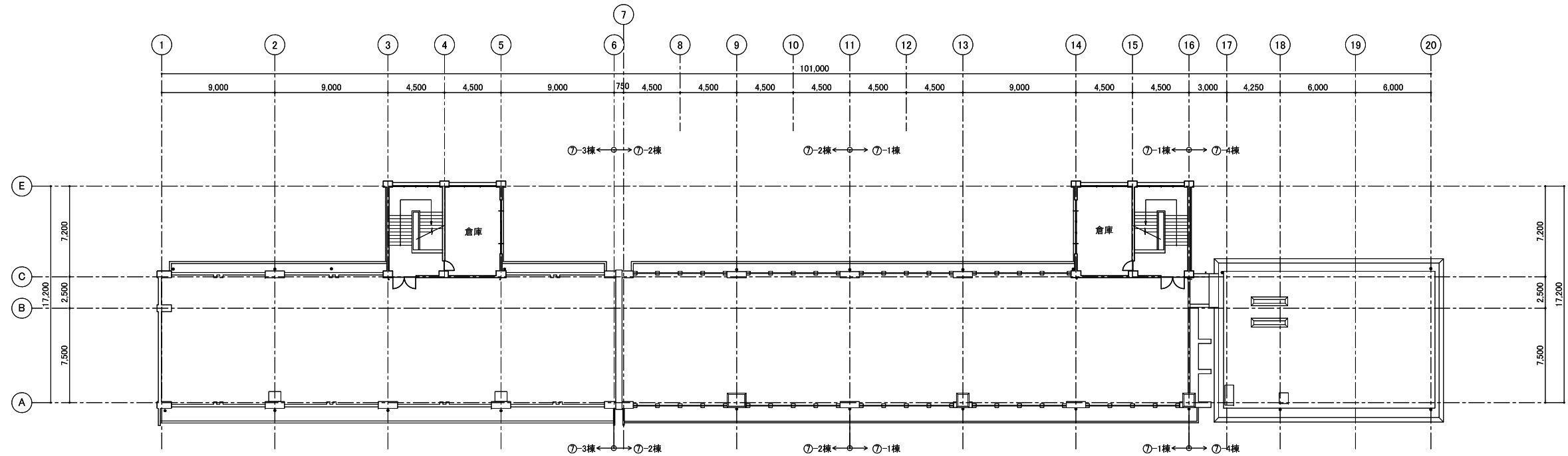
⑪棟 既存R階平面図

凡例  
改修箇所を示す

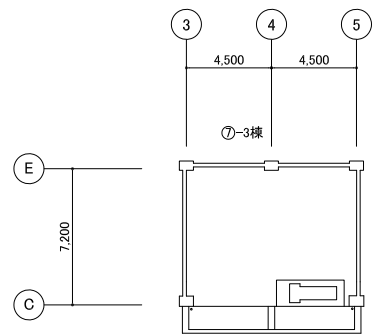




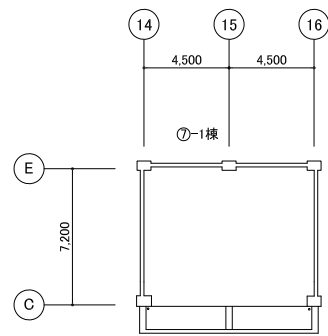
⑦-1～4棟 既存3階平面図



⑦-1～4棟 既存R階平面図

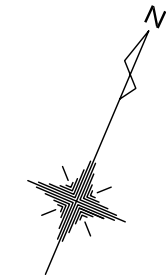


⑦-3棟 既存PH階平面図



⑦-1棟 既存PH階平面図

凡例  
改修箇所を示す





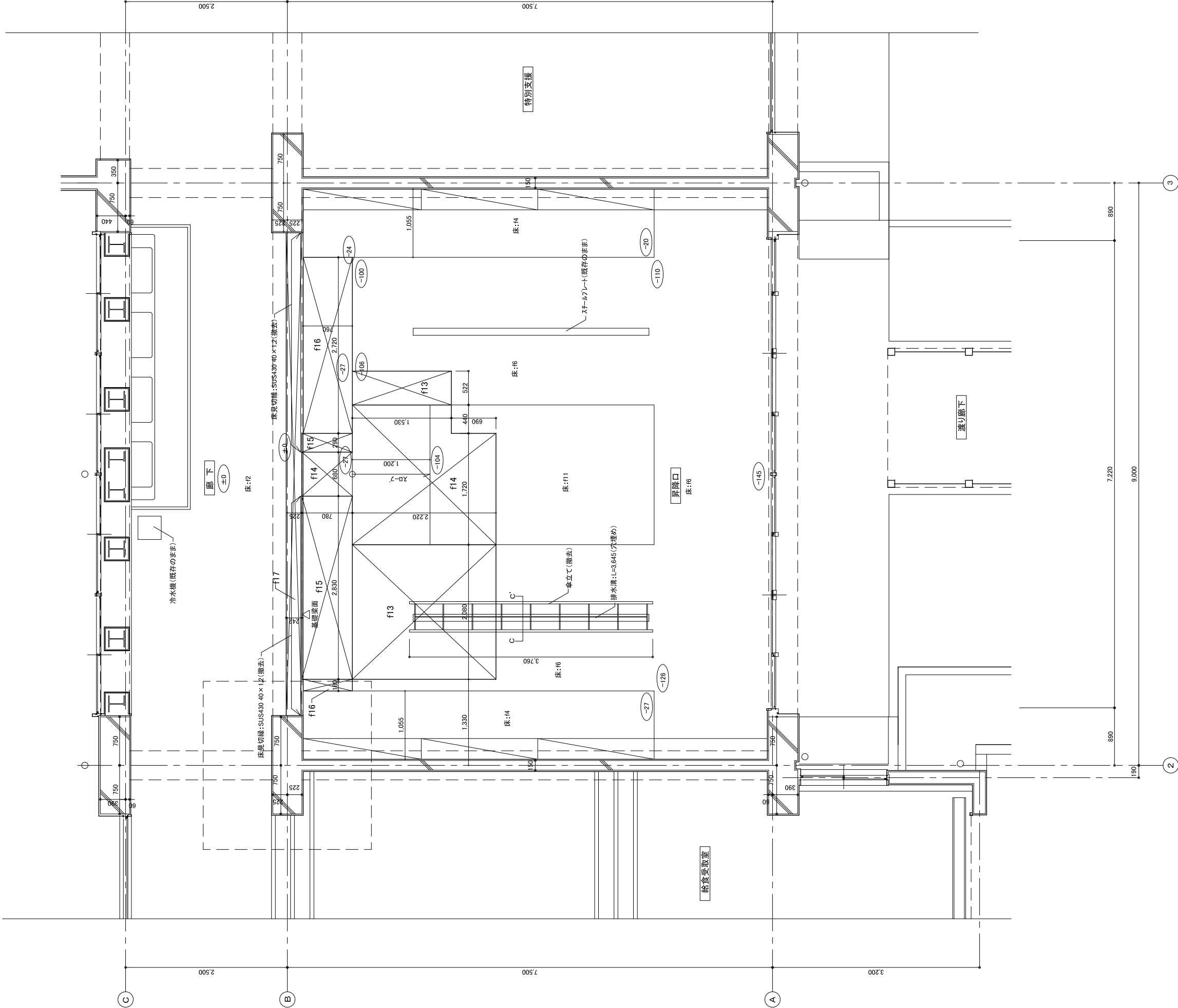
設計年月日		令和 6 年 11 月 日				変更年月日		令和 年 月 日				変更年月日		令和 年 月 日			
特記事項						特記事項						特記事項					

⑦-3棟 1階昇降口 既存平面詳細図

1/30(A1)  
1/60(A3)

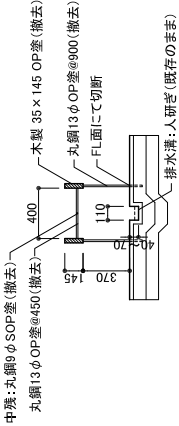
号 断面図  
号 断面図

A-10

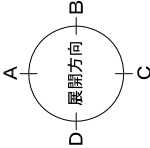


既存仕上げ凡例

配号	位置	仕 上 げ
f2	床	モルタル下地ニ珪床シート $\pm 2.0$ (既存のまま)
f4	床	モルタル下地25角タイル張り(既存のまま)
f6	床	人造石研ぎ出し(既存のまま)
f11	床	モルタル下地塗床(既存のまま)
f13	床	人造石研ぎ出し+土間コンクリート $\pm 100$ ・砕石 $\pm 100$ (撤去)
f14	床	モルタル下地塗床+土間コンクリート $\pm 100$ ・砕石 $\pm 100$ (撤去)
f15	床	モルタル下地25角タイル張り+土間コンクリート $\pm 100$ ・砕石 $\pm 100$ (撤去)
f16	床	モルタル下地25角タイル張り(タイルのみ撤去)
f17	床	モルタル下地ニ珪床シート $\pm 2.0$ (シートのみ撤去)

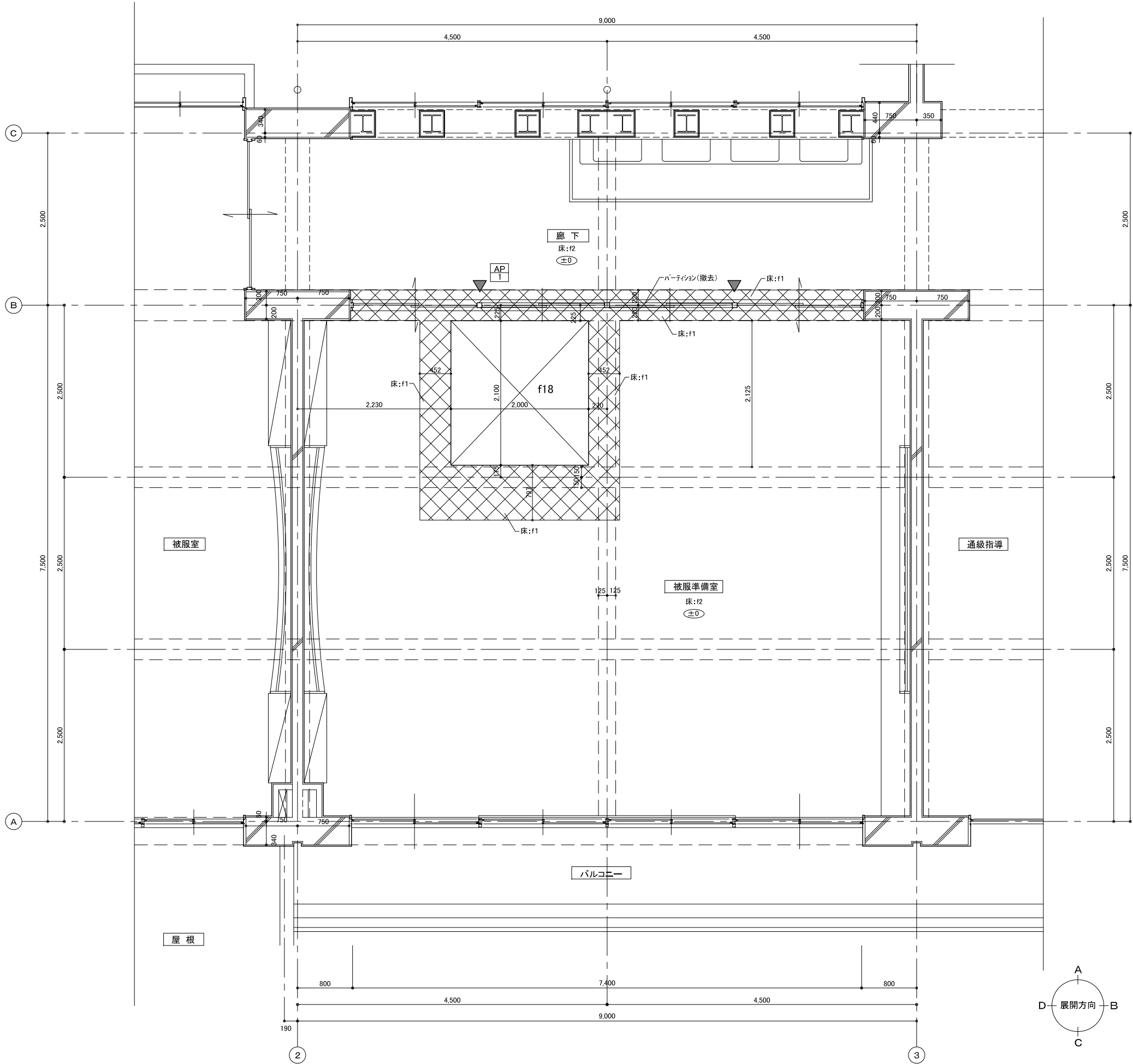


巻立て C-C' 断面詳細図

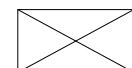





【既存図】



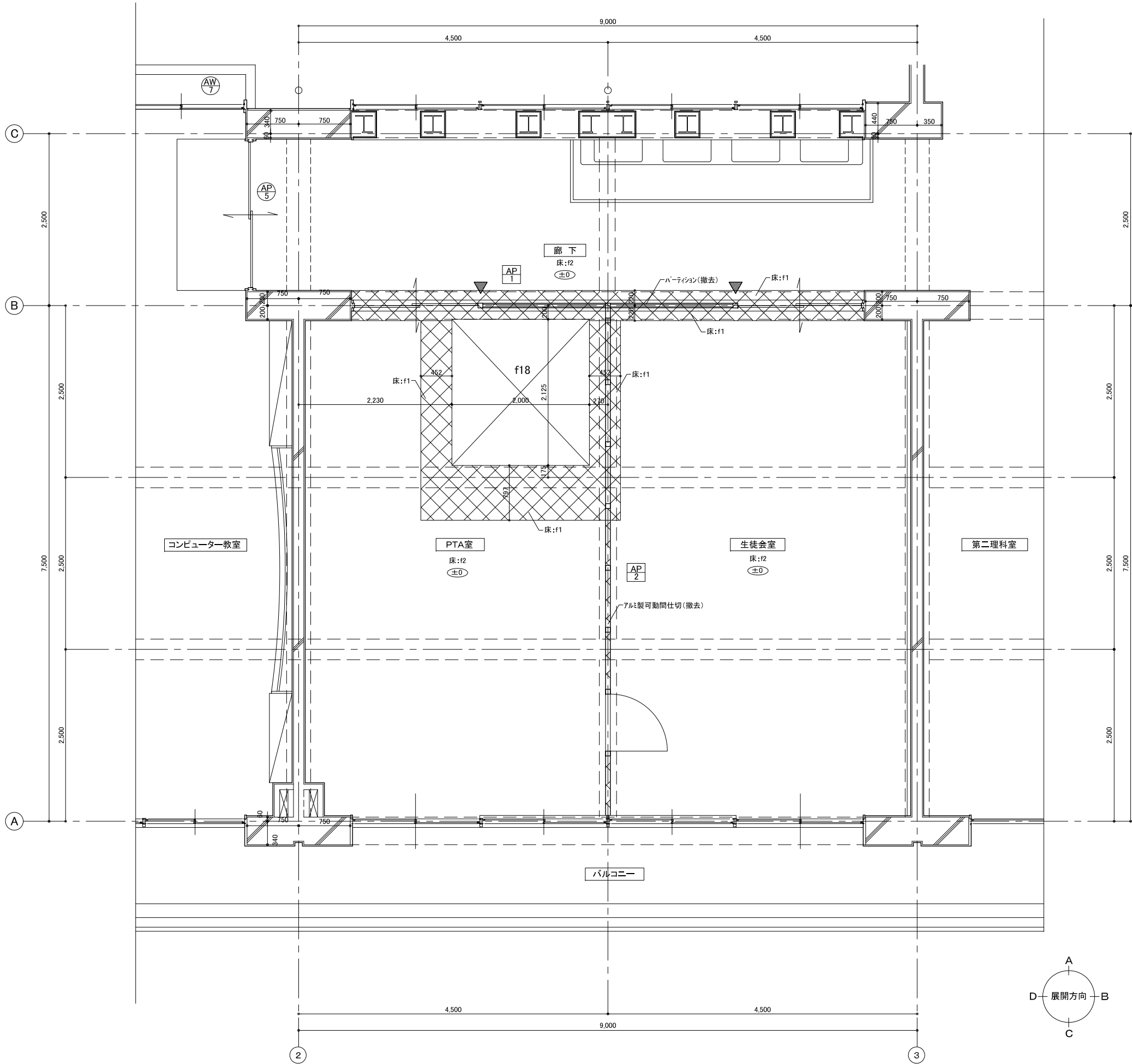


既存仕上げ凡例		
記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニル床シート ｾ=2.0(シートのみ撤去)
f2	床	モルタル下地ビニル床シート ｾ=2.0(既存のまま)
f18	床	コンクリートスラブ ｾ=120+モルタル下地ビニル床シート ｾ=2.0(撤去)

- 凡例
-  スラブ撤去範囲を示す
  -  撤去範囲を示す
  -  撤去建具を示す
  -  側面付け室名札(撤去) 2箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25

【既存図】


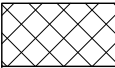







既存仕上凡例

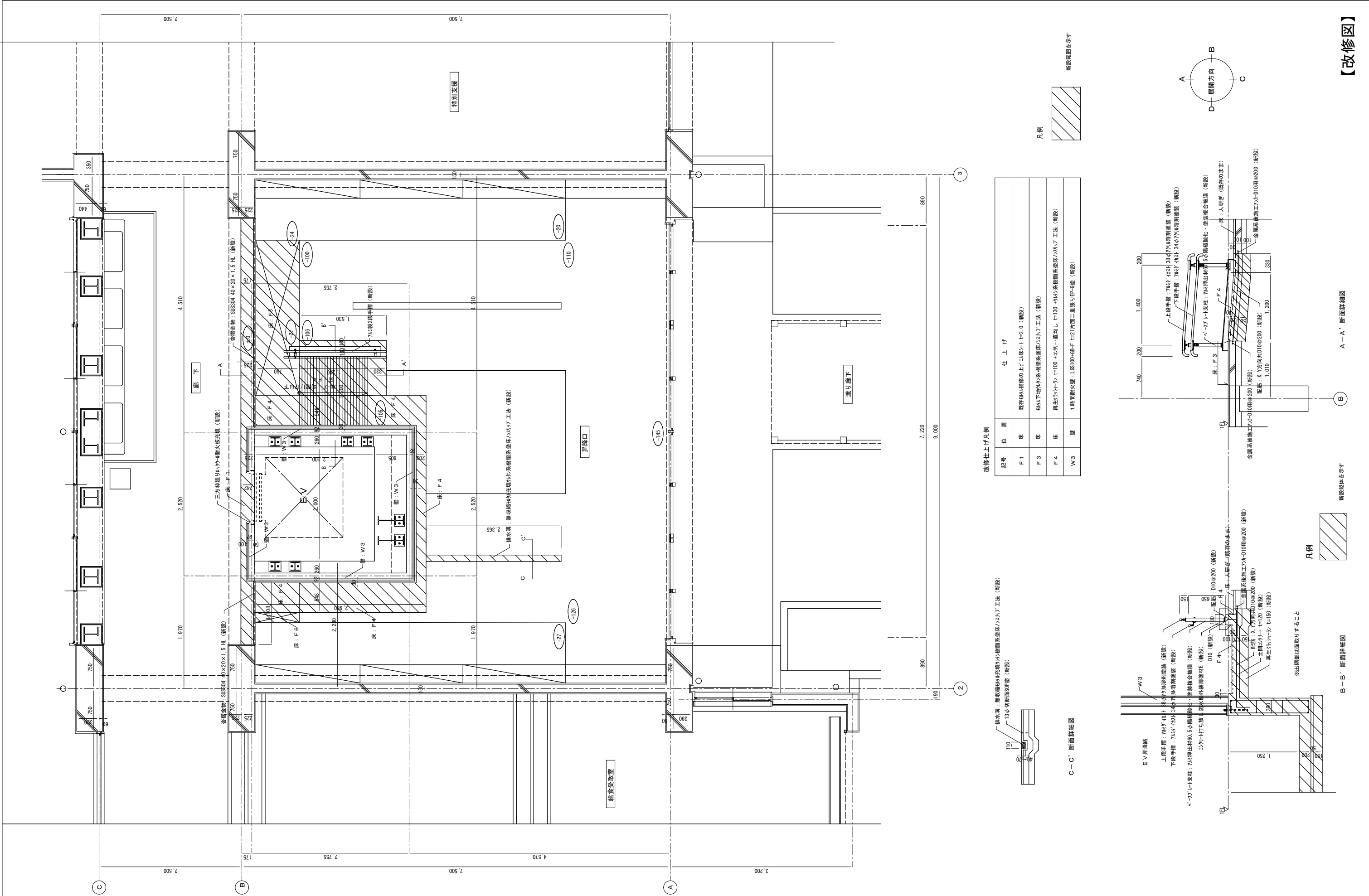
記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニル床シート ｴ=2.0(シートのみ撤去)
f2	床	モルタル下地ビニル床シート ｴ=2.0(既存のまま)
f18	床	コンクリートスラブ ｴ=120+モルタル下地ビニル床シート ｴ=2.0(撤去)

凡例

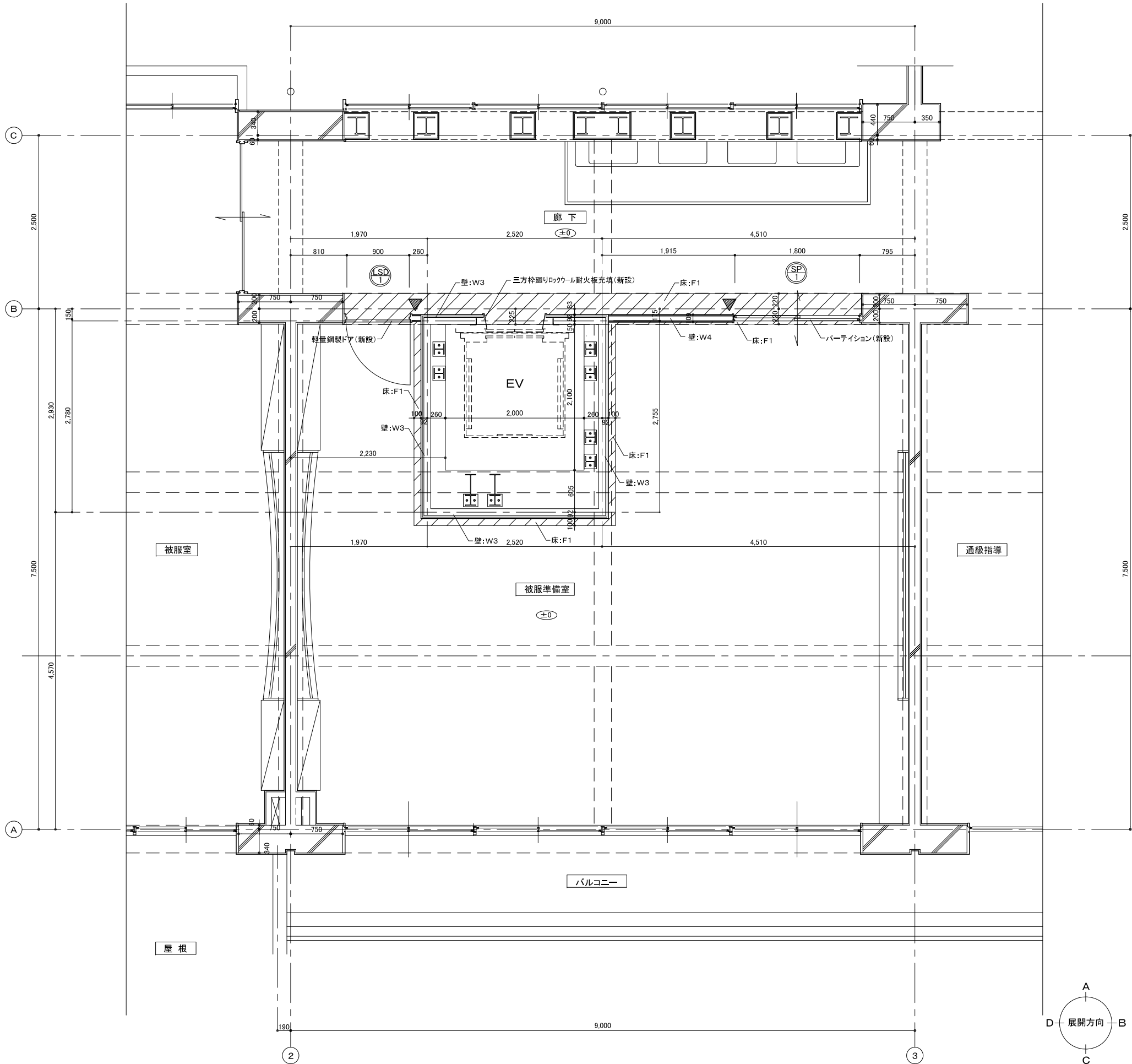
- スラブ撤去範囲を示す
- 撤去範囲を示す
- 撤去建具を示す
- 改修建具を示す
- 側面付け室名札(撤去) 2箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25

【既存図】












改修仕上凡例

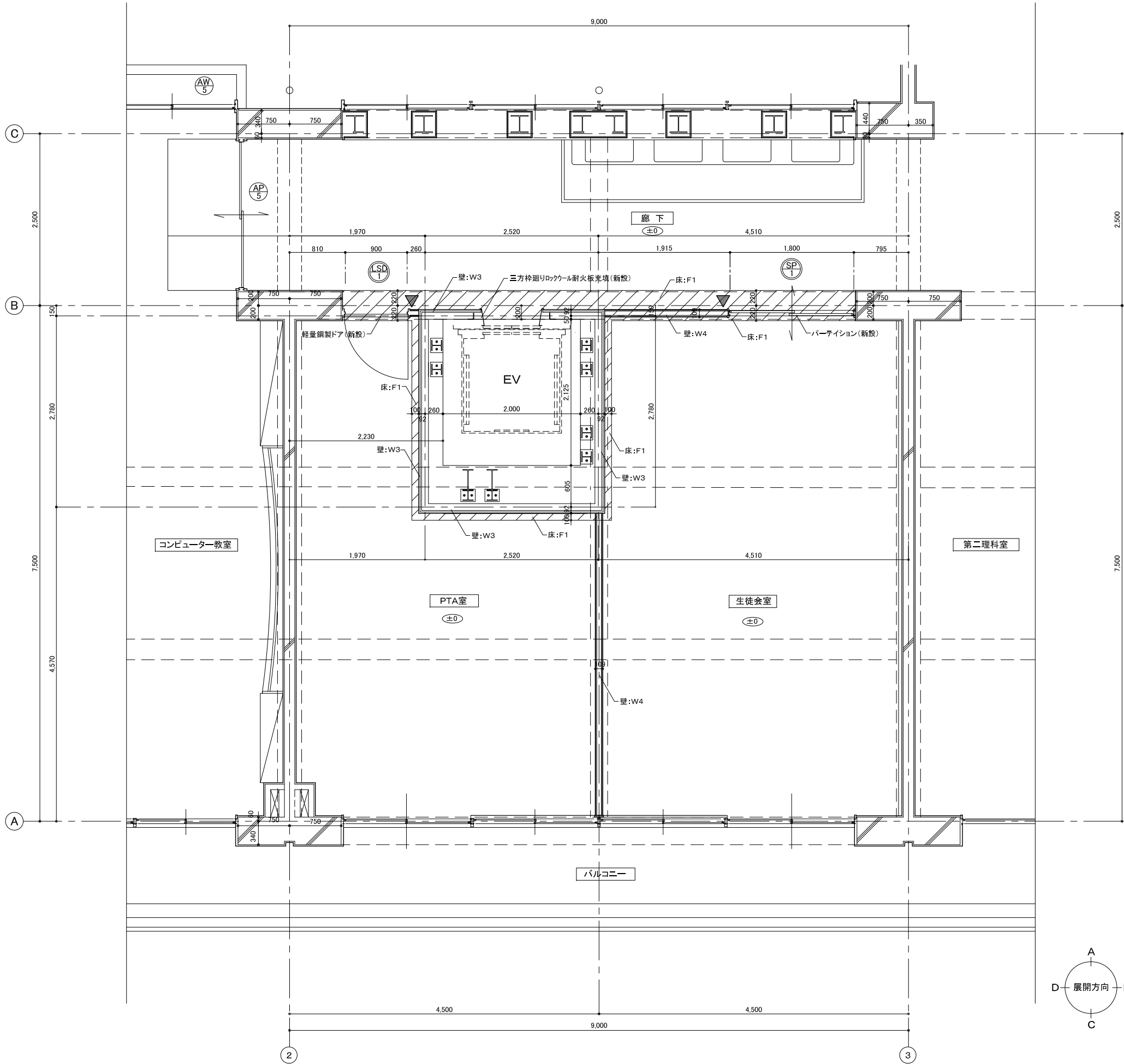
記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0(新設)
W3	壁	1時間耐火壁:LGS100+GB-F t=21片面ニ重張りEP-G塗(新設)
W4	壁	1時間耐火壁:LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面ニ重張り EP-G塗(新設)

凡例





- 新設範囲を示す
- 新設建具を示す
- 側面付け壁名札(新設) 2箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25

【改修図】





改修仕上凡例		
記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0(新設)
W3	壁	1時間耐火壁:LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗(新設)
W4	壁	1時間耐火壁:LGS65+GB-F t=12.5+GB-R-H t=9.5 両面二重張り EP-G塗(新設)

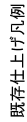
- 凡例
-  新設範囲を示す
  -  新設建具を示す
  -  改修建具を示す
  -  側面付け室名札(新設) 2箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25

【改修図】



⑦-3棟 既存断面詳細図

A-16

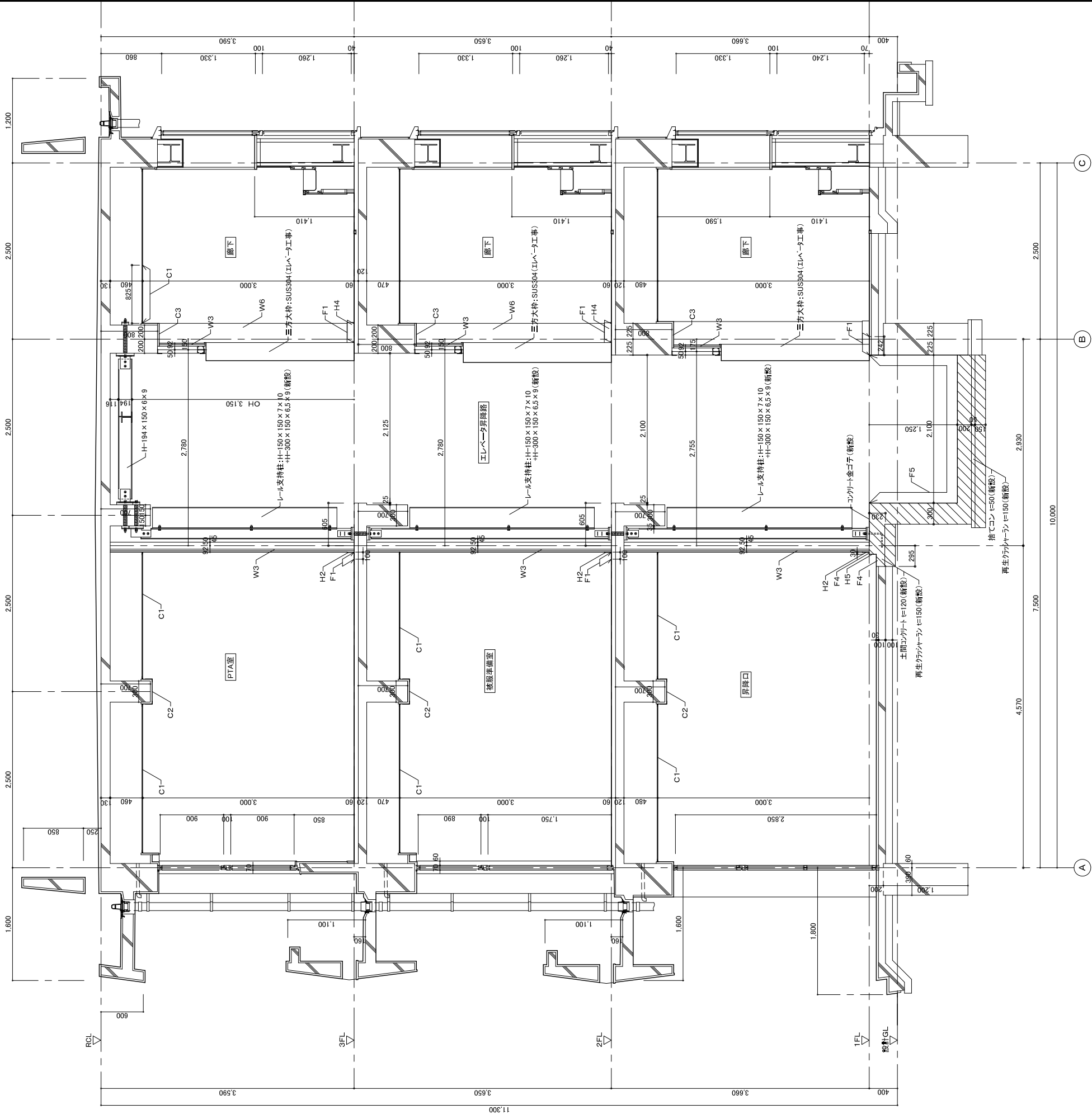
撤去範圍を示す

コンクリートカッター施工箇所を示す



設計年月日	令和 9 年 11 月 日	変更年月日	令和 年 月 日	変更年月日	令和 年 月 日
図面番		図面番		図面番	

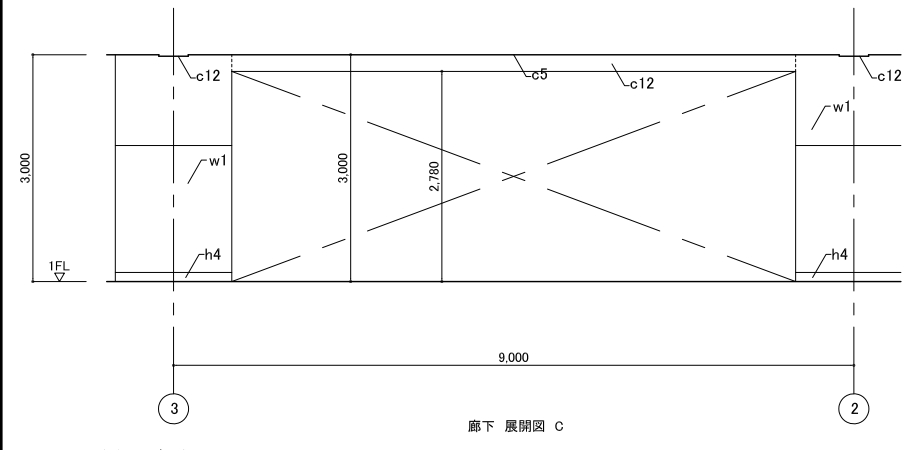
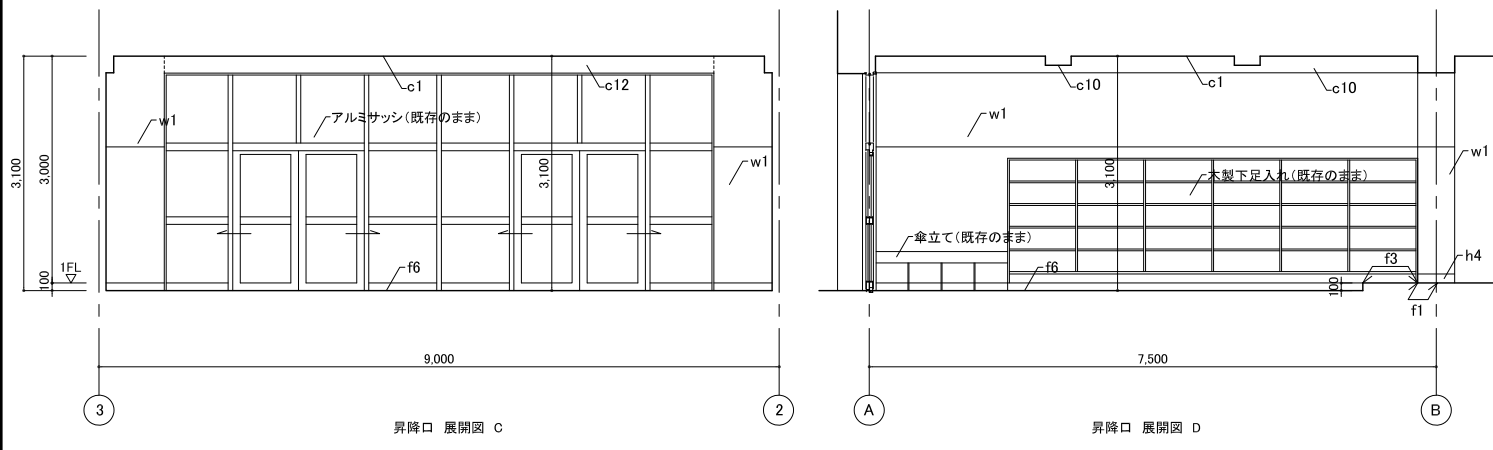
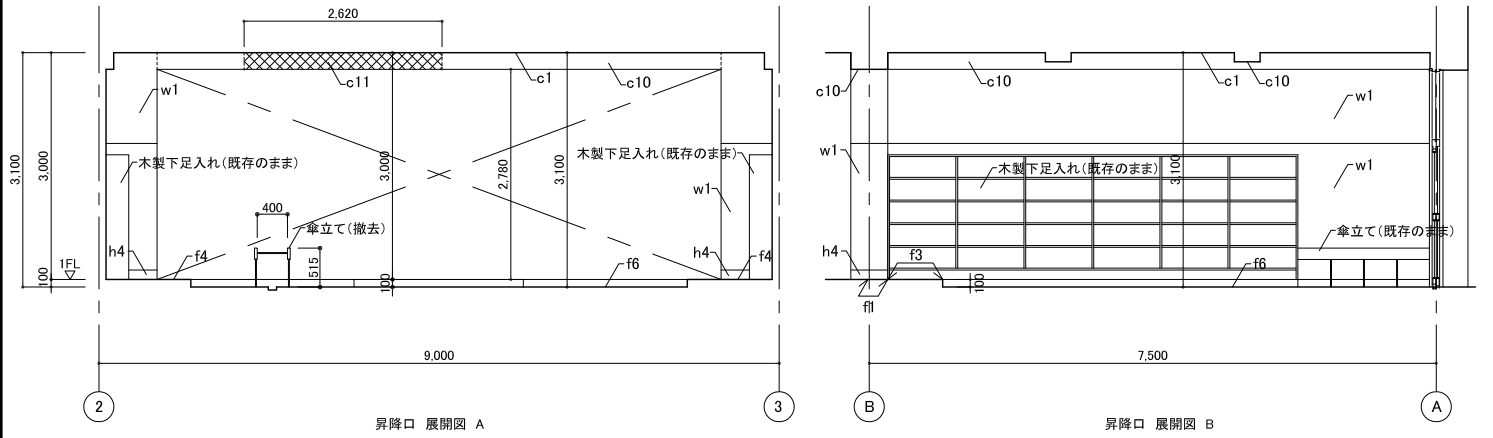
縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)
----	----------------------



改修仕上凡例

記号	位置	仕 上 げ	記号	位置	仕 上 げ	記号	位置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シート 貼付(新設)	H2	巾木	ビニル巾木H=100(新設)	C1	天井	LGS下地GB-D 貼付(新設)
F4	床	再生カクヤラン 貼付(新設)	H4	巾木	米ナカ H=120 OP塗(新設)	C2	梁型	既存アラタ補修の上EP-G塗(新設)
F5	床	コナリート打ち放し外側系樹脂塗床(新設)	H5	巾木	コナリート打ち放し外側系樹脂塗床(新設)	C3	梁型	モルタル下地EP-G塗(新設)
			W3	壁	1時間耐火壁・LGS100+GB+EP-G塗(新設)			
			W6	壁	モルタル下地EP-G塗(新設)			



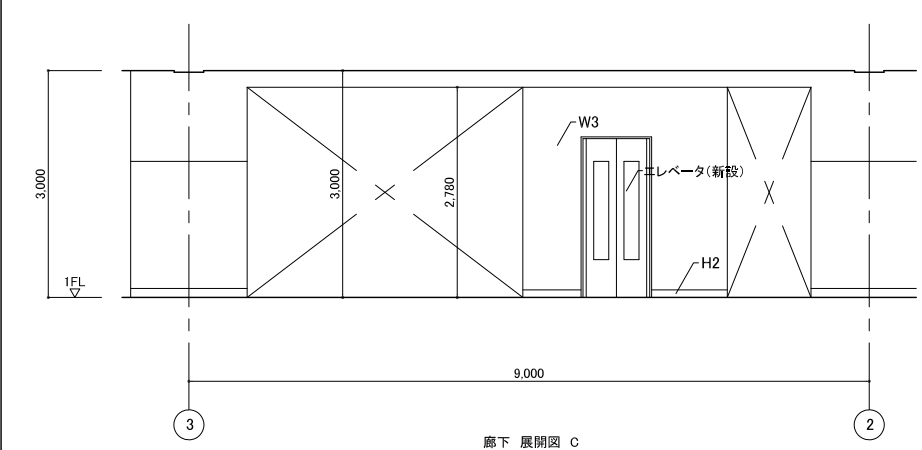
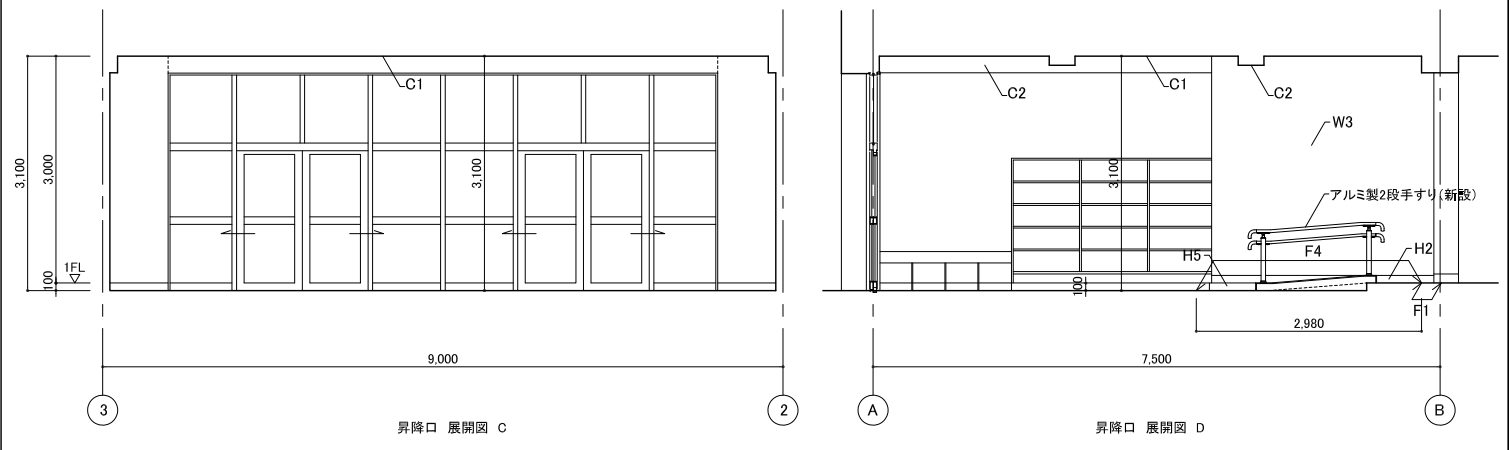
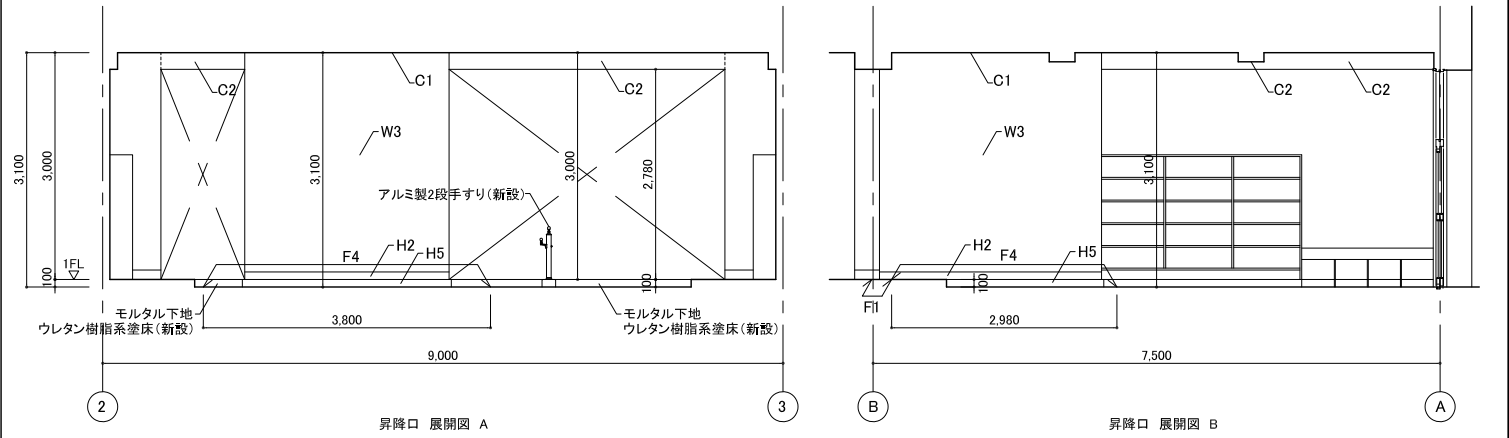


既存仕上凡例		
記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニ床シート t=2.0(シートのみ撤去)
f2	床	モルタル下地ビニ床シート t=2.0(既存のまま)
f3	床	モルタル下地25角タイル張り(タイルのみ撤去)
f4	床	モルタル下地25角タイル張り(既存のまま)
f6	床	人造石研ぎ出し(既存のまま)
h4	巾 木	木製 H=120 OS塗(既存のまま)
w1	壁	モルタル金ゴテスプレッドサテン塗(既存のまま)
c1	天 井	木下地GB-R t=7.0一部GB-P t=7.0(下地共撤去)
c5	天 井	LGS下地GB-D t=9.5(既存のまま)
c10	梁 型	プaster塗(塗替)
c11	梁 型	プaster塗(撤去)
c12	梁 型	プaster塗(既存のまま)

凡 例

撤去範囲を示す

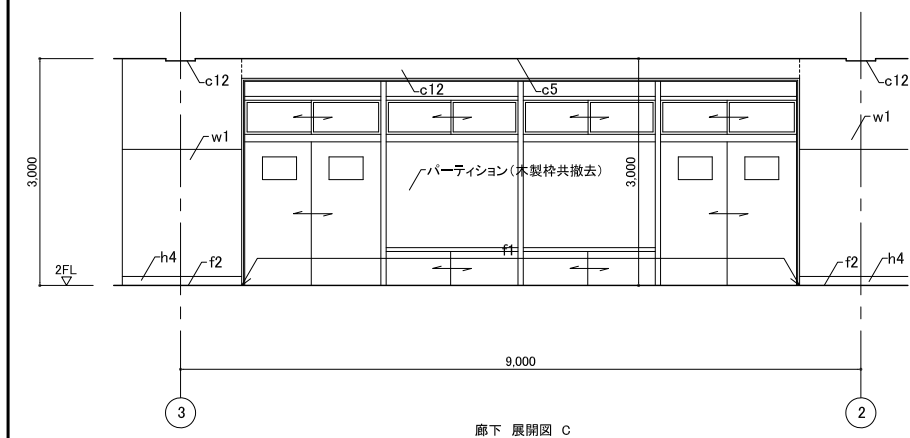
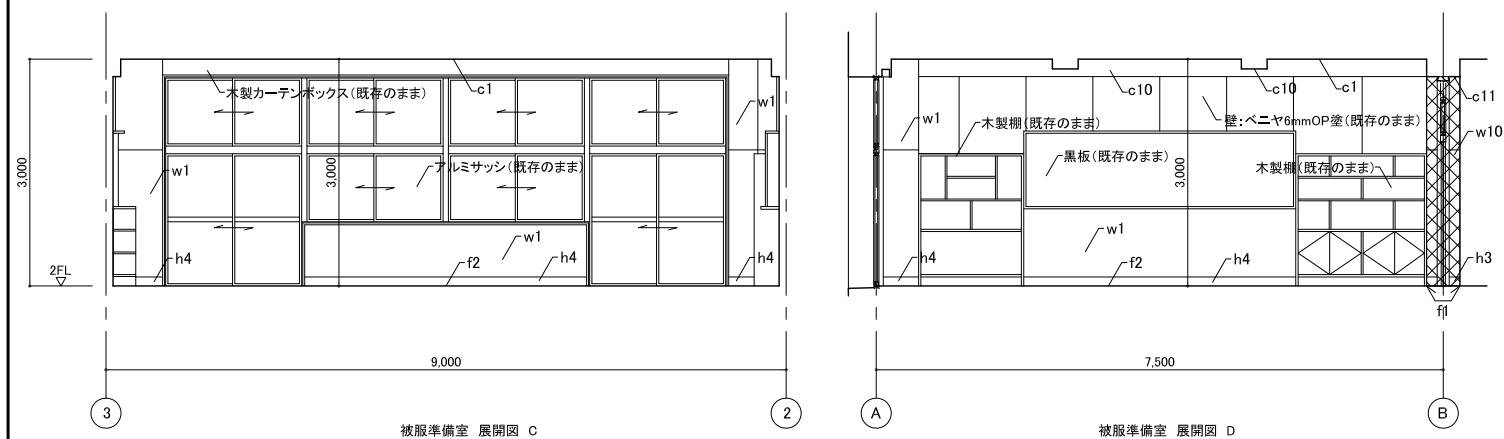
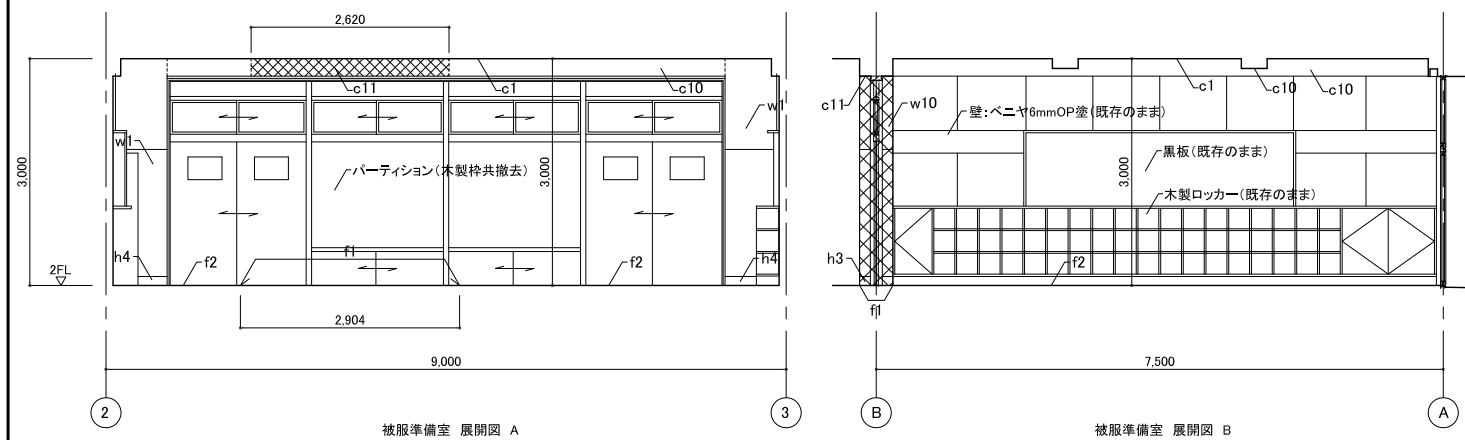
【既存図】



改修仕上凡例		
記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニ床シート t=2.0(新設)
F4	床	再生クッション t=100 +コンクリート直均し t=130 +ウレタン樹脂系塗床/ノスリ工法(新設)
H2	巾 木	ビニ巾木H=100(新設)
H5	巾 木	コンクリート打ち放しウレタン樹脂系塗床(新設)
W3	壁	1時間耐火壁:LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗(新設)
C1	天 井	LGS下地GB-D t=9.5 (新設)
C2	梁 型	既存プaster補修の上EP-G塗(塗替)

【改修図】





既存仕上げ凡例

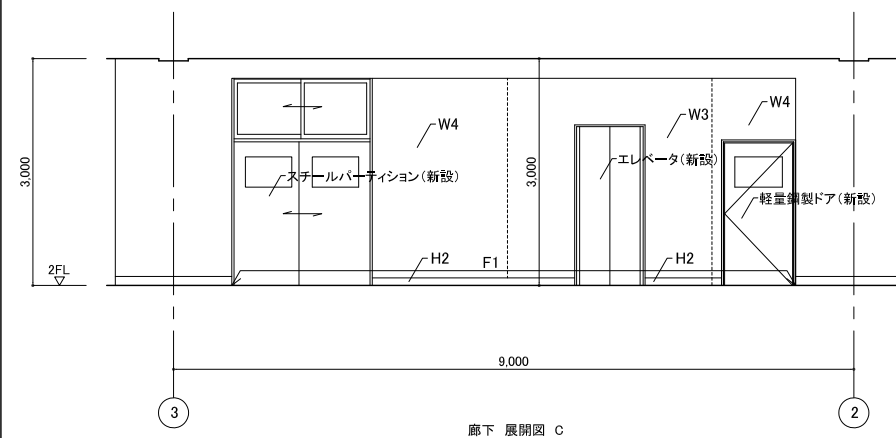
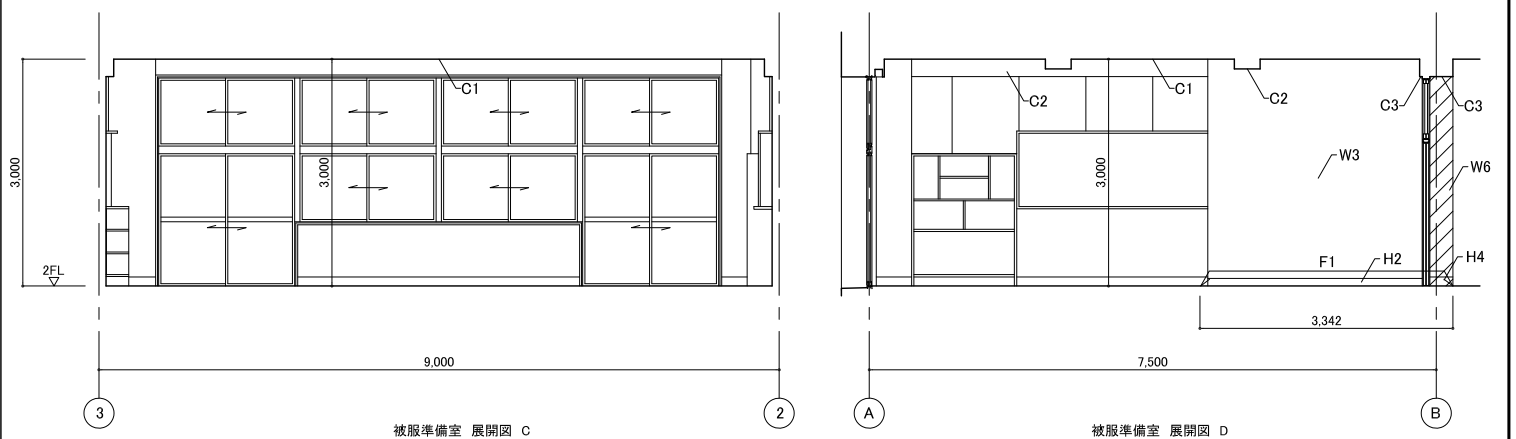
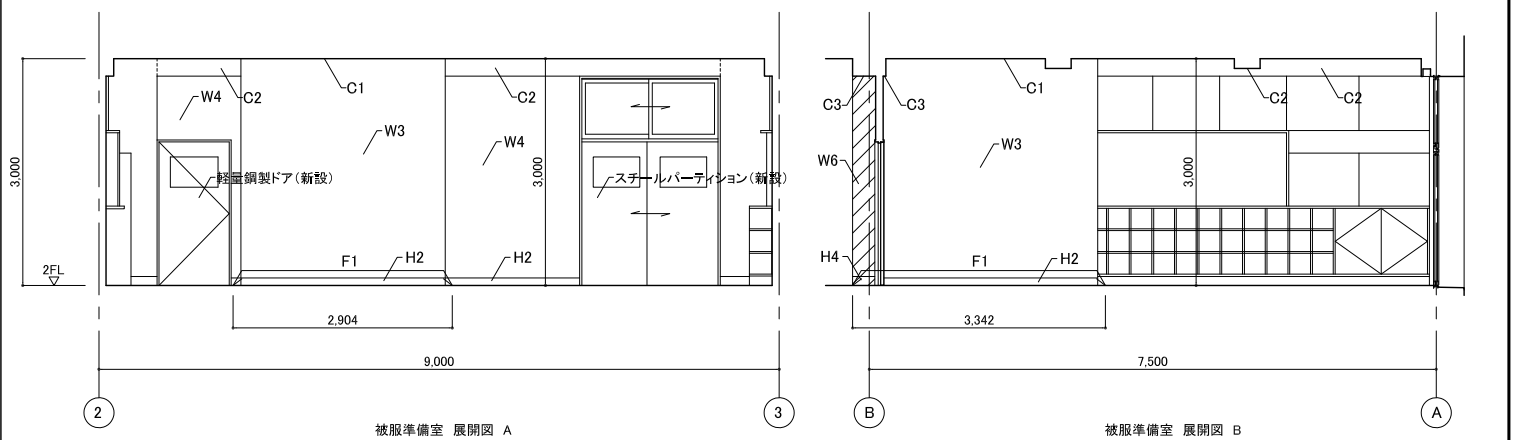
記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニル床シート t=2.0(シートのみ撤去)
f2	床	モルタル下地ビニル床シート t=2.0(既存のまま)
h3	巾 木	木製 H=120 OS塗(撤去)
h4	巾 木	木製 H=120 OS塗(既存のまま)
w1	壁	モルタル金ゴテスプレッドサテン塗(既存のまま)
w10	壁	モルタル金ゴテスプレッドサテン塗(撤去)
c1	天 井	木下地GB-R t=7.0一部GB-P t=7.0(下地共撤去)
c5	天 井	LGS下地GB-D t=9.5(既存のまま)
c10	梁 型	プラスター塗(塗替)
c11	梁 型	プラスター塗(撤去)
c12	梁 型	プラスター塗(既存のまま)

## 凡 例



撤去範囲を示す

【既存図】

改修仕上げ凡例

記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シート $\varphi=2.0$ (新設)
H2	巾 木	ビニル巾木 $H=100$ (新設)
H4	巾 木	米ツガ $H=120$ OP塗(新設)
W3	壁	1時間耐火壁:LGS100+GB-F $t=21$ 片面二重張りEP-G塗(新設)
W4	壁	1時間耐火壁:LGS65+GB-F $t=12.5$ +GB-R-H $t=9.5$ 両面二重張りEP-G塗(新設)
W6	壁	モルタル地EP-G塗(新設)
C1	天 井	LGS下地GB-D $t=9.5$ (新設)
C2	梁 型	既存プラスター補修の上EP-G塗(塗替)
C3	梁 型	モルタル地EP-G塗(新設)

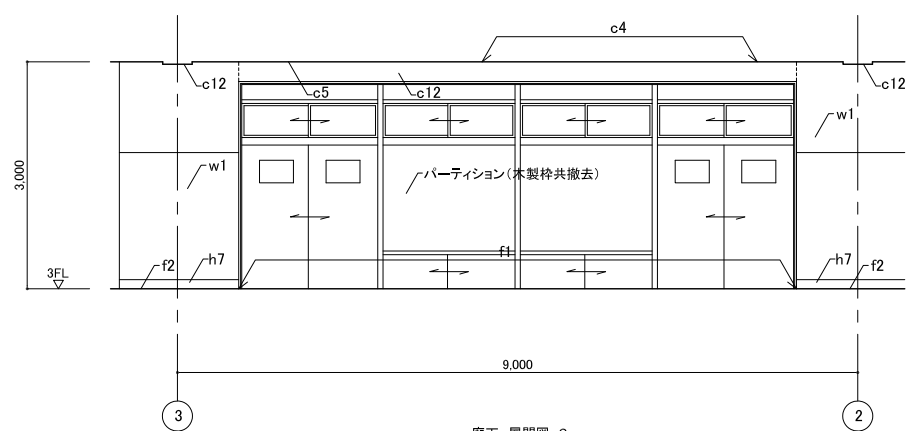
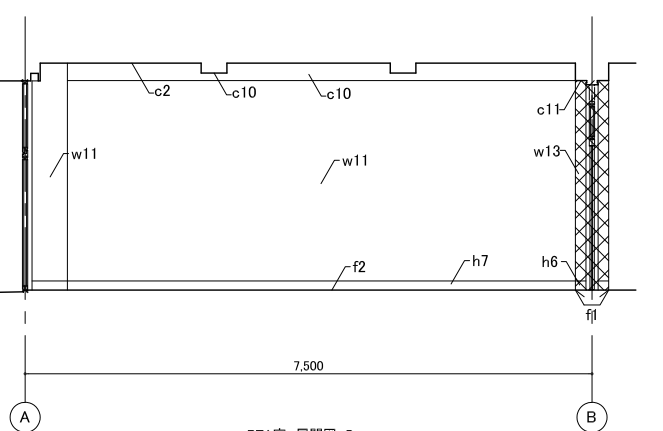
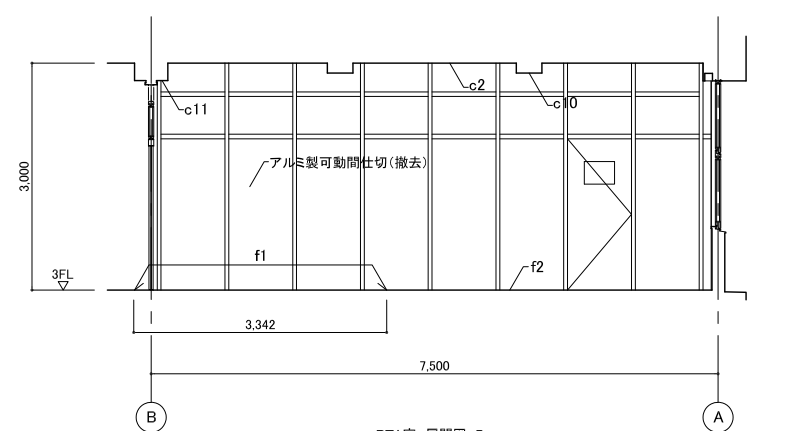
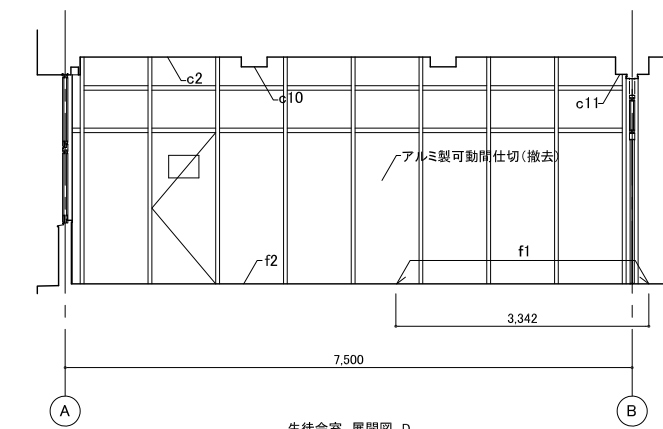
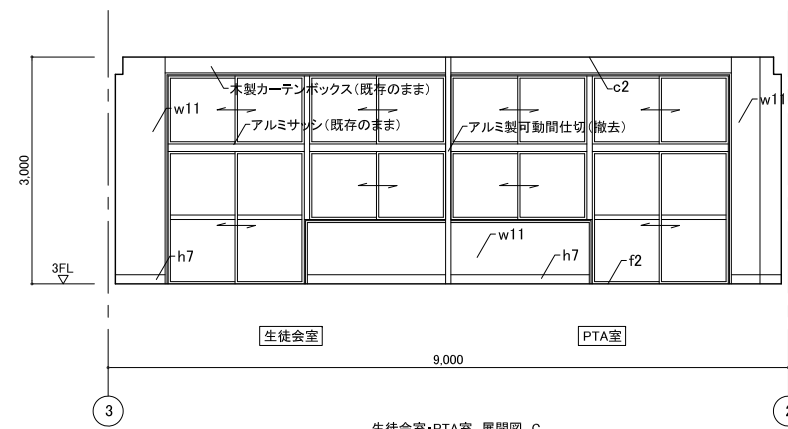
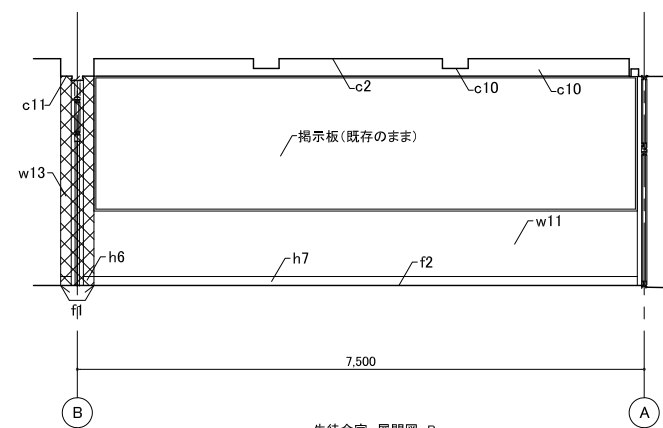
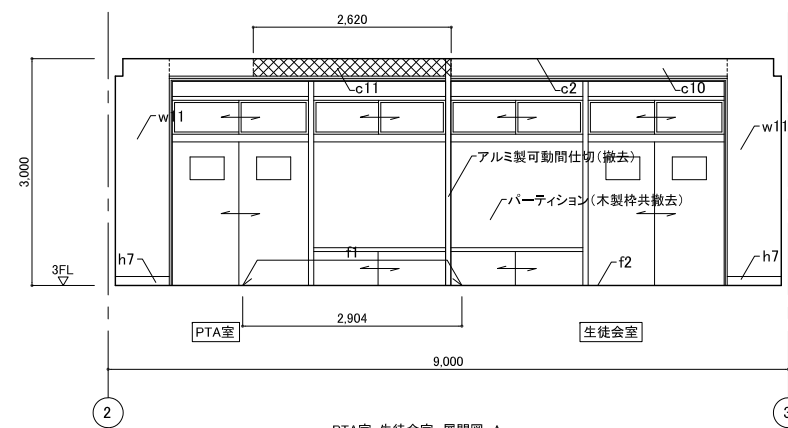
## 凡 例




モルタル新設範囲を示す

【改修図】

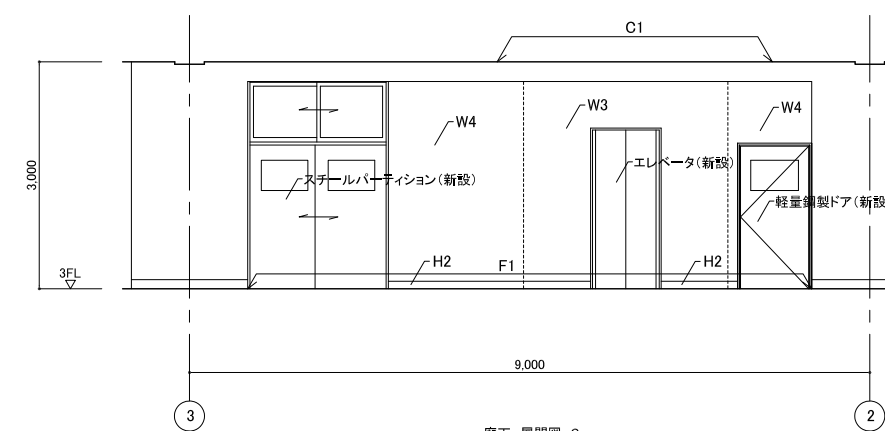
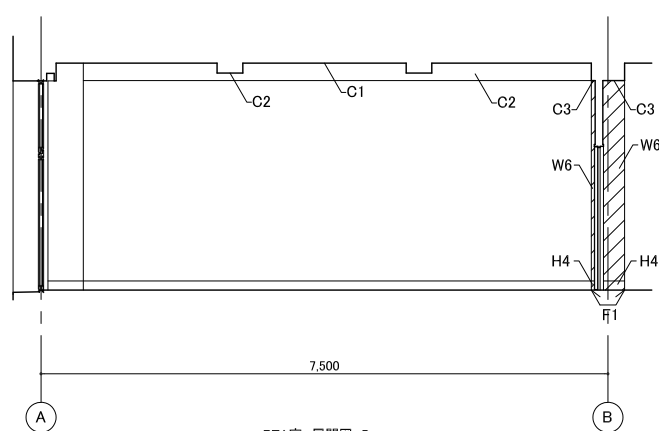
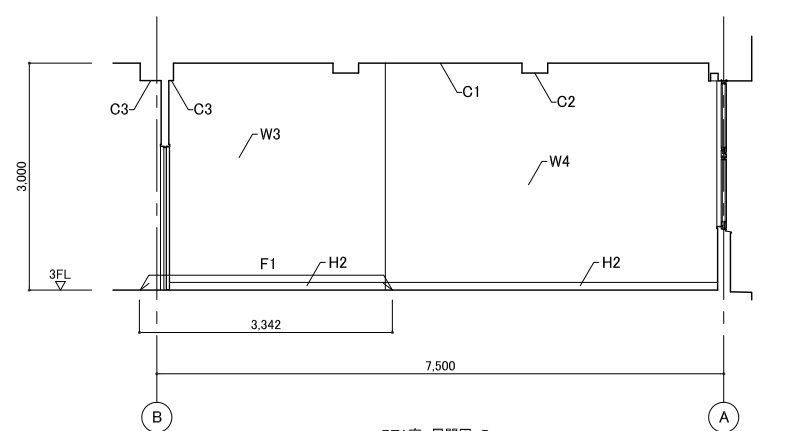
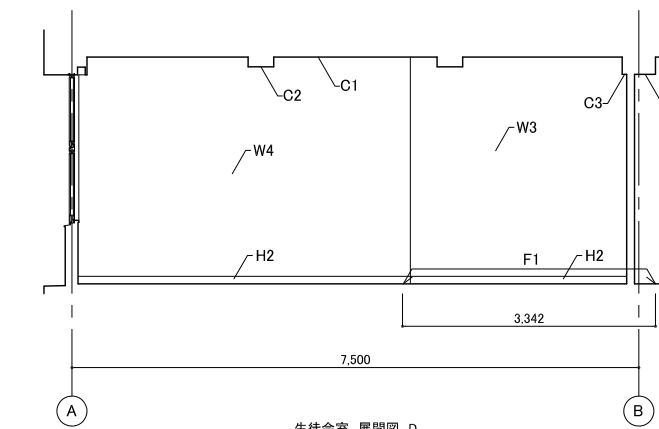
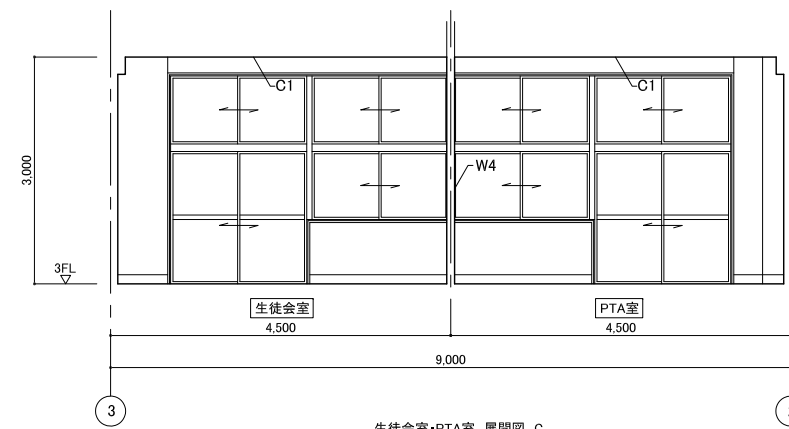
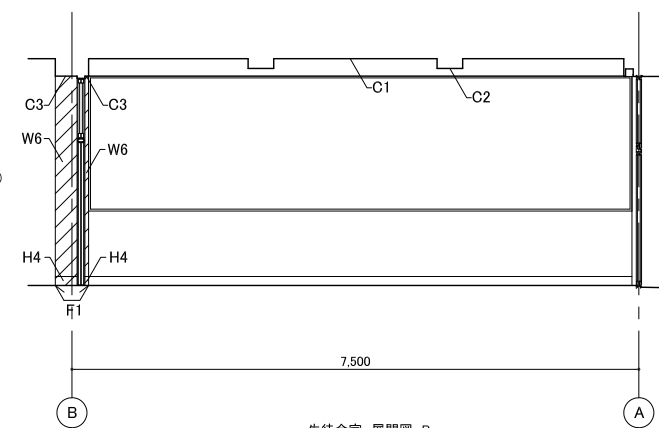
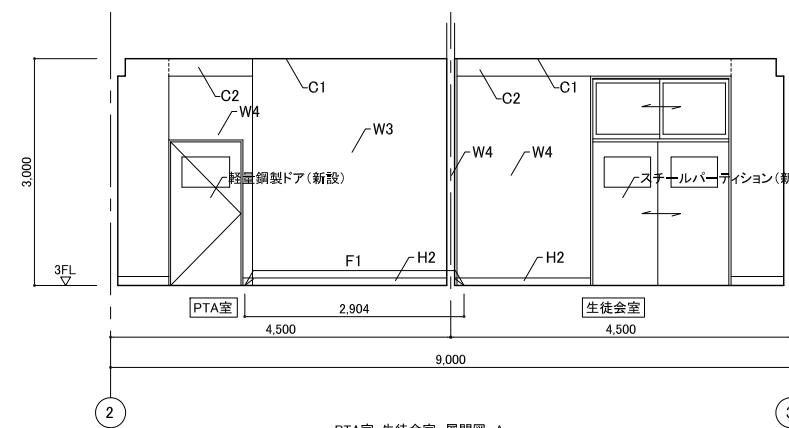




凡 例

 撤去範囲を示す

【既存図】



凡 例

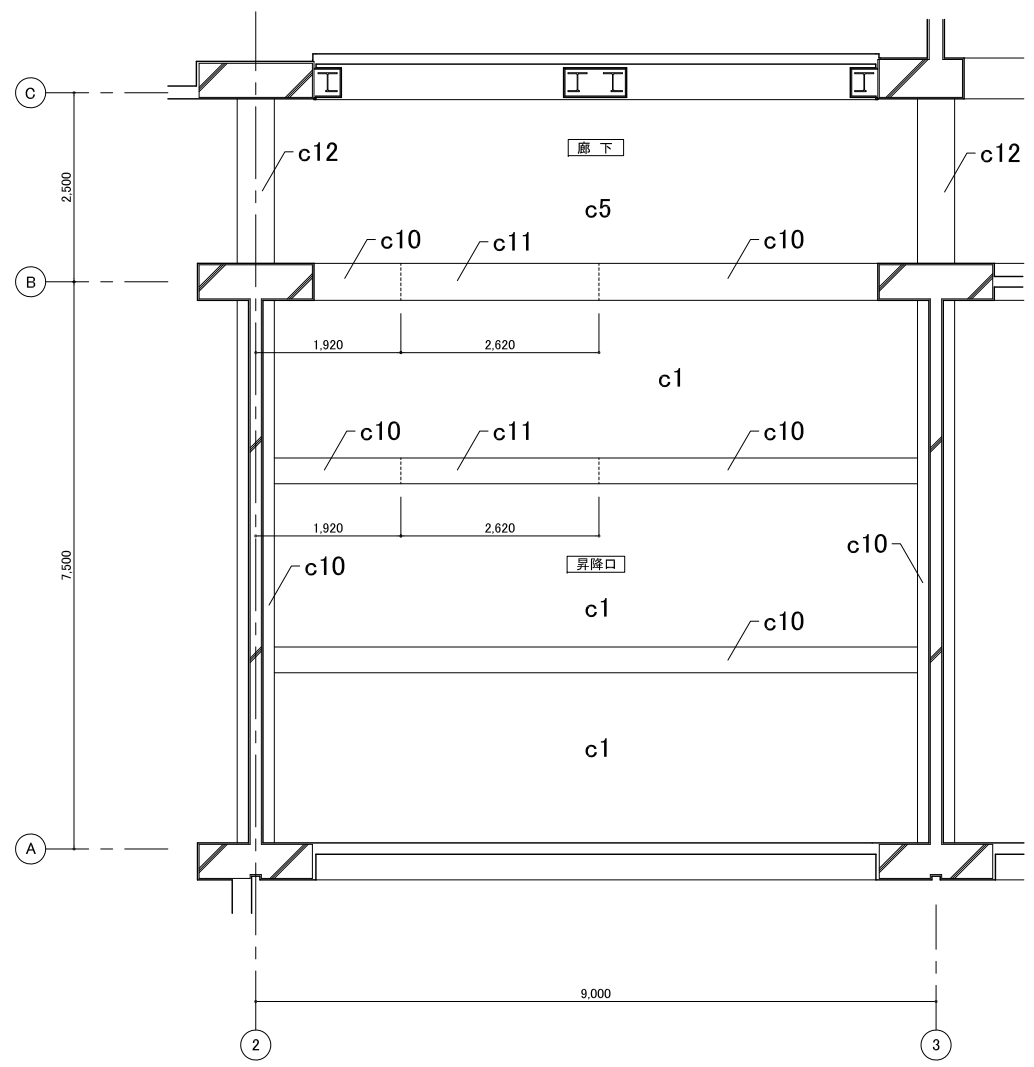
 モルタル新設範囲を示す

【改修図】

改修仕上げ凡例

記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0 (新設)
H2	巾 木	ビニル巾木H=100 (新設)
H4	巾 木	米ツガ H=120 OP塗 (新設)
W3	壁	1時間耐火壁：LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗 (新設)
W4	壁	1時間耐火壁：LGS65+GB-F t=12.5+GB-R+H t=9.5 両面二重張りEP-G塗 (新設)
W6	壁	モルタル下地EP-G塗 (新設)
C1	天 井	LGS下地GB-D t=9.5 (新設)
C2	梁 型	既存プラスター補修の上EP-G塗 (塗替)
C3	梁 型	モルタル下地EP-G塗 (新設)

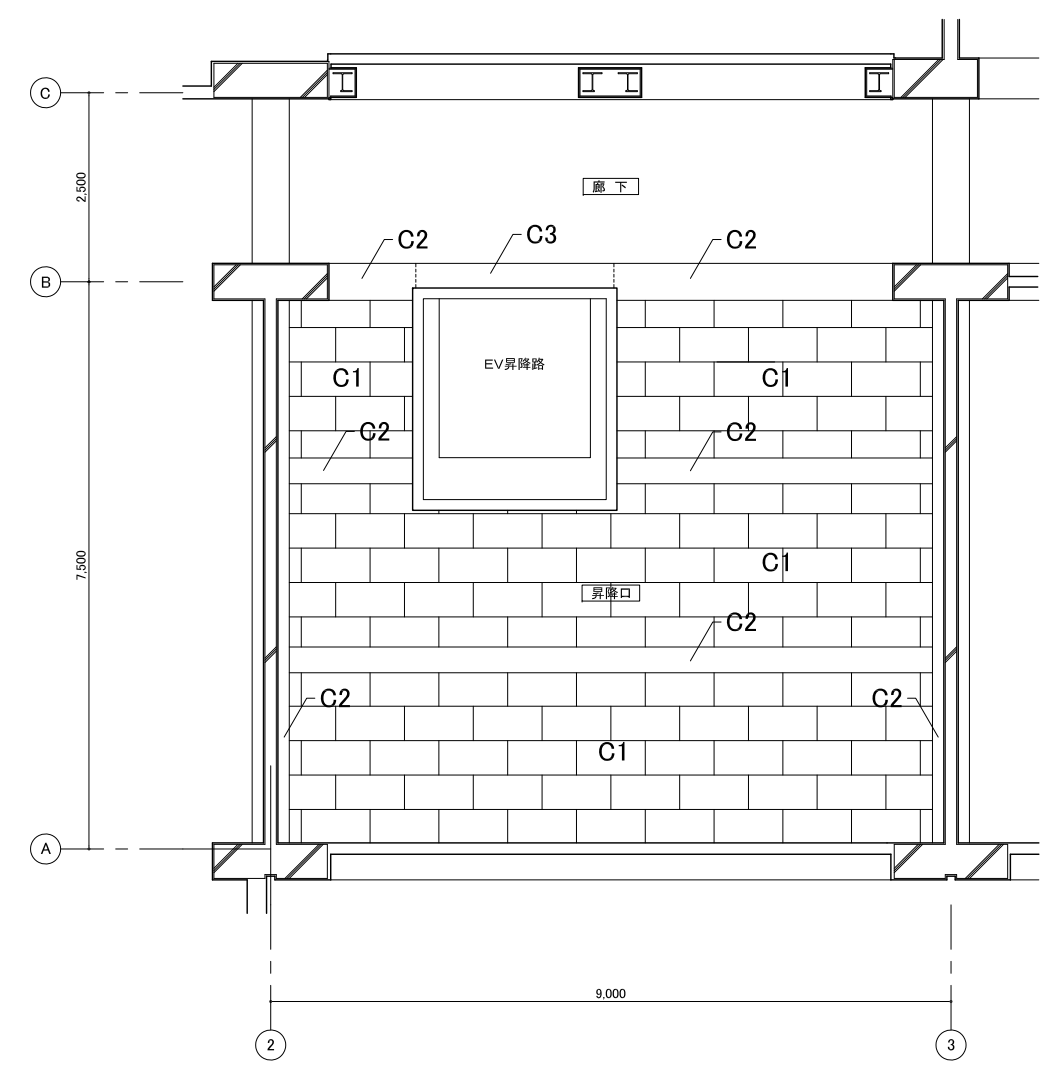




昇降口 既存天井伏図

既存天井仕上げ凡例	
記号	仕 上 げ
c1	木下地GB-R t=7.0一部GB-P t=7.0(下地共撤去)
c5	LGS下地GB-D t=9.5(既存のまま)
c10	プラスター塗(塗替)
c11	プラスター塗(撤去)
c12	プラスター塗(既存のまま)

【既存図】



昇降口 改修天井伏図

改修天井仕上げ凡例	
記号	仕 上 げ
C1	LGS下地GB-D t=9.5(新設)
C2	既存プラスター補修の上EP-G塗(塗替)
C3	モルタル下地EP-G塗(新設)

【改修図】

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称  
千葉市立末広中学校エレベータ設置工事

設計年月日	令和 6 年 11 月 日
特記事項	

変更年月日	令和 年 月 日
特記事項	

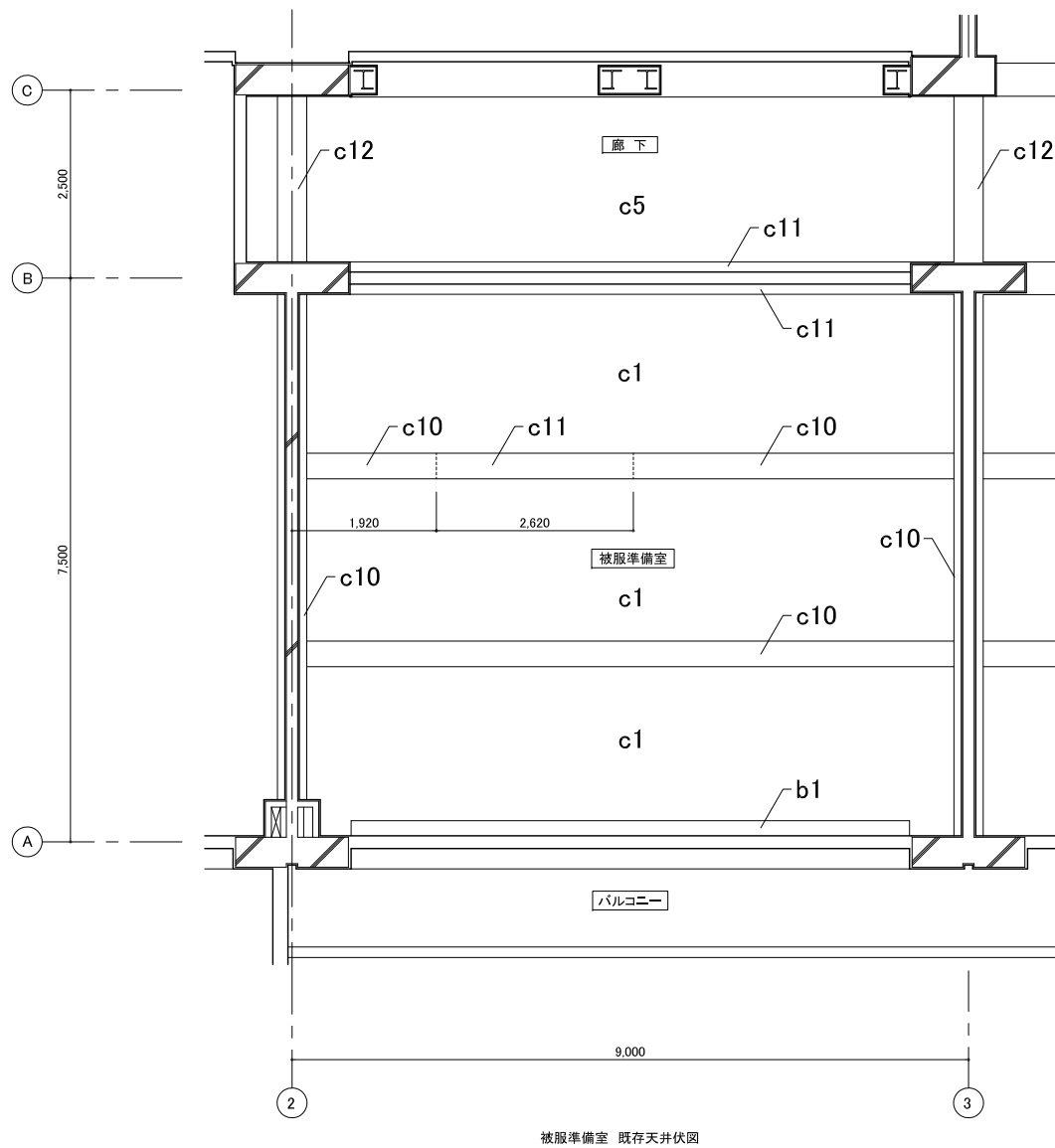
変更年月日	令和 年 月 日
特記事項	

図面名  
⑦-3棟 1階昇降口 既存・改修天井伏図

縮尺  
1/50(A1)  
1/100(A3)

図面番号  
A-21

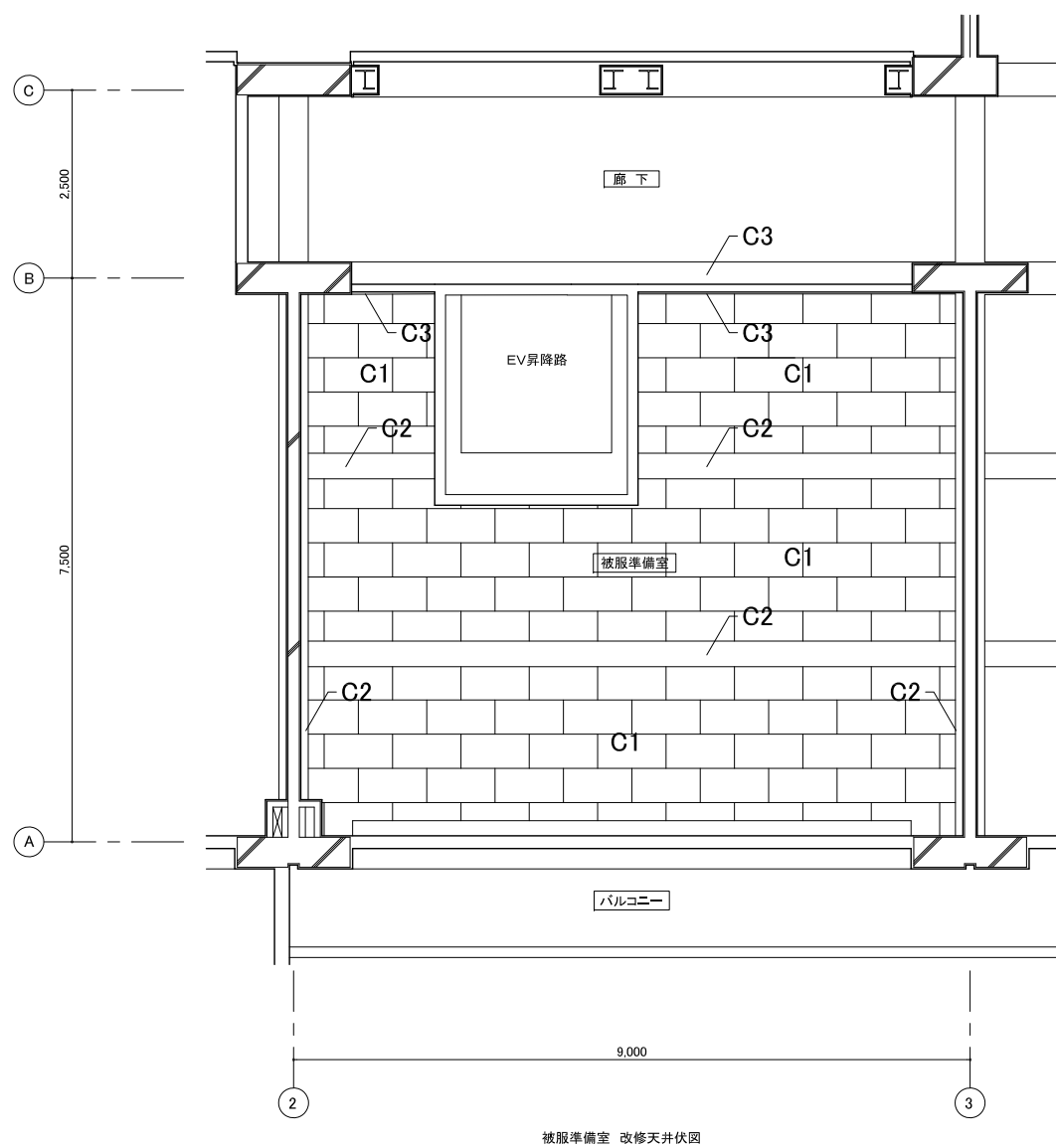




既存天井仕上げ凡例

記号	仕 上 げ
c1	木下地GB-R t=7.0一部GB-P t=7.0(下地共撤去)
c5	LGS下地GB-D t=9.5(既存のまま)
c10	プラスター塗(塗替)
c11	プラスター塗(撤去)
c12	プラスター塗(既存のまま)
b1	カーテンボックス:木製 OP塗(既存のまま)

【既存図】

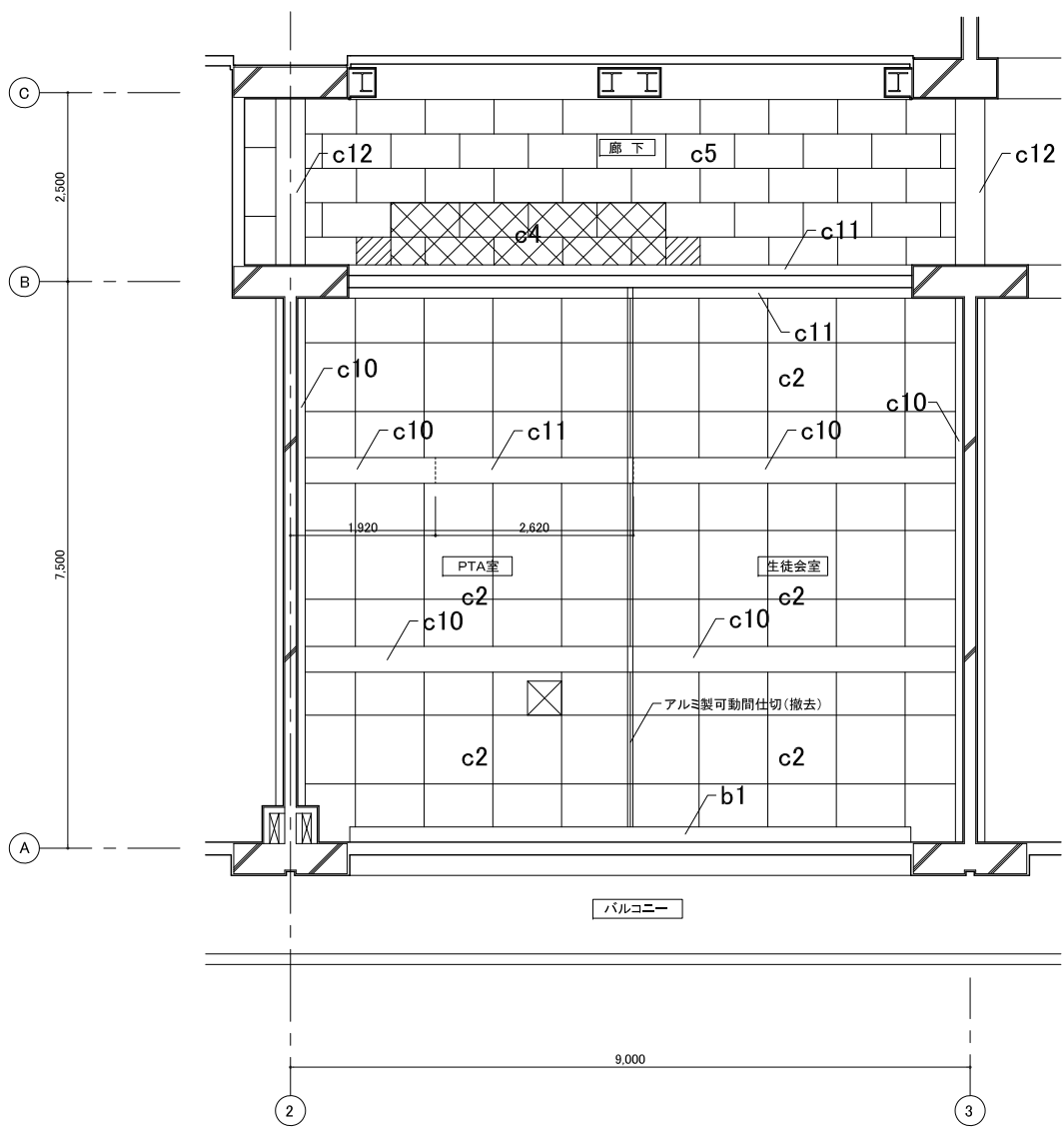


改修天井仕上げ凡例

記号	仕 上 げ
C1	LGS下地GB-D t=9.5 (新設)
C2	既存プラスター補修の上EP-G塗(塗替)
C3	モルタル下地EP-G塗(新設)

【改修図】





PTA室・生徒会室 既存天井伏図

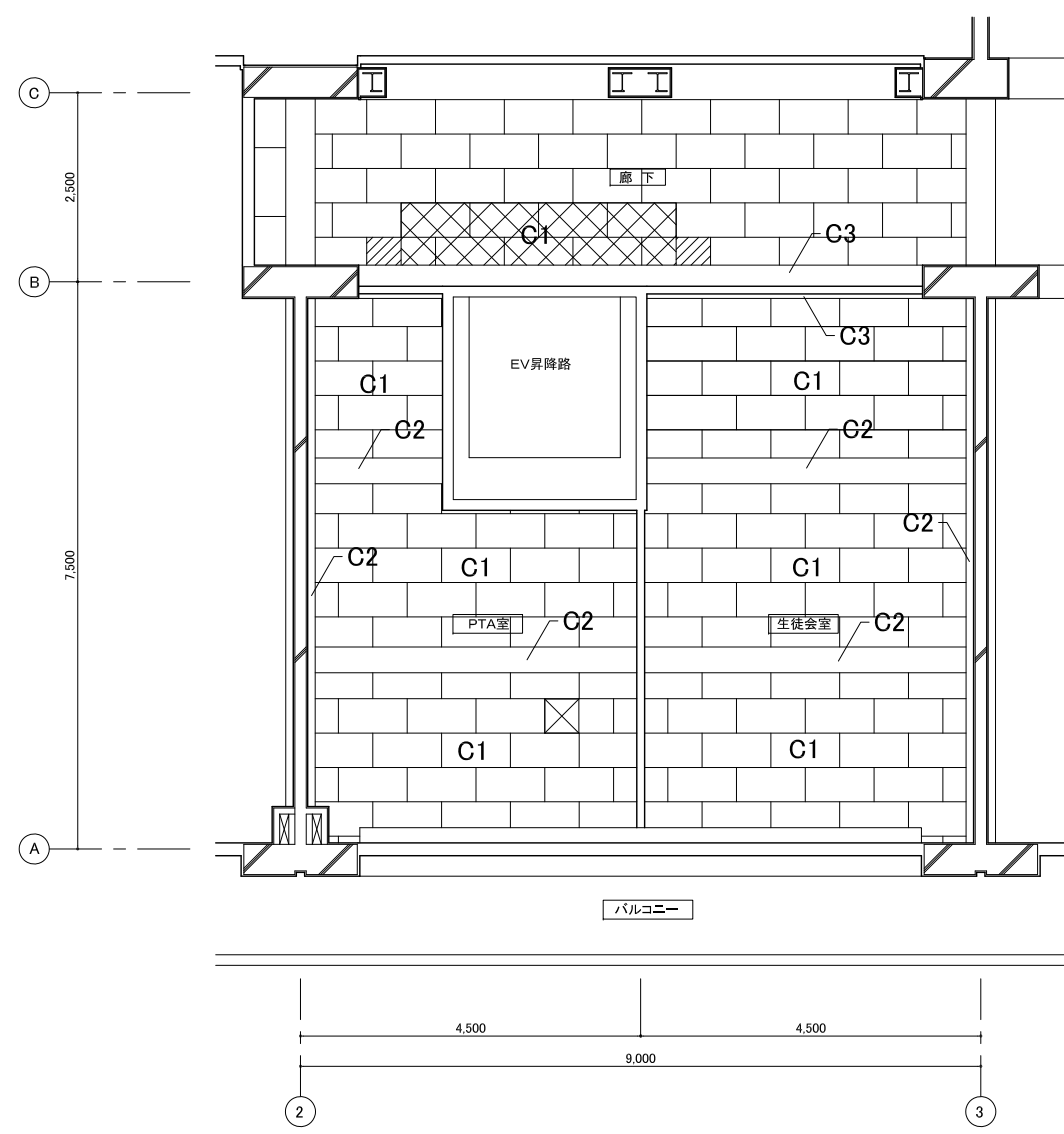
既存天井仕上げ凡例

記号	仕 上 げ
c2	LGS下地GB-D t=9.0(下地共撤去)
c4	LGS下地GB-D t=9.5(下地共撤去)
c5	LGS下地GB-D t=9.5(既存のまま)
c10	プラスター塗(塗替)
c11	プラスター塗(撤去)
c12	プラスター塗(既存のまま)
b1	カーテンボックス:木製 OP塗(既存のまま)
	天井点検口:アルミ枠 450×450(撤去)

凡 例

- 天井仕上げ材 (GB-D t=9.5) のみ撤去範囲を示す
- 天井仕上げ材 (GB-D t=9.5)+LGS下地共撤去範囲を示す

【既存図】



PTA室・生徒会室 改修天井伏図

改修天井仕上げ凡例

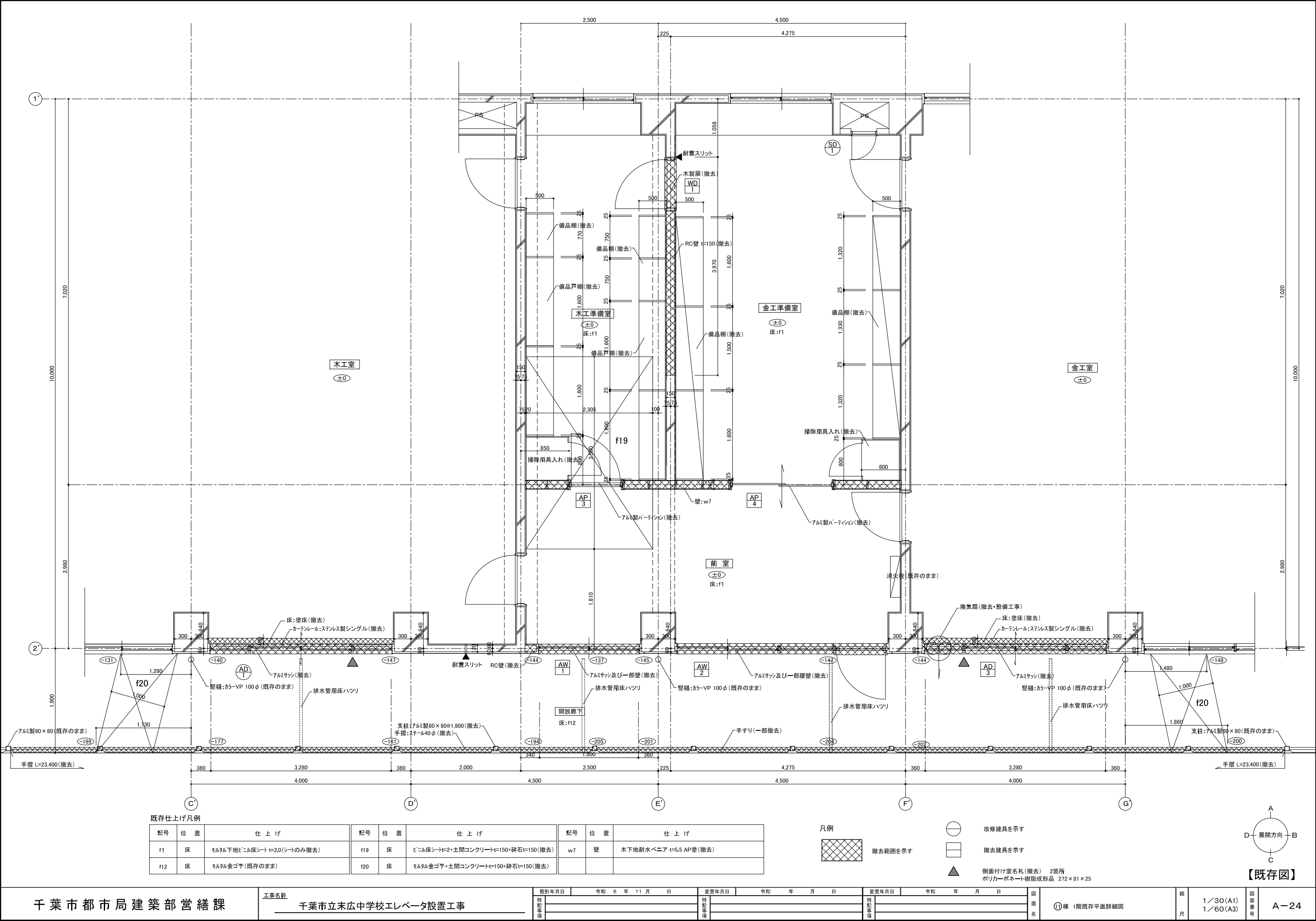
記号	仕 上 げ
C1	LGS下地GB-D t=9.5 (新設)
C2	既存プラスター補修の上EP-G塗(塗替)
C3	モルタル下地EP-G塗(新設)
	天井点検口:アルミ枠 450×450(新設)

凡 例

- 天井仕上げ材 (GB-D t=9.5) のみ新設範囲を示す
- 天井仕上げ材 (GB-D t=9.5)+LGS下地共新設範囲を示す

【改修図】





既存仕上り凡例

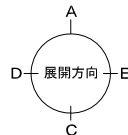
記号	位置	仕上り	記号	位置	仕上り	記号	位置	仕上り
f1	床	モルタル下地ビニル床シート=2.0(シートのみ撤去)	f19	床	ビニル床シート=2+土間コンクリート=150+砕石=150(撤去)	w7	壁	木下地防水ベニア=5.5 AP塗(撤去)
f12	床	モルタル金ゴテ(既存のまま)	f20	床	モルタル金ゴテ+土間コンクリート=150+砕石=150(撤去)			

凡例



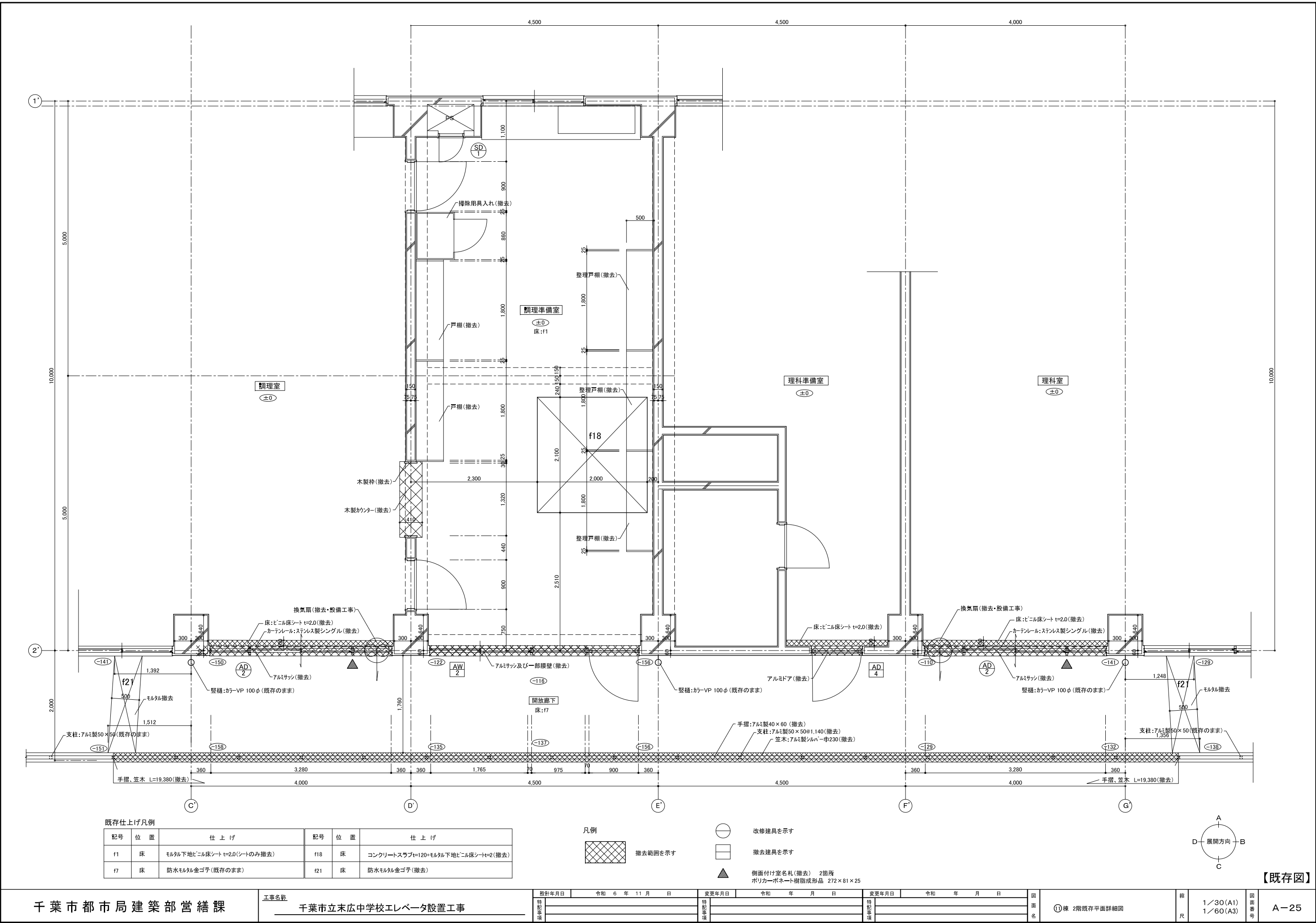
撤去範囲を示す

- 改修建具を示す
- 撤去建具を示す
- 側面付け室名札(撤去) 2箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25



【既存図】





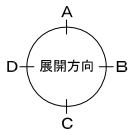
既存仕上凡例

記号	位 置	仕 上 げ	記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニル床シートt=2.0(シートのみ撤去)	f18	床	コンクリートスラブt=120+モルタル下地ビニル床シートt=2(撤去)
f7	床	防水モルタル金ゴテ(既存のまま)	f21	床	防水モルタル金ゴテ(撤去)

凡例

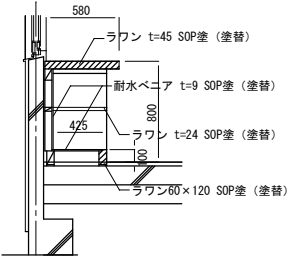
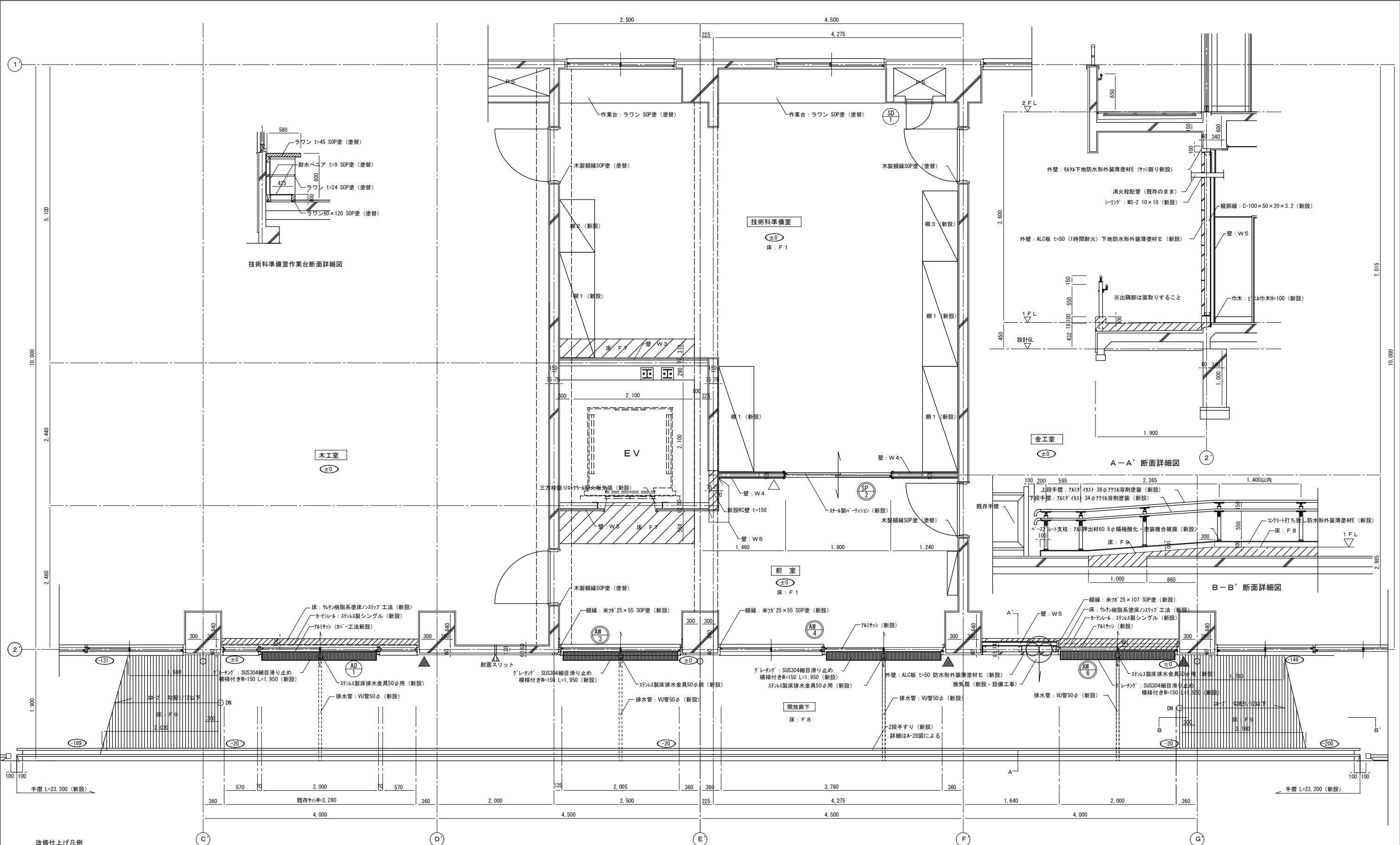


- 改修建具を示す
- 撤去建具を示す
- 側面付け室名札(撤去) 2箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25

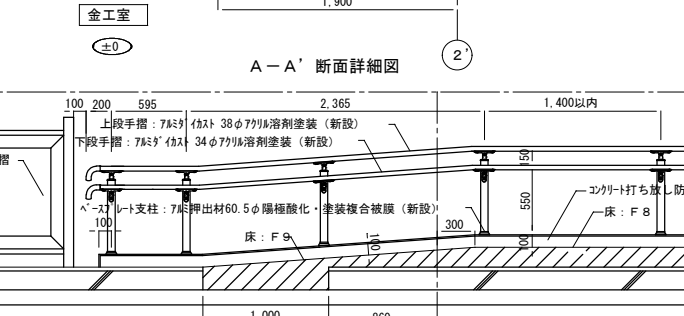
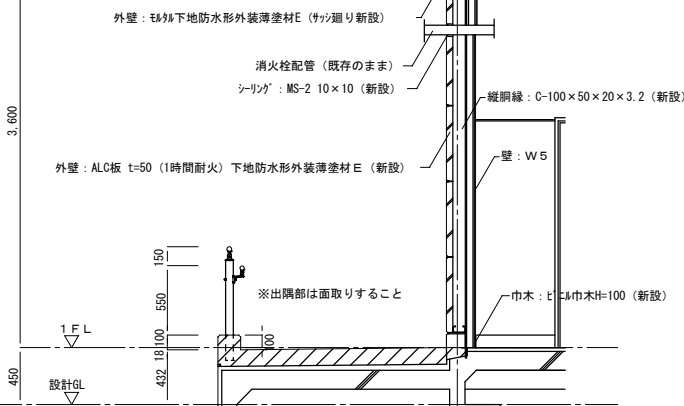


【既存図】





技術科準備室作業台断面詳細図



改修仕上凡例

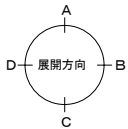
記号	位置	仕上	記号	位置	仕上
F1	床	既存珪藻土補修の上 t=20 床シート t=2.0 (新設)	W3	壁	1時間耐火壁: LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗 (新設)
F7	床	再生クッション t=150 +コンクリート直均し t=180 +t=20 床シート t=2.0 (新設)	W4	壁	1時間耐火壁: LGS65+GB-F t=12.5 +GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗 (新設)
F8	床	コンクリート金網仕上 (新設)	W5	壁	LGS50+GB-R t=9.5+GB-R-H t=9.5 片面二重張りEP-G塗 (新設)
F9	床	コンクリート剛毛引き仕上 (新設)	W6	壁	珪藻土下地EP-G塗 (新設)

家具凡例 (詳細は家具詳細図による)

- 棚1: W1,800×D600×H1,900
- 棚2: W900×D600×H1,900
- 棚3: W1,200×D600×H1,900

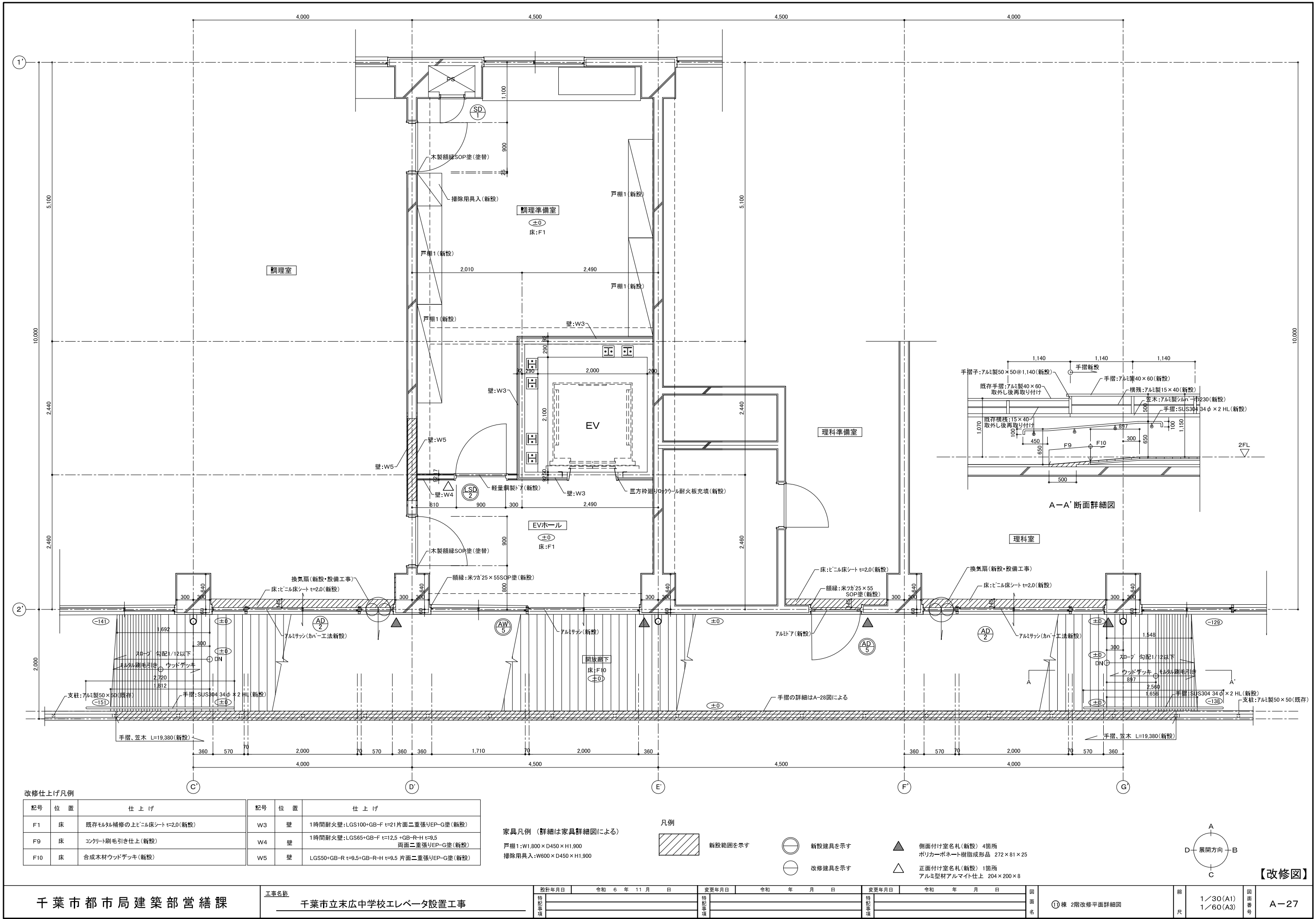
凡例

- 新設範囲を示す
- 新設建具を示す
- 改修建具を示す
- 側面付け室名札 (新設) 3箇所  
ポリカーボネート樹脂成形品 272×81×25
- 正面付け室名札 (新設) 1箇所  
アルミ型材アルマイト仕上 204×200×8



【改修図】





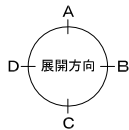
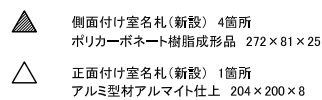
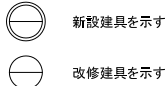
改修仕上凡例

記号	位置	仕上	記号	位置	仕上
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シートt=2.0(新設)	W3	壁	1時間耐火壁: LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗(新設)
F9	床	コンクリート刷毛引き仕上(新設)	W4	壁	1時間耐火壁: LGS65+GB-F t=12.5 +GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗(新設)
F10	床	合成木材ウッドデッキ(新設)	W5	壁	LGS50+GB-R t=9.5+GB-R-H t=9.5 片面二重張りEP-G塗(新設)

家具凡例 (詳細は家具詳細図による)

戸棚1: W1,800×D450×H1,900  
掃除用具入: W600×D450×H1,900

凡例



【改修図】

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称  
千葉市立末広中学校エレベータ設置工事

設計年月日	令和 6 年 11 月 日
特記事項	

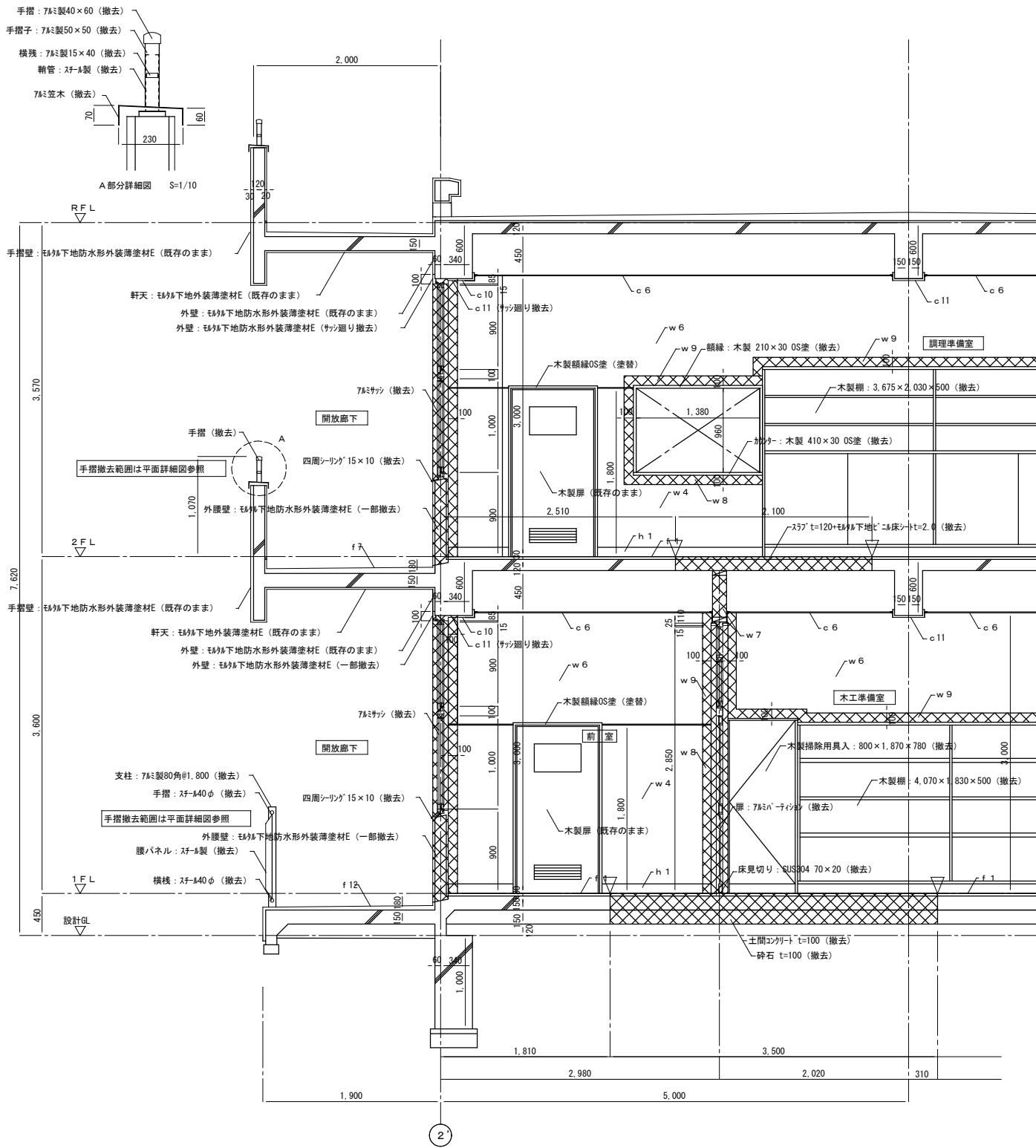
変更年月日	令和 年 月 日
特記事項	

変更年月日	令和 年 月 日
特記事項	

図面名	① 2階改修平面詳細図
縮尺	1/30(A1) 1/60(A3)

図面番号	A-27
------	------

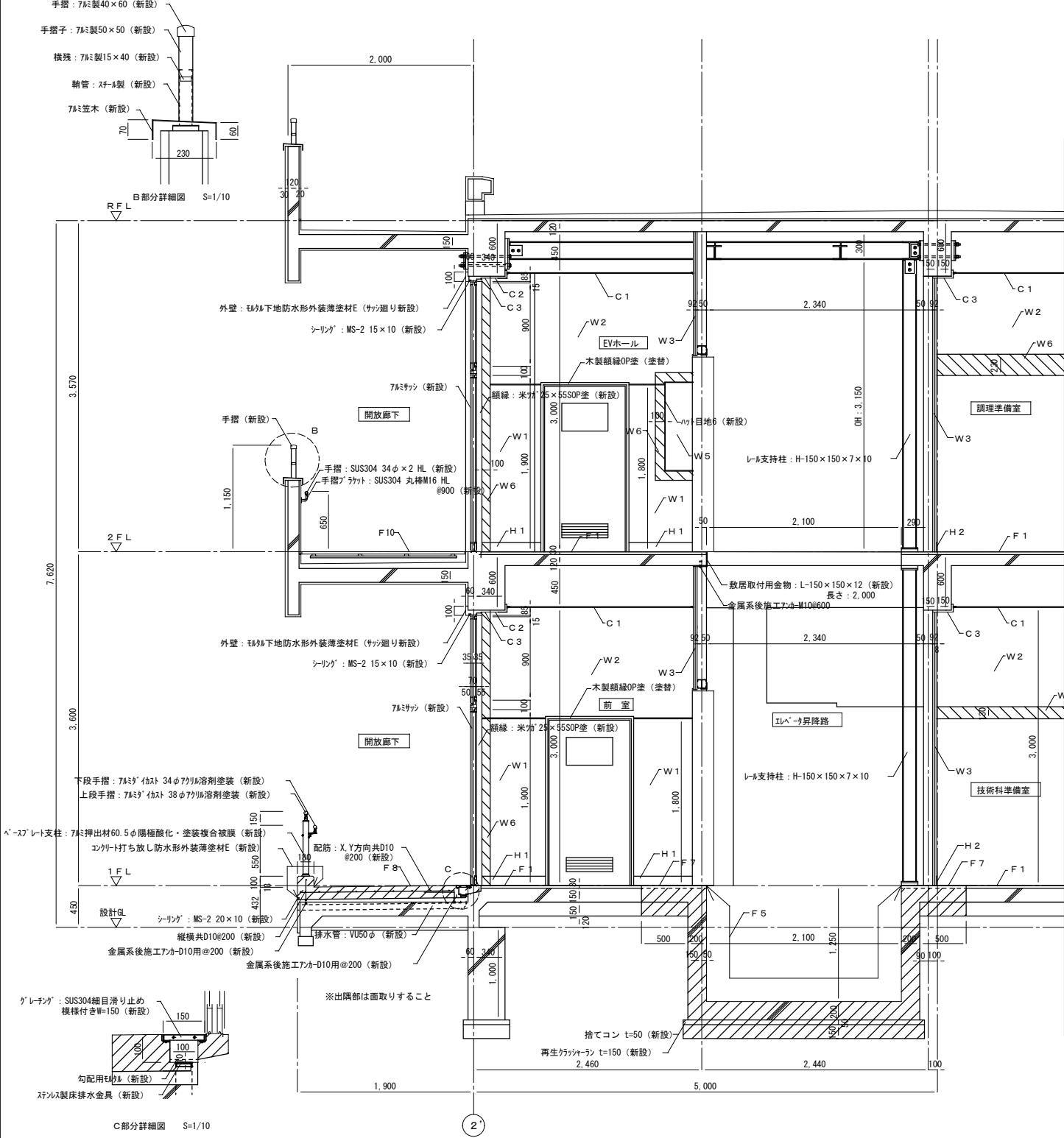




既存仕上凡例					
記号	位 置	仕 上 げ	記号	位 置	仕 上 げ
f 1	床	既存床下地EP-G塗 (既存のまま)	w 7	壁	木下地耐水ベニア t=5.5 AP塗 (撤去)
f 7	床	防水既存金ゴテ (既存のまま)	w 8	壁	既存金ゴテAP塗 (撤去)
f 12	床	既存金ゴテ (既存のまま)	w 9	壁	プラスター塗 (撤去)
h 1	巾木	既存巾木 H=100 (撤去)	c 6	天井	木下地GB-D t=7.0 (撤去)
w 4	腰壁・柱	既存金ゴテAP塗 (塗替)	c 10	梁型	プラスター塗 (塗替)
w 6	壁・柱	プラスター塗 (塗替)	c 11	梁型	プラスター塗 (一部撤去)

- 凡例
- 撤去範囲を示す
- コンクリートカッター施工箇所を示す

【既存図】



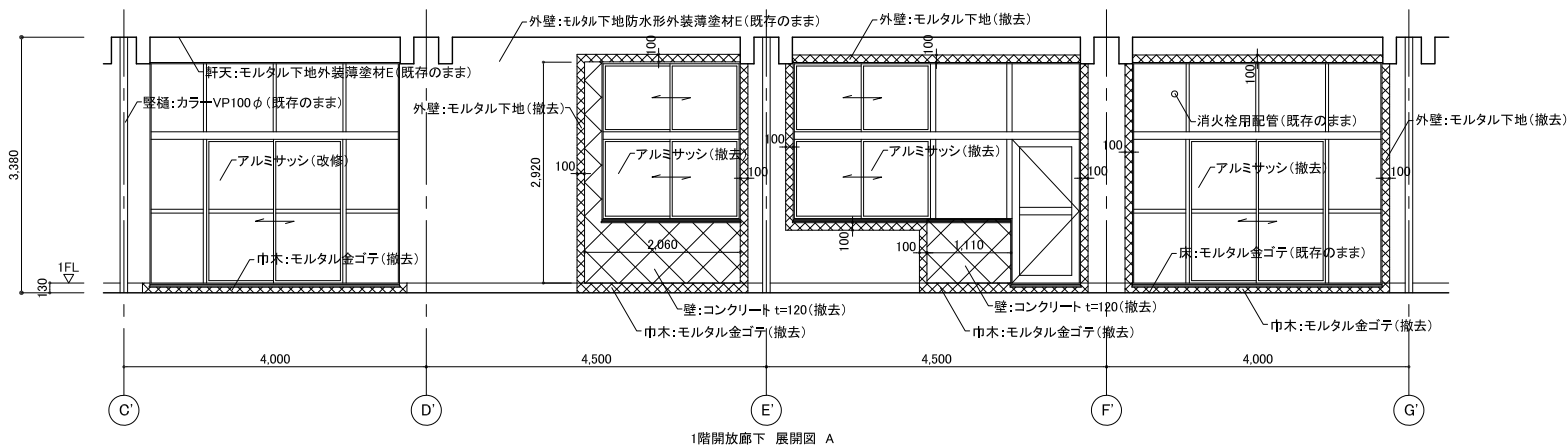
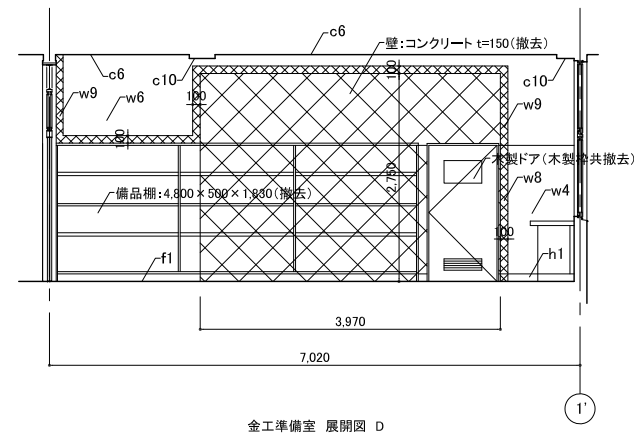
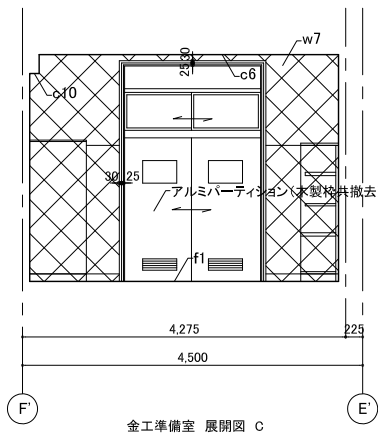
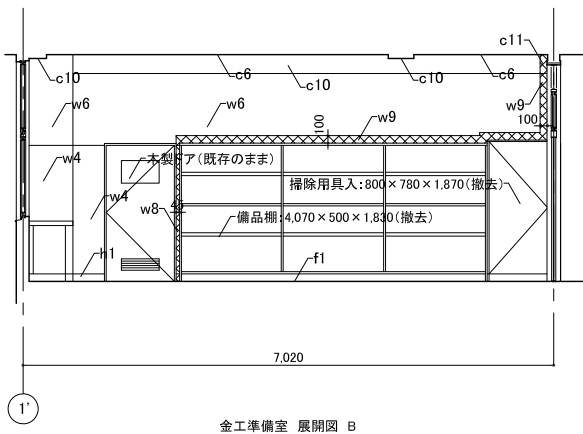
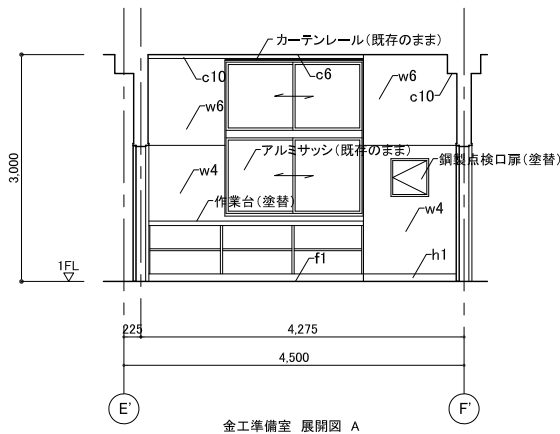
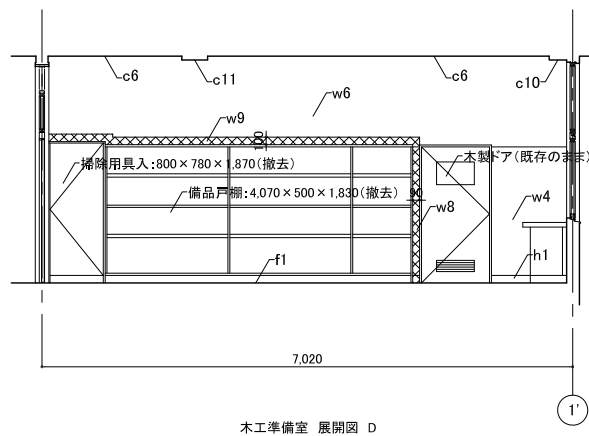
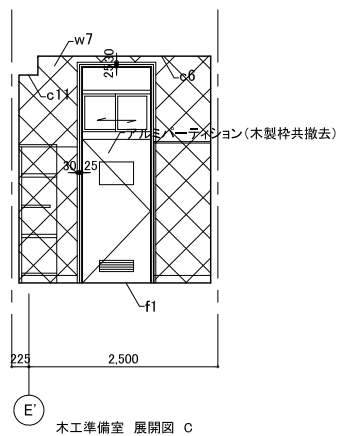
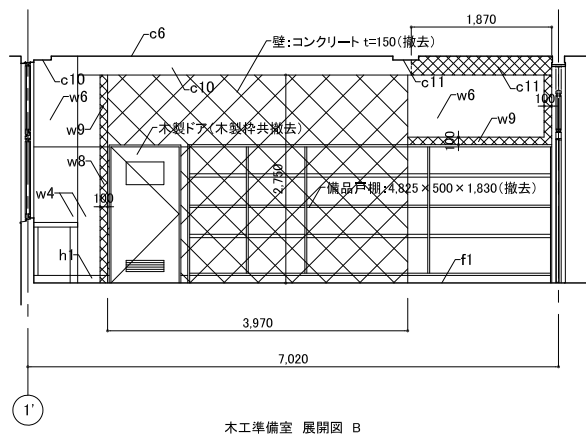
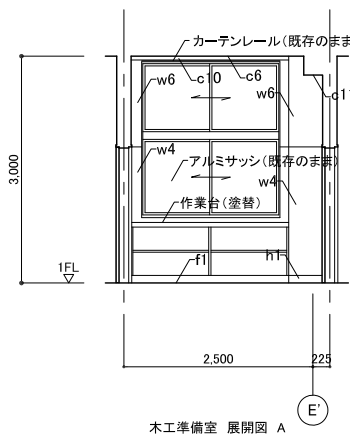
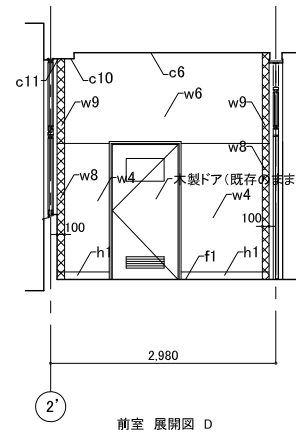
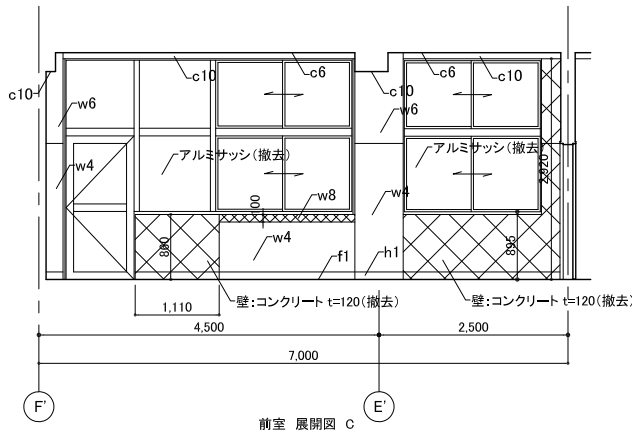
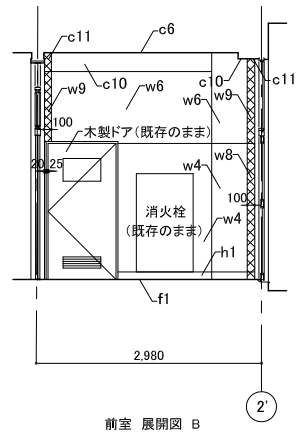
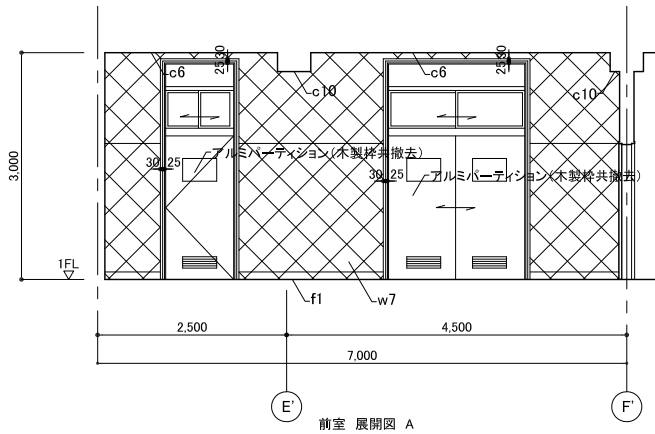
改修仕上凡例

記号	位 置	仕 上 げ	記号	位 置	仕 上 げ
F 1	床	既存床下地EP-G塗 (既存のまま)	W 2	壁	既存プラスター下地調整の上EP-G塗 (塗替)
F 5	床	コンクリート打ち放しケイ酸系塗膜防水 (新設)	W 3	壁	1時間耐火壁: LGS100+GB-F t=21 片面二重張りEP-G塗 (新設)
F 7	床	再生リサイクル t=150 +コンクリート直均し t=180 +既存床下地 t=2.0 (新設)	W 6	壁	既存床下地EP-G塗 (新設)
F 8	床	コンクリート金ゴテ仕上げ (新設)	W 5	壁	LGS50+GB-R t=9.5+GB-R-H t=9.5 片面二重張り EP-G塗 (新設)
F 10	床	再生木材ウッドデッキ (新設)	C 1	天井	LGS下地GB-D t=9.5 (新設)
H 1	巾木	既存下地調整の上既存巾木H=100 (新設)	C 2	梁型	既存プラスター補修の上EP-G塗 (塗替)
H 2	巾木	既存巾木H=100 (新設)	C 3	梁型	既存床下地EP-G塗 (新設)
W 1	壁	既存床下地調整の上EP-G塗 (塗替)			

- 凡例
- 新設躯体の範囲を示す
- 既存床下地新設の範囲を示す

【改修図】

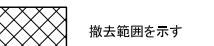




既存仕上げ凡例

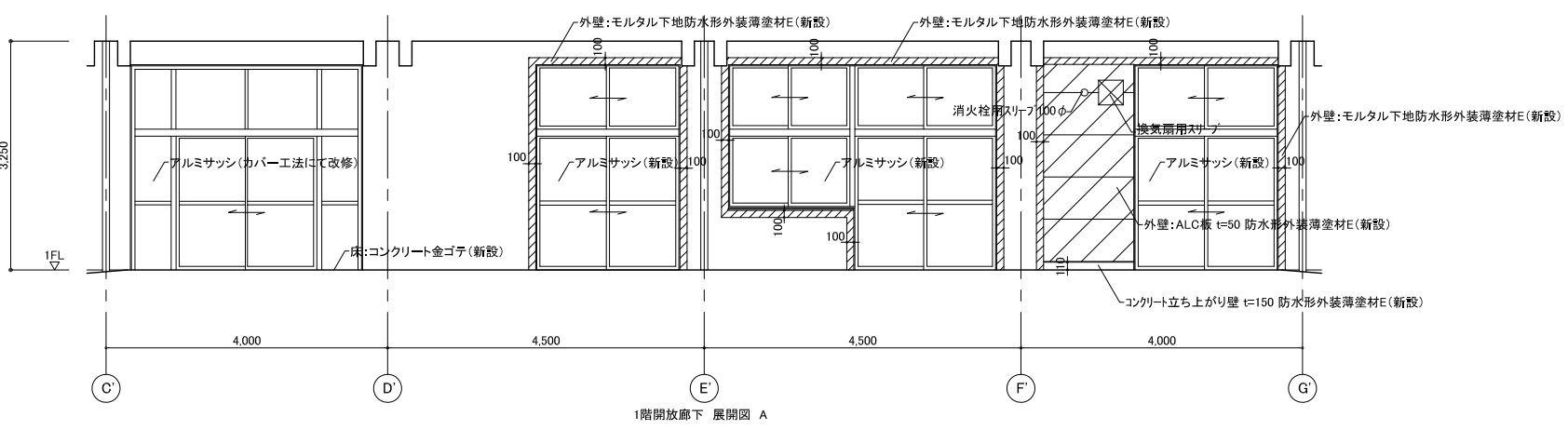
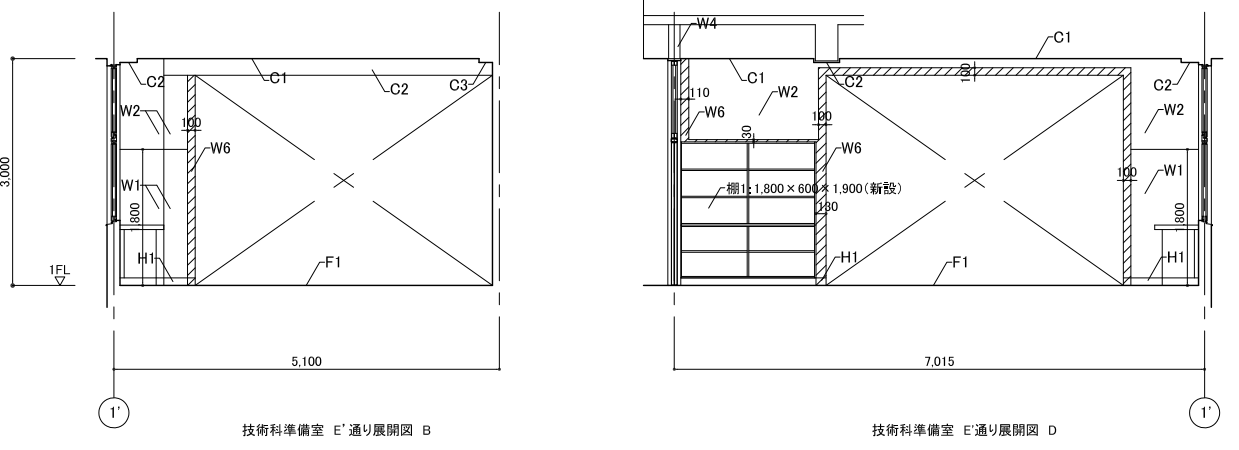
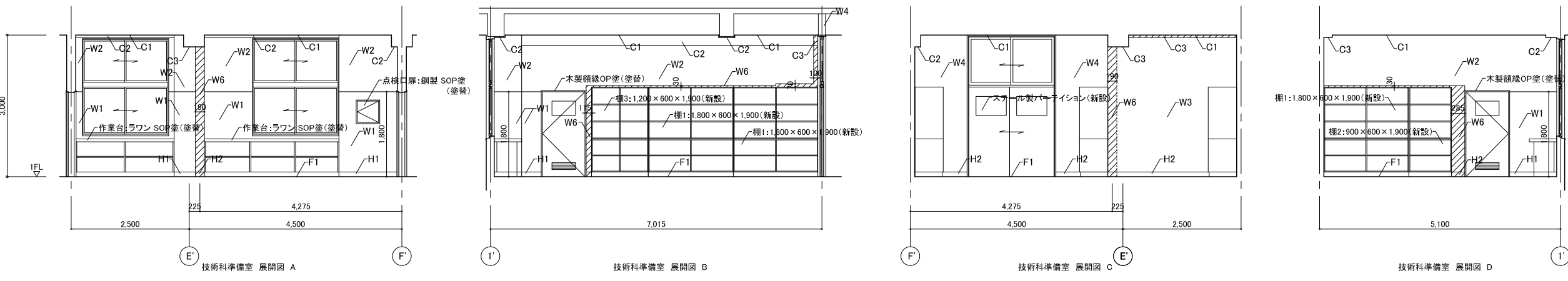
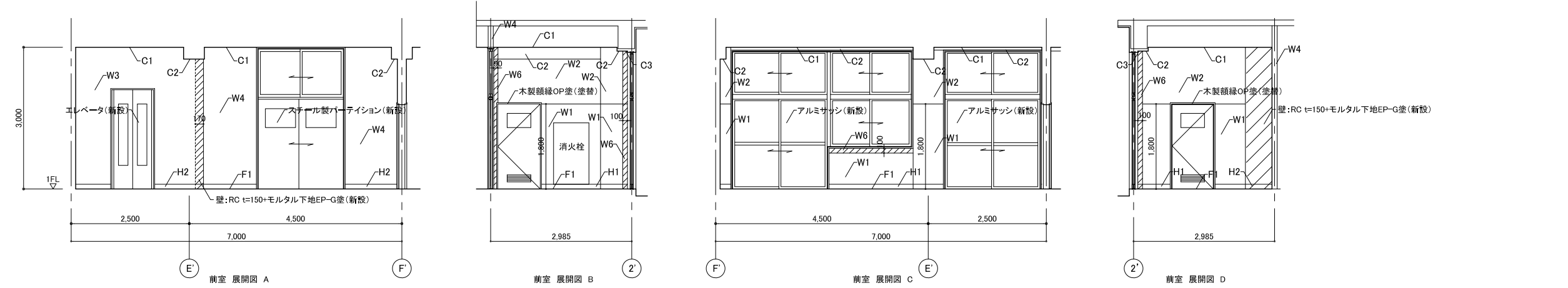
記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニル床シート t=2.0(シートのみ撤去)
h1	巾 木	ビニル巾木 H=100(撤去)
w4	腰壁・柱	モルタル金ゴテAP塗(塗替)
w6	壁・柱	プラスター塗(塗替)
w7	壁	木下地耐水ベニア t=5.5 AP塗(撤去)
w8	壁	モルタル金ゴテAP塗(撤去)
w9	壁	プラスター塗(撤去)
c6	天 井	木下地GB-D t=7.0(下地共撤去)
c10	梁 型	プラスター塗(塗替)
c11	梁 型	プラスター塗(撤去)

凡 例



【既存図】





改修仕上凡例

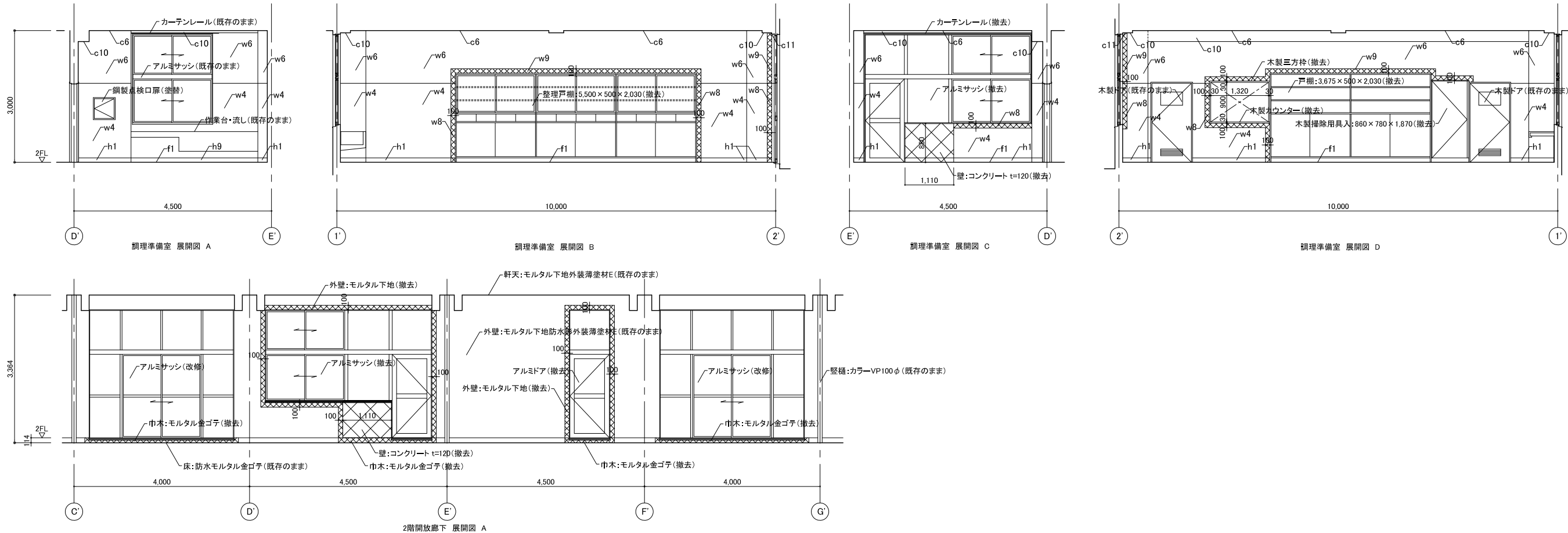
記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニ床シート t=2.0(新設)
H1	巾 木	既存下地調整の上ビニ巾木H=100(新設)
H2	巾 木	ビニ巾木H=100(新設)
W1	壁・柱	既存モルタル下地調整の上EP-G塗(塗替)
W2	壁・柱	既存プラスター下地調整の上EP-G塗(塗替)
W3	壁	1時間耐火壁: LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗(新設)
W4	壁	1時間耐火壁: LGS65+GB-F t=12.5 +GB-R+H t=9.5 両面二重張りEP-G塗(新設)
W6	壁	モルタル下地EP-G塗(新設)
C1	天 井	LGS下地GB-D t=9.5 (新設)
C2	梁 型	既存プラスター補修の上EP-G塗(塗替)
C3	梁 型	モルタル下地EP-G塗(新設)

凡 例

新設範囲を示す

【改修図】





既存仕上げ凡例

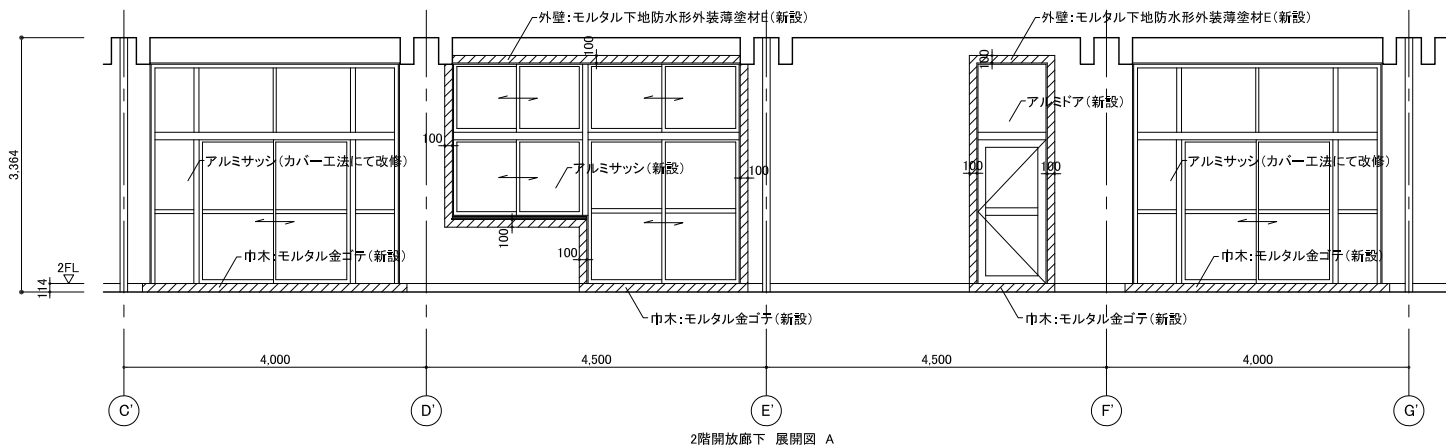
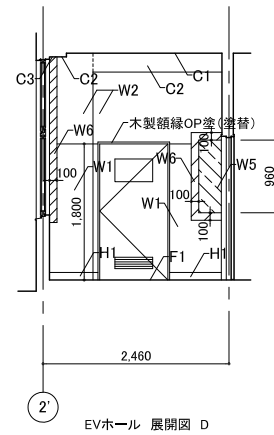
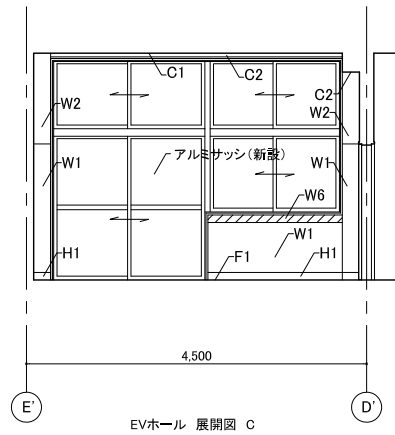
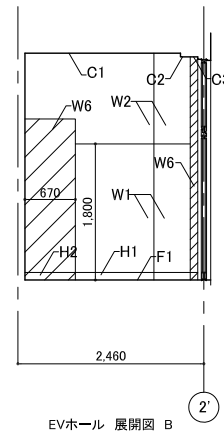
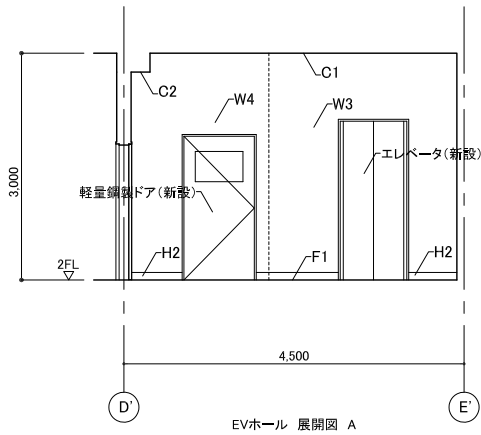
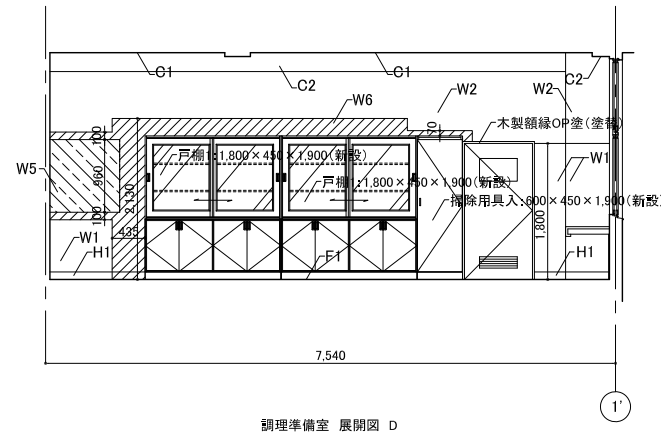
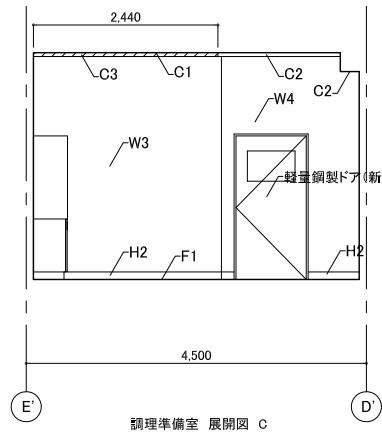
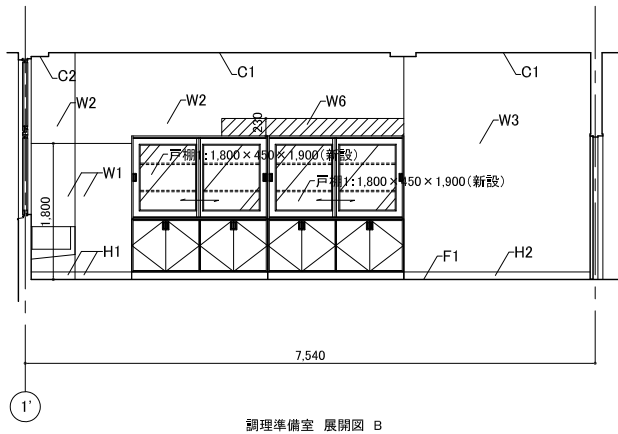
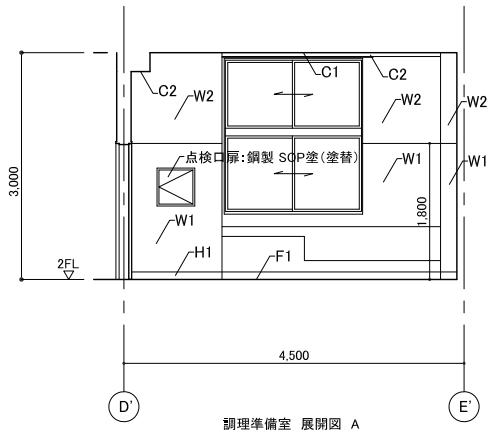
記号	位 置	仕 上 げ
f1	床	モルタル下地ビニル床シート t=2.0(シートのみ撤去)
h1	巾 木	ビニル巾木 H=100(撤去)
h9	巾 木	モルタル金ゴテ H=100 AP塗(既存のまま)
w4	腰壁・柱	モルタル金ゴテAP塗(塗替)
w6	壁・柱	プラスター塗(塗替)
w8	壁	モルタル金ゴテAP塗(撤去)
w9	壁	プラスター塗(撤去)
c6	天 井	木下地GB-D t=7.0(下地共撤去)
c10	梁 型	プラスター塗(塗替)
c11	梁 型	プラスター塗(撤去)

凡 例



【既存図】





改修仕上凡例

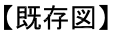
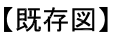
記号	位 置	仕 上 げ
F1	床	既存モルタル補修の上ビニル床シート t=2.0(新設)
H1	巾 木	既存下地調整の上ビニル巾木H=100(新設)
H2	巾 木	ビニル巾木H=100(新設)
W1	壁・柱	既存モルタル下地調整の上EP-G塗(塗替)
W2	壁・柱	既存プラスター下地調整の上EP-G塗(塗替)
W3	壁	1時間耐火壁: LGS100+GB-F t=21片面二重張りEP-G塗(新設)
W4	壁	1時間耐火壁: LGS65+GB-F t=12.5 +GB-R-H t=9.5 両面二重張りEP-G塗(新設)
W5	壁	LGS50+GB-R t=9.5+GB-R-H t=9.5 片面二重張りEP-G塗(新設)
W6	壁	モルタル下地EP-G塗(新設)
C1	天 井	LGS下地GB-D t=9.5(新設)
C2	梁 型	既存プラスター補修の上EP-G塗(塗替)
C3	梁 型	モルタル下地EP-G塗(新設)

凡 例

- モルタル新設範囲を示す
- ボード張り新設範囲を示す

【改修図】







棚1・2・3 共通仕様		棚1 W1,800×D600×H1,900	1階 技術科準備室	4力所	棚2 W900×D600×H1,900	1階 技術科準備室	1力所	棚3 W1,200×D600×H1,900	1階 技術科準備室	1力所		
<div>1 本 体 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 木口ミリエッジ t=1.0</div> <div>2 可 動 棚 両面メラミン化粧ランバーコア t=26 木口ミリエッジ t=1.0 棚ダボ:真鍮ニッケル仕上 @60 3段</div> <div>3 背 板 ポリ化粧合板 t=4.0</div> <div>4 巾 木 ランバーコア t=18 下地 ポリ化粧合板貼</div> <div>※本体に使用する木質材料はF☆☆☆☆適合品 (ホルムアルデヒド放散量平均値0.3mg/l以下とする)</div>												
戸棚1 仕様		戸棚1 W1,800×D450×H1,900	2階 調理準備室	4力所								
<div>1 本 体 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 木口ミリエッジ t=1.0</div> <div>2 可 動 棚 両面メラミン化粧ランバーコア t=26 木口ミリエッジ t=1.0 棚ダボ:真鍮ニッケル仕上 @60 3段</div> <div>3 背 板 ポリ化粧合板 t=4.0</div> <div>4 引違硝子戸 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 切抜枠戸 木口ミリエッジ t=1.0 透明ガラス t=3.0 押縁ABS樹脂成型品(勘合固定) ABS樹脂成型オリジナル引手 調節式戸車 上下ABS樹脂成型レール</div> <div>5 開 戸 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 木口ラウンドエッジ t=3.0 ABS樹脂成型オリジナル引手 スライド蝶番</div> <div>4 巾 木 ランバーコア t=18 下地 ポリ化粧合板貼</div> <div>※本体に使用する木質材料はF☆☆☆☆適合品 (ホルムアルデヒド放散量平均値0.3mg/l以下とする)</div>												
掃除用具入 仕様		掃除用具入 W600×D450×H1,900	2階 調理準備室	1力所								
<div>1 本 体 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 木口ミリエッジ t=1.0</div> <div>2 固 定 棚 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 木口ミリエッジ t=1.0</div> <div>3 背 板 ポリ化粧合板 t=4.0</div> <div>4 開 戸 両面メラミン化粧パーティクルボード t=20 木口ラウンドエッジ t=3.0 弓型引手 スライド蝶番</div> <div>5 巾 木 ランバーコア t=18 下地 ポリ化粧合板貼</div> <div>6 ステンレスパイプφ25、Sカン5個付</div> <div>7 雑巾掛:ステンレス製</div> <div>8 水受皿:ステンレス製</div> <div>※本体に使用する木質材料はF☆☆☆☆適合品 (ホルムアルデヒド放散量平均値0.3mg/l以下とする)</div>												
千葉市都市局建築部営繕課		工事名称 千葉市立末広中学校エレベータ設置工事		設計年月日 令和 6 年 11 月 日	令和 6 年 11 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	令和 年 月 日	変更年月日 令和 年 月 日	令和 年 月 日	図面名 ⑪棟 家具詳細図	縮尺 1/30(A1) 1/60(A3)	図面番号 A-34



物性：木粉入り再生プラスチック（オレフィン系）  
 色柄： ・ DB色 ・ BR色 ・ LB色 ・ GR色  
 　　　・ 平滑面 ・ 凹凸面 ※26mmは平滑面のみ  
 　　　・ 無垢 ・ 中空  
 厚み： ・ 25mm ・ 26mm ・ 30mm

品質：比重 1.25以上  
吸水率 1%以下  
曲げ強さ 20MPa以上  
高分子系持続性帯電防止剤入り  
滑り抵抗係数 C.S.R 0.55以上（平滑面）  
保険：賠償責任保険加入品

Architectural section drawing of a building facade, showing a wooden deck and roof structure. The drawing includes dimensions for horizontal and vertical measurements, material specifications for the deck and roof, and labels for various components like rainwater pipes and slope adjustments.

**Horizontal Dimensions (mm):**

- Left slope: 1,812
- End deck: 145 × 30 × 1,995 (無垢)
- Main deck: 145 × 30 × 1,995 (中空)
- Horizontal section: 16,400
- Right deck: 145 × 30 × 1,995 (無垢)
- Right slope: 1,656

**Vertical Dimensions (mm):**

- Roof height: 1,775
- Deck height: 1,755
- Ground level: 10

**Labels and Notes:**

- 傾斜調整 別途 (Slope adjustment, separate)
- 雨樋 φ100 (Rainwater pipe φ100)
- 端部床板: 合成木材ウッドデッキ 145 × 30 × 1,995 (無垢) (End deck: Synthetic wood deck 145 × 30 × 1,995 (solid))
- 床板: 合成木材ウッドデッキ 145 × 30 × 1,995 (中空) (Deck: Synthetic wood deck 145 × 30 × 1,995 (hollow))
- 水平部 16,400 (Horizontal section 16,400)
- スロープ (Slope)
- 雨樋 φ100 (Rainwater pipe φ100)

Technical drawing of a bridge deck cross-section showing reinforcement details. The drawing includes dimensions for the deck width (16,400 mm), reinforcement spacing (2,400 mm), and various reinforcement components like H-shaped steel (15x40x60x1.6t), angle reinforcement (30x30x1.6t), and support feet (resin-impregnated multi-post). It also shows the slope of the deck (1:812 and 1:656) and the location of rainwater outlets (φ100).

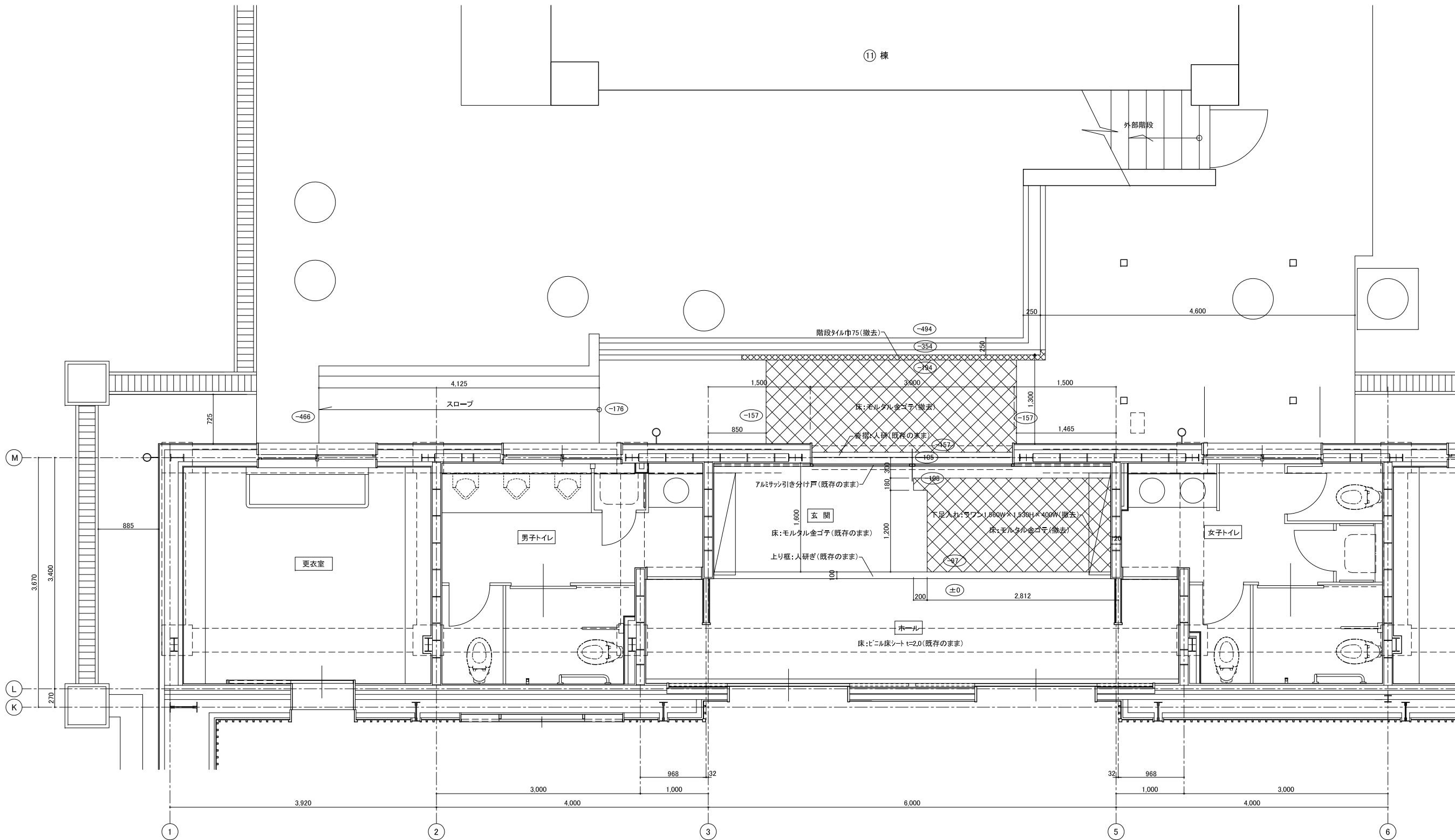
合成木材ウッドデッキは前田工織カンキョウウッドⅡと同等品以上とする。



物性：木粉入り再生プラスチック（オレフィン系） 色柄：・DB色    ・BR色    ・LB色    ・GR色 ・平滑面    ・凹凸面    ※26mmは平滑面のみ ・無垢        ・中空 厚み：・25mm    ・26mm    ・30mm	品質：比重 1.25以上 吸水率 1%以下 曲げ強さ 20MPa以上 高分子系持続性帯電防止剤入り 滑り抵抗係数 C.S.R 0.55以上（平滑面） 保険：賠償責任保険加入品
---	--







【既存図】

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称  
千葉市立末広中学校エレベータ設置工事

設計年月日  
令和 6 年 11 月 日  
特記事項

変更年月日  
令和 年 月 日  
特記事項

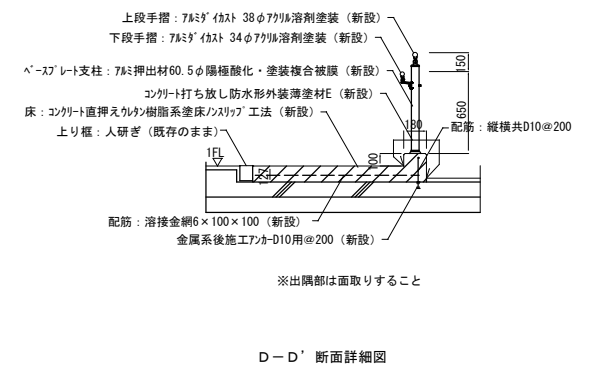
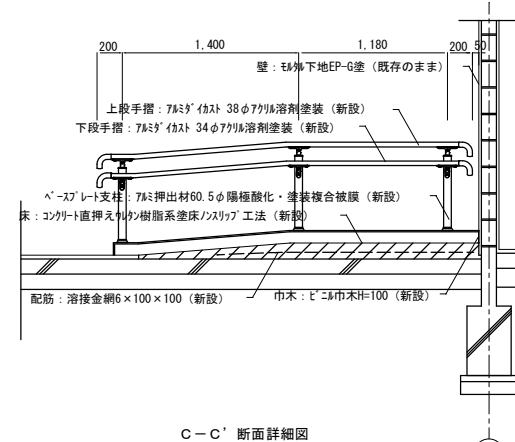
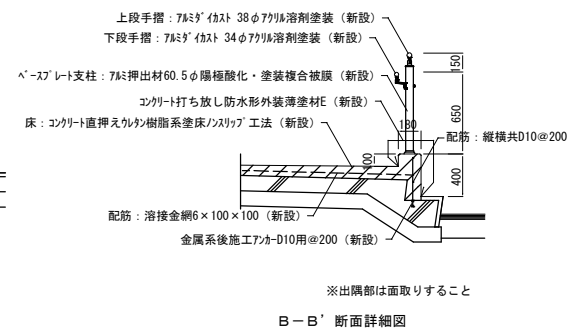
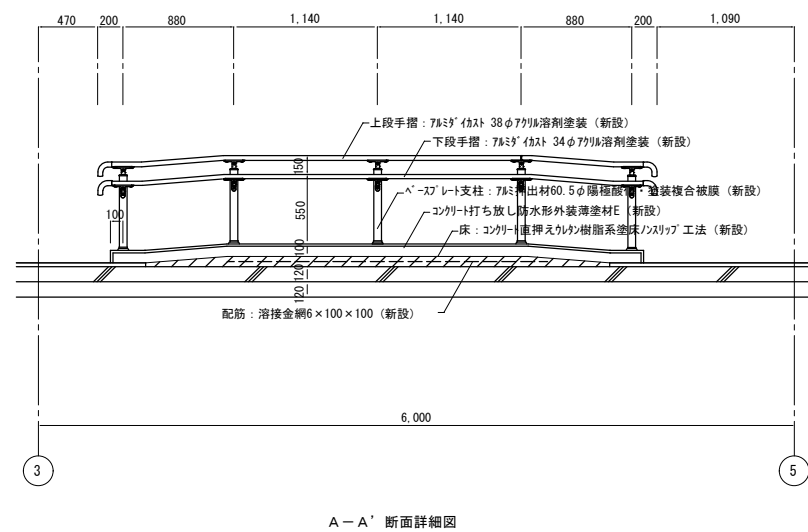
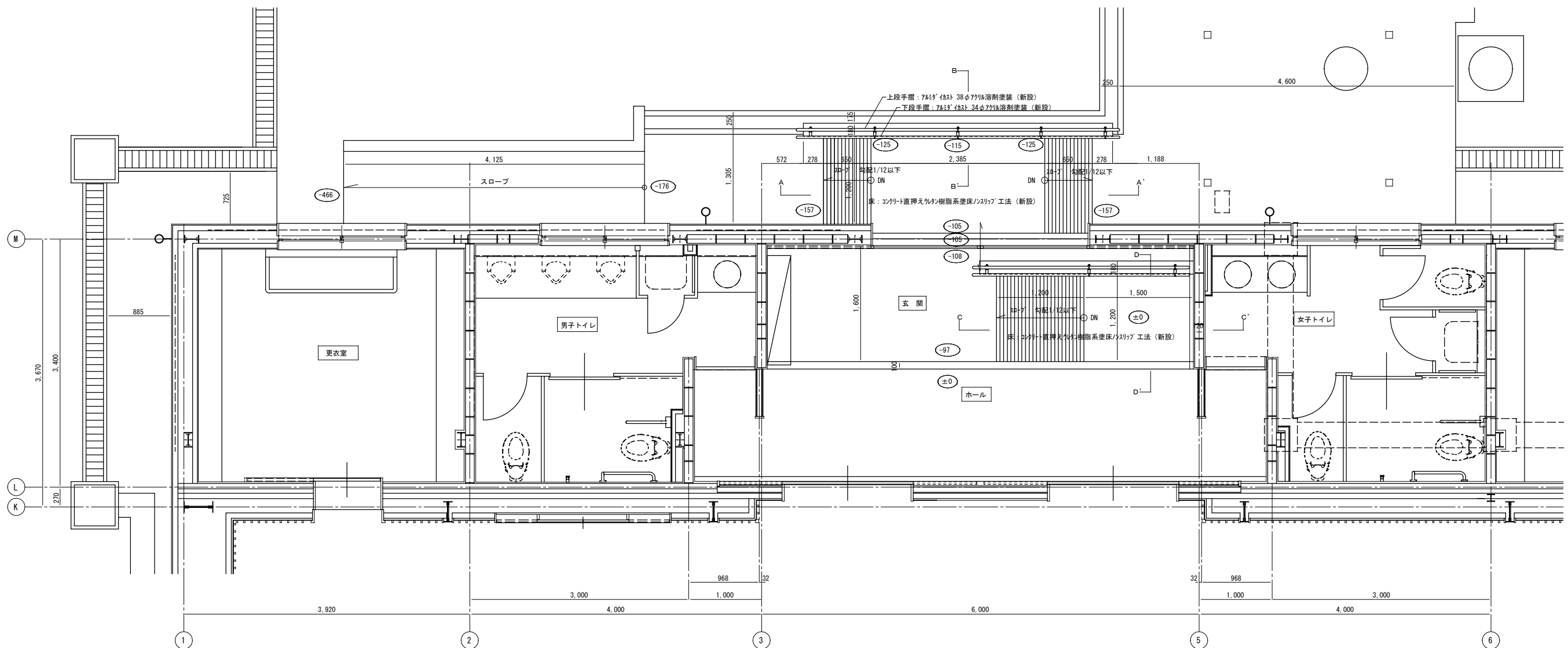
変更年月日  
令和 年 月 日  
特記事項

図面名  
屋内運動場  
玄関ホール 既存平面詳細図

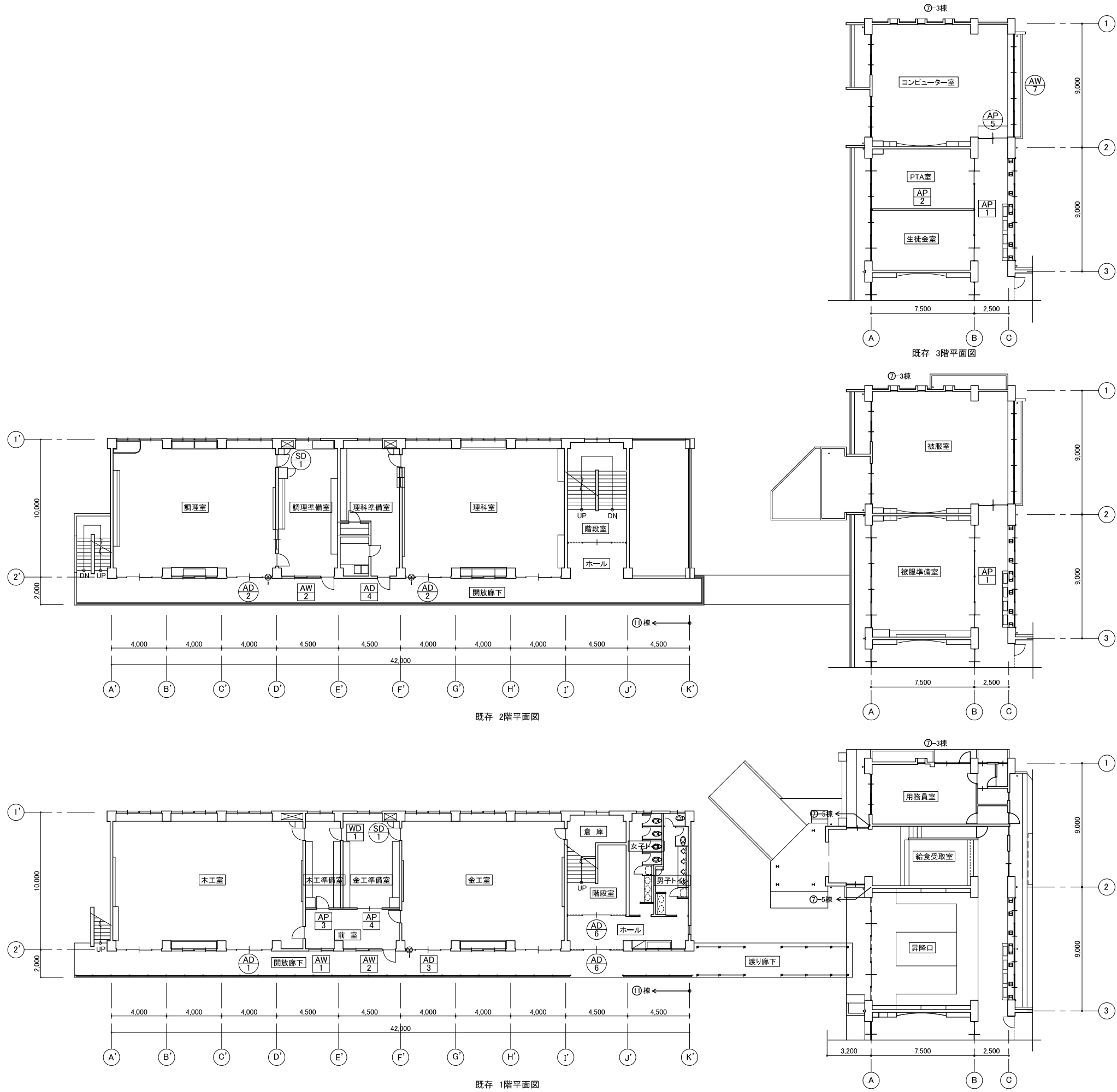
縮尺  
1/30(A1)  
1/60(A3)

図面番号  
A-37

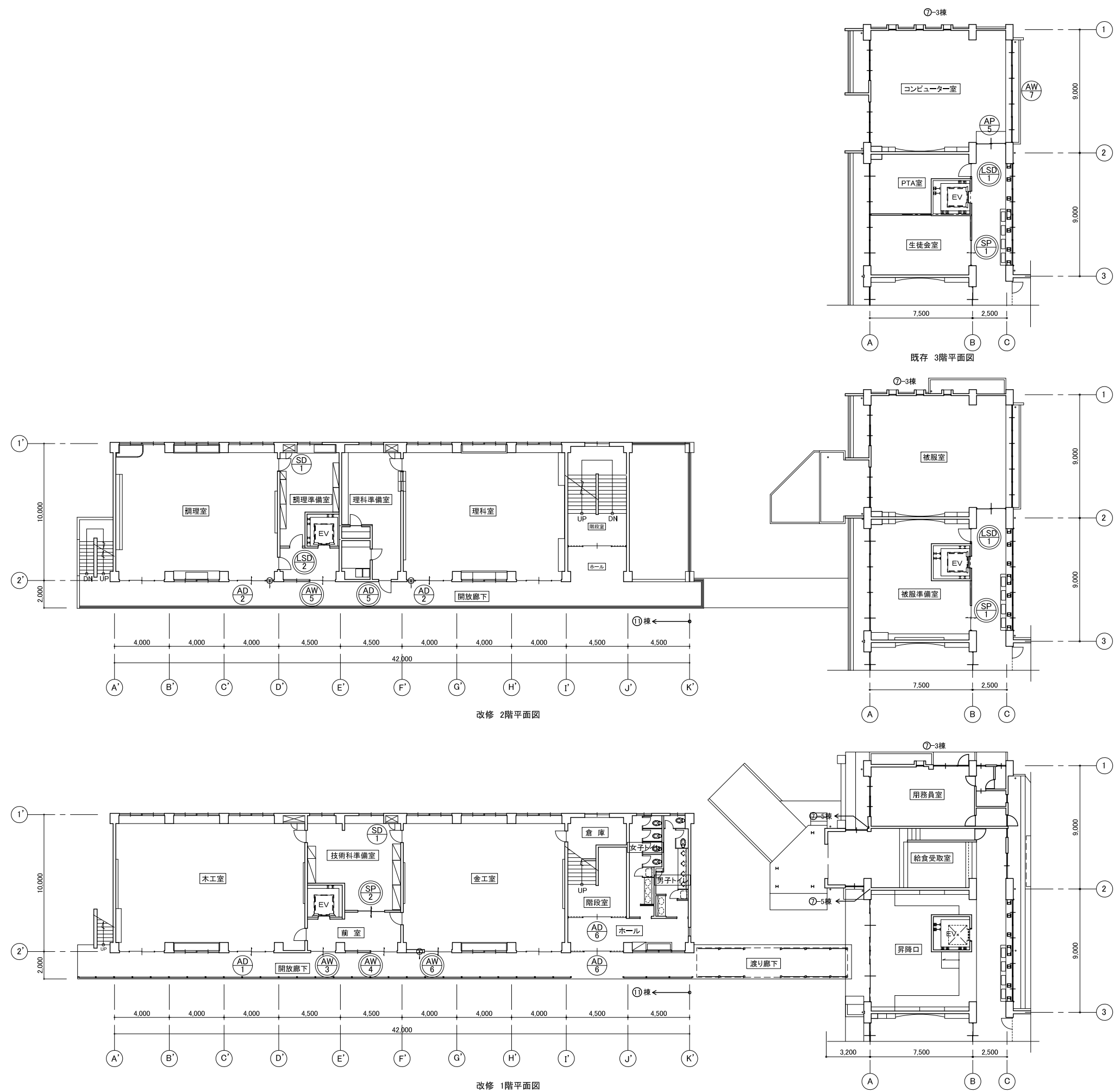












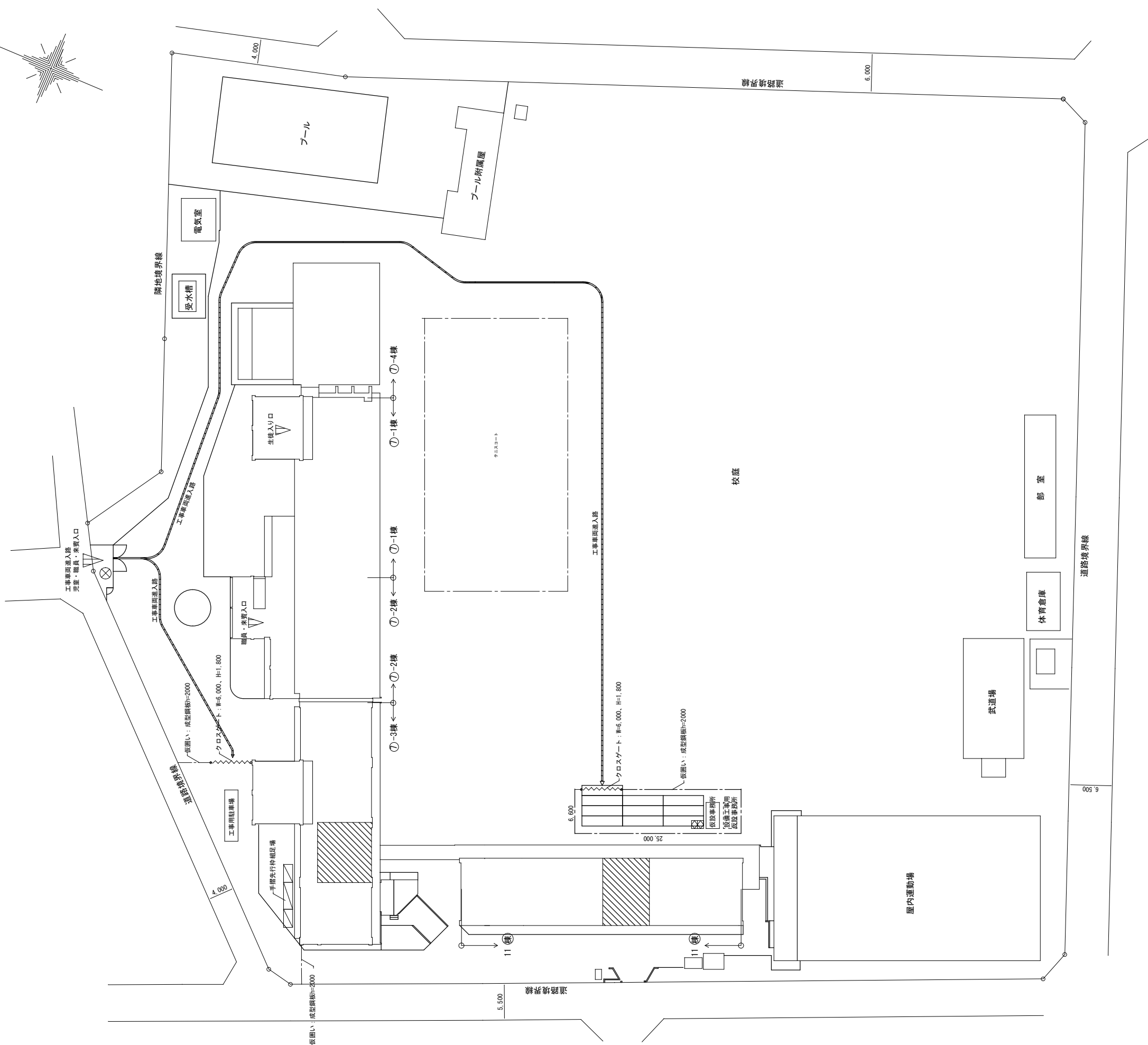


<div><div></div></div>	位置	[AP] 1 撤去		⑦-3棟 2階 被服準備室、3階 PTA室・生徒会室		<div><div></div></div>	位置	[AP] 2 撤去		⑦-3棟 生徒会室・PTA室		<div><div></div></div>	位置	[AP] 3 撤去		⑪棟 1階 木工準備室		<div><div></div></div>	位置	[AP] 4 撤去		⑪棟 1階 金工準備室										
	名称	数量	アルミ製パーテーション		2			名称	数量	アルミ製可動間仕切			1		名称	数量	アルミ製欄間付パーテーション		1		名称	数量	アルミ製欄間付パーテーション		1							
姿 図																																
材質	ガラス	アルミ製		強化ガラスt=4		材質	ガラス	アルミ製		強化ガラスt=4			材質	ガラス	アルミ製		透明ガラスt=3		材質	ガラス	アルミ製		透明ガラスt=3									
仕上	金具	ポリエステル化粧合板		ステンレス脊摺、附属金物一式		仕上	金具			附属金物一式			仕上	金具	ポリエステル化粧合板		シリンダー錠、クレセント、附属金物一式		仕上	金具	ポリエステル化粧合板		クレセント、附属金物一式									
見込	備考	70		掲示板:ラワン合板下地ビニールシート張り		見込	備考	70					見込	備考	70				見込	備考	70											
<div><div></div></div>	位置	[AW] 1 撤去		⑪棟 1階 前室		<div><div></div></div>	位置	[AW] 2 撤去		⑪棟 1階 前室、2階 調理準備室		<div><div></div></div>	位置	[AD] 3 撤去		⑪棟 1階 金工室		<div><div></div></div>	位置	[AD] 4 撤去		⑪棟 2階 理科準備室										
	名称	数量	アルミ製2段引違いサッシ		1			名称	数量	アルミ製2段引違いサッシ袖片開ドア付			2		名称	数量	アルミ製引違いドア両袖FIX付		1		名称	数量	アルミ製片開きドア欄間付		1							
姿 図																																
材質	ガラス	アルミ製		強化透明ガラスt=4		材質	ガラス	アルミ製		サッシ:強化透明ガラスt=4 ドア上段:強化透明ガラスt=4、ドア下段:(1F)型板ガラスt=4(2F)網入りガラスt=6.8			材質	ガラス	アルミ製		上段・中段:強化透明ガラスt=4、アルミパネルt=3 下段:型板強化ガラスt=4		材質	ガラス	アルミ製		欄間・上段:強化透明ガラスt=4 下段:網入りガラスt=6.8									
仕上	金具			クレセント、附属金物一式		仕上	金具			シリンダー錠、クレセント、附属金物一式			仕上	金具	シルバー		クレセント、附属金物一式		仕上	金具	シルバー		シリンダー錠、附属金物一式									
見込	備考	70				見込	備考	70					見込	備考	70				見込	備考	70											
<div><div></div></div>	位置	[WD] 1 撤去		⑪棟 1階 木工準備室・金工準備室		<div><div></div></div>	位置					<div><div></div></div>	位置					<div><div></div></div>	位置													
	名称	数量	木製フラッシュドア		1			名称	数量					名称	数量					名称	数量											
姿 図																																
材質	ガラス	木製		透明ガラスt=3		材質	ガラス						材質	ガラス					材質	ガラス												
仕上	金具			シリンダー錠、附属金物一式		仕上	金具						仕上	金具					仕上	金具												
見込	備考	40				見込	備考						見込	備考					見込	備考												
<div><div></div></div>	位置					<div><div></div></div>	位置					<div><div></div></div>	位置					<div><div></div></div>	位置													
	名称	数量					名称	数量					名称	数量					名称	数量												
姿 図																																
材質	ガラス					材質	ガラス						材質	ガラス					材質	ガラス												
仕上	金具					仕上	金具						仕上	金具					仕上	金具												
見込	備考					見込	備考						見込	備考					見込	備考												
千葉市都市局建築部営繕課					工事名称	千葉市立末広中学校エレベータ設置工事					設計年月日	令和 6 年 11 月 日			変更年月日	令和 年 月 日			変更年月日	令和 年 月 日			図面名	建具表1(撤去)			縮尺	1/50(A1) 1/100(A3)		図面番号	A-41	
											特記事項				特記事項				特記事項													



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

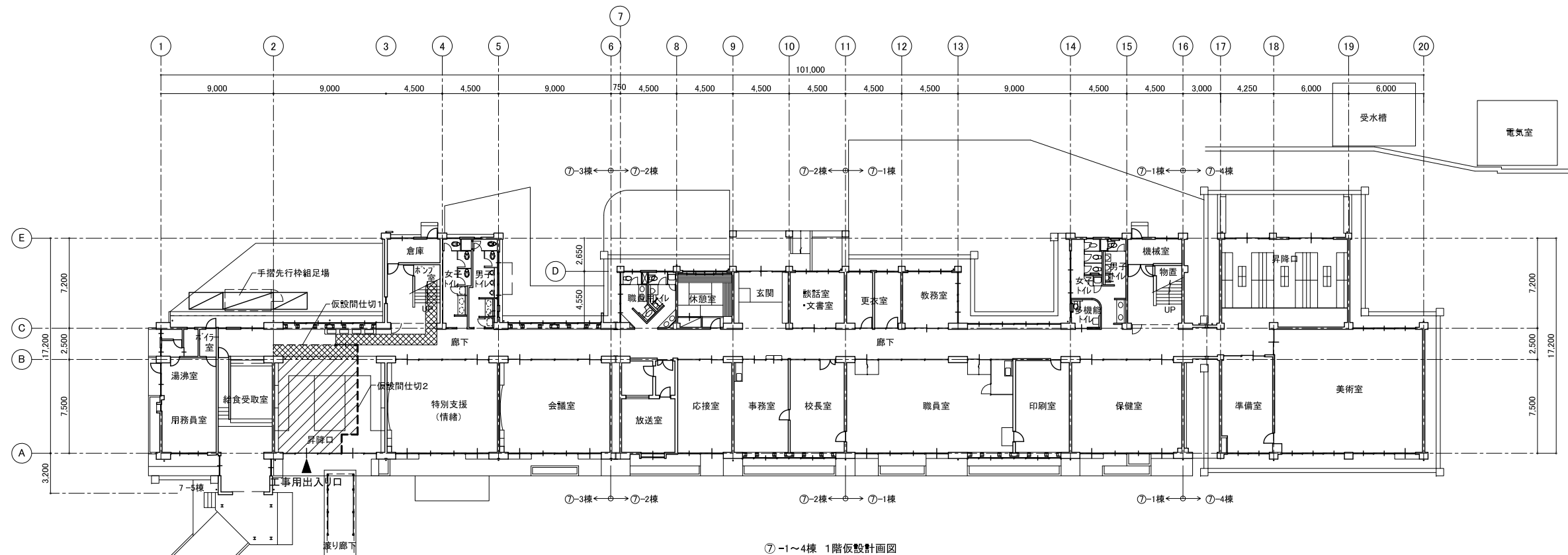




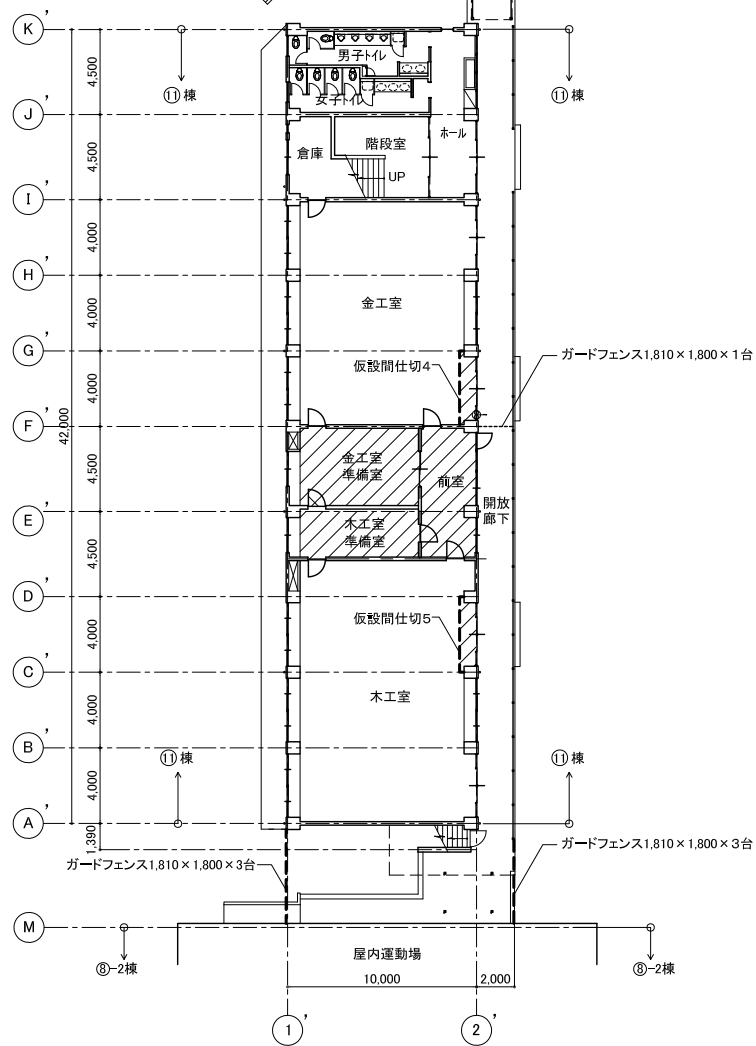
凡例		数量
——	仮囲い、成形鋼板 H=2,000	68 m
~~~~~	クロスゲート：W=6,000、H=1,800	2ヶ所
⊗	仮設トイレ	1ヶ所
▭	鉄板敷き：1,524×6,096×22	92.9㎡
▨	手摺り先行待避足場 巾900	
⊗	交通誘導員	20人・日

凡例  
改修対象範囲を示す

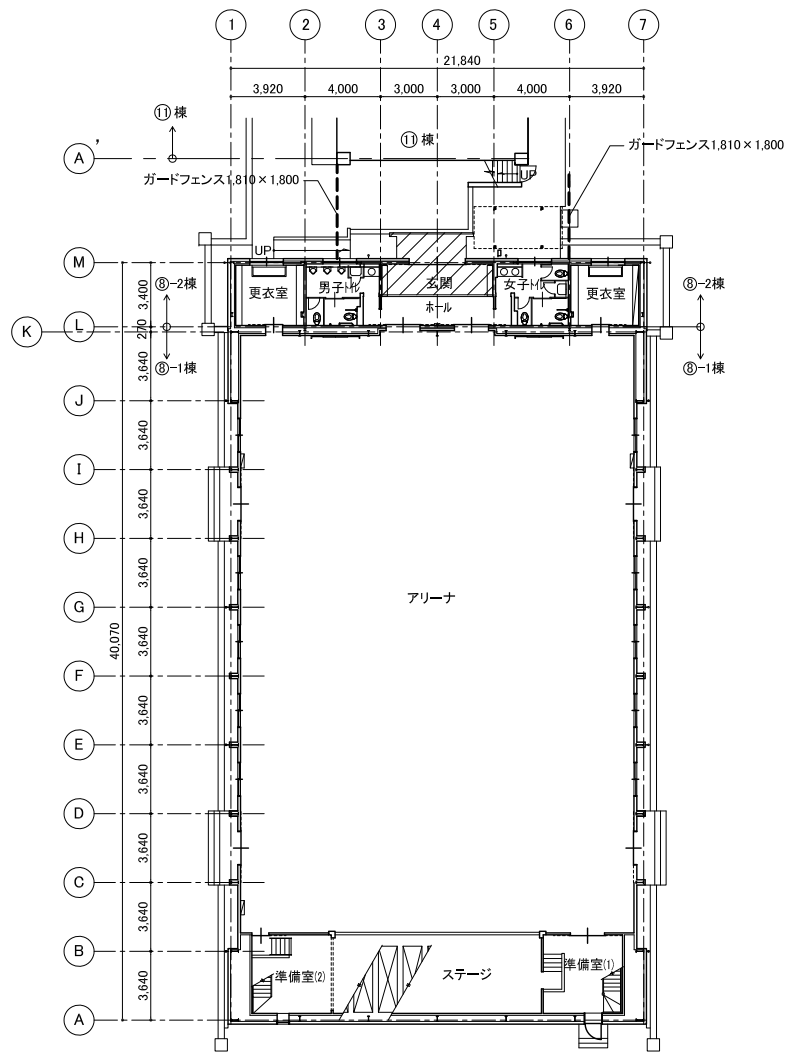




⑦-1～4棟 1階仮設計画図



⑪棟 1階仮設計画図



屋内運動場 1階仮設計画図

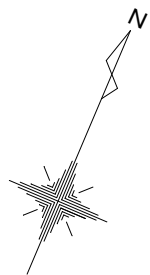
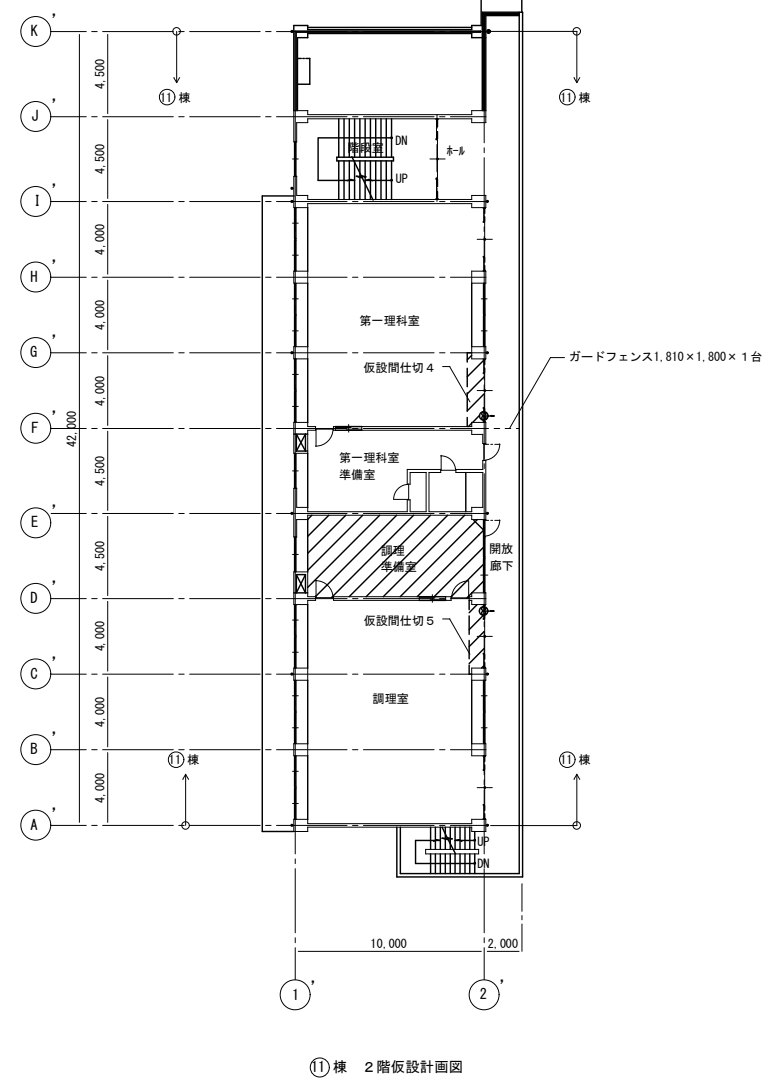
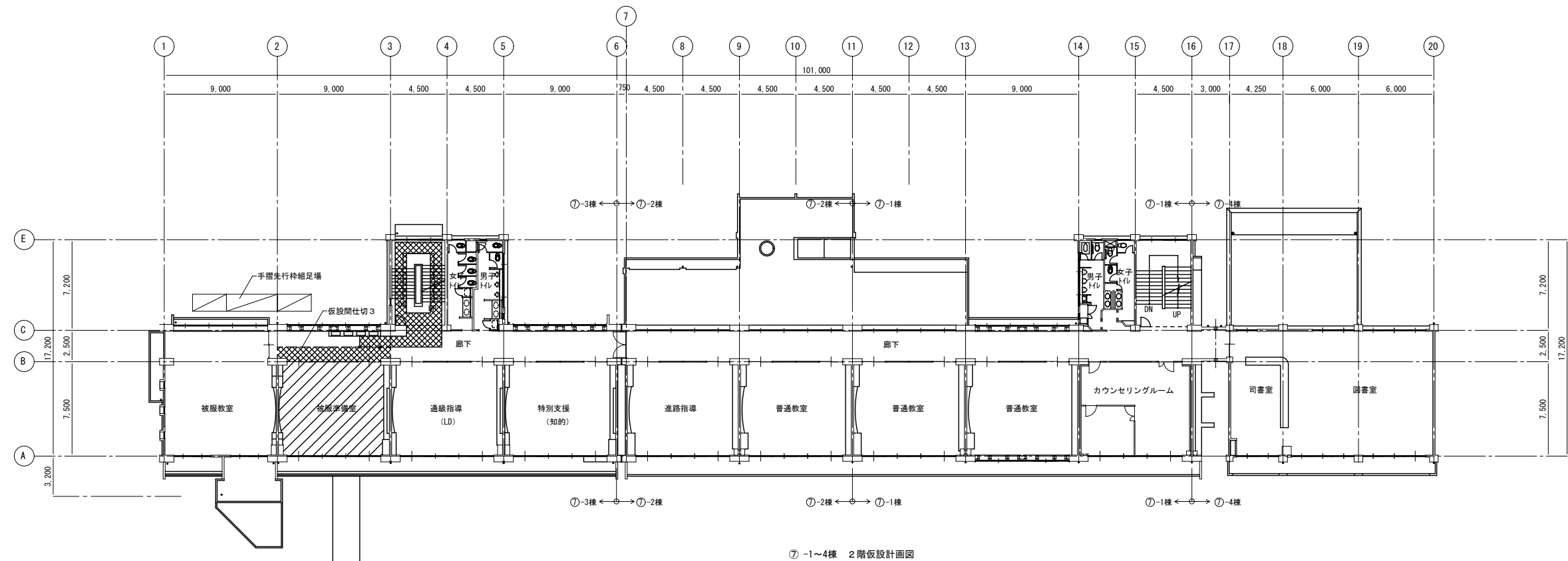
凡例

- 改修箇所を示す
- ビニールシート養生(巾900)範囲を示す

内部仮設工事内訳

名称	種別	仕様	数量	仮設扉 (7ルミ製)
仮設間仕切り1	A種	LGS65下地GB-Rt=12.5両面張り グラスウールt=50(24kg)充填	L H 8.5×3-1.6×1.8=22.62 m <sup>2</sup>	引違い:1ヶ所
仮設間仕切り2	A種	LGS65下地GB-Rt=12.5両面張り グラスウールt=50(24kg)充填	L H 8.8×3.1-1.6×1.8=24.4 m <sup>2</sup>	引違い:1ヶ所
仮設間仕切り3	A種	LGS65下地GB-Rt=12.5両面張り グラスウールt=50(24kg)充填	L H (10.8×3-1.6×1.8)×2=59.04 m <sup>2</sup>	引違い:1ヶ所
仮設間仕切り4	A種	LGS65下地GB-Rt=12.5両面張り グラスウールt=50(24kg)充填	L H (4.3×3-1.6×1.8)×2=20.04 m <sup>2</sup>	引違い:1ヶ所
仮設間仕切り5	A種	LGS65下地GB-Rt=12.5両面張り グラスウールt=50(24kg)充填	L H (4.6×3-1.6×1.8)×2=21.84 m <sup>2</sup>	引違い:1ヶ所
ガードフェンス		W H 1,810×1,800	8台	





## 凡例

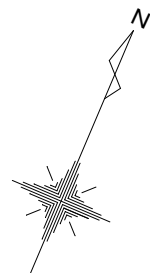
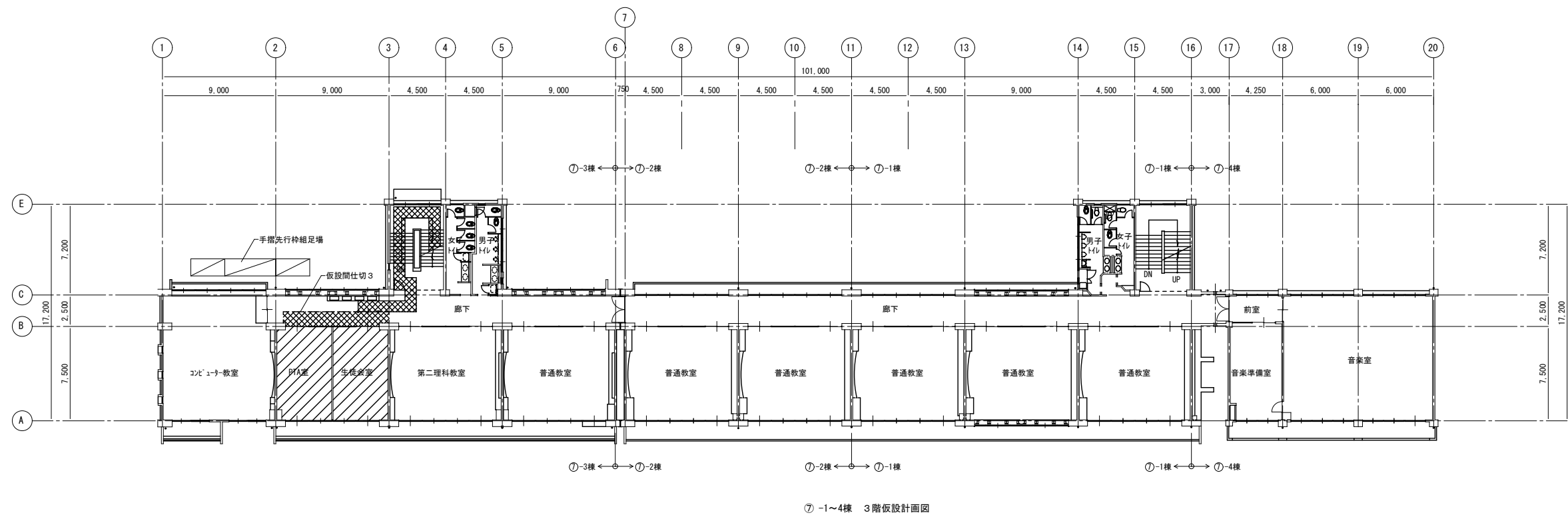




改修箇所を示す



ヒ・ニールシート養生(巾900) 範囲を示す





- 凡例
-  改修箇所を示す
  -  ビデオカメラ養生(巾900) 範囲を示す



構造関係共通事項

- 1 適用範囲
- (a) 構造関係共通図（配筋標準図）は、鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート造等における鉄筋の加工、組立等の一般的な標準図とする。
- (b) 構造関係共通図（鉄骨標準図）は、鉄骨造及び鉄骨鉄筋コンクリート造における鉄骨の加工、組立の一般的な標準図とする。
- (c) 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）以外については、図面及び監督職員の指示による。
- 2 優先順位
- (a) 設計図書間で配筋方法に相違がある場合の優先順位は以下のとおりとする。
1. 建築工事特記仕様書（構造関係）
2. 図面 2-1 下記 2-2 以外の図面  
2-2 構造関係共通図（配筋標準図、鉄骨標準図）
3. 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成22年版）」（以下「標仕」という。）
- 3 用語の定義
- (a) 異形鉄筋の径（本文、図、表において「d」で示す。）は、呼び名に用いた数値とする。
- (b) 長さ、厚さの単位は、特記なき限りmmとする。
- (c) 構造関係共通図（配筋標準図）に記載の（ . . . ）内表示番号は、標仕の当該図又は当該表を示す。
- (d) 構造関係共通図（配筋標準図）に記載の（参 . . . ）内表示番号は、標仕の「各部配筋 参考図」の当該図又は当該表を示す。
- 4 記号
- (a) 設計図中で使用する記号は、表1～表4を標準とする。

表1 鉄筋の断面表示									
区分	径	D 1 0	D 1 3	D 1 6	D 1 9	D 2 2	D 2 5	D 2 9	D 3 2
建 築		○	×	⊘	○	○	⊙	⊗	⊕

表2 各階伏図における記号			
記 号	説 明	記 号	説 明
○	スラブの配筋種別	⊕	杭の位置
◇	スラブ厚さ	⊕	試験杭の位置
○	階段の配筋種別	▨	打増しの範囲
○S	土間コンクリート	⊠	スラブ開口
▤	コンクリートブロック壁（CB壁）	⊕	ボーリング位置
▨	梁・スラブの上がり下がり範囲	（ ± ）	FLからの上がり下がり
EW○○ EKW○○ ERN○○	耐力壁の種類		

表3 梁貫通孔記号																
区分	径	50	75	100	125	150	175	200	225	250	275	300	325	350	375	400
建 築		⊖	✕	+	✦	⊕	✱	⊕	✦	⊕	✱	⊕	✦	⊕	✱	⊕

表4 スリーブ材質の凡例				
管名	鋼管	溶融亜鉛めっき鋼板	硬質塩化ビニル管（薄肉管）	つば付き鋼管（黒管）
記号（建築用）	SP（白管）	GA	VU	RS
建築用以外のスリーブ材質は各工事による。				

構造関係共通図（配筋標準図）

1 鉄筋の加工

(a) 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表1.1を標準とする。

表1.1 鉄筋の折曲げ形状及び寸法 (表5.3.1)

折曲げ 角度	折 曲 げ 図	折曲げ内法直径(D)		
		SD295A SD295B、SD345		SD390
		D16 以下	D19 ～D38	D19 ～D38
180°		3d以上	4d以上	5d以上
135°				
90°				
135° 及び 90° (幅止め筋)				

(注) 1. 片持スラブ先端、壁筋の自由端側の先端で90° フック又は135° フックを用いる場合は、余長を4d以上とする。  
2. 90° 未満の折曲げの内法直径は構造図による。

2 異形鉄筋の末端部

(a) 次の部分に使用する異形鉄筋の末端部にはフックを付ける。

(1) 柱の四隅にある主筋（図2.1の●）で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合

(2) 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端（図2.1の●）にある場合（基礎梁を除く）

図2.1 異形鉄筋の末端部にフックを付ける場合

(3) 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）

(4) 杭基礎のベース筋

(5) 帯筋、あばら筋及び幅止め筋

3 鉄筋の継手及び定着

3. 1 継手及び定着

(a) 鉄筋の重ね継手

(1) 鉄筋の重ね継手の長さは、表3.1による。

(2) 径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

表3.1 鉄筋の重ね継手の長さ (表5.3.2)

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F c (N/mm <sup>2</sup> )	L <sub>1</sub> (フックなし)	L <sub>1a</sub> (フックあり)
SD295A SD295B	18	45d	35d
	21	40d	30d
	24、27	35d	25d
SD345	18	50d	35d
	21	45d	30d
	24、27	40d	25d
SD390	21	50d	35d
	24、27	45d	35d
	30、33、36	40d	30d

(注) 1. L<sub>1</sub>、L<sub>1a</sub>：フックなし重ね継手の長さ及びフックあり重ね継手の長さ  
2. フックありの場合のL<sub>1a</sub>は、図3.1に示すようにフック部分を含まない。  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5 dを加えたものとする。

図3.1 フックありの場合の重ね継手の長さ (図5.3.1)

(3) 建築基準法施行令第81条第1項（時刻歴応答解析計算）及び第2項第一号（保有水平耐力計算、限界耐力計算、エネルギー法）以外の計算による場合、主筋及び耐力壁の鉄筋の重ね継手を設ける場合にあっては、フックのありなしにかかわらず40 d以上（軽量骨材を使用する場合は50 d以上）とする。

(4) 隣り合う継手の位置は、表3.2による。ただし、壁の場合及びスラブ筋でD 1 6以下の場合は除く。

なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所に設ける場合は、構造図による。

表3.2 隣り合う継手の位置 (表5.3.3)

		重ね継手	
		フックありの場合	フックなしの場合
重ね継手	フックありの場合		
	フックなしの場合		
圧接継手	—		
機械式継手	—		

(b) 鉄筋の定着

(1) 鉄筋の定着の長さは、表3.3及び図3.2による。

(注： 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さについては、建築基準法施行令第73条第3項ただし書（平成23年3月30日 政令第46号）を適用して、平成23年4月27日国土交通省告示第432号の第1の構造計算の基準によって構造耐力上安全であることを確かめた場合）

表3.3 鉄筋の定着の長さ (表5.3.4)

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F c (N/mm <sup>2</sup> )	フックなし		フックあり	
		L <sub>1</sub>	L <sub>2</sub>	L <sub>1a</sub>	L <sub>2a</sub>
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
SD295A SD295B	18	45d	40d	35d	30d
	21	40d	35d	30d	25d
	24、27	35d	30d	25d	20d
	30、33、36	35d	30d	25d	20d
SD345	18	50d	40d	35d	30d
	21	45d	35d	30d	25d
	24、27	40d	35d	30d	25d
	30、33、36	35d	30d	25d	20d
SD390	21	50d	40d	35d	30d
	24、27	45d	40d	35d	30d
	30、33、36	40d	35d	30d	25d

(注) 1. L<sub>1</sub>、L<sub>1a</sub>：2. 以外のフックなし直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ  
3. L<sub>1</sub>、L<sub>1a</sub>：割裂破壊のおそれのない箇所へのフックなし直線定着の長さ及びフックあり直線定着の長さ  
4. L<sub>2</sub>：小梁及びスラブの下端筋のフックなし直線定着の長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁は除く。  
5. L<sub>2a</sub>：小梁の下端筋のフックあり直線定着の長さ  
6. フックあり定着の場合は、図3.2に示すようにフック部分を含まない。また、中間部での折曲げは行わない。  
7. 軽量コンクリートを使用する場合は、表3.3の値に5 dを加えたものとする。

図3.2 直線定着の長さ (表5.3.2)

(2) 梁主筋の柱内折曲げ定着の方法、小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の方法は、図3.3に示すように、全長を表3.3に示すフックなし直線定着長さとし、かつ、余長を8d、仕口面から鉄筋外面までの投影定着長さを表3.4に示す長さ（かつ、梁主筋の柱内定着においては、柱せいの3/4倍以上）とする。

図3.3 定着の方法

表3.4 鉄筋の投影定着長さ (表5.3.5)

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度 F c (N/mm <sup>2</sup> )	L <sub>1a</sub>	L <sub>2a</sub>
SD295A SD295B	18	20d	15d
	21	15d	15d
	24、27	15d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD345	18	20d	20d
	21	20d	20d
	24、27	20d	15d
	30、33、36	15d	15d
SD390	21	20d	20d
	24、27	20d	20d
	30、33、36	20d	15d

(注) 1. L<sub>1a</sub>：梁主筋の柱内折曲げ定着の投影定着長さ（基礎梁、片持梁及び片持スラブを含む。）  
2. L<sub>2a</sub>：小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影定着長さ（片持小梁及び片持スラブを除く。）  
3. 軽量コンクリートの場合は、表の値に5 dを加えたものとする。

(c) その他の鉄筋の継手及び定着

(1) 溶接金網の継手及び定着は、図3.4による。

なお、L<sub>1</sub>及びL<sub>2</sub>は表3.3の（注）による。

図3.4 溶接金網の継手及び定着 (図5.3.3)

(2) スパイラル筋の継手及び定着は、図3.5による。

図3.5 スパイラル筋の継手及び定着 (図5.3.4)



4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

4. 1 最小かぶり厚さ

(a) 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表4.1による。ただし、柱及び梁の主筋にD29以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表4.1 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ（単位：mm）

構造部分の種類				最小かぶり厚さ
土に接しない部分	スラブ、耐力壁以外の壁		仕上げあり	20
			仕上げなし	30
	柱、梁、耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁、耐圧スラブ			40
土に接する部分	柱、梁、スラブ、壁			* 40
	基礎、擁壁、耐圧スラブ			* 60
煙突等高熱を受ける部分				60

- (注) 1. \*印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は構造図による。
2. 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ（仕上げ塗材、塗装等）のものを除く。
3. スラブ、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。
5. 塩害を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、構造図による。

- (b) 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。
- (c) 鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上とする。
- (d) 鉄筋相互のあきは図4.1により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、構造図による。
- (1) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
- (2) 25mm
- (3) 隣り合う鉄筋の平均径（呼び名の数値）1.5倍



(図5.3.5)

- (e) 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは（d）による。
- (f) 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは（c）による。

5 基礎及び基礎梁の配筋

5. 1 基礎梁主筋の継手、定着及び余長

(a) 一般事項

- (1) 梁筋は、連続端で柱に接する梁筋が同数の時は柱をまたいで引き通すものとし、鉄筋の本数が異なる場合は図5.1のように反対側の梁に定着する。外端部や隅部等では折り曲げて定着する。
- (2) 梁筋を柱内に定着する場合は、7.1(b) (4)による。

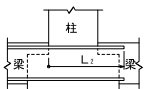
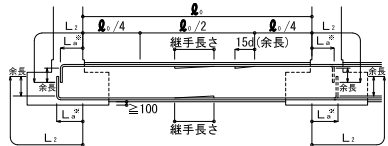


図5.1 梁筋の基礎梁内への定着

- (b) 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.2による。



(参-図1.5)

- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ※ L<sub>1</sub>の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

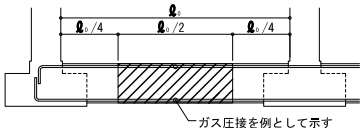
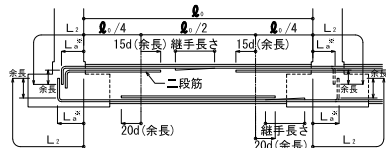


図5.2 主筋の継手、定着及び余長（その1）

- (c) 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.3による。ただし、耐圧スラブが付く場合は、（d）による。



(参-図1.6)

- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ※ L<sub>1</sub>の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

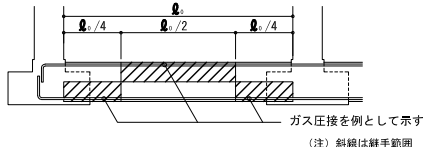
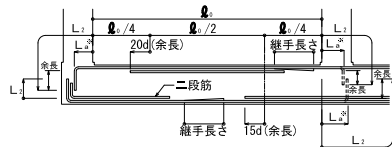


図5.3 主筋の継手、定着及び余長（その2）

- (d) 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図5.4による。



(参-図1.7)

- (注) 1. 図示のない事項は、7.1による。
2. 印は、継手及び余長位置を示す。
3. 破線は、柱内定着の場合を示す。
- ※ L<sub>1</sub>の数値は、原則として、柱せいの3/4倍以上とする。

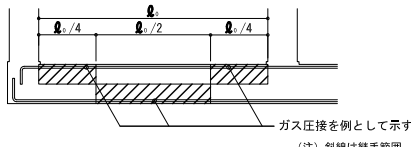


図5.4 主筋の継手、定着及び余長（その3）

5. 2 基礎梁のあばら筋

(a) 一般事項

- (1) あばら筋の径及び間隔は、構造図による。
- (2) あばら筋組立の形及びフックの位置は、7.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図5.5によることができる。

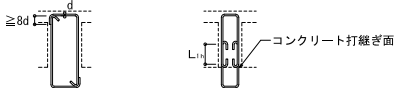


図5.5 あばら筋組立の形及びフックの位置

(参-図1.8)

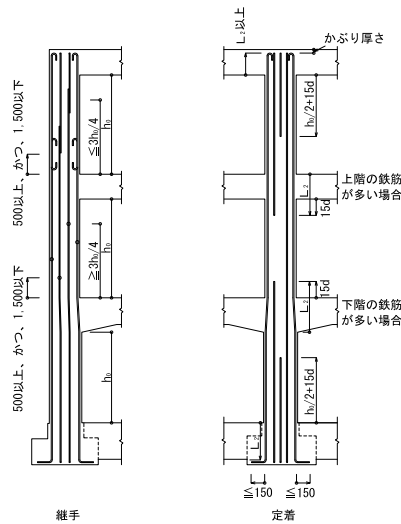
- (b) 腰筋及び幅止め筋は、7.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は、構造図による。
- (c) あばら筋の割付けは、7.2(c)による。

6 柱の配筋

6. 1 柱主筋の継手、定着及び余長

(a) 一般事項

- (1) 継手の中心位置は、梁上端から500mm以上、1,500mm以下、かつ、3h<sub>v</sub>/4（h<sub>v</sub>は柱の内法高さ）以下とする。
- (2) 継手、定着及び余長は図6.1による。ただし、柱頭定着長さL<sub>1</sub>を確保できない場合は、構造図による。



- (注) 1. 柱の四隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合には、フックを付ける。
2. 隣り合う継手の位置は、表3.2による。
3. 継手及び定着は、すべての階に適用できる。

図6.1 柱主筋の継手、定着及び余長

(参-図2.1)

6. 2 帯筋組立の形及び割付け

(a) 帯筋の種類及び間隔は、構造図による

(b) 帯筋組立の形は図6.2により、適用は構造図による。

- (1) H形の135°曲げのフックが困難な場合は、W-I形とする。
- (2) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。
- (3) S P形において、柱頭及び注脚の端部は、1.5巻以上の添巻きを行う。
- (c) フック及び継手の位置は交互とする。

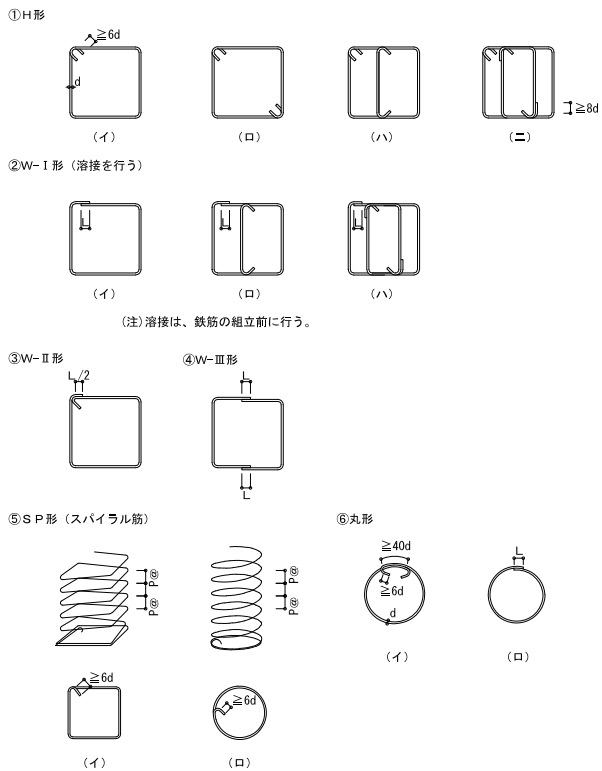
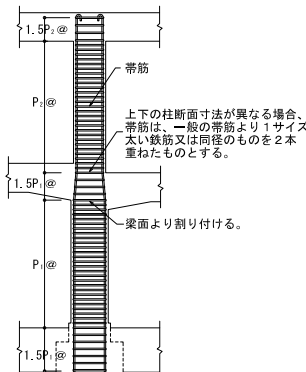


図6.2 帯筋組立の形

(参-図2.2 (③、④は除く))

- (d) 帯筋の割付けは、図6.3とし、それ以外の場合は構造図による。



- (注) 1. 図示のない事項については、一般の場合に同じ。
2. 柱に取り付く梁に段差がある場合、帯筋の間隔を1.5P<sub>1</sub>@又は1.5P<sub>2</sub>@とする範囲は、その柱に取り付くすべての梁を考慮して適用する。
- なお、P<sub>1</sub>@、P<sub>2</sub>@は、特記された帯筋の間隔を示す。

図6.3 帯筋の割付け

(参-図2.3)

6. 3 柱の打増し部

- (a) 打増し部分に、壁、梁、スラブ筋等が取り付く場合は、壁、梁、スラブ筋等の定着長さには、打増し部分を含まない。
- (b) 土に接する柱周囲の打増しは図6.4による。

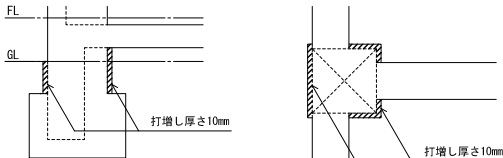


図6.4 柱打増し部







# 鉄骨構造標準図(2)

※修正箇所は下線を引くこと

## 3. 継手標準図, その他

(1) 高力ボルト、ボルト、アンカーボルトのピッチ (P) ボルト穴径・最小端端距離 (mm)

呼び径 d	ボルト穴径	最小端端距離 (e)			ピッチ (P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
M16	18	40	28	22	40	60
M20	22	50	34	26	40	60
M22	24	55	38	28	40	60
M24	26	60	44	32	45	70
M16	21 (16.5)		28	22	(40)	(60)
M20	25 (20.5)		34	26	(40)	(60)
M22	27 (22.5)		38	28	(40)	(60)
M24	29 (24.5)		44	32	(45)	(70)
M27	32		49	36		
M30	35		54	40		
M34 以上	呼び径+5		9d/5	4d/3		

- 〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の端端距離  
 (2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の端端距離  
 (3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の端端距離

## (2) ピン接合梁継手リスト

＜TYPE-1＞

＜TYPE-2＞

＜TYPE-3＞

符号	タイプ	部 材	PL-(1)	PL-(2)	N-径
3	H-125・60・6・8		6		2-M16
3	H-150・75・6・7		6		2-M16
2	H-175・90・5・8		6		2-M16
2	H-200・100・5・5・8		6		2-M16
2	H-250・125・6・9		6		3-M16
2	H-300・150・6・5・9		9		3-M20
2	H-350・175・7・11		9		4-M20
1	H-350・175・7・11		9	6	4-M20
2	H-400・200・8・13		9		5-M20
1	H-400・200・8・13		9	9	4-M20

## (3) 剛接合梁継手リスト (SCSS-H97による)

〔注〕 端部をBHとする場合の部材は設計図による

符号	部 材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	N2-径

## (4) ハンチ部の継手

フランジ及ウェブ厚のある場合

ハンチ勾配は普通1/4程度であるが構造図による  
 r: 半径 t: 板厚

## (5) 柱継手リスト

B<sub>1</sub> ≤ 250

B<sub>1</sub> = 300

B<sub>1</sub> = 350 (400)

B <sub>1</sub>	B <sub>2</sub>
150	60
175	70
200	80
250	100
300	110
350	140
400	170

注 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

符号	部 材	フランジ		ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	N2-径

## (6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする … JIS A 5540-1982/5541・5542-2003)

(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24	
軸径 d1	最	大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99	
	最	小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77	
調整ねじの長さ			S	100	115	125	140	150	165	175
取付けボルト穴径 許容差 +0, -0.5 mm			R	13.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小)			(2) e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (最小)	(1) e2	22	28	28	34	34	38	38	
	板 厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9	
平鋼製	へりあき (最小)	(1) e2	19.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5	
	板 厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9	
ボルト端から取付けボルト穴迄の長さ (最小)			e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ (最小)			ℓ	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付けボルト	種 類	JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T)								
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20		
	本 数	1	1	1	1	1	1	1	2	

- 〔注〕 (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい  
 (2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断 (変圧) 接合とする

## (b) 形鋼ブレース

符号	部 材	PL-(1)	N-径	ℓ

羽子板ボルト

形鋼ブレース

デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

梁との溶接およびコネクター

水平ブレース

受梁へのかり寸法及端部処理 e ≥ 35mm

梁上通しの場合

梁上切断の場合

スラブ端部の補足材

補足受材

既製品面戸 (鉄板)

折曲加工

あて板 (鉄板)

あて板 (非金属)

スラブ端部の補足材

補足受材

既製品面戸 (鉄板)

折曲加工

あて板 (鉄板)

あて板 (非金属)

## (8) 柱脚

〔注〕 許容応力度計算を行わなかった場合の構造形式

露出形式柱脚	根巻き形式柱脚	埋込み形式柱脚
<p>二重ナット等の止め 座金 アンカーボルト (d) アンカーボルトが柱の中心に 対し均等に配置 アンカーボルト断面の 総和は柱断面積×0.2 縁端距離 (ボルト孔の 径に同じ、表に 示す数値以上)</p>	<p>根巻き部分の長さ (柱幅×2.5) 帯筋 (令77条を準用) 立上り主筋 (4本以上、頂部の 折り曲げ等の措置、 表に定める定着長さ)</p>	<p>コンクリートのかぶり厚さ (柱幅以上) 基礎梁主筋 U字形補強筋 基礎梁主筋 U字形補強筋 柱幅 (DとHのいずれか 大きなほう)</p>

## (9) 頭付きスタッド (JIS B 1198)

スタッド材の標準形状・寸法

形状	スタッド材			
	呼び名	軸径 d mm	頭径 D mm	頭高さ T mm
φ13 mm	軸径 d	13.0	22.0	10.0
	頭径 D	12.7	25.4	7.9
φ16 mm	軸径 d	16.0	29.0	10.0
	頭径 D	15.8	31.7	7.9
φ19 mm	軸径 d	19.0	32.0	10.0
	頭径 D	19.0	31.7	9.5
φ22 mm	軸径 d	22.0	35.0	10.0
	頭径 D	22.2	34.9	9.5

溶接後の長さ L  
 50, 80, 100, 130  
 80, 100, 130  
 80, 100, 130, 150  
 100, 130, 150

## (10) 梁貫通補強

・計算で確認された場合は下図の位置、寸法及び補強方法によらずに良い  
 ・梁端部 (内法スパン ℓ<sub>0</sub> の1/10以内かつ、2D以内) は避ける  
 ・φ ≤ 0.40  
 ・φ は補強板の穴径を示す

φ1 φ2  
 貫通孔の間隔

プレート補強 (片面又は両面)

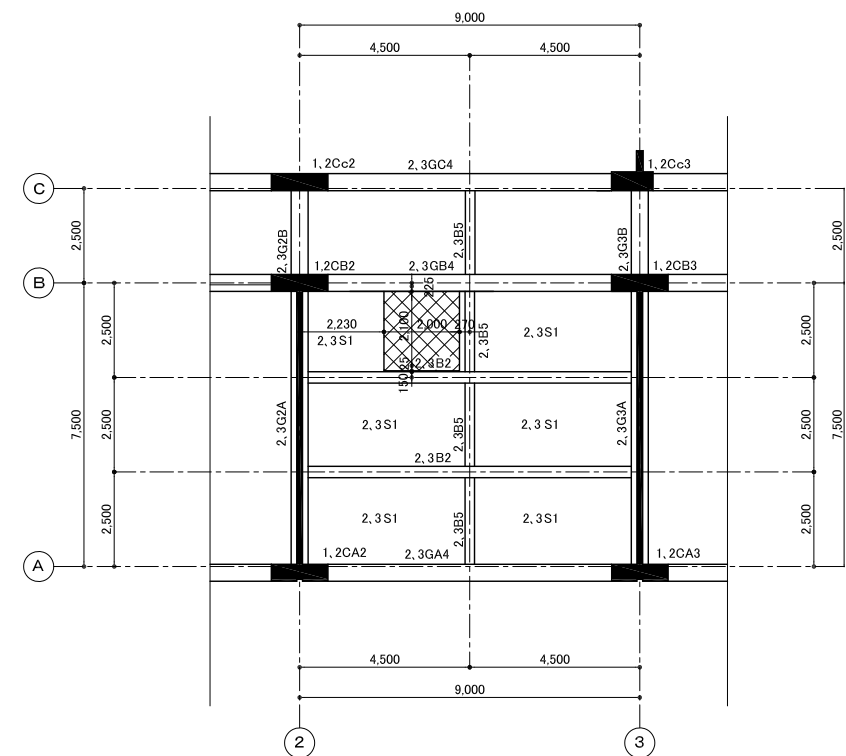
パイプとプレート補強 (片面)

パイプ補強 (小径の場合)

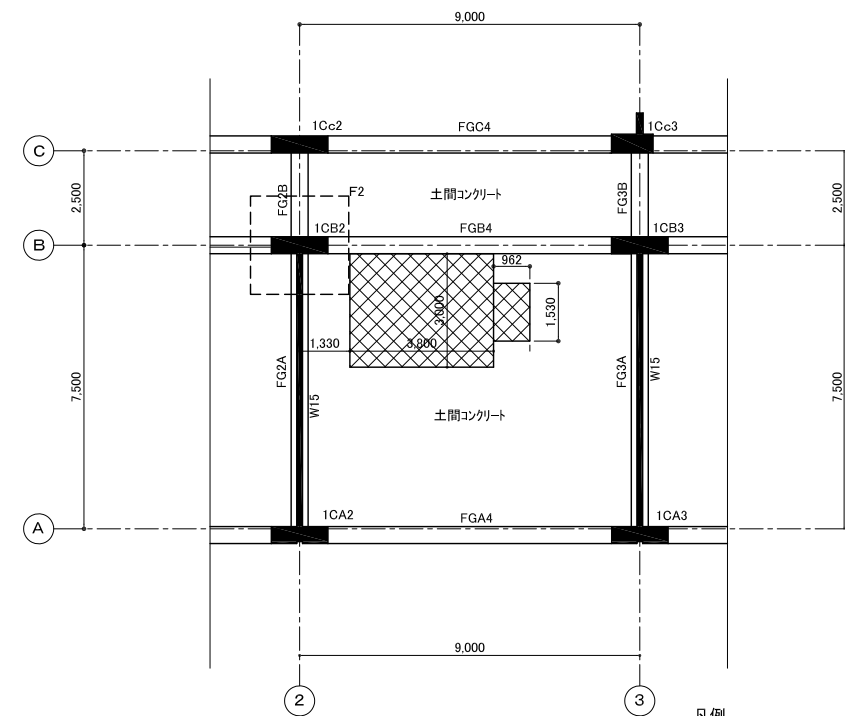
リブプレート補強

スリッ径	補 強 板
φ ≤ 0.15D	補強板不要
φ ≤ D/4	Web板厚以上 (片面)
φ ≤ D/3	Web板厚×1.2倍以上 (片面)
φ ≤ 0.40	Web板厚以上 (両面)





2階、3階、R階梁伏図 S=1/100



1階梁伏図 S=1/100

凡例  
スラブ撤去範囲を示す  
特記事項  
撤去スラブ 四周はコンクリートカーを使用する事。

大 梁 断 面 リ ス ト S=1/30  
特記事項  
1、腹筋は2-9φとする  
2、巾止め筋は9φ@600以内とする

符 号	GA4		GB4		G2A, 3A	
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央
R 階						
B × D	400×800		400×800		350×800	
上 端 筋	2-22φ	6-22φ	2-22φ	6-22φ	2-22φ	1-19φ 2-22φ
下 端 筋	4-22φ	4-22φ	4-22φ	4-22φ	1-19φ 2-22φ	1-19φ 2-22φ
S T P	9φ@200		9φ@200		9φ@200	
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央
3 階						
B × D	400×800		400×800		350×800	
上 端 筋	2-25φ	7-25φ	2-25φ	4-25φ 2-22φ	2-22φ	1-19φ 2-22φ
下 端 筋	4-25φ	2-22φ 2-25φ	2-22φ 2-25φ	2-22φ 2-25φ	1-19φ 2-22φ	1-19φ 2-22φ
S T P	9φ@200		9φ@200		9φ@200	
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央	両 端	中 央
2 階						
B × D	450×800		450×800		350×800	
上 端 筋	2-25φ	7-25φ	2-25φ	8-25φ	2-25φ	1-22φ 2-25φ
下 端 筋	4-25φ	4-25φ	4-25φ	4-25φ	1-22φ 2-25φ	1-22φ 2-25φ
S T P	9φ@200		9φ@200		9φ@200	

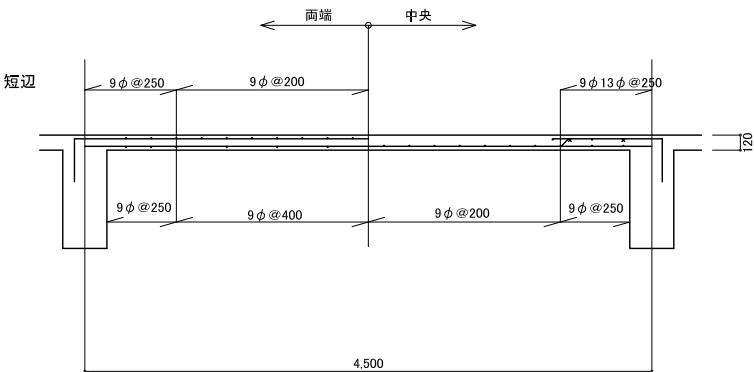
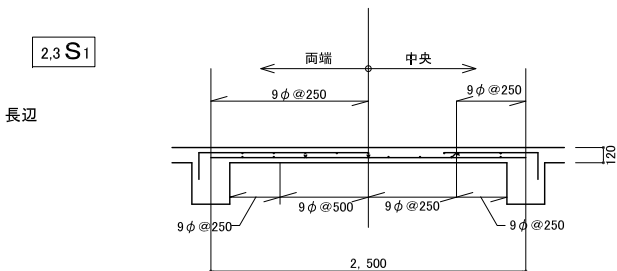
既 存 基 礎 梁 断 面 リ ス ト S=1/30  
特記事項  
腹筋:2-9φ、巾止め筋:9φ@750

符 号	FGA4, B4, C4, 2B, 3B		FG2A, 3A
位 置	両 端	中 央	全断面
断 面			
B × D	450×1, 200		450×1, 200
上 端 筋	4-22φ	6-22φ	4-22φ
下 端 筋	4-22φ	6-22φ	4-22φ
S T P	9φ@250		9φ@250

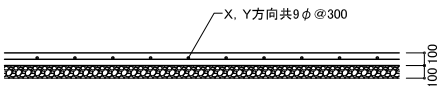
小 梁 断 面 リ ス ト S=1/30  
特記事項  
1、腹筋は2-9φとする  
2、巾止め筋は9φ@750以内とする

符 号	B2		B5	
位 置	両 端	中 央	両 端	中 央
R 階				
B × D	300×700		250×450	
上 端 筋	2-22φ	5-22φ	2-16φ	3-16φ
下 端 筋	1-19φ 2-22φ	1-19φ 2-22φ	3-16φ	2-16φ
S T P	9φ@200		9φ@250	

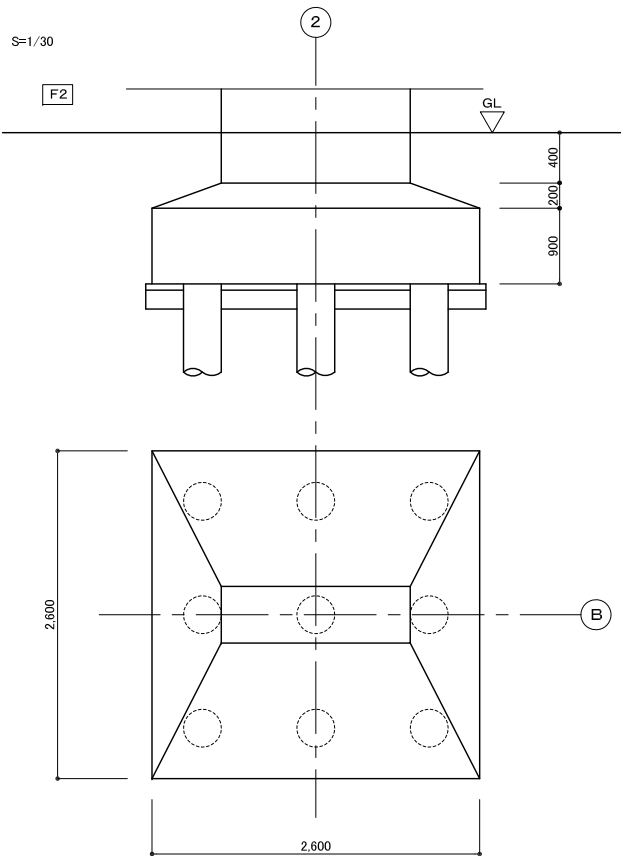
床板配筋図 S=1/30



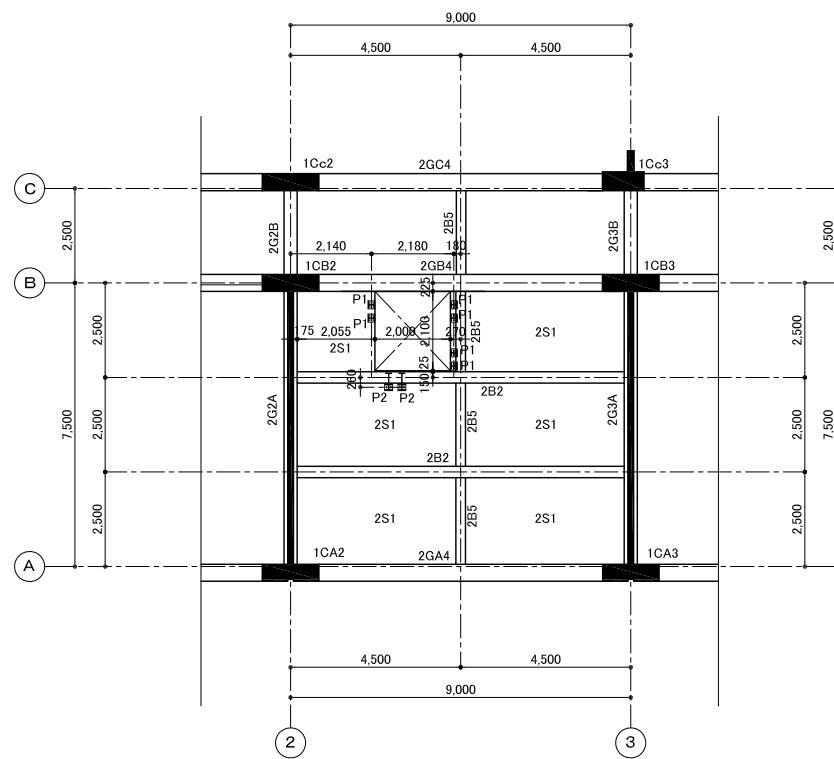
土間コンクリート配筋図 S=1/30



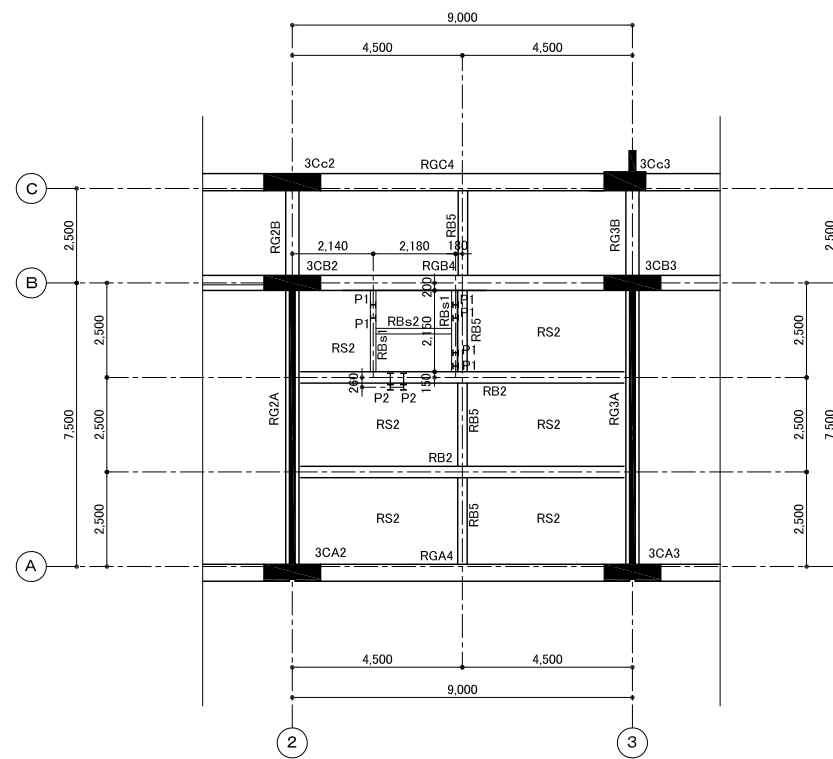
基礎断面表 S=1/30



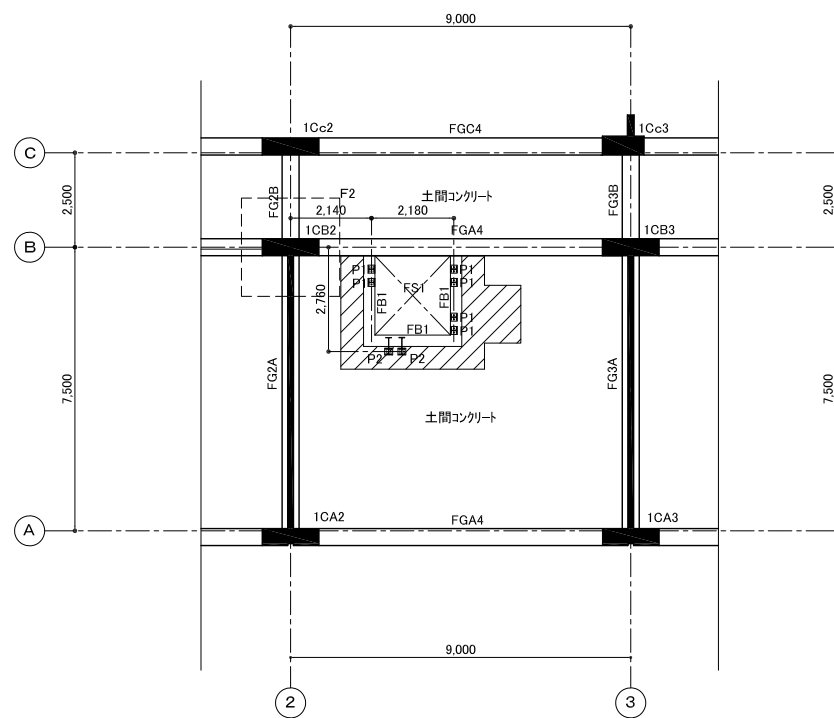




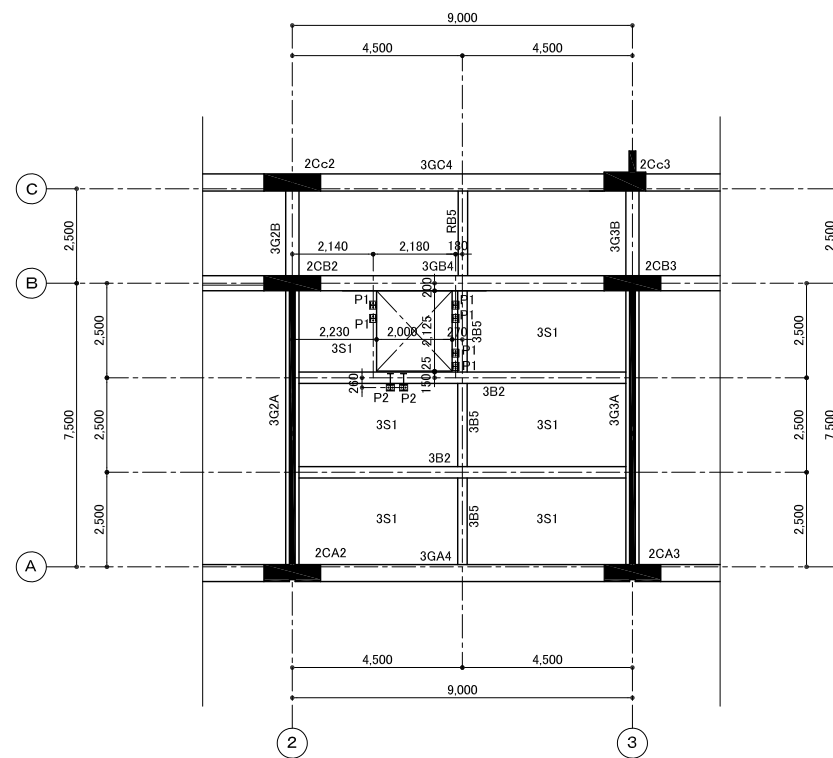
2階梁伏図 S=1/100



R階梁伏図 S=1/100



1階梁伏図 S=1/100



3階梁伏図 S=1/100

凡例



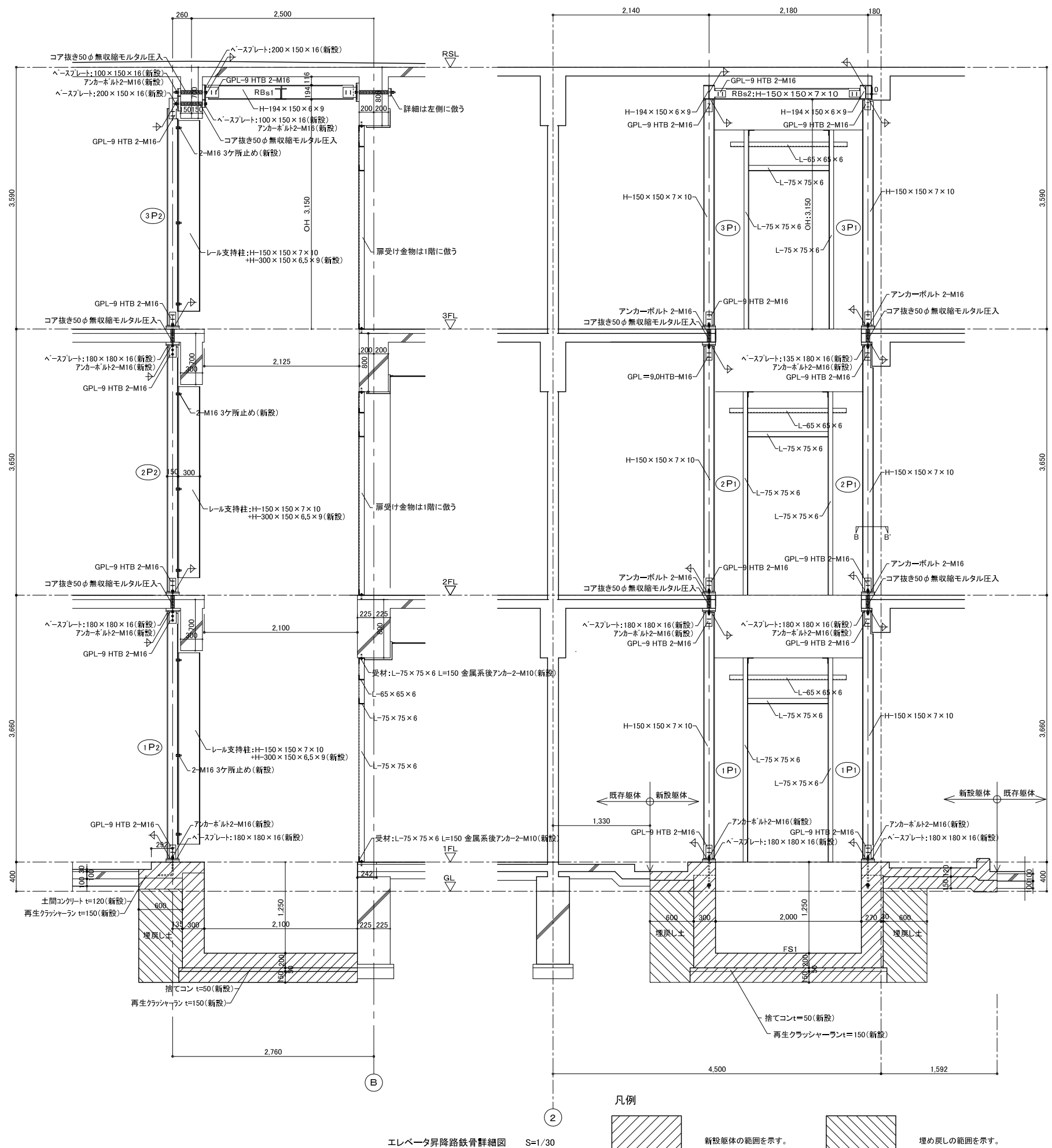
土間コンクリート新設範囲を示す



符 号	部 材
P1	H-150×150×7×10(SS400)
	ベースプレート 180×180×16 (SS400)
	アンカーボルトM16 L=400 (SS400)
P2	H-150×150×7×10+H-300×150×6.5×9 (SS400)
	ベースプレート 180×180×16 (SS400)
	アンカーボルトM16 L=400 (SS400)
BS1	H-194×150×6×9(SS400)
BS2	H-150×150×7×10(SS400)

- 1、腹筋はD10とする
- 2、巾止め筋はD10@600以内とする

	新 設
符 号	F B1
位 置	全断面
断 面	
B × D	300 × 1,300
上 端 筋	3-D19
下 端 筋	3-D19
S T P	D10@150





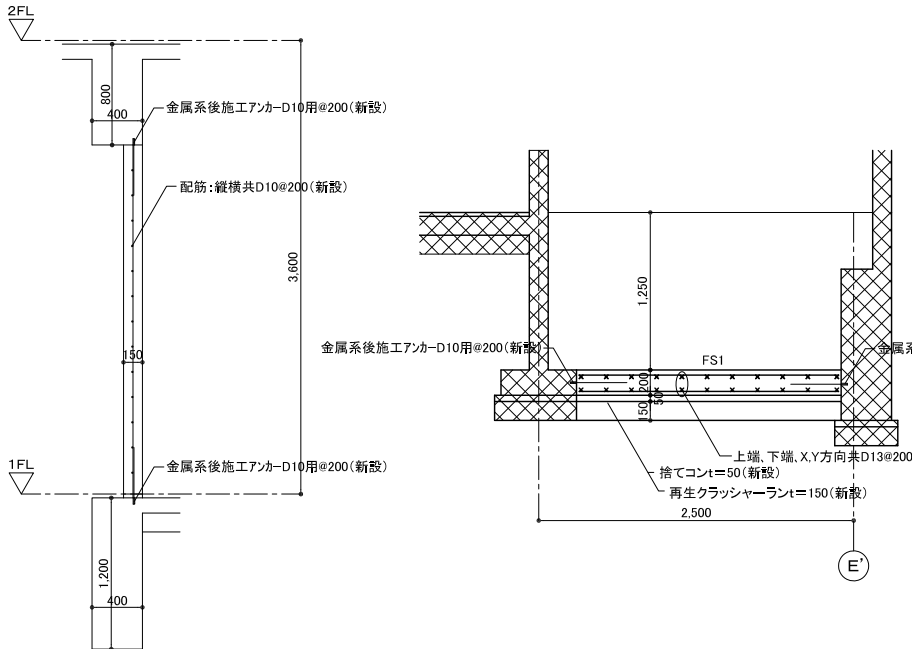




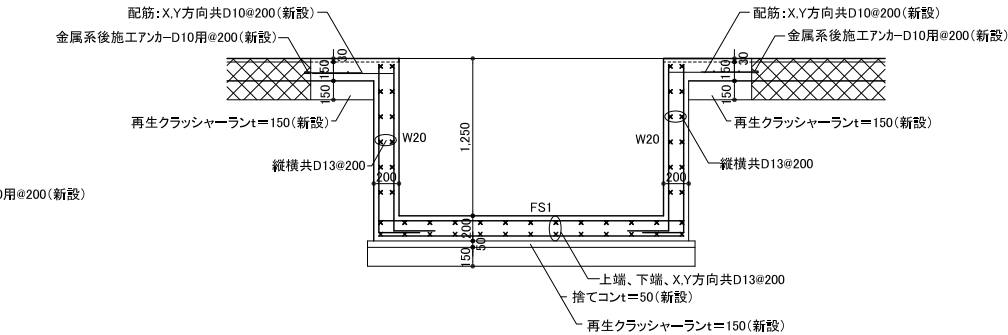
新設鉄骨リスト

符 号	部 材
P1	H-150×150×7×10(SS400)
	ベースプレート 210×210×16 (SS400)
	アンカーボルトM16 L=400 (SS400) 定着版50×50×9付き
Bs1	H-194×150×6×9(SS400)
Bs2	H-150×150×7×10(SS400)

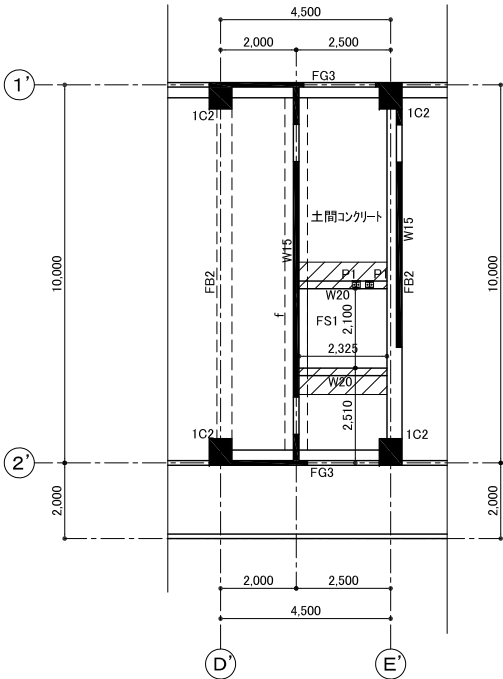
コンクリートの圧縮強度 FC=24N/mm2



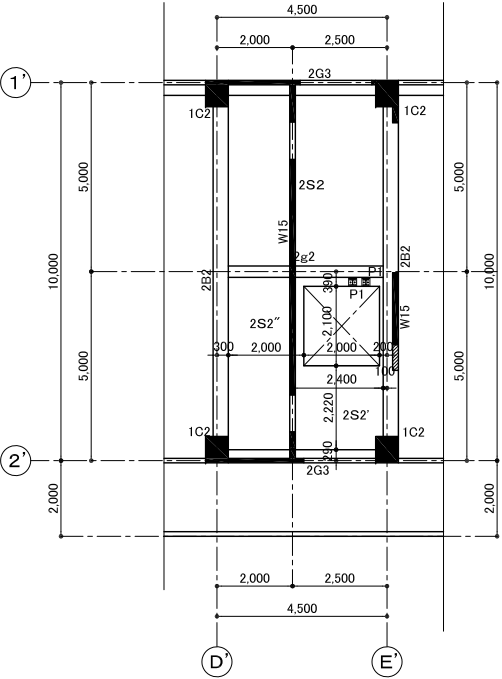
新設壁W15断面配筋図 S=1/30



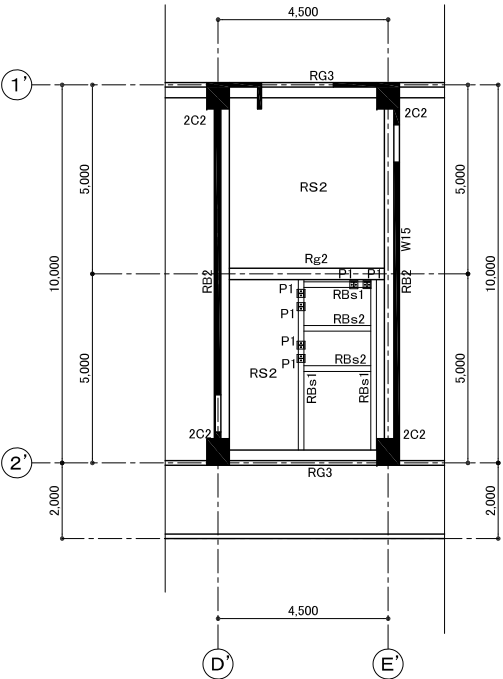
エレベータピット W20、FS1、土間コンクリート配筋図 S=1/30



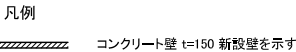
1階 改修梁伏図 S=1/100



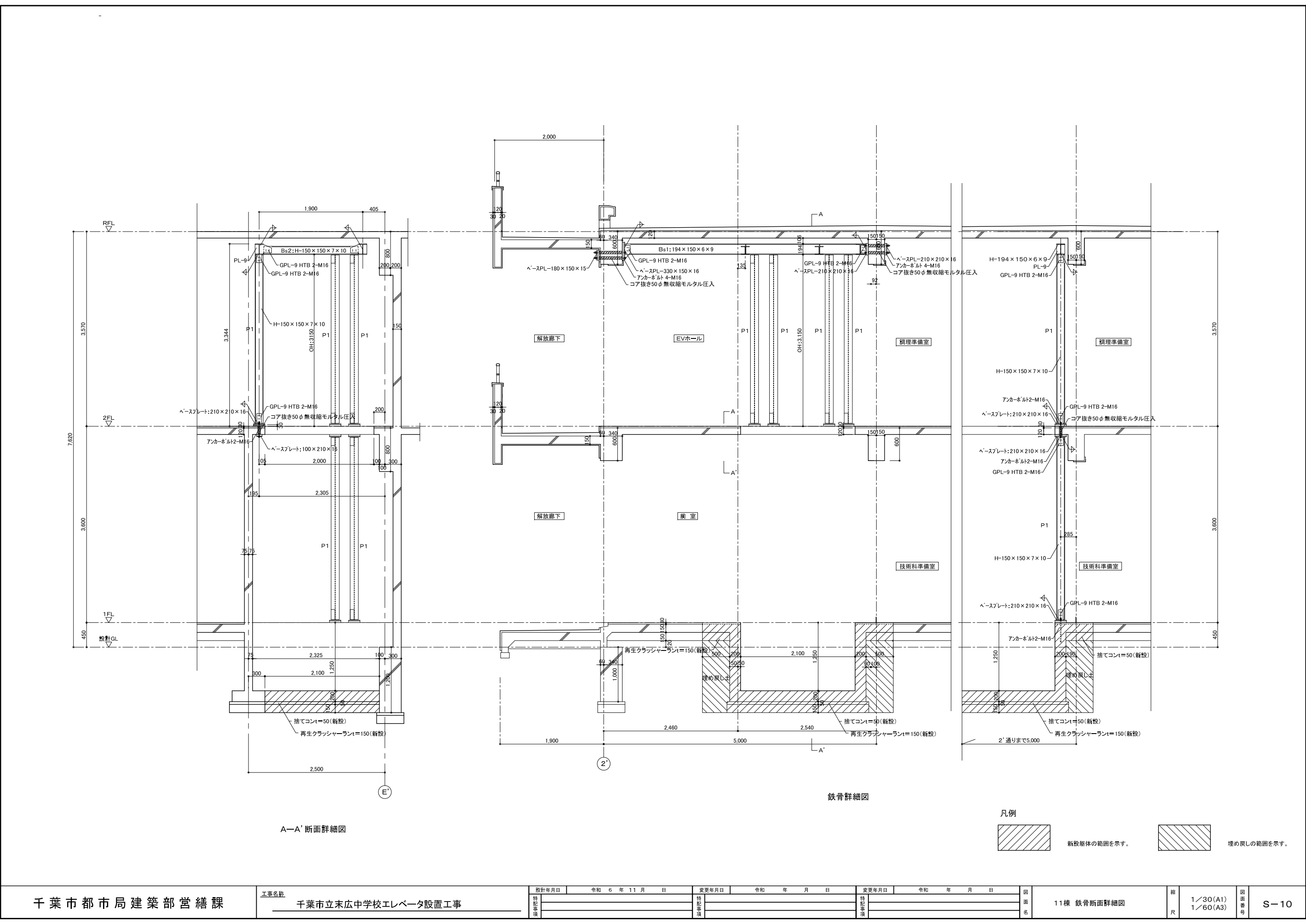
2階 改修梁伏図 S=1/100



R階 改修梁伏図 S=1/100







A-A' 断面詳細図

鉄骨詳細図

凡例

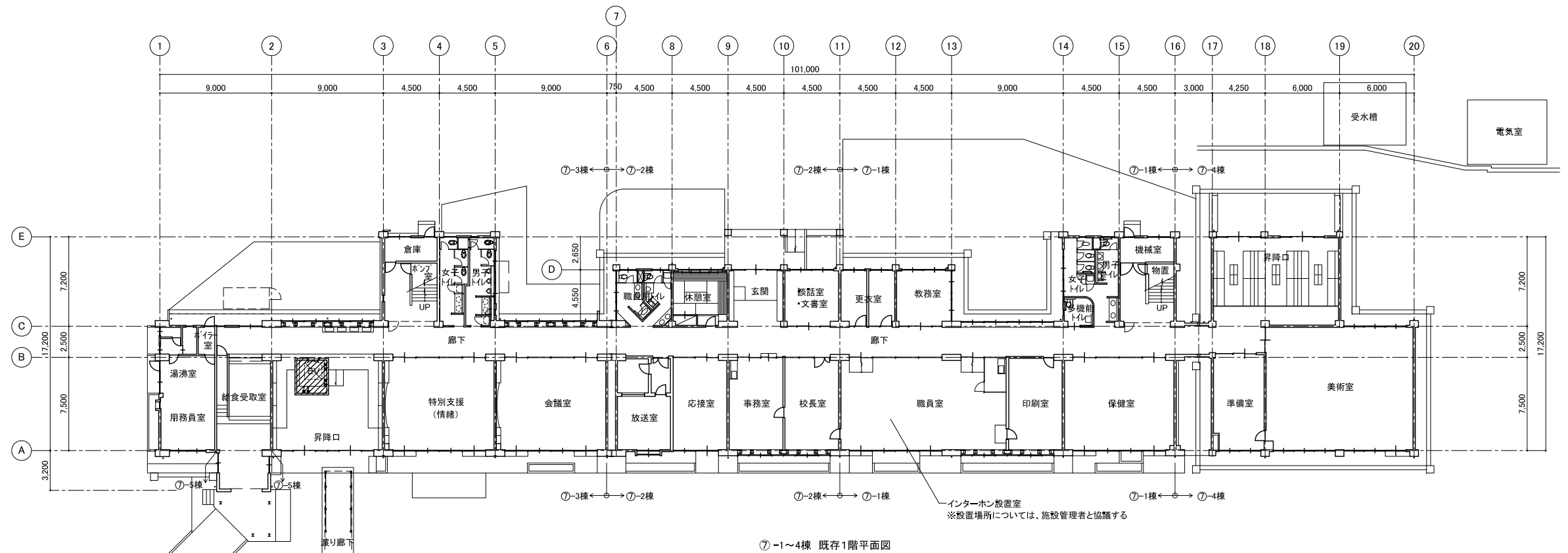


新設躯体の範囲を示す。

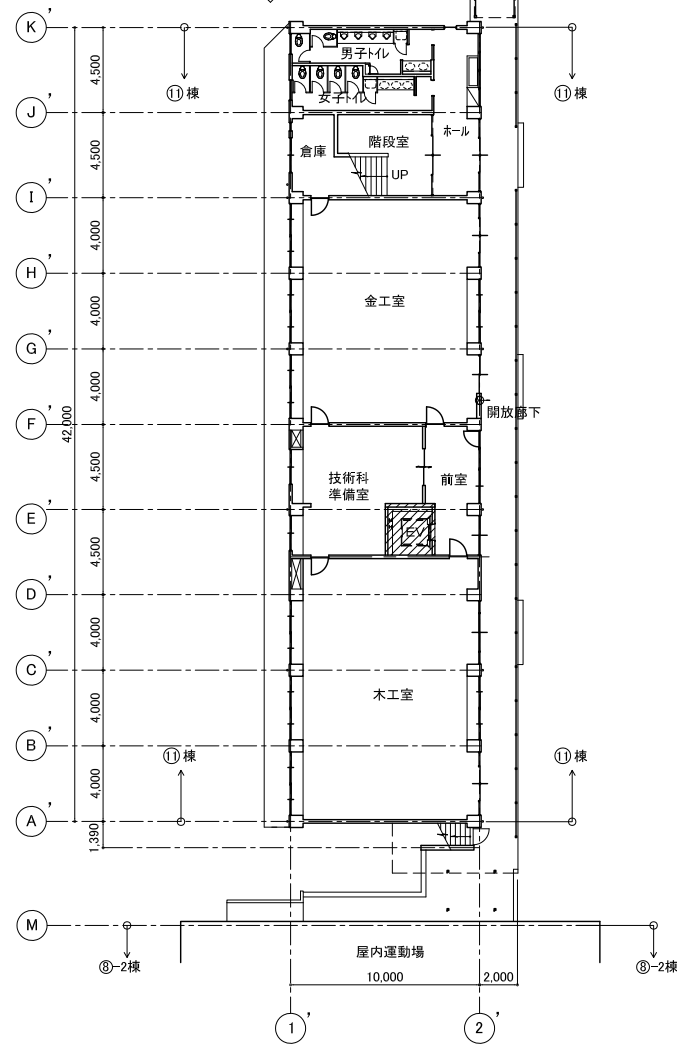


埋め戻しの範囲を示す。





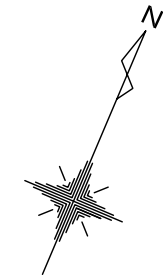
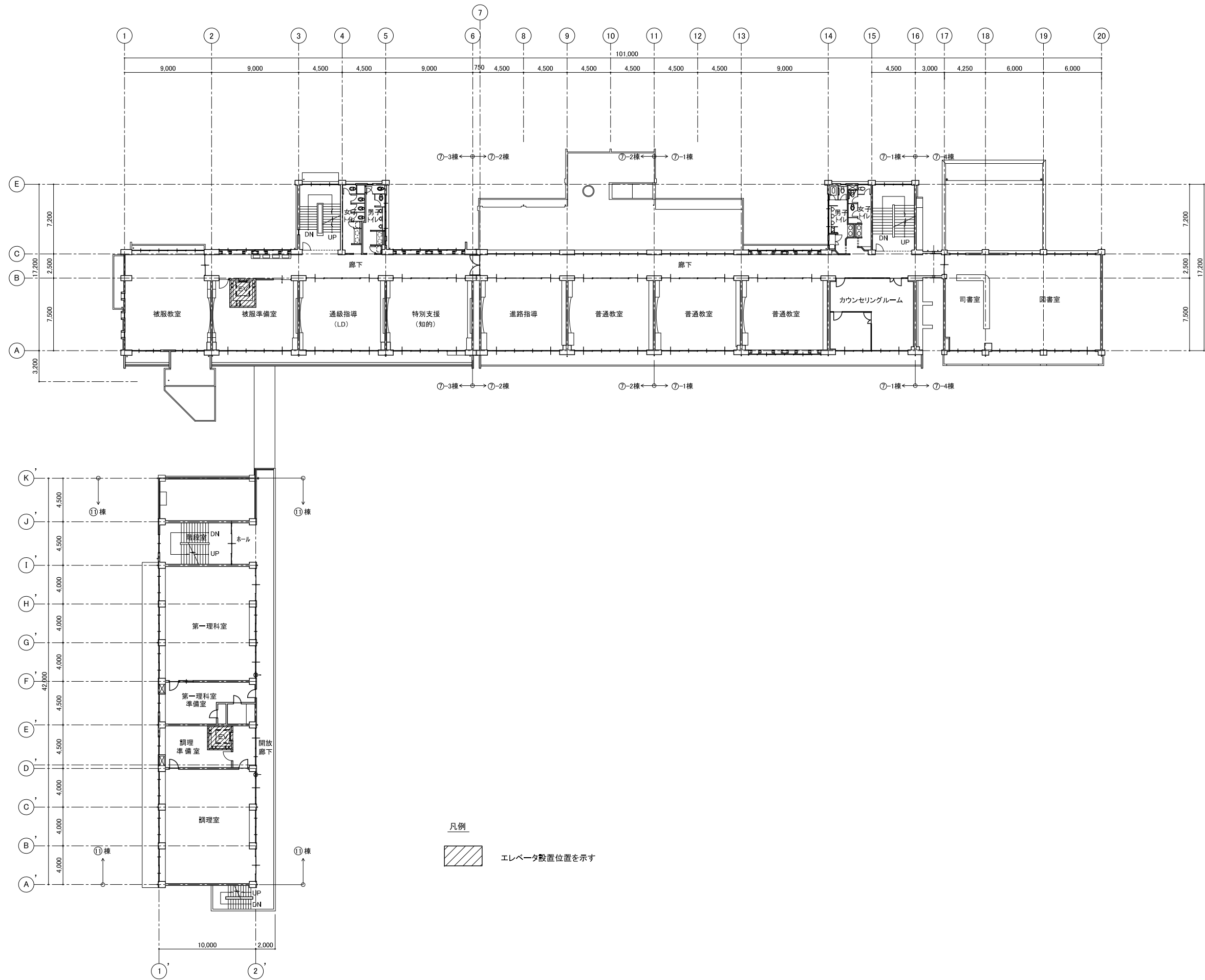
⑦-1～4棟 既存1階平面図



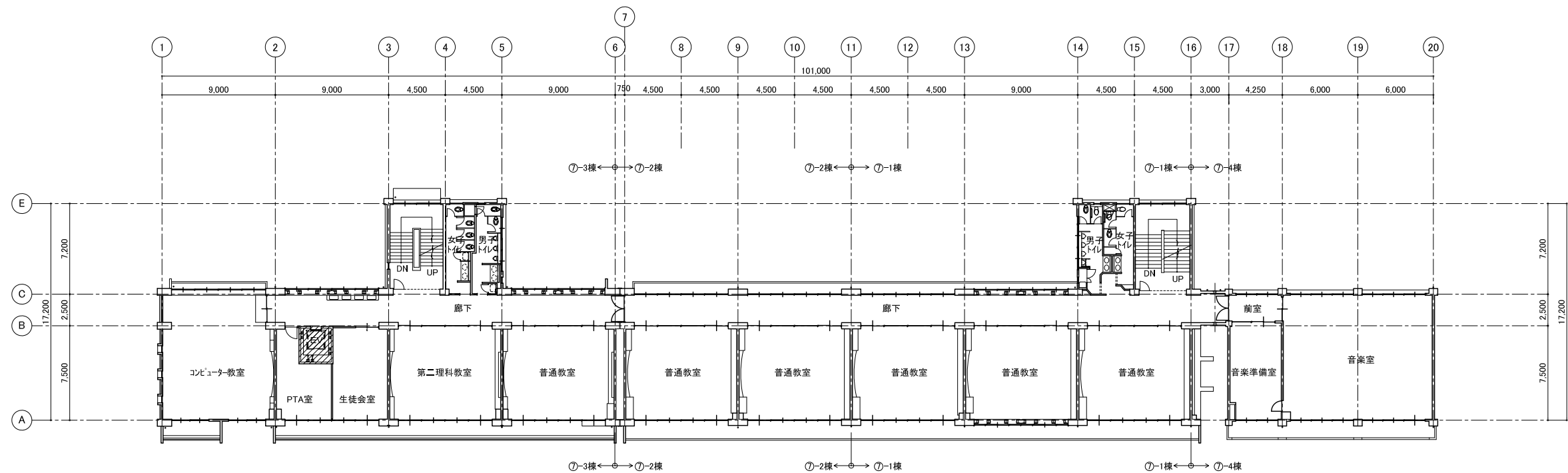
⑪棟 既存1階平面図

凡例  
エレベータ設置位置を示す




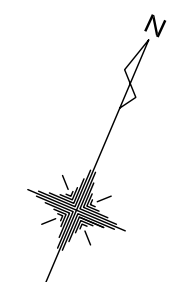




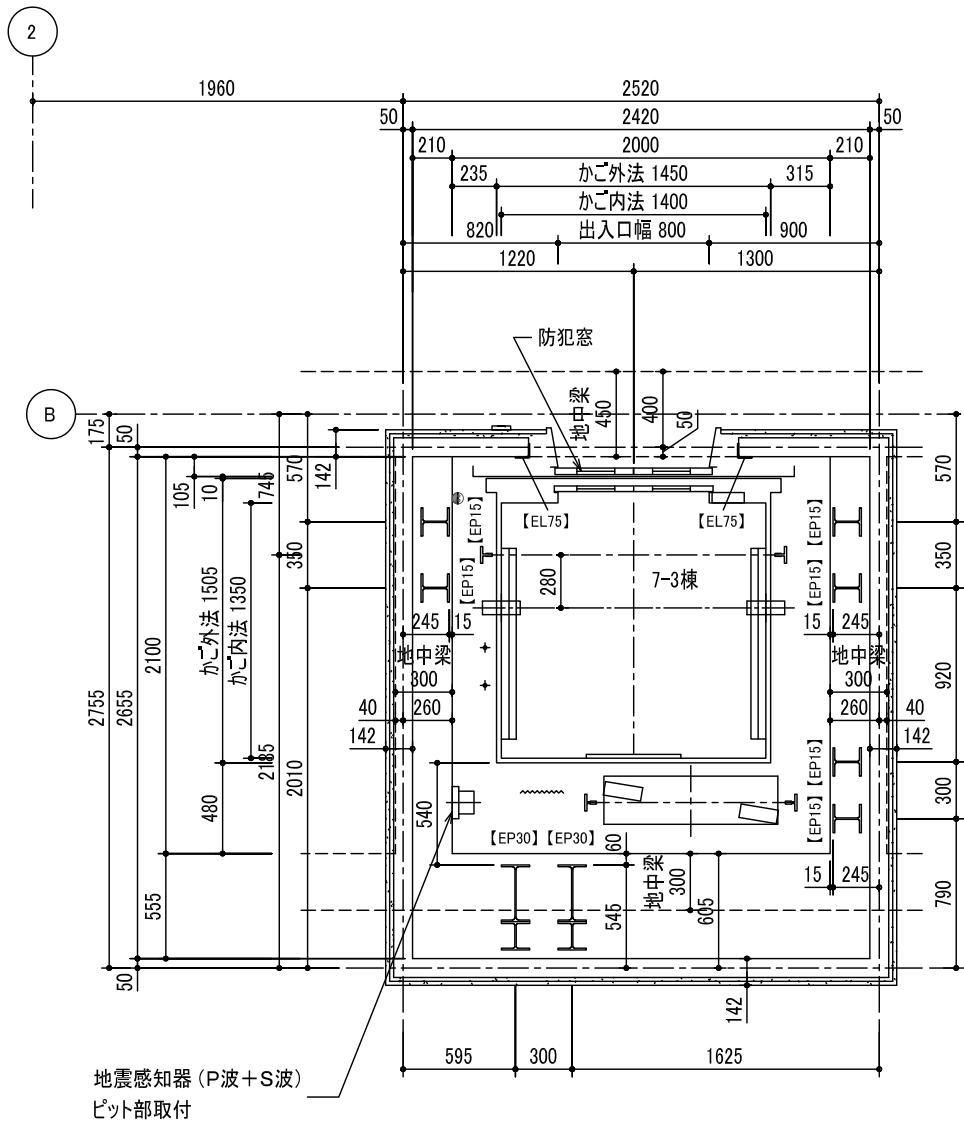


凡例

 エレベータ設置位置を示す







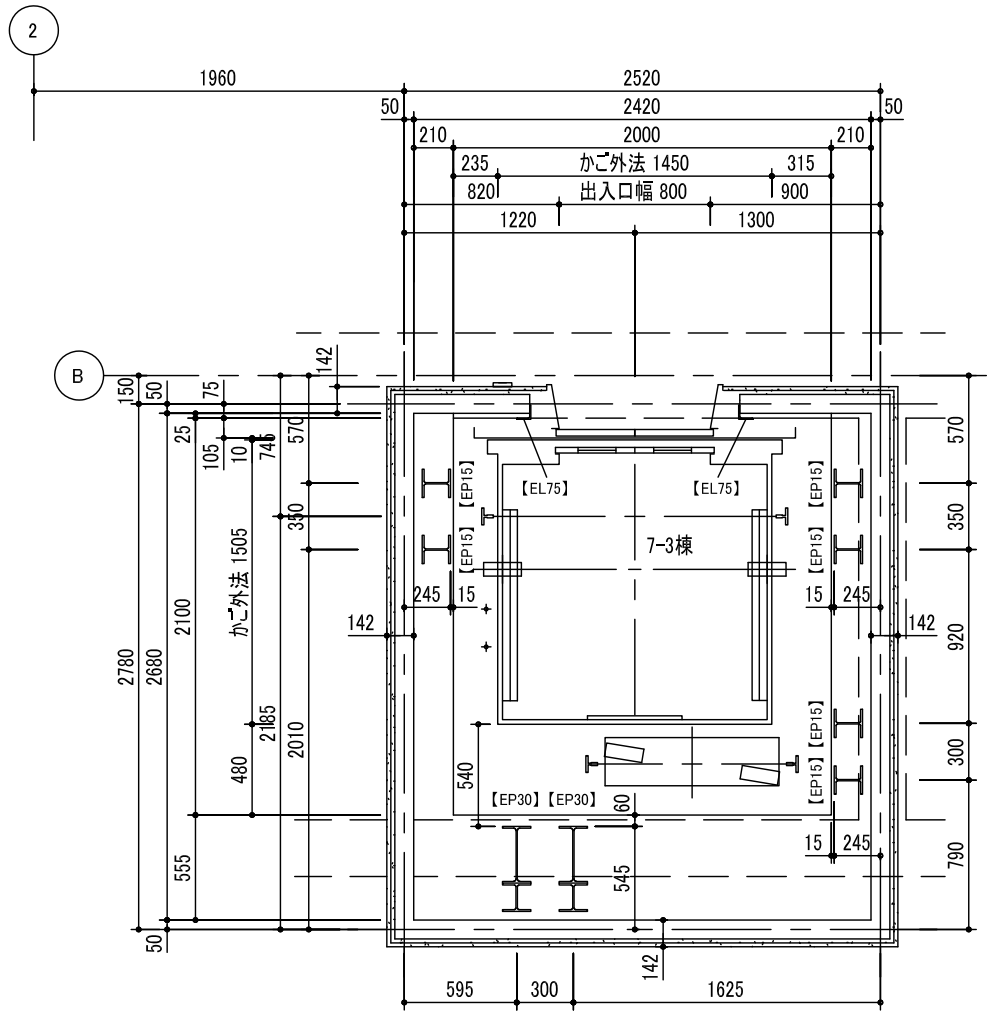
1階昇降路平面図

●	ビット点検用コンセント	(電気工事)
〰	T. C保護金網	(エレベーター工事)

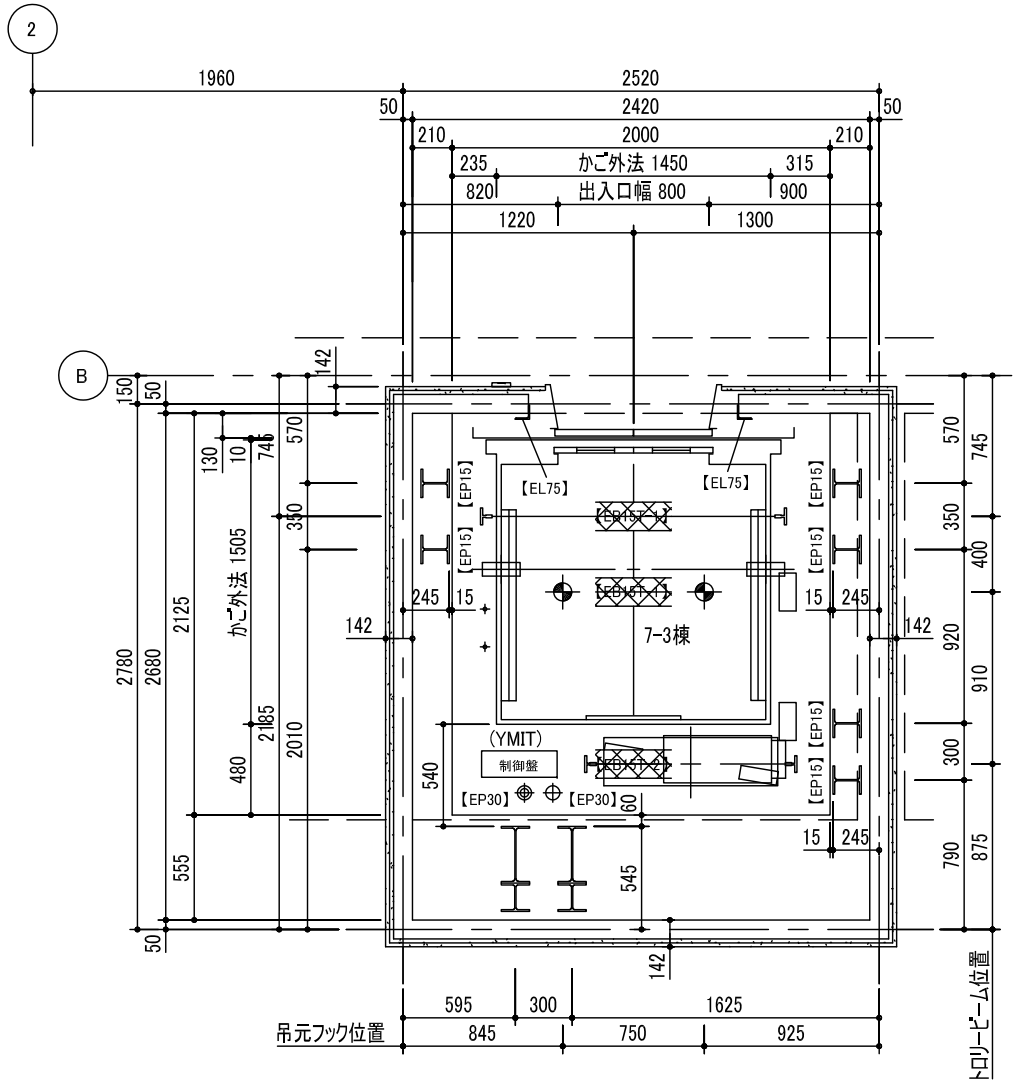
鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP30	レール支持柱	H-300x150x6.5x9
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EB15T-2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10

エレベーター仕様		
基本仕様	用途(形式)	乗用(車いす用) 機械室レス型
	積載量(定員)	750kg (11人)
	速度	45m/min
	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式
	操作方式	乗合全自動方式
	停止ヶ所・出入口方向	(1~3F) 3ヶ所 1方向
	かご内法(WxDxH)	1400mmX1350mmX2300mm
	出入口寸法(WxH)	800mmX2100mm
	ドア方式	2枚戸中央開き(電動式)
	電動機出力	AC-3.8kW (参考)
乗場仕様	電源	動力 三相3線 200V 50Hz
		照明 単相 100V 50Hz
	三方枠	全階 大枠・全傾斜 ステンレス製ヘアライン仕上
	幕板	全階 無し
	扉	全階 鋼板製単色塗装仕上
心仕様	防犯窓	2.3階 無し
		1階 有り 段差無し(納入ガラス)(JEAS-B006準拠)
	敷居	全階 硬質アルミ製またはステンレス製
	ボタン・インジケータ	メーカー標準仕様とする
	天井	メーカー標準仕様とする
	天井照明・停電灯	LED照明
	幕板	化粧鋼板
	側板	化粧鋼板
	巾木	ステンレス製
	扉	化粧鋼板
特記仕様	床	メーカー標準仕様とする
	敷居	硬質アルミ製またはステンレス製
	換気装置	メーカー標準仕様とする
	操作盤・インジケーター	メーカー標準仕様とする
	遮煙エレベータ乗り場ドア(全階)	
	地震時管制運転 (P波+S波感知器、リスタート機能付)	
	停電時自動着床装置	
	火災時管制運転	
	冠水時管制運転(ビット冠水時指定階)	
	雷サージ対策	
車椅子仕様	高調波対策 (ラジオノイズ等)	
	車椅子・視覚障害者用一体型注意銘板(全階)	
	音声合成オートアナウンス	
	非常放送用スピーカー (消防適合品)	
	かご内連絡装置(同時通話インターホン)	
	視覚障害者用仕様(点字・自動放送装置)	
	パーキングスイッチ	
	キックプレート(t=1.5mm、H=300mm、ステンレス製ヘアライン仕上)	
	外部インターホン(1階職員室)	
	遠隔監視用インターフェース	
特記事項	戸開走行保護装置	
	公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版準拠	
	耐震クラス A14	
	乗り過ぎ検出(警報ブザー及び音声案内)	
	千葉県福祉のまちづくり条例、バリアフリー新法の準拠	
	乗り場	車椅子専用乗り場ボタン
	かご内室	車椅子専用かご主副操作盤
		背面ミラー(ステンレス製)
		手摺(両側面取り付け)
	セーフティ機能	戸開放時間の延長
		光電式多光軸ドアセンサー
	建築側で用意する間柱P1(H-150×150×7×10)8ヶ所及び トロリービーム(H-150×150×7×10)1カ所を基本数量とし、 その本数以上必要の場合はエレベータ設備工事とする。	





2階昇降路平面図



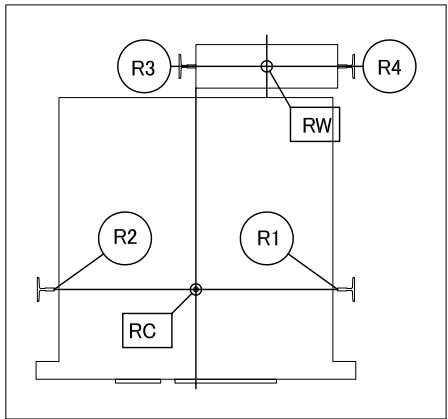
3階昇降路平面図

例

⊕ 電源引込み(受電盤への接続) ・動力・照明、接地線 最上停止階FLー 1350 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)
⊕ 配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階FLー 650 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP30	レール支持柱	H-300x150x6.5x9
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EB15T-2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10





ピット部反力(kN):長期荷重

R1	R2	R3	R4
46	44	77	39

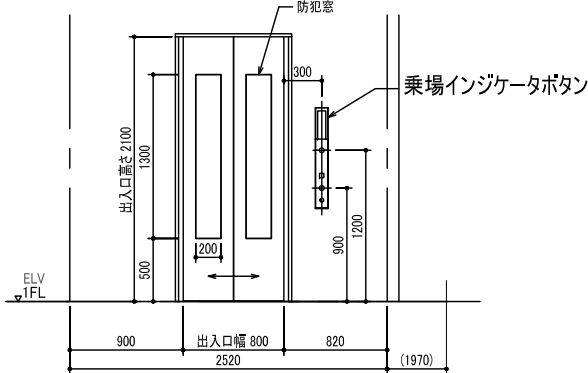
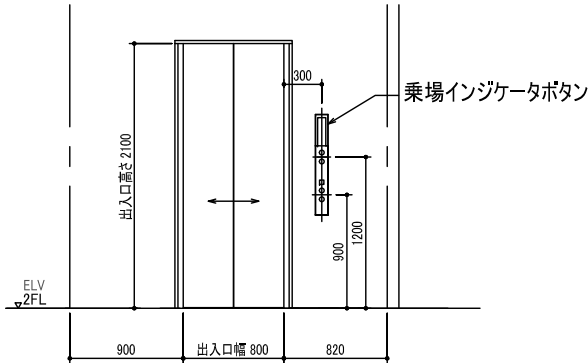
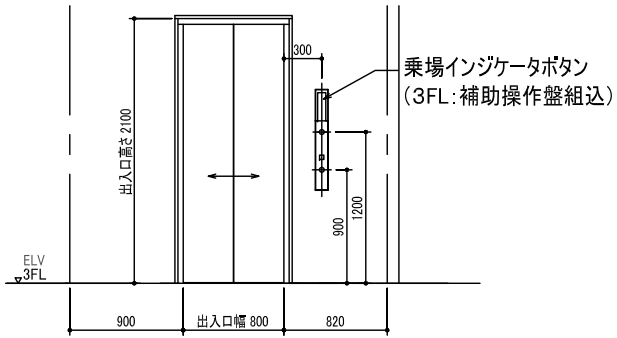
ピット床衝撃力(kN):短期荷重

RC	RW
81	70

レールに作用する荷重値(kN)

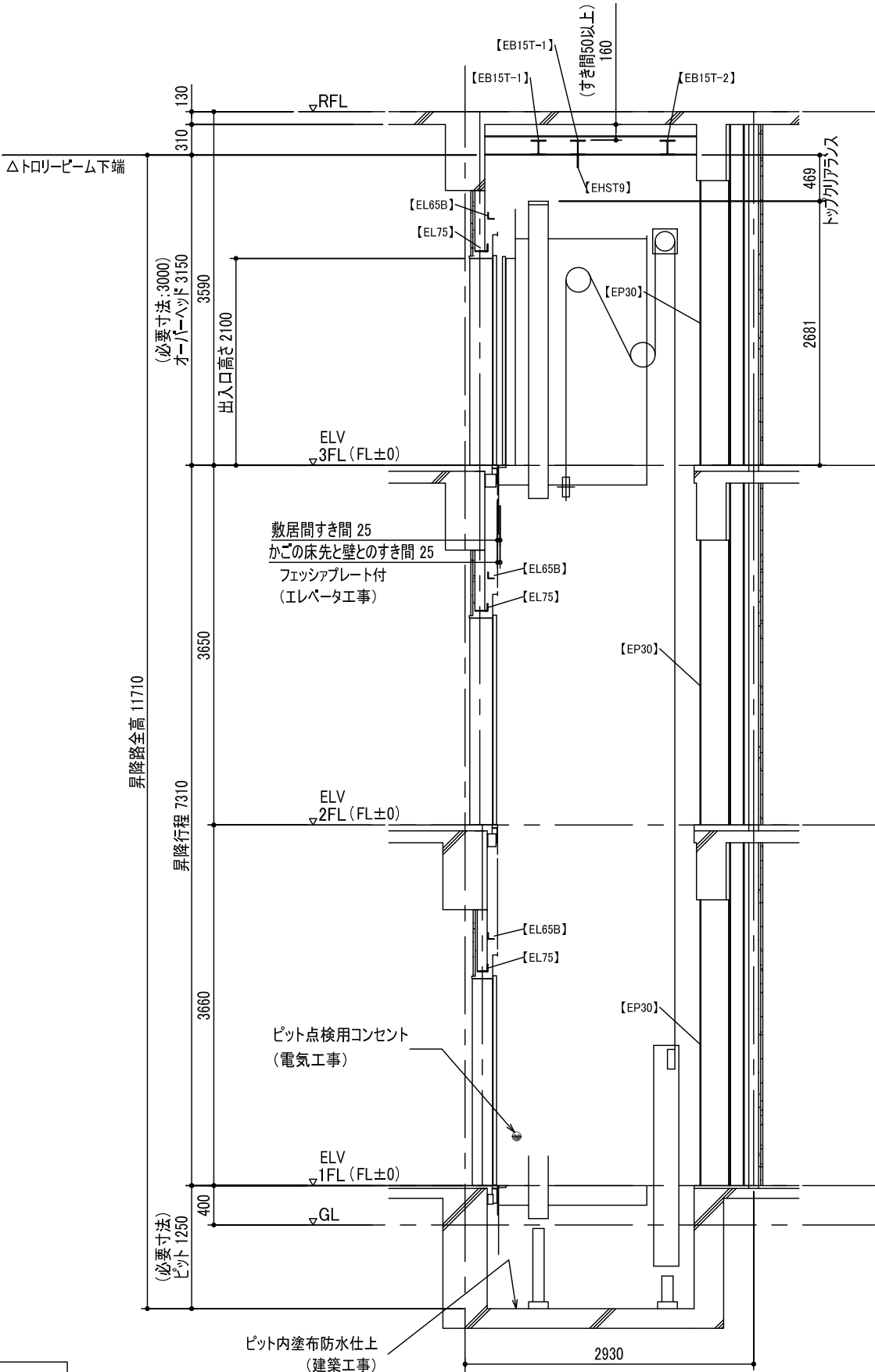
Py		Px	Py
	かご	6.3	4.0
	おもり	10.9	7.4

短期荷重による建築部材のたわみは  
5mm以下とする



出入口正面図

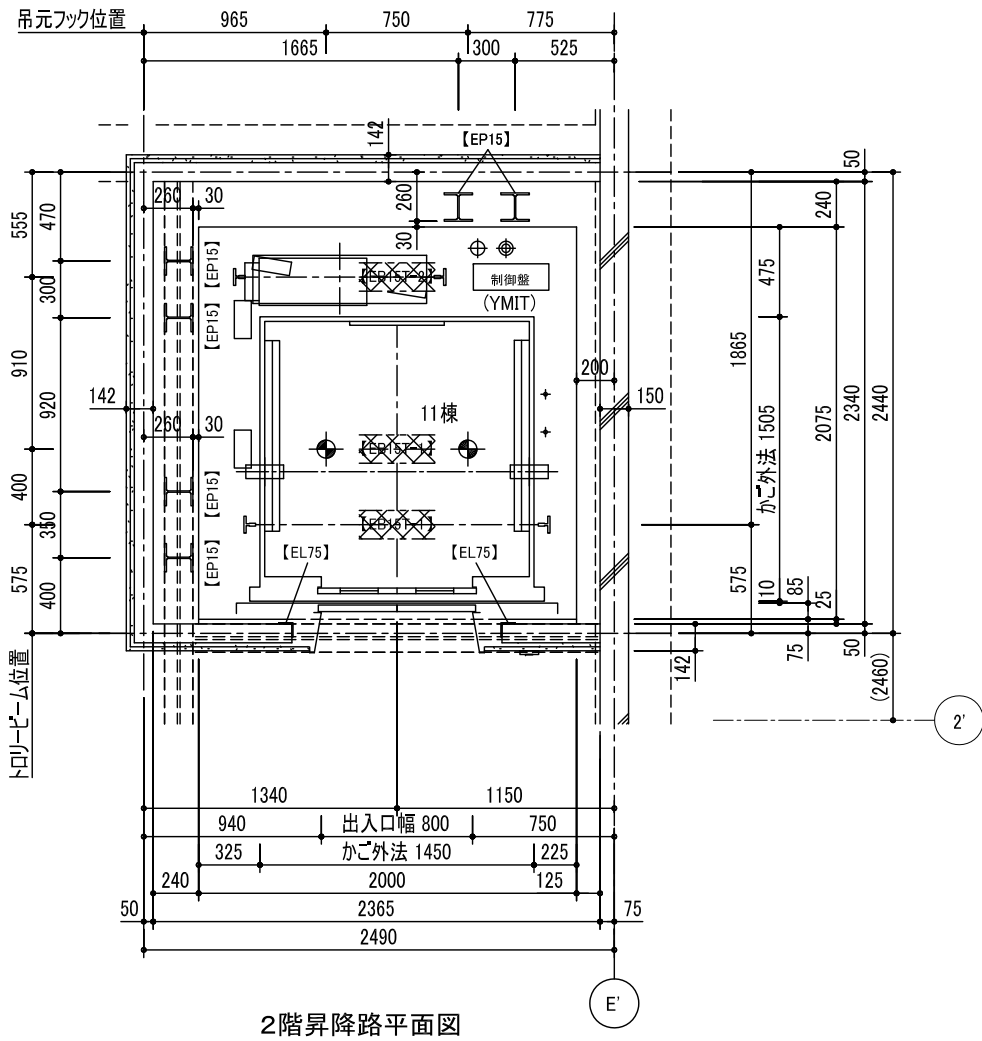
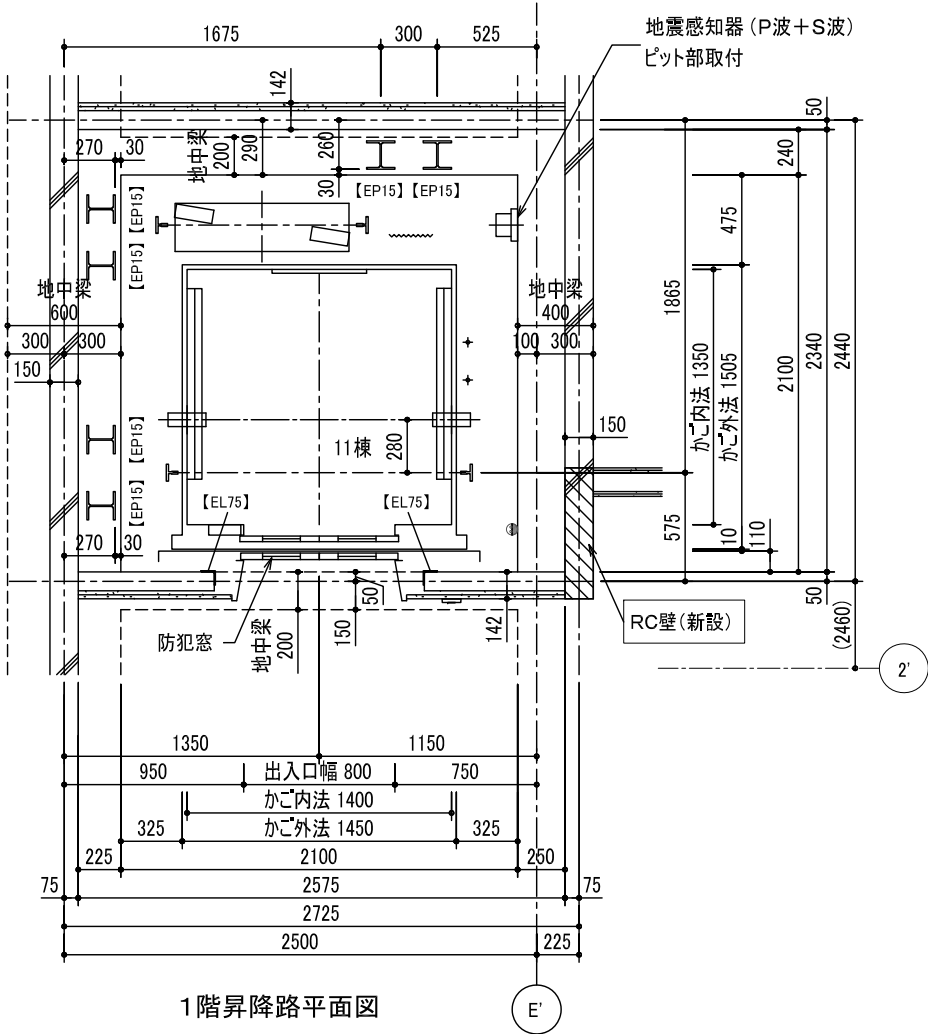
鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP30	レール支持柱	H-300x150x6.5x9
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EB15T-2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10



※点検用タラップはピットに保管

昇降路縦断面図





凡例

⌘	電源引込み(受電盤への接続) ・動力・照明、接地線 最上停止階FLー 1350 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)
⌘	配線引込み ・インターホン配線、電話線 最上停止階FLー 650 mm 引出長さ 3 m	(電気工事)

●	ビット点検用コンセント	(電気工事)
〰	T. C保護金網	(エレベーター工事)

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP30	レール支持柱	H-300x150x6.5x9
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EB15T-2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10

エレベーター仕様		
基本仕様	用途(形式)	乗用(車いす用) 機械室レス型
	積載量(定員)	750kg (11人)
	速度	45m/min
	制御方式	可変電圧可変周波数制御方式
	操作方式	乗合全自動方式
	停止ヶ所・出入口方向	(1~2F) 2ヶ所 1方向
	かご内法(WxDxH)	1400mmX1350mmX2300mm
	出入口寸法(WxH)	800mmX2100mm
	ドア方式	2枚戸中央開き(電動式)
	電動機出力	AC-3. 8kW (参考)
	電源	動力 三相3線 200V 50Hz
	照明	単相 100V 50Hz
乗場仕様	三方枠	全階 大枠・全傾斜 ステンレス製ヘアライン仕上
	幕板	全階 無し
	扉	全階 銅板製単色塗装仕上
	防犯窓	2階 無し
		1階 有り 段差無し(網入ガラス)(JEAS-B006準拠)
	敷居	全階 硬質アルミ製またはステンレス製
	ボタン・インジケータ	メーカー標準仕様とする
	天井	メーカー標準仕様とする
	天井照明・停電灯	LED照明
	幕板	化粧鋼板
かご仕様	側板	化粧鋼板
	巾木	ステンレス製
	扉	化粧鋼板
	床	メーカー標準仕様とする
	敷居	硬質アルミ製またはステンレス製
	換気装置	メーカー標準仕様とする
	操作盤・インジケータ	メーカー標準仕様とする
特記仕様	遮煙エレベータ乗り場ドア(全階)	
	地震時管制運転 (P波+S波感知器、リスタート機能付)	
	停電時自動着床装置	
	火災時管制運転	
	冠水時管制運転(ビット冠水時指定階)	
	雷サージ対策	
	高周波対策 (ラジオノイズ等)	
	車椅子・視覚障害者用一体型注意銘板(全階)	
	音声合成オートアナウンス	
	非常放送用スピーカー (消防適合品)	
車椅子仕様	かご内連絡装置(同時通話インターホン)	
	視覚障害者用仕様(点字・自動放送装置)	
	パーキングスイッチ	
	キックプレート (t=1.5mm、H=300mm、ステンレス製ヘアライン仕上)	
	外部インターホン(1階職員室)	
	遠隔監視用インターフェース	
	戸開走行保護装置	
	公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和4年版準拠	
	耐震クラス A14	
	乗り過ぎ検出(警報ブザー及び音声案内)	
特記事項	千葉県福祉のまちづくり条例、バリアフリー新法の準拠	
	乗り場	車椅子専用乗り場ボタン
	かご内室	車椅子専用かご主副操作盤
		背面ミラー(ステンレス製)
	セーフティ機能	手摺(両側面取り付け)
		戸開放時間の延長
		光電式多光軸ドアセンサー
	建築側で用意する間柱P1(H=150×150×7×10)8ヶ所及びトロリービーム(H=150×150×7×10)1カ所を基本数量とし、その本数以上必要の場合はエレベータ設備工事とする。	

千葉市都市局建築部営繕課

工事名称  
千葉市立末広中学校エレベータ設置工事

設計年月日  
令和 6 年 11 月 日

変更年月日  
令和 年 月 日

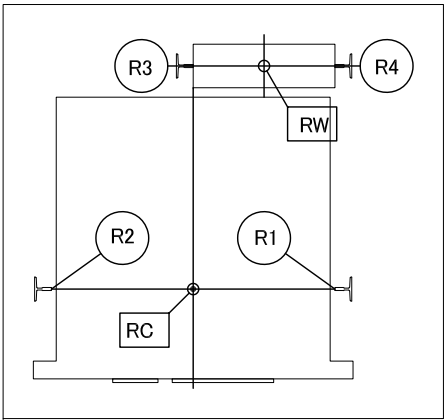
変更年月日  
令和 年 月 日

図  
面  
名  
11棟  
1階、2階昇降路平面図(参考図)  
エレベータ仕様

縮  
尺  
1/20(A1)  
1/40(A3)

図  
面  
番  
号  
EV-07





ピット部反力(kN):長期荷重

R1	R2	R3	R4
46	44	77	39

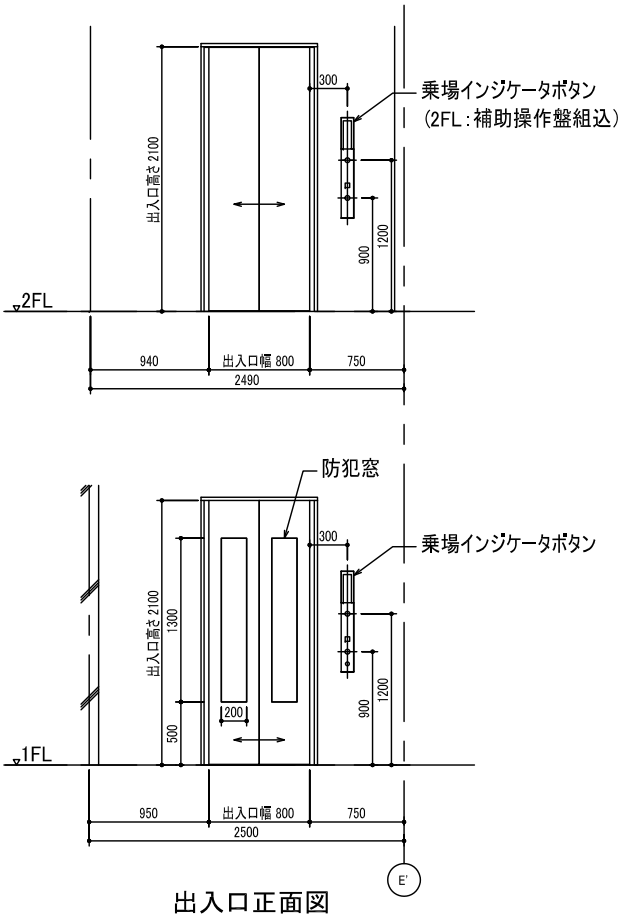
ピット床衝撃力(kN):短期荷重

RC	RW
81	70

レールに作用する荷重値(kN)

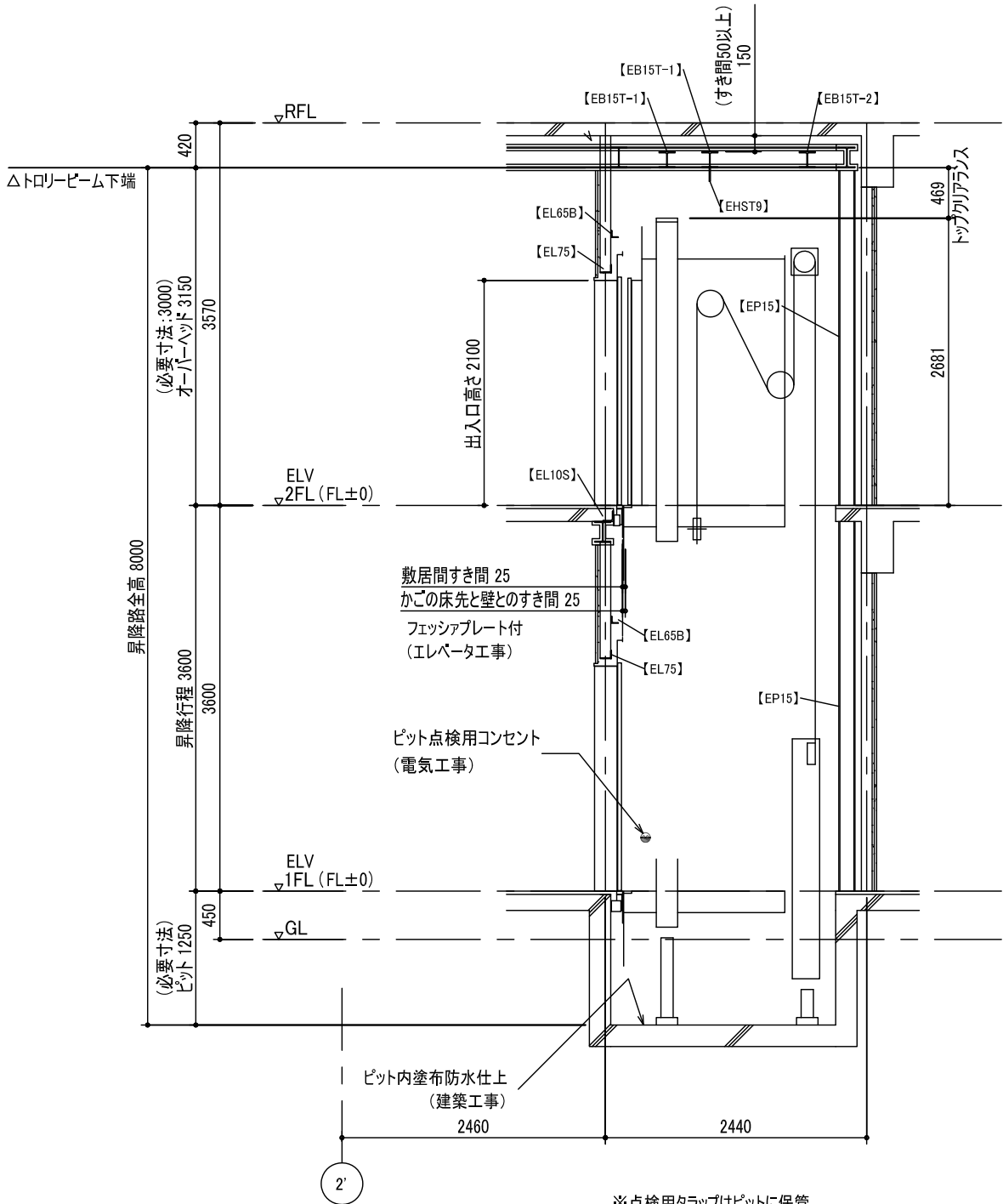
Py		Px	Py
	かご	6.3	4.0
	おもり	10.9	7.4

短期荷重による建築部材のたわみは  
5mm以下とする



出入口正面図

鉄骨部材記号表 (建築工事)		
部材記号	部材用途	部材サイズ
EP30	レール支持柱	H-300x150x6.5x9
EP15	レール支持柱	H-150x150x7x10
EL75	三方枠取付材	L-75x75x6
EL65B	バックアングル取付材	L-65x65x6
EB15T-2	トロリービーム(荷重9.8kN)	H-150x150x7x10
EB15T-1	トロリービーム(荷重19.6kN)	H-150x150x7x10

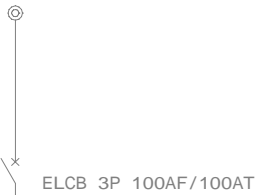


昇降路縦断面図



1 L - 1

1 3W 100 / 200 V



回路番号	分岐開閉器	負荷名称	負荷容量 (VA)
①	MCCB 2P 50AF/20AT	会議室・PTA室照明	
②	MCCB 2P 50AF/20AT	廊下・トイレ照明	
③	MCCB 2P 50AF/20AT	階段照明	
④	MCCB 2P 50AF/20AT	用務員室照明	
⑤	MCCB 2P 50AF/20AT	会議室・PTA室コンセント	
⑥	MCCB 2P 50AF/20AT		
⑦	MCCB 2P 50AF/20AT		
⑧	MCCB 2P 50AF/20AT		
⑨	MCCB 2P 50AF/20AT	温水器	
⑩	MCCB 2P 50AF/20AT	保温機	
⑪	MCCB 2P 50AF/20AT	トイレコンセント	
⑫	MCCB 2P 50AF/20AT	給食室エアコン	

予備スペースに MCCB 2P 50AF/20AT 取付

⑬	MCCB 2P 50AF/20AT	E V照明・点検用コンセント
---	-------------------	----------------

今回増設

1 L - 4

1 3W 100 / 200 V



負荷容量 (VA)	負荷名称	分岐開閉器	回路番号
	4 L - 1 - 2	MCCB 3P100AF/100AT	①

回路番号	分岐開閉器	負荷名称	負荷容量 (VA)
	MCCB 3P100AF/100AT	4 L - 2 - 1	
②	MCCB 3P100AF/100AT	4 L - 1 - 3	

	木工室前室準備室	MCCB 2P 50AF/20AT	①
	廊下階段室トイレ	MCCB 2P 50AF/20AT	③
	各室ファン	MCCB 2P 50AF/20AT	⑤
	トイレコンセント	MCCB 2P 50AF/20AT	⑦
	予 備	MCCB 2P 50AF/20AT	⑨

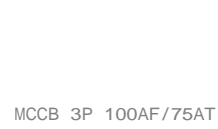
②	MCCB 2P 50AF/20AT	金工室準備室	
④	MCCB 2P 50AF/20AT	2 階階段室廊下	
⑥	MCCB 2P 50AF/20AT	T V 収納箱	
⑧	MCCB 2P 50AF/20AT	予 備	

予備に接続

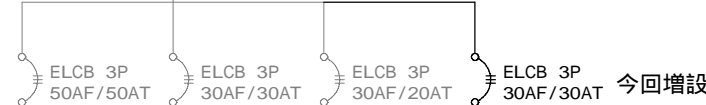
⑧	MCCB 2P 50AF/20AT	E V照明・点検用コンセント
---	-------------------	----------------

1 P - 1

CVT38SQ  
3 3W 200 V



今回増設  
IV8SQ × 3



防火シャッター

予 備

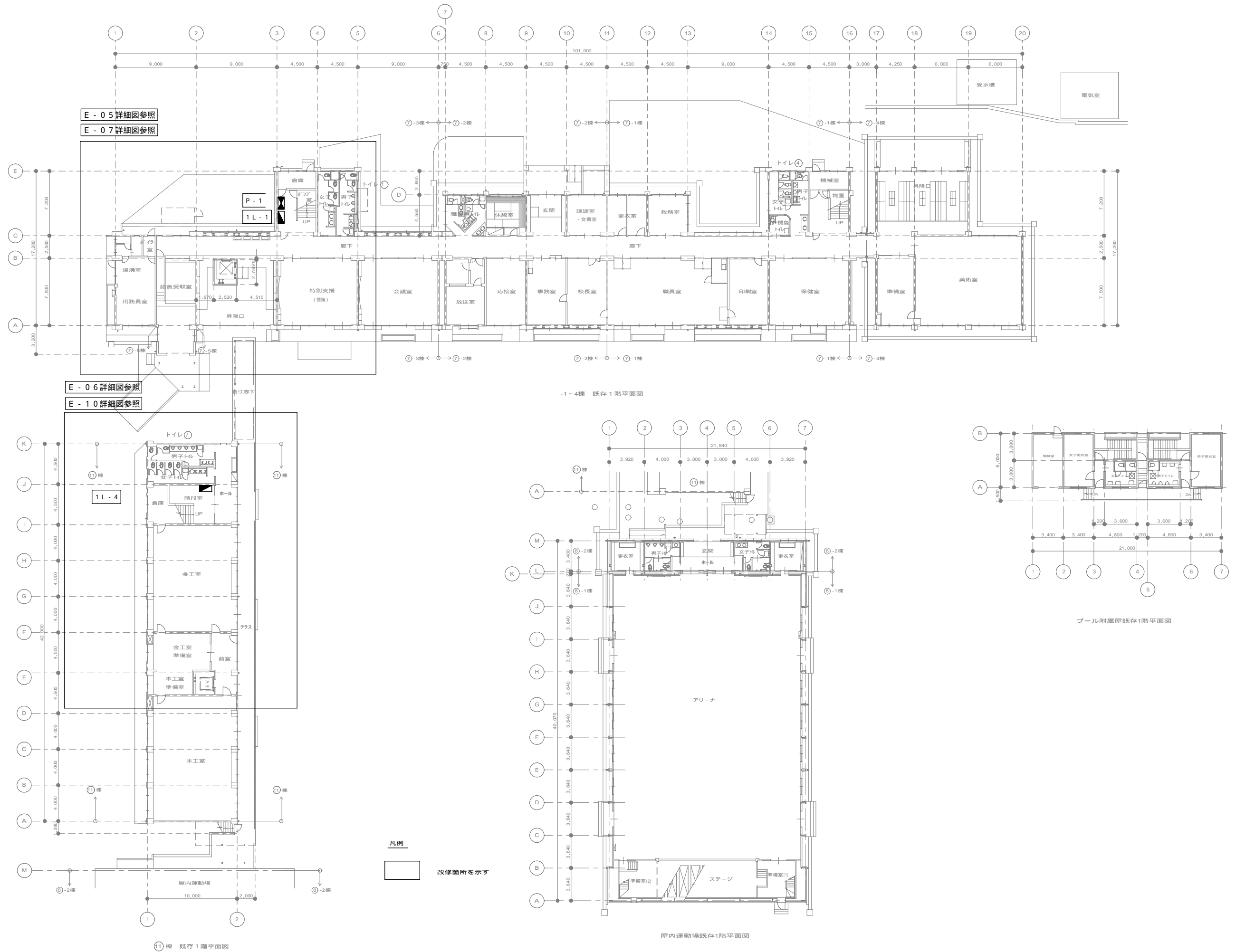
C A I 教室

1 1 棟エレベーター

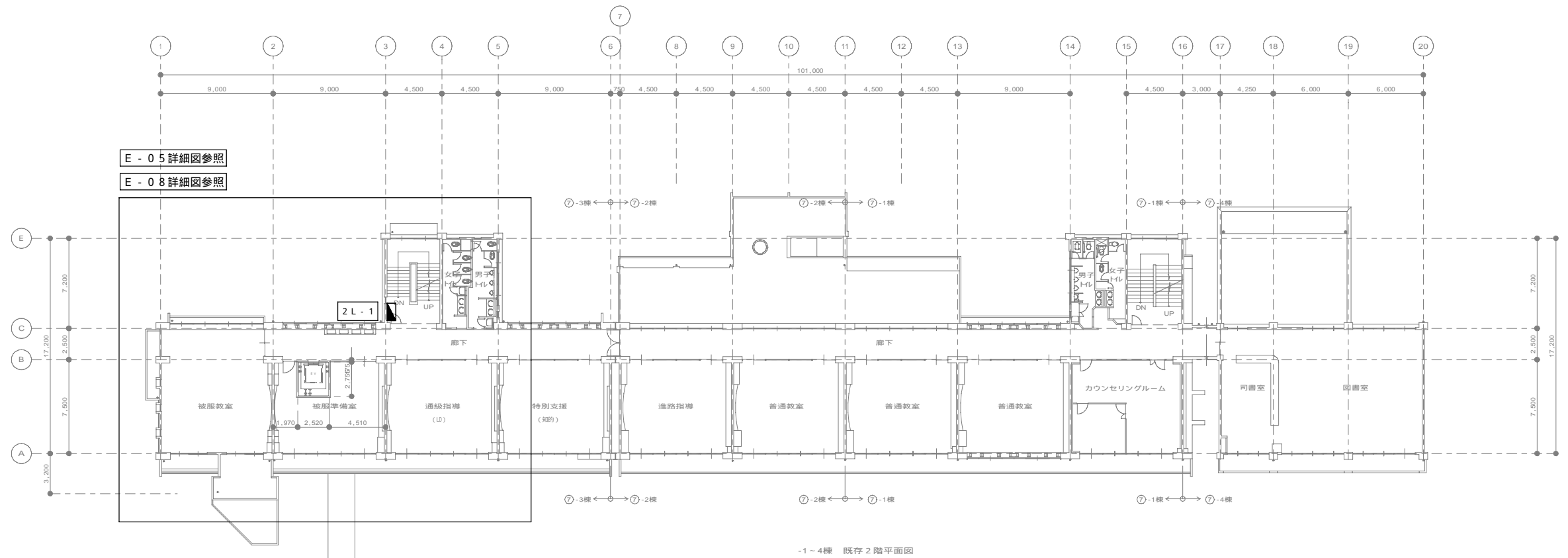
7 1 棟エレベーター

予備に接続

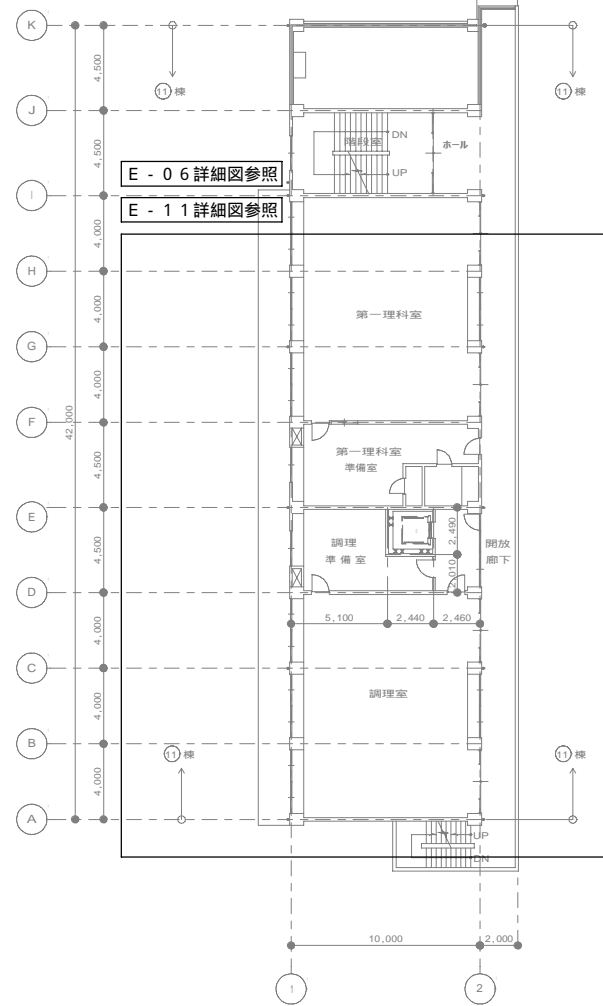




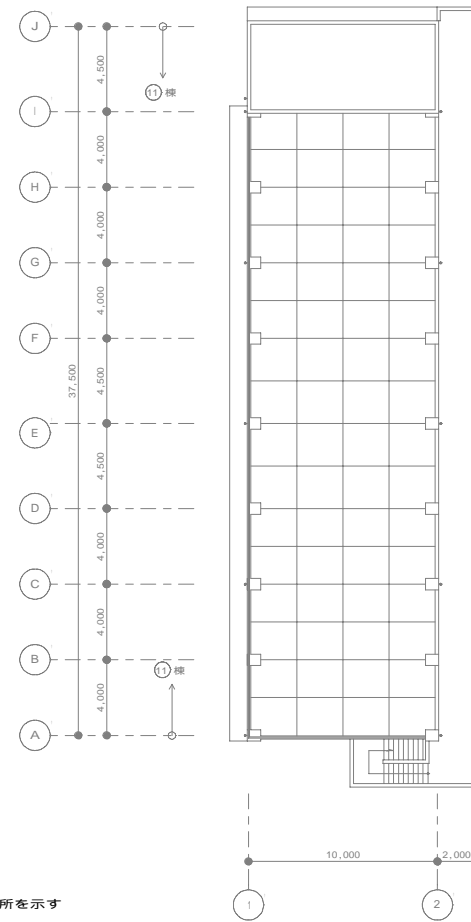




-1～4棟 既存2階平面図



(11) 棟 既存2階平面図



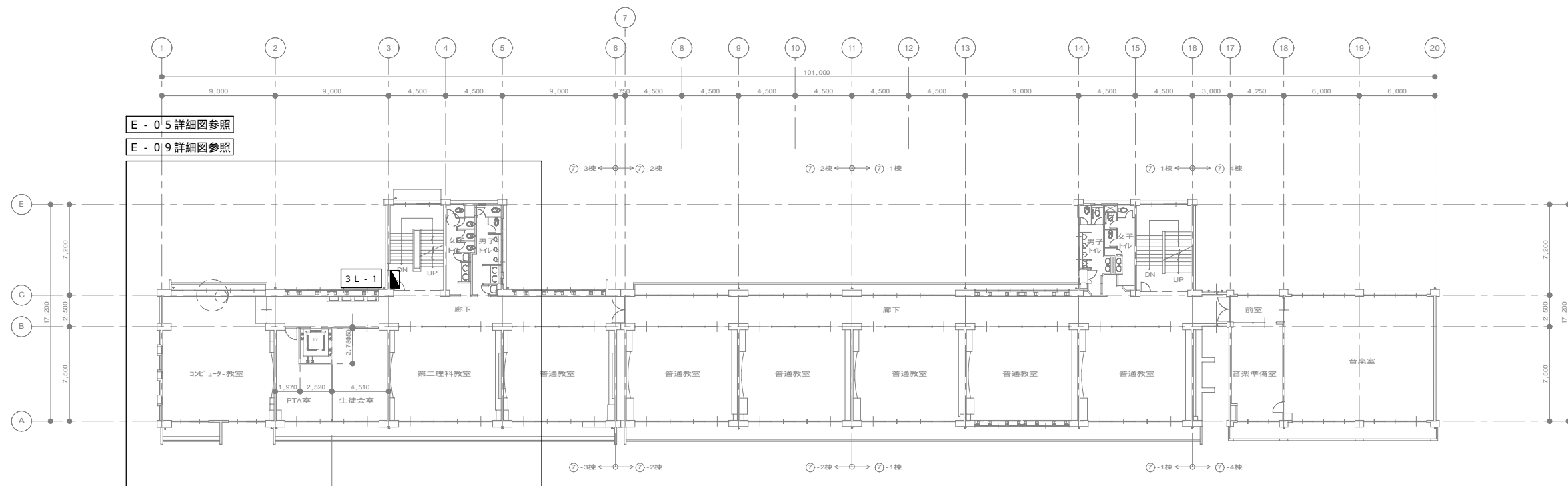
(11) 棟 既存R階平面図

凡例

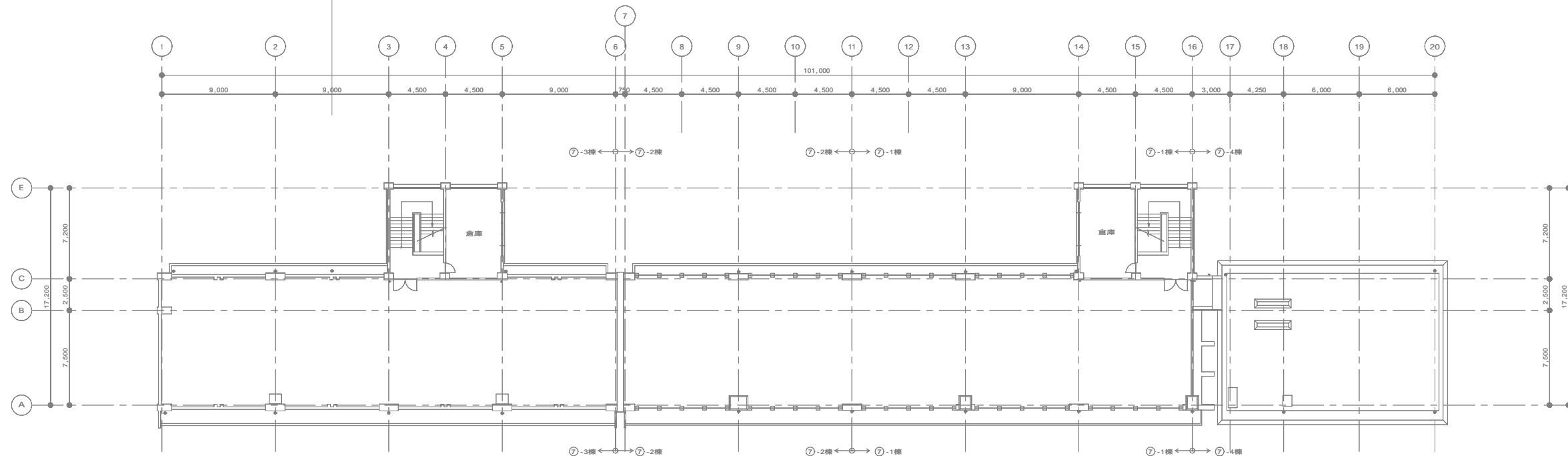


改修箇所を示す

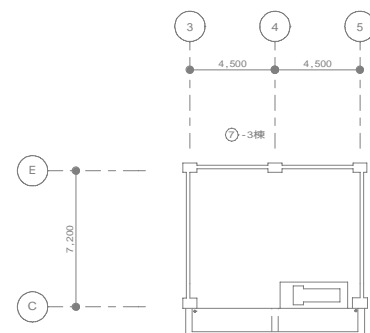




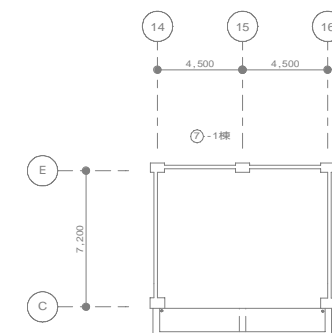
-1～4棟 既存3階平面図



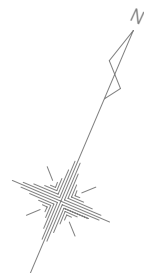
-1～4棟 既存R階平面図



-3棟 既存R階平面図



-1棟 既存R階平面図



凡例



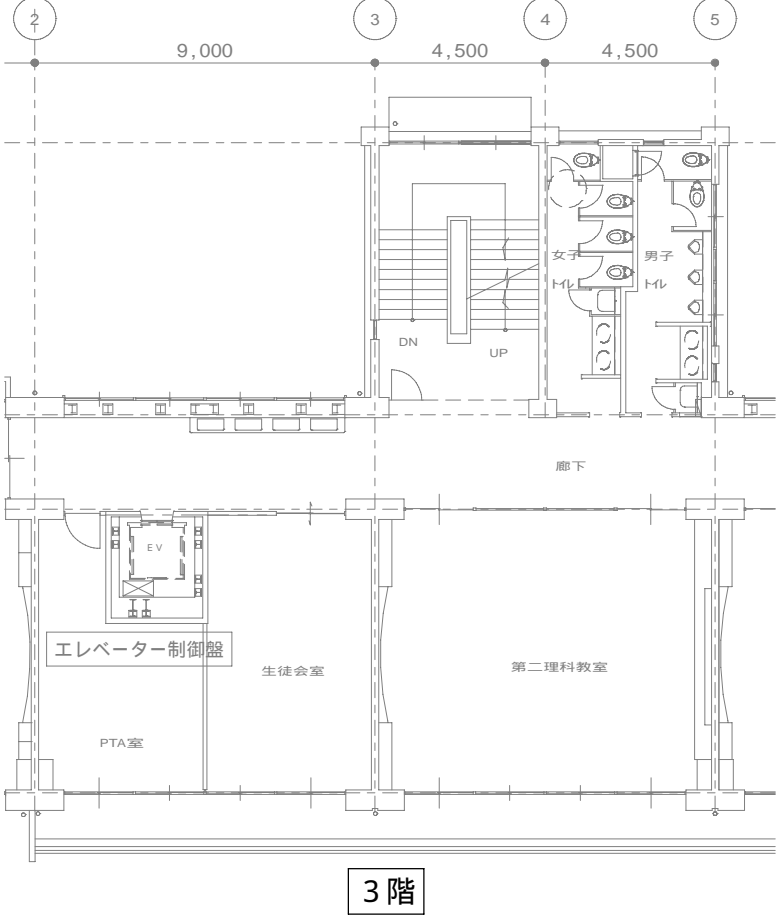
改修箇所を示す



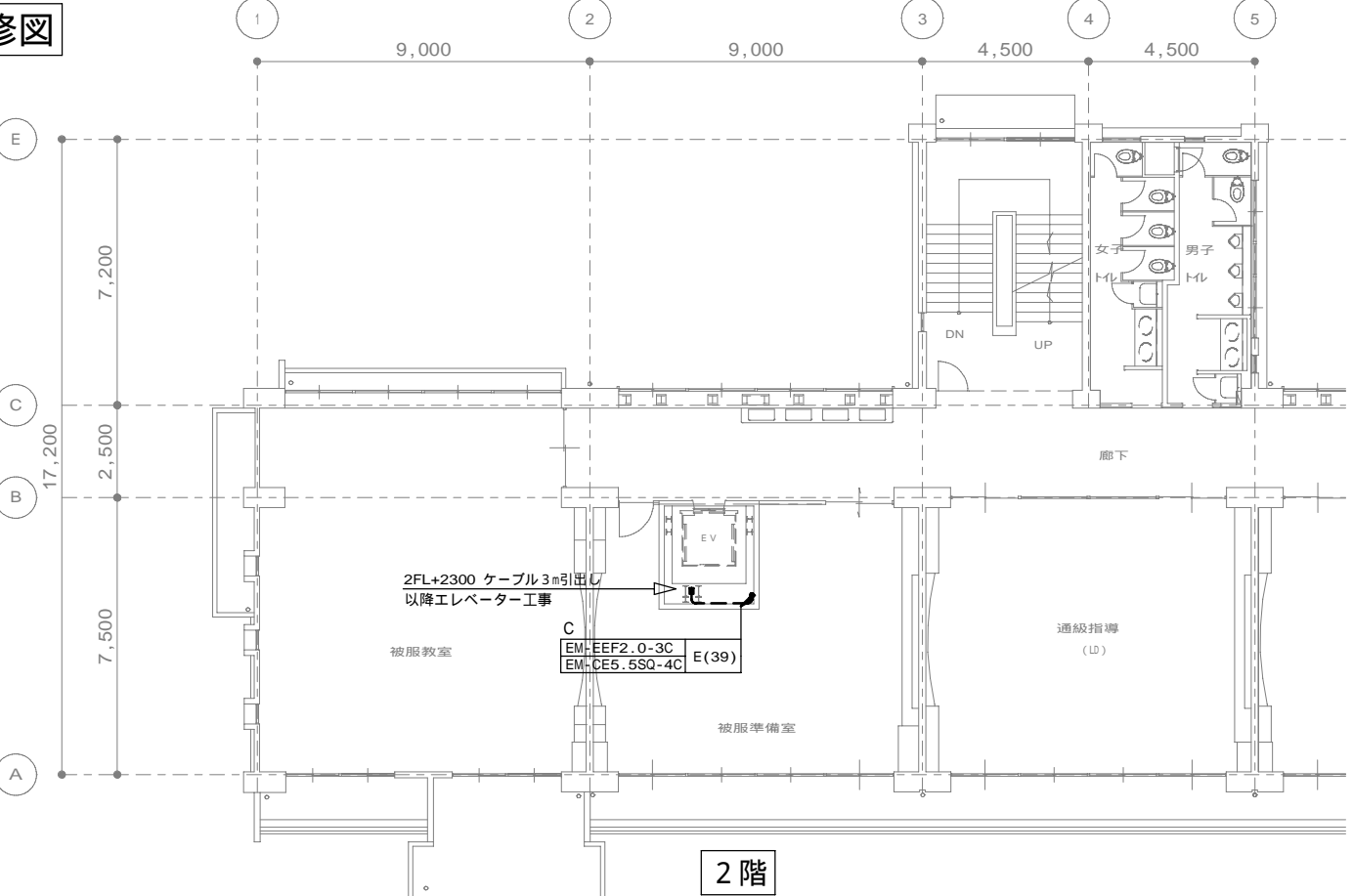
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設動力盤	
	既設電灯盤	
	エレベーター制御盤	機械設備工事
	コンセント (点検用)	2P15A (E付) ×1 ET付
	プルボックス	サイズは図示による
	既設プルボックス	

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
	露出配管
	露出配管 撤去を表す
	架空配線 (メッセンジャー吊り)
	ケーブルラック (既設)
	立下げ・立上げ配管

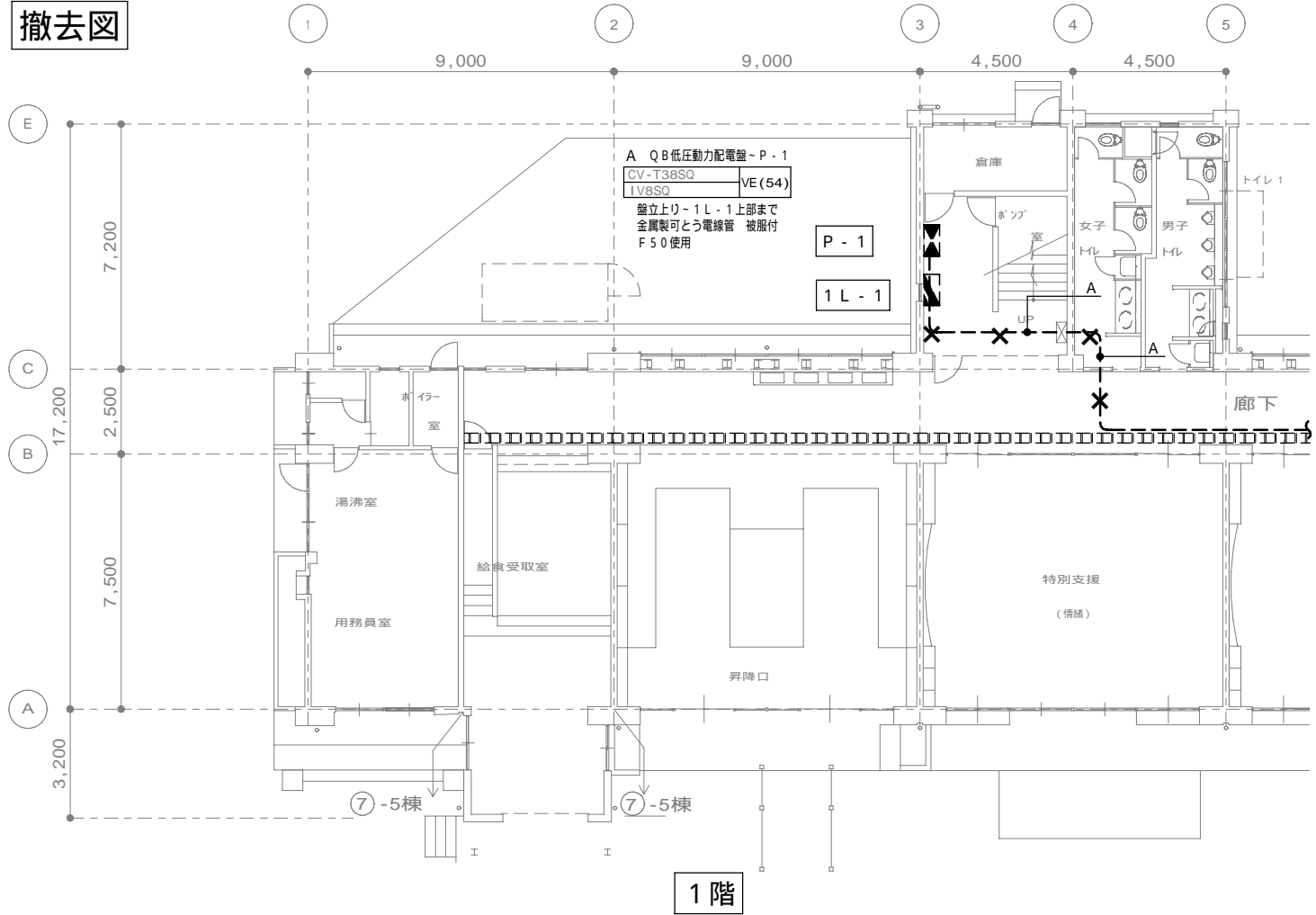
改修図



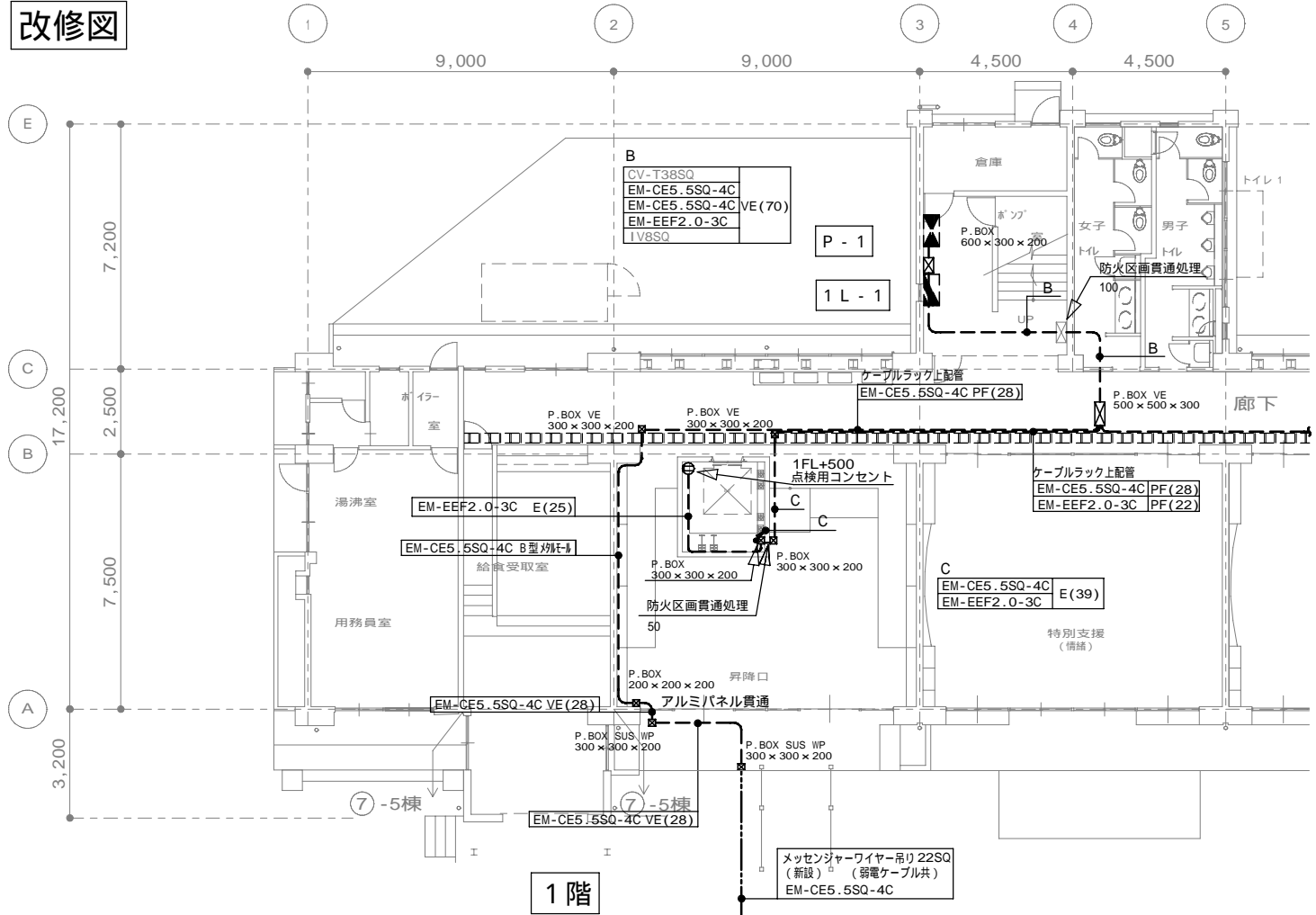
改修図



撤去図



改修図





凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設動力盤	
	既設電灯盤	
	エレベーター制御盤	機械設備工事
	コンセント (点検用)	2P15A (E付) x1 ET付
	プルボックス	サイズは図示による
	既設プルボックス	

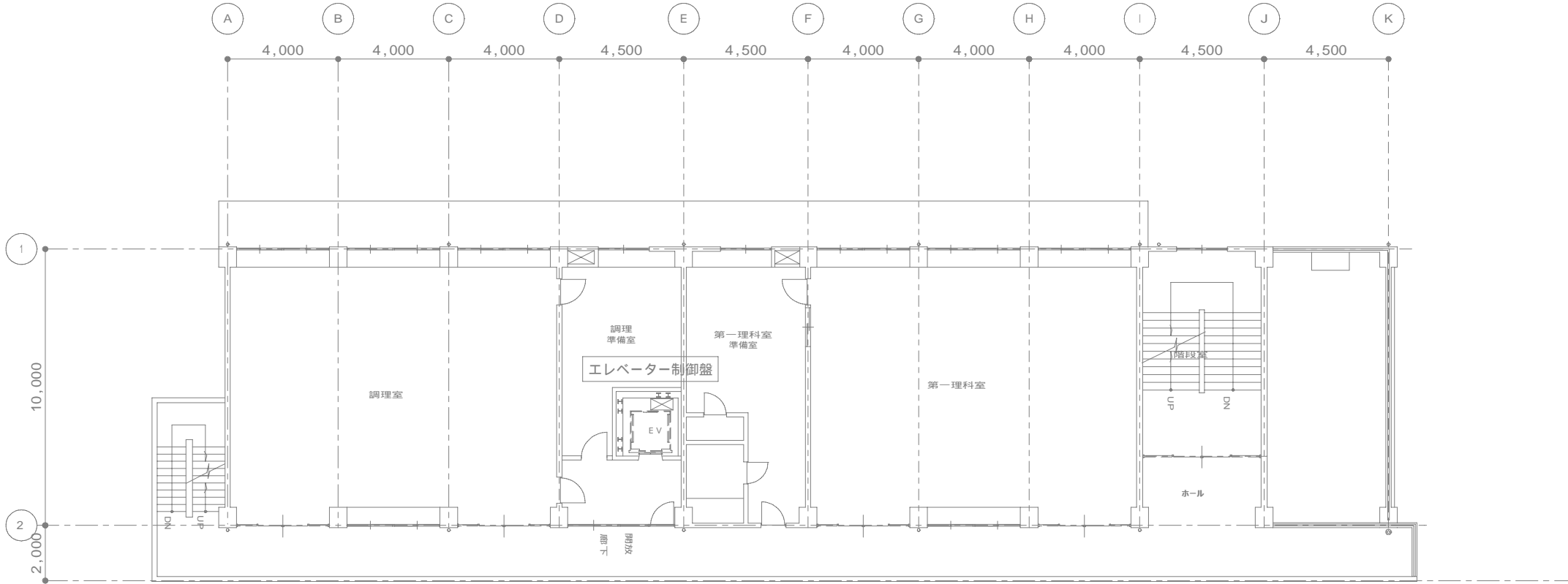
- 注 記
- 特記なき配管配線は、下記とする。
- 露出配管
- X-X-

露出配管 撤去を表す
- 
- 架空配線 (メッセンジャー吊り)

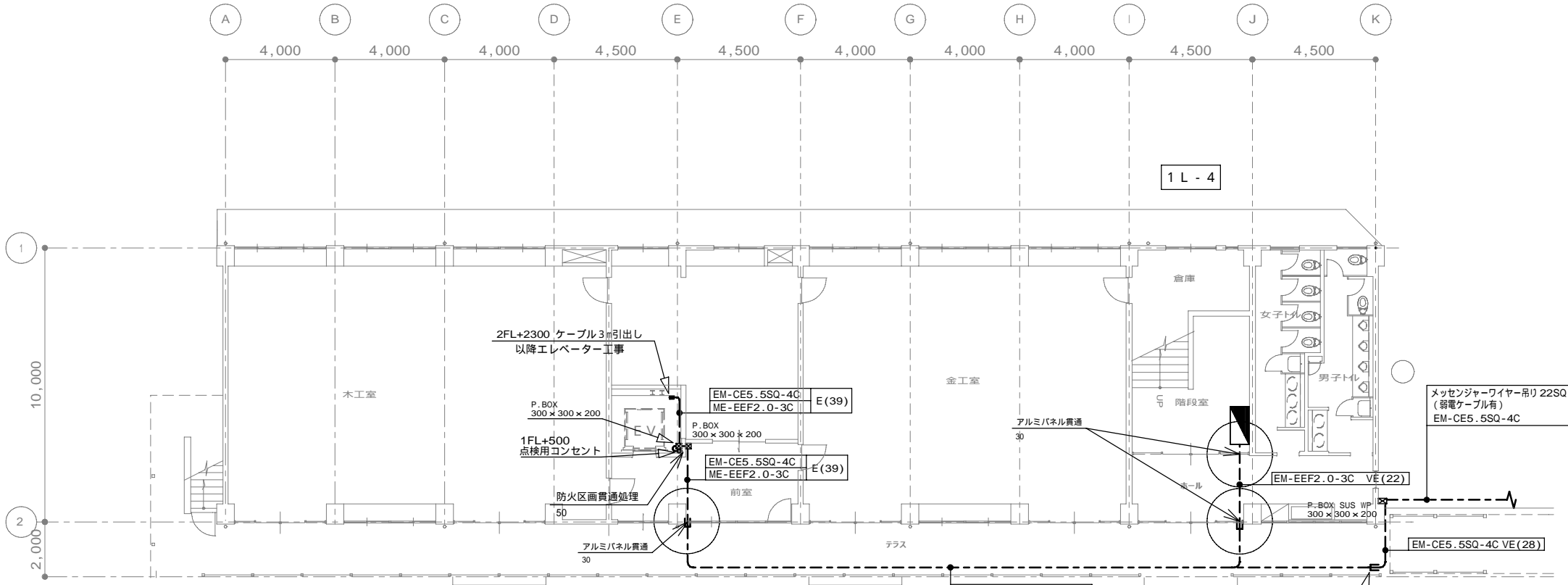
DDDDDD

ケーブルラック (既設)立下げ・立上げ配管

立上げ立下げ (保護管PF16)



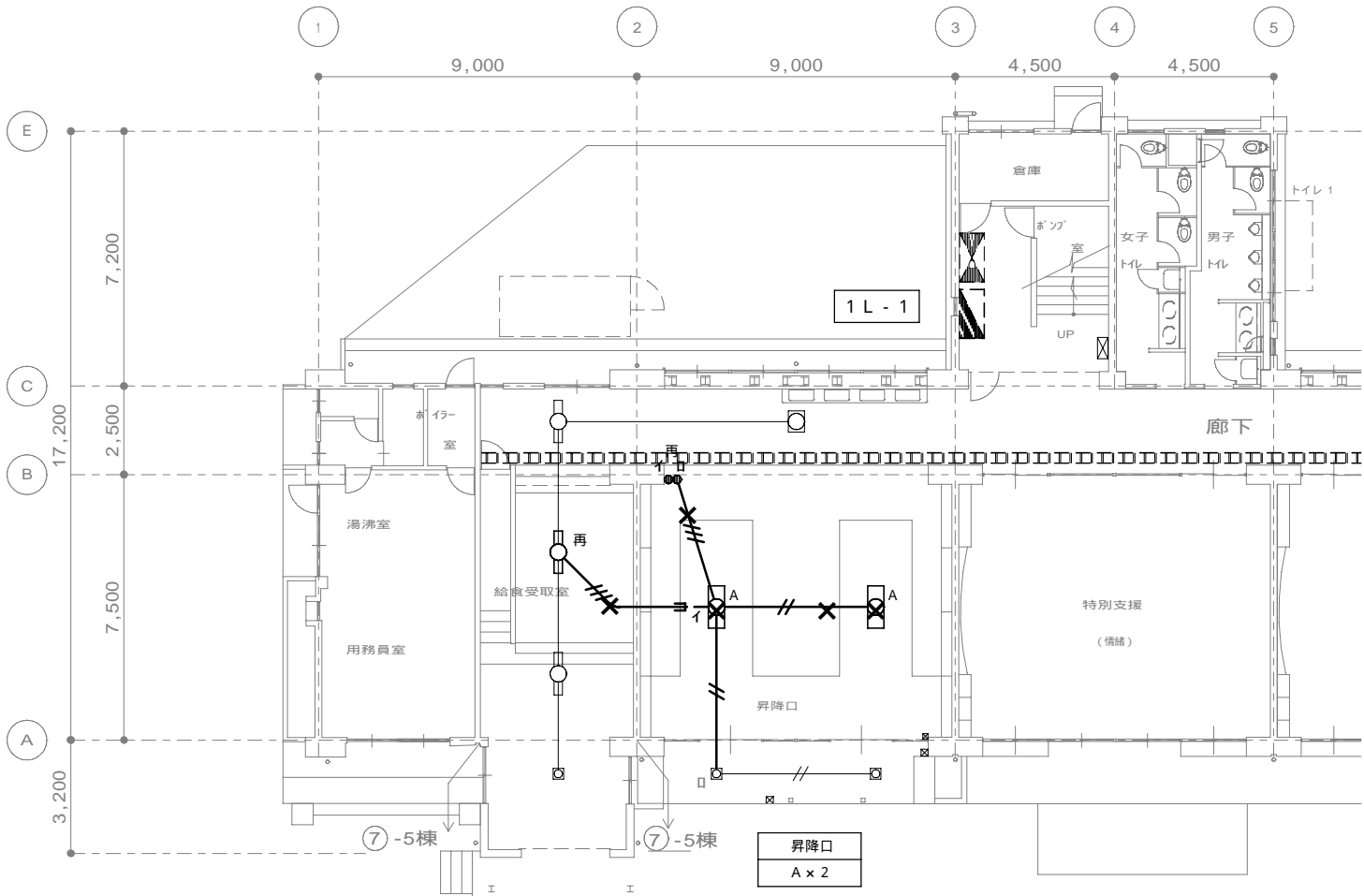
2 階



1 階



撤去



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設電灯盤	
	照明器具（直付）	（撤去）
	照明器具（直付）	（取外し再取付）
	埋込スイッチ 1P15A×2	（取外し・再使用）

注 記

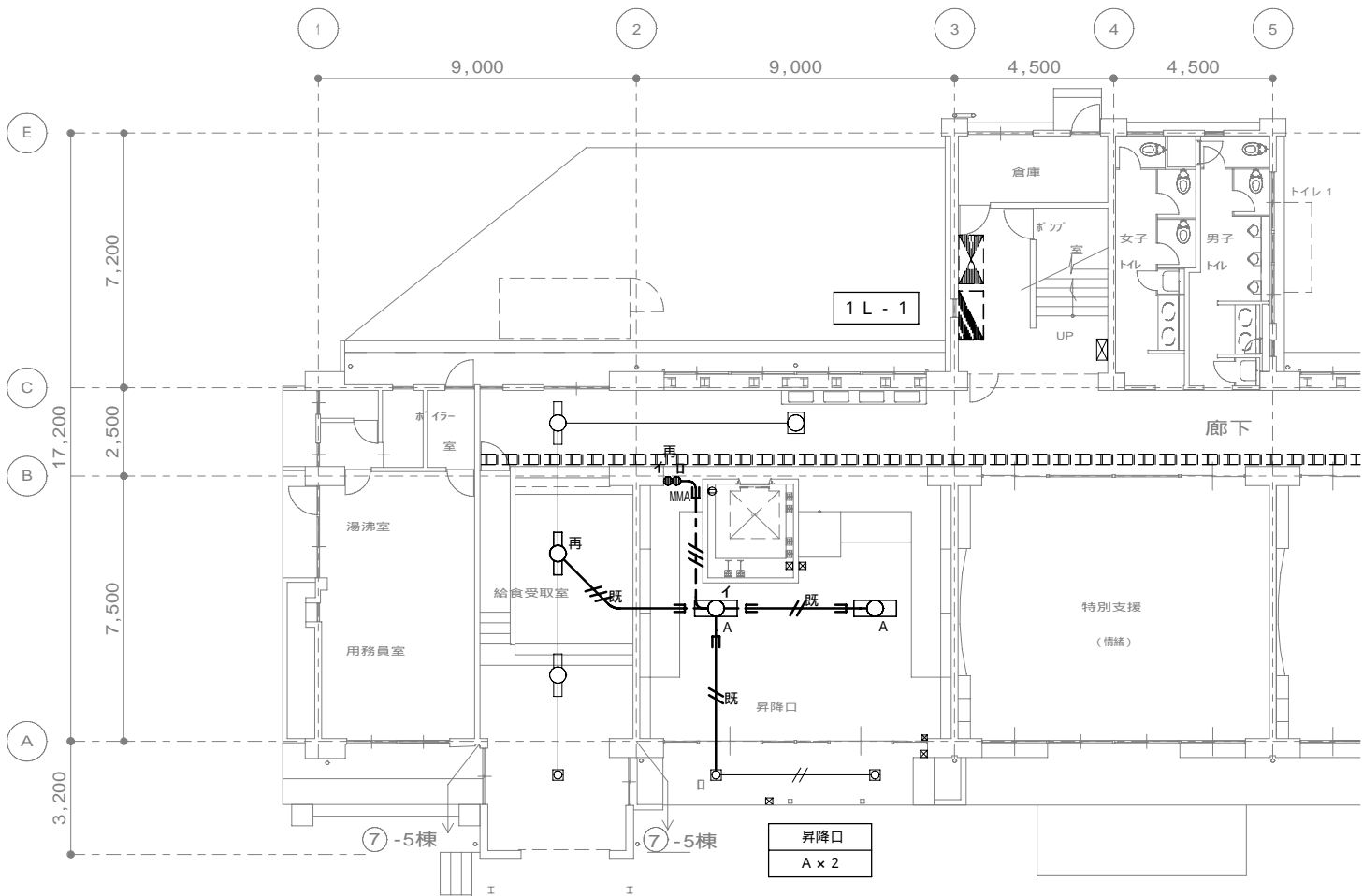
特記なき配管配線は、下記とする。

1V1.6×2 （19）（打込み配管）（既設管内配線のみ撤去）

1V1.6×3 （19）（打込み配管）（既設管内配線のみ撤去）

既存器具	
A	蛍光灯直付け富士型
A	FLR40W×2

改修



凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設電灯盤	
	LED 照明器具（直付）	ベースライト 照明器具姿図参照
	照明器具（直付）	（取外し再取付）
	埋込スイッチ 1P15A×2	（取外し・再使用）

注 記

特記なき配管配線は、下記とする。

EM-EEF1.6-2C 打ち込み配管（既設配管19）

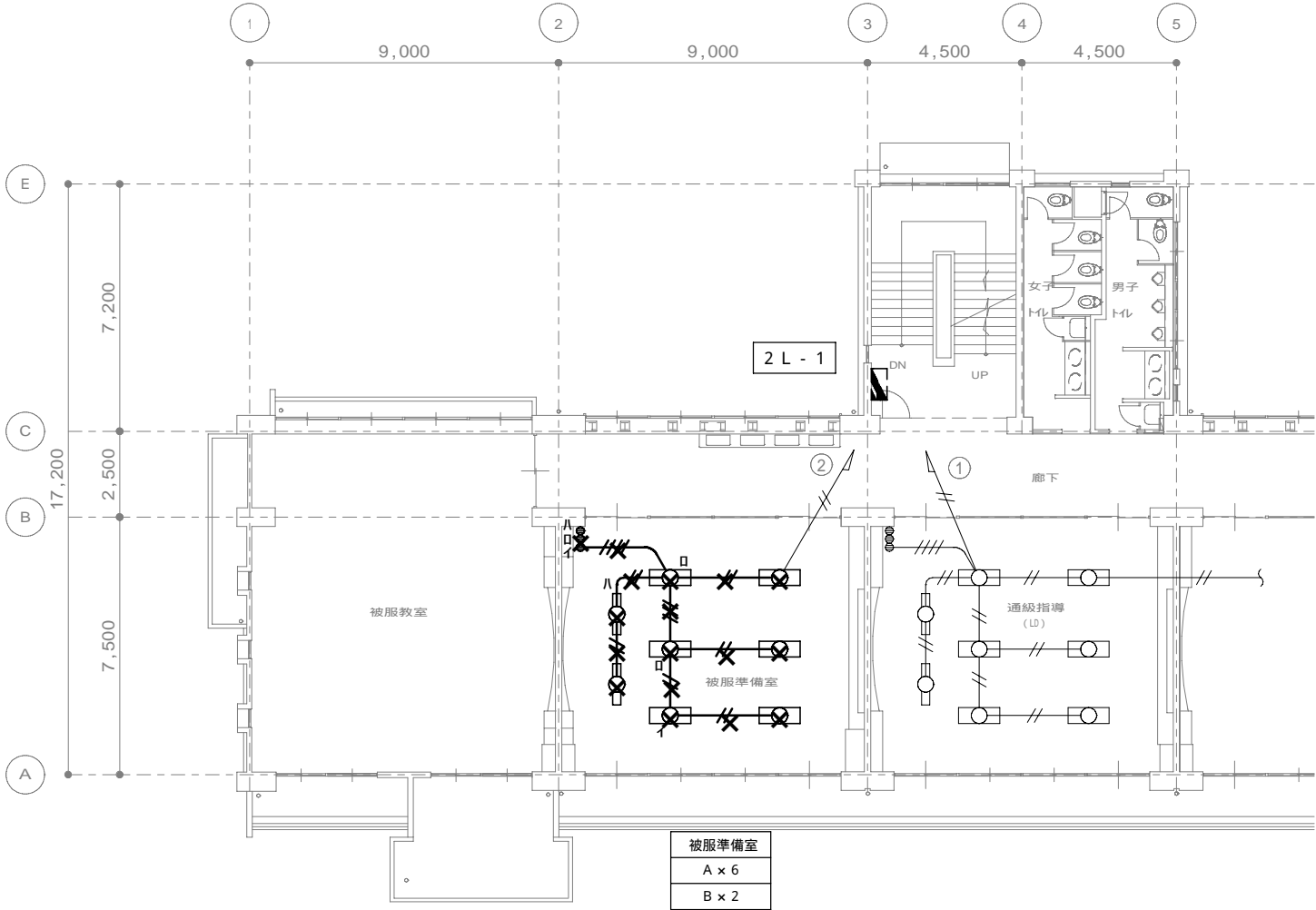
EM-EEF1.6-3C 打ち込み配管（既設配管19）

EM-EEF1.6-3C メタルモールA型露出配線

更新器具	
A	LED直付け富士型
A	LSS9-4-37



撤去



凡例

記号	名称	備考
	既設電灯盤	
	照明器具 (直付)	(撤去)
	照明器具 (パイプ吊り)	(撤去)
	埋込スイッチ 1P15A x 3	(撤去)

注記

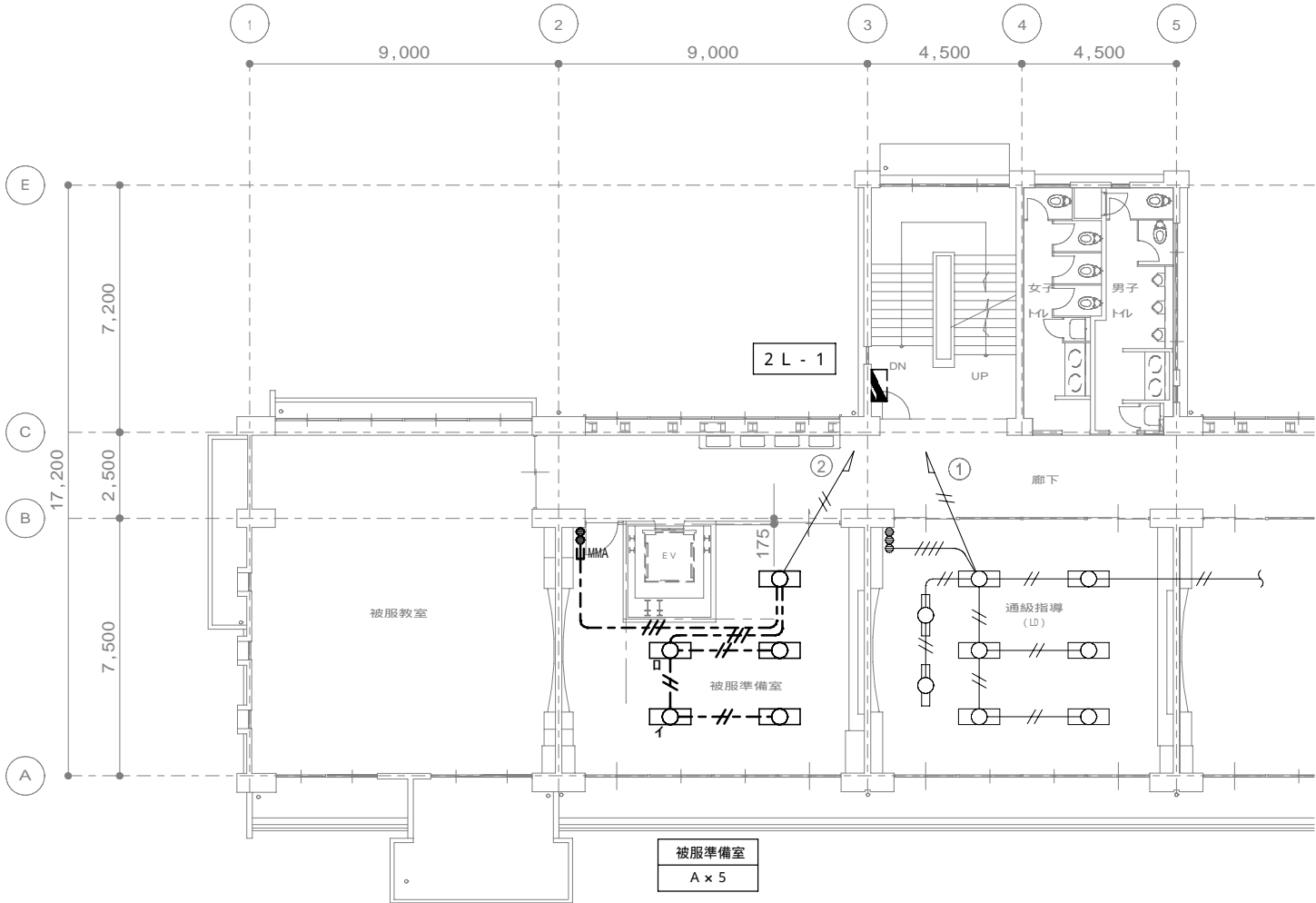
特記なき配管配線は、下記とする。

- IV1.6 x 2 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)
- IV1.6 x 3 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)
- IV1.6 x 4 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)

既存器具

A	蛍光灯直付け富士型	B	黒板灯
A	FLR40W x 2	B	FLR40W x 1

改修



凡例

記号	名称	備考
	既設電灯盤	
	LED 照明器具 (直付)	ベースライト 照明器具盗図参照
	埋込スイッチ 1P15A x 2 (新設)	(メタルモール1個用スイッチボックス)

注記

特記なき配管配線は、下記とする。

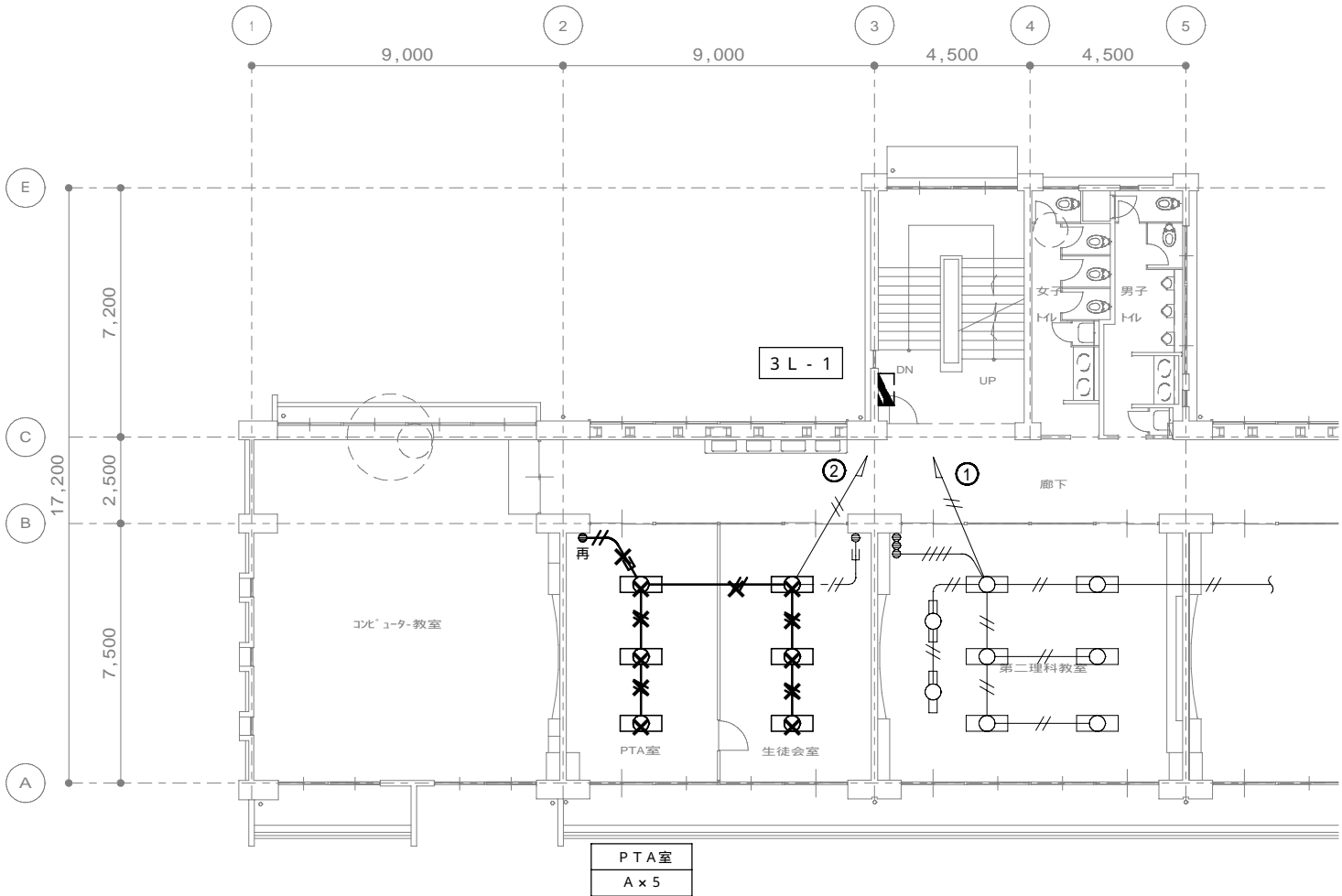
- EM-EEF1.6-3C 天井内ころがし配線
- EM-EEF1.6-3C メタルモールA型露出配線

更新器具

A	LED直付け富士型
A	LSS9-4-37



撤去

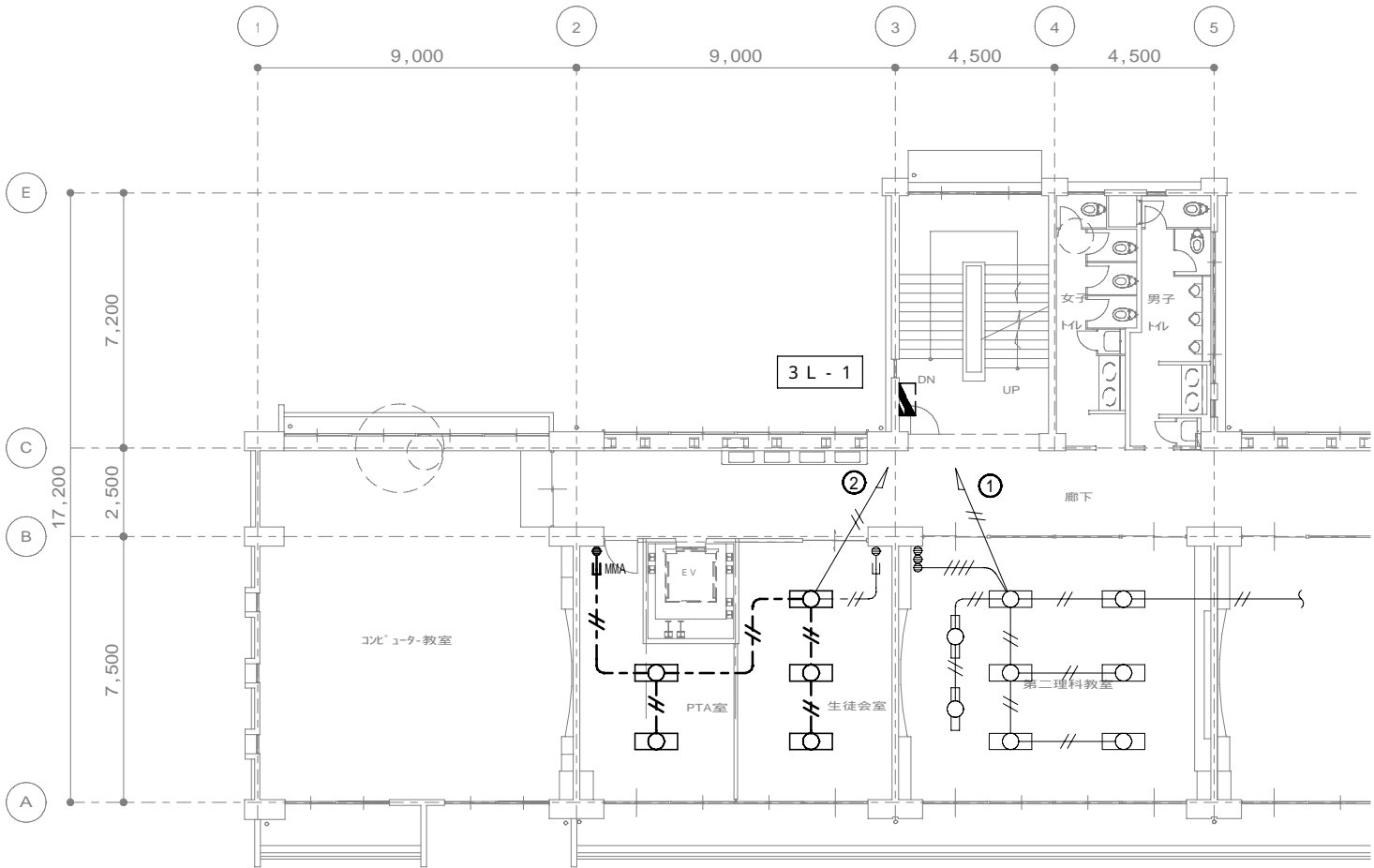


凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設電灯盤	
	照明器具 (直付)	(撤去)
●再	埋込スイッチ 1P15A×3	(取外し・再取付け)

既存器具	
A	蛍光灯直付け富士型
A 2	FLR40W×1

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
	IV1.6×2 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)

改修



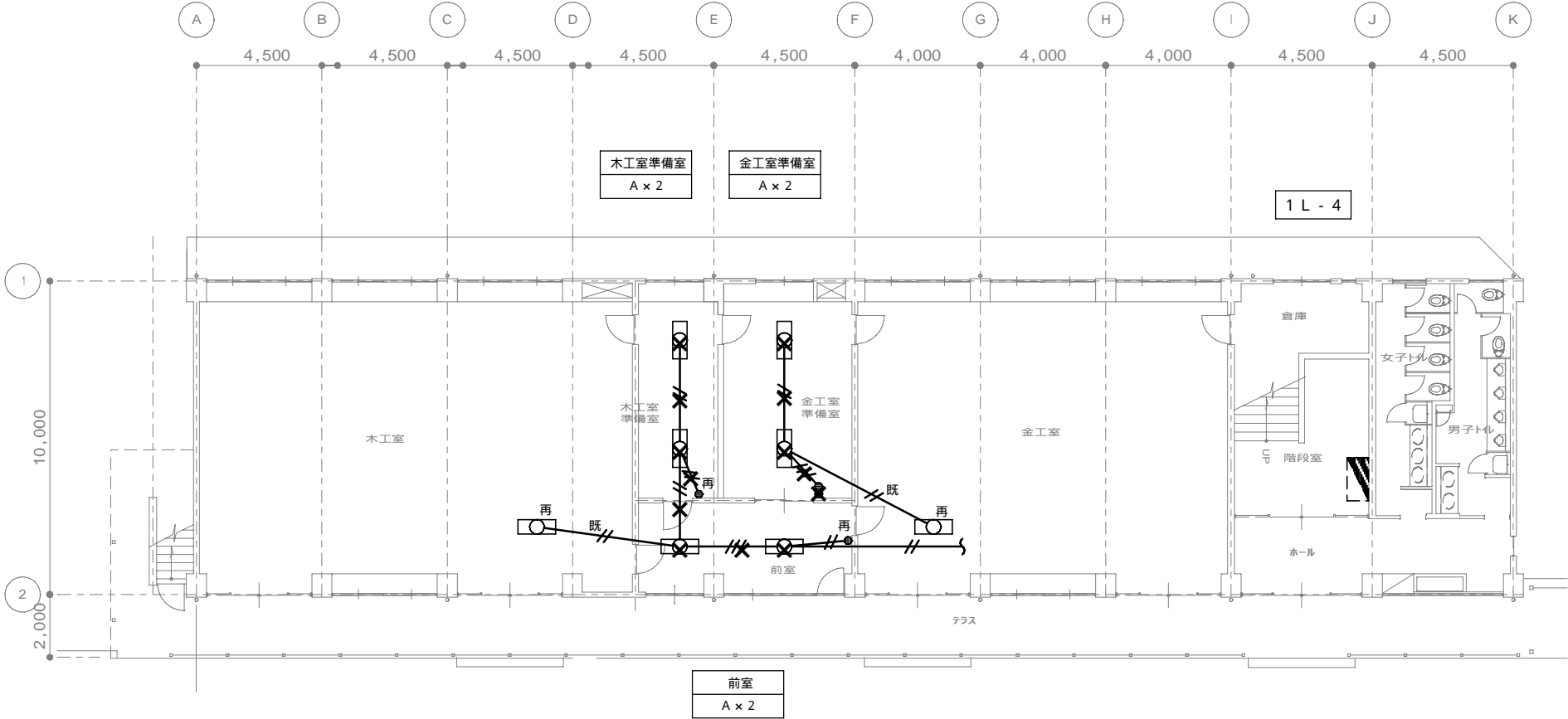
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設電灯盤	
	LED 照明器具 (直付)	ベースライト 照明器具姿図参照
●	埋込スイッチ 1P15A×1	(メタルモール1個用スイッチボックス)

更新器具	
A	LED直付け富士型
A	LSS9-4-37

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
	EM-EEF1.6-2C 天井内こごし配線
	EM-EEF1.6-2C メタルモールA型露出配線



撤去

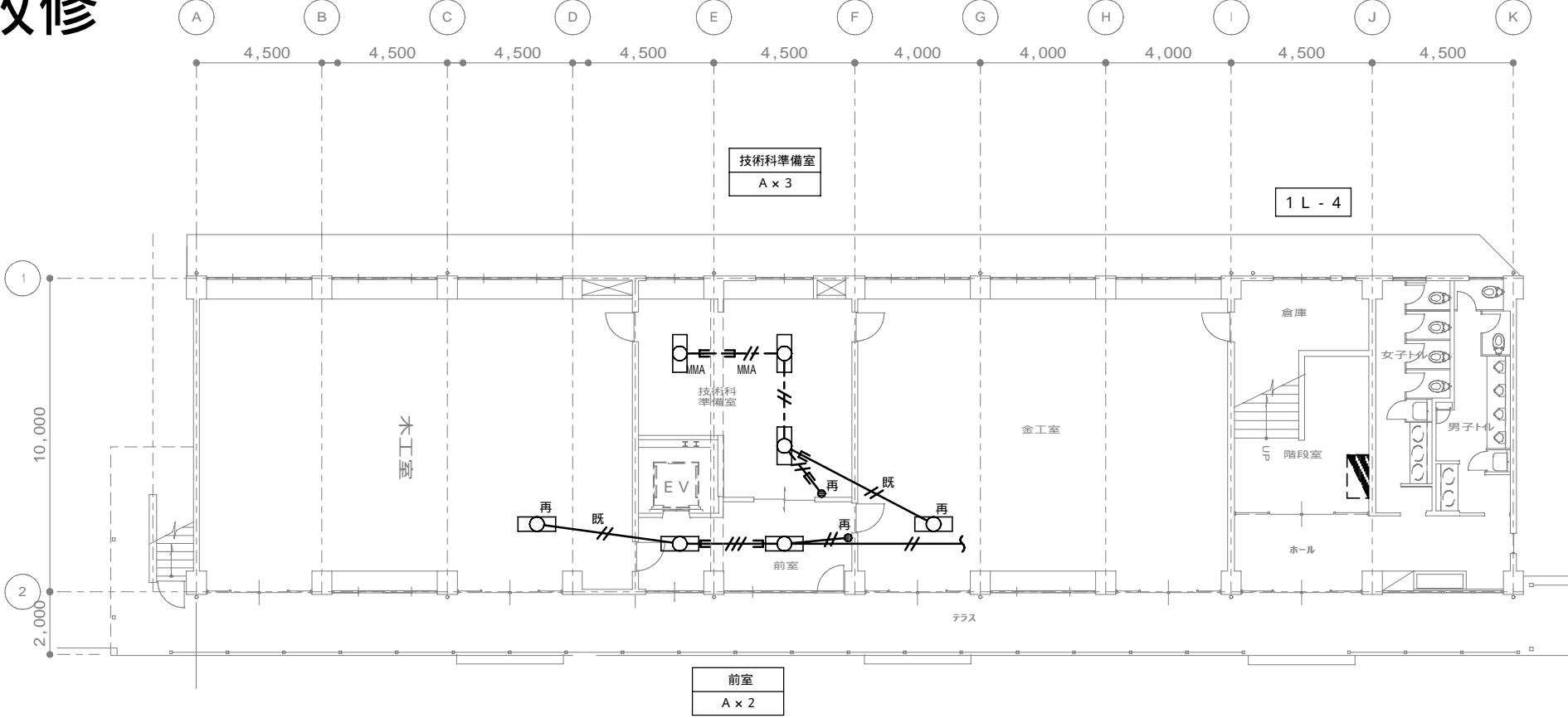


凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設電灯盤	
	照明器具（直付）	（撤去）
	照明器具（直付）	（取外し・再取付）
	埋込スイッチ 1P15A×1	（撤去）
	埋込スイッチ 1P15A×2	（撤去）
	埋込スイッチ 1P15A×1	（取外し・再使用）

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
	1V1.6×2 （19）（打込み配管）（既設管内配線のみ撤去）
	1V1.6×3 （19）（打込み配管）（既設管内配線のみ撤去）

既存器具	
A	蛍光灯直付け富士型
A	F L R 4 0 W × 2

改修



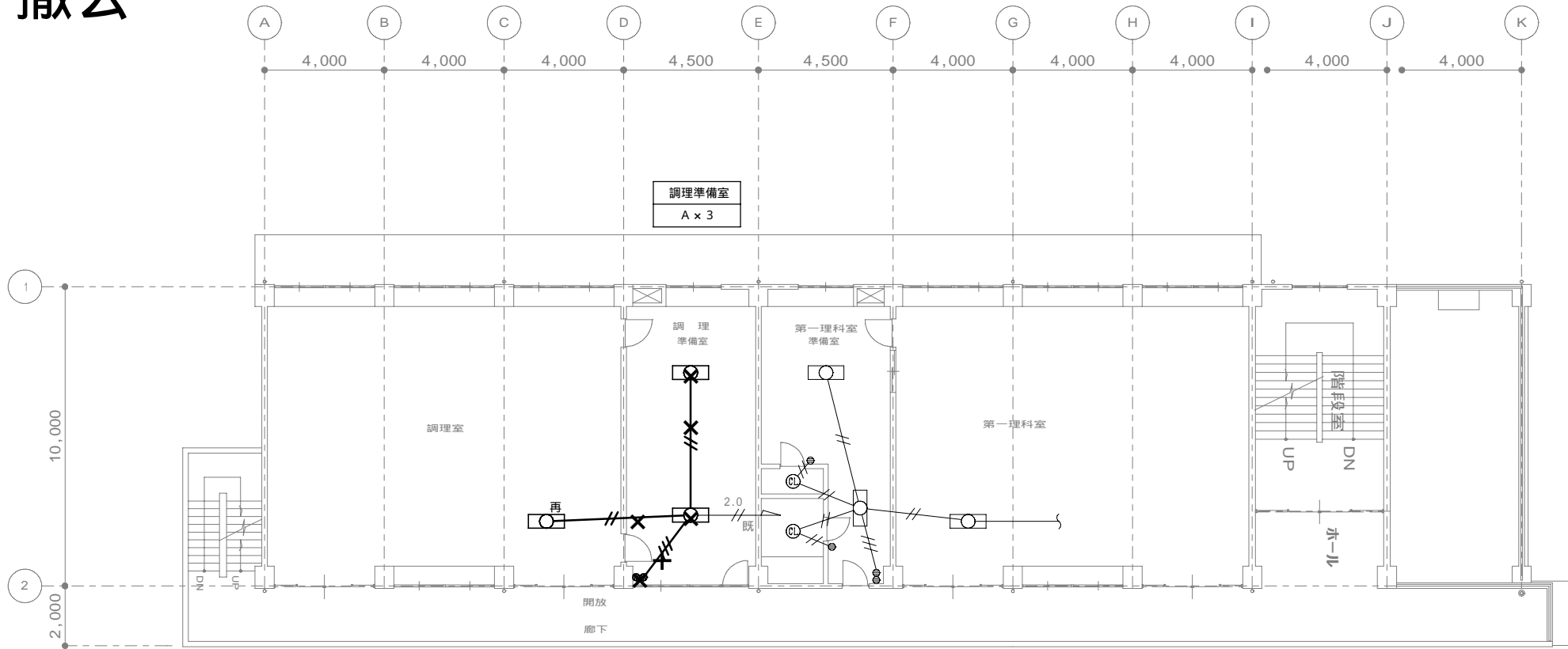
凡 例		
記 号	名 称	備 考
	既設電灯盤	
	LED 照明器具（直付）	ベースライト 照明器具姿図参照
	照明器具（直付）	（取外し・再取付）
	埋込スイッチ 1P15A×1	（取外し・再使用）

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
	EM-EEF1.6-2C 打ち込み配管（既設配管19）
	EM-EEF1.6-3C 打ち込み配管（既設配管19）
	EM-EEF1.6-3C 間仕切りない配管（PF16）
	EM-EEF1.6-2C メタルモールA型露出配線

更新器具	
A	LED直付け富士型
A	L S S 9 - 4 - 3 7



撤去

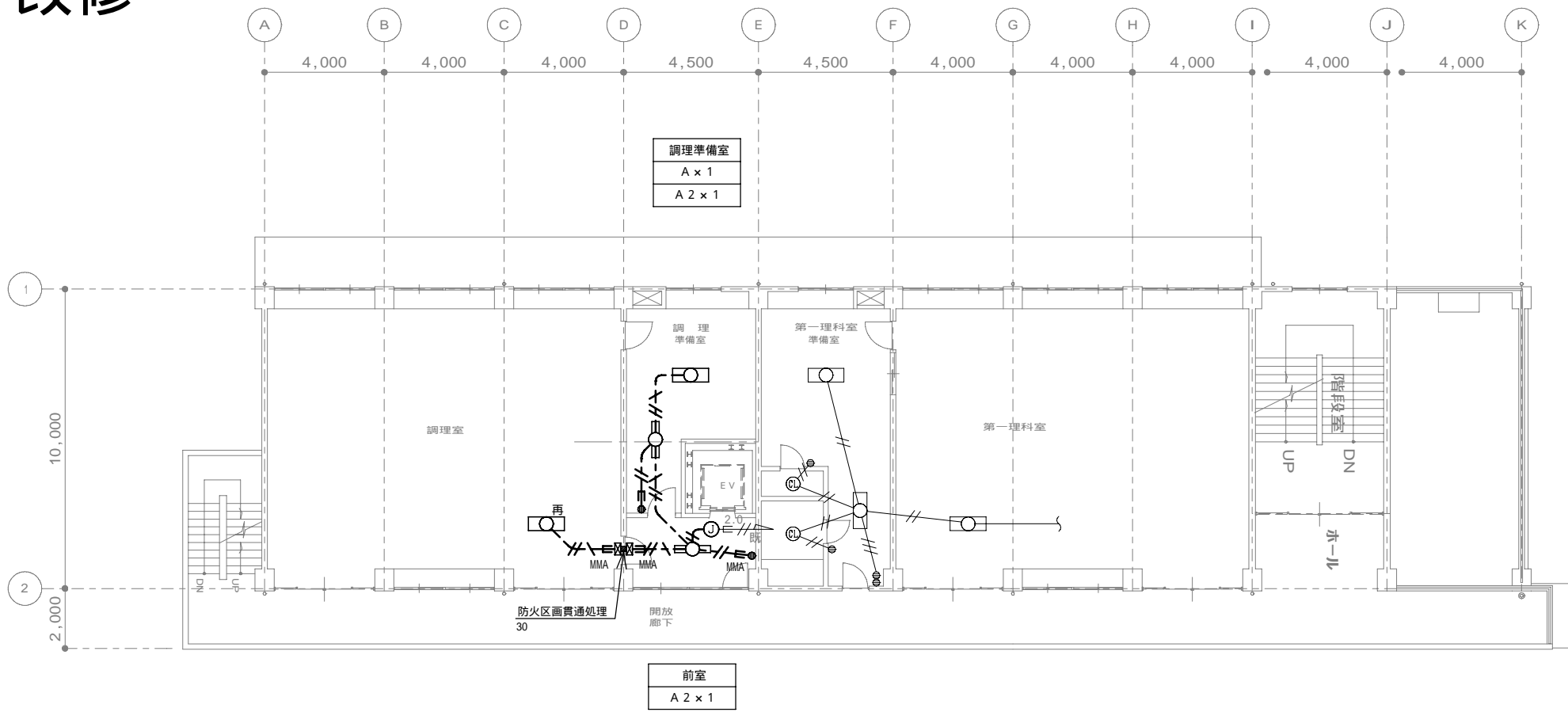


凡 例		
記 号	名 称	備 考
	照明器具（直付）	（撤去）
	照明器具（直付）	（取外し・再取付）
	埋込スイッチ 1P15A x 2	（取外し・再使用）

既存器具	
A	蛍光灯直付け富士型
A	F L R 4 0 W x 2

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
既	IV2.0 x 2 (19) (打込み配管) (器具切り離しの上ジャンクションボックス取付)
既	IV1.6 x 2 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)
既	IV1.6 x 3 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)

改修

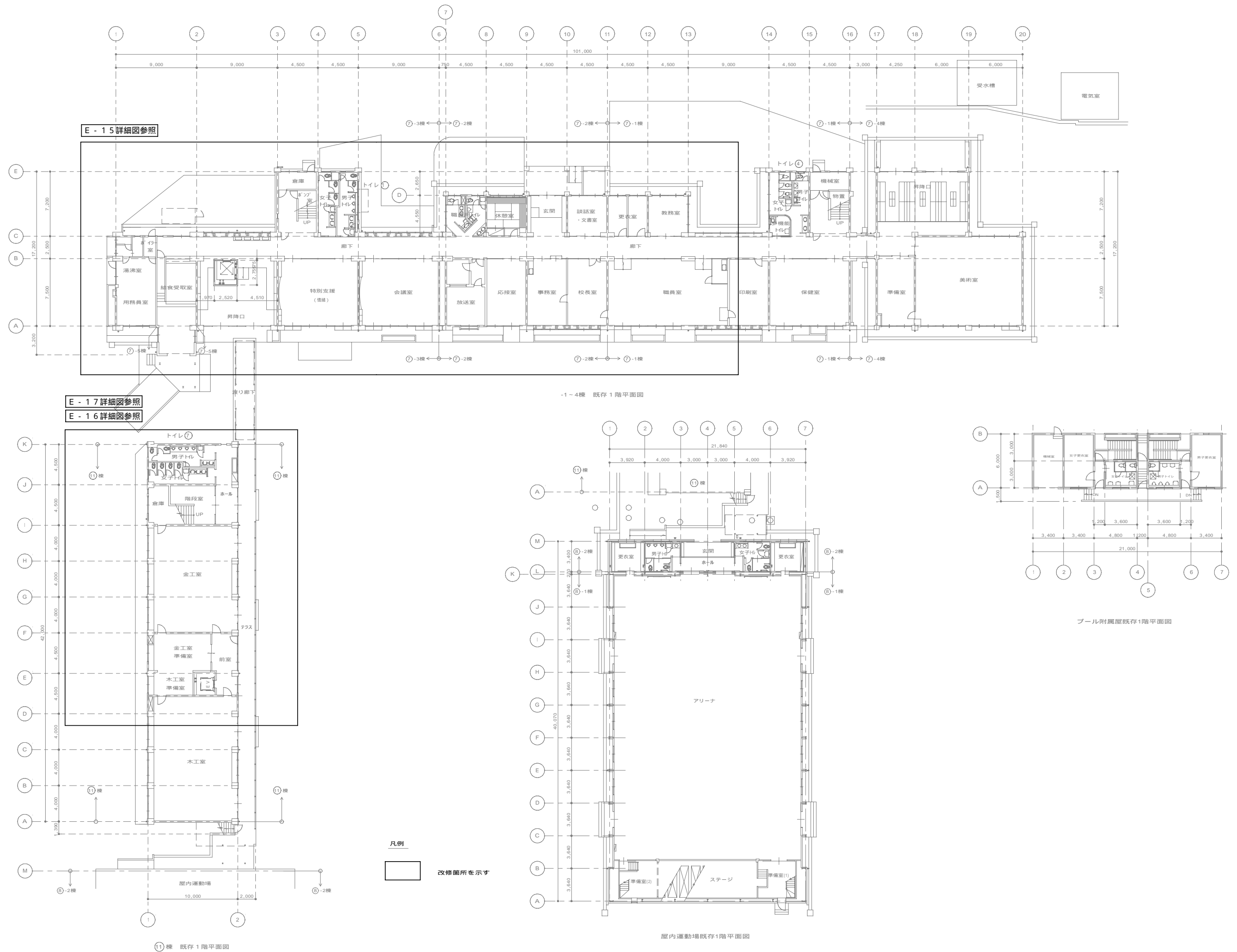


凡 例		
記 号	名 称	備 考
	LED 照明器具（直付）	ベースライト 照明器具姿図参照
	LED 照明器具（直付）	ベースライト 照明器具姿図参照
	照明器具（直付）	（取外し・再取付）
	埋込スイッチ 1P15A x 1	（新設）
	ジャンクションボックス	

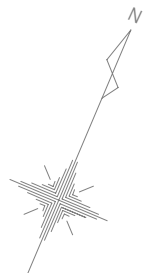
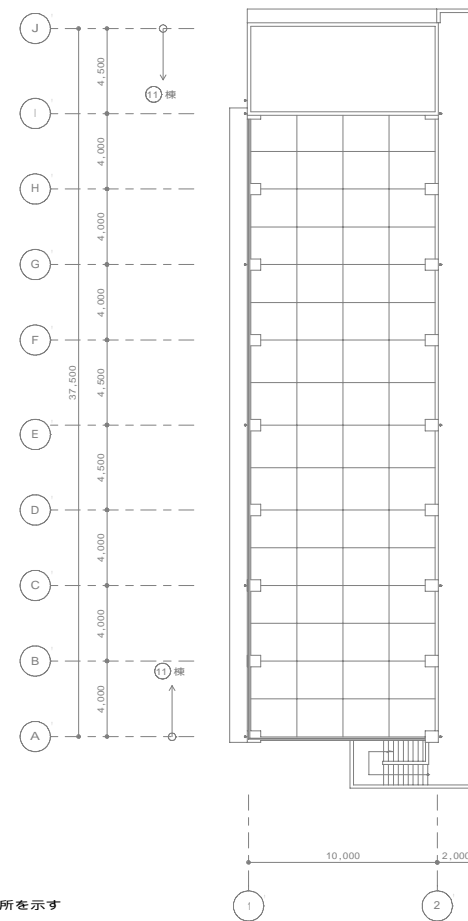
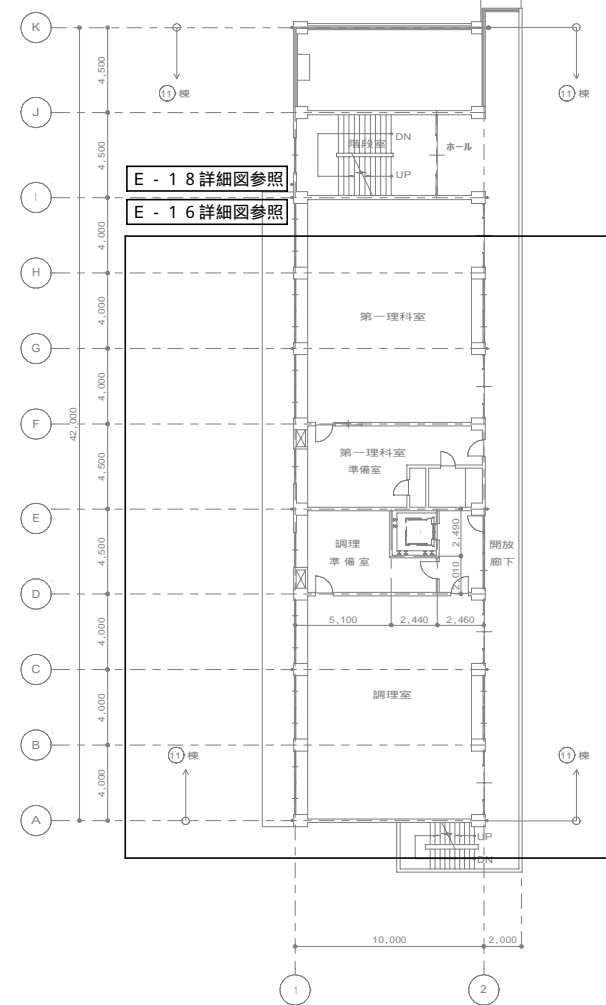
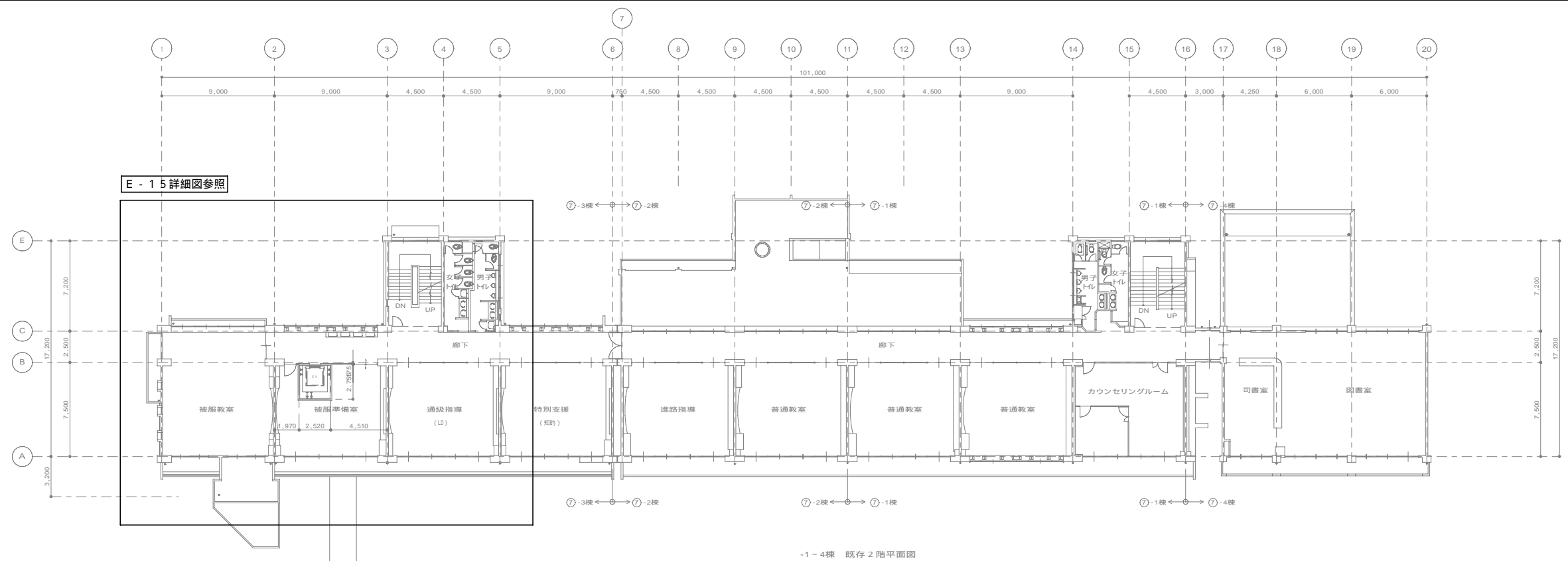
更新器具	
A	LED直付け富士型
A	L S S 9 - 4 - 3 7
A 2	L S S 9 - 4 - 3 0

注 記	
特記なき配管配線は、下記とする。	
既	EM-EEF1.6-2C ころがし配線
既	EM-EEF1.6-3C 間仕切りない配管 (PF16)
MMA	EM-EEF1.6-2C メタルモールA型露出配線
MMA	EM-EEF1.6-3C メタルモールA型露出配線
既	IV2.0 x 2 (19) (打込み配管) (器具切り離しの上ジャンクションボックス取付)

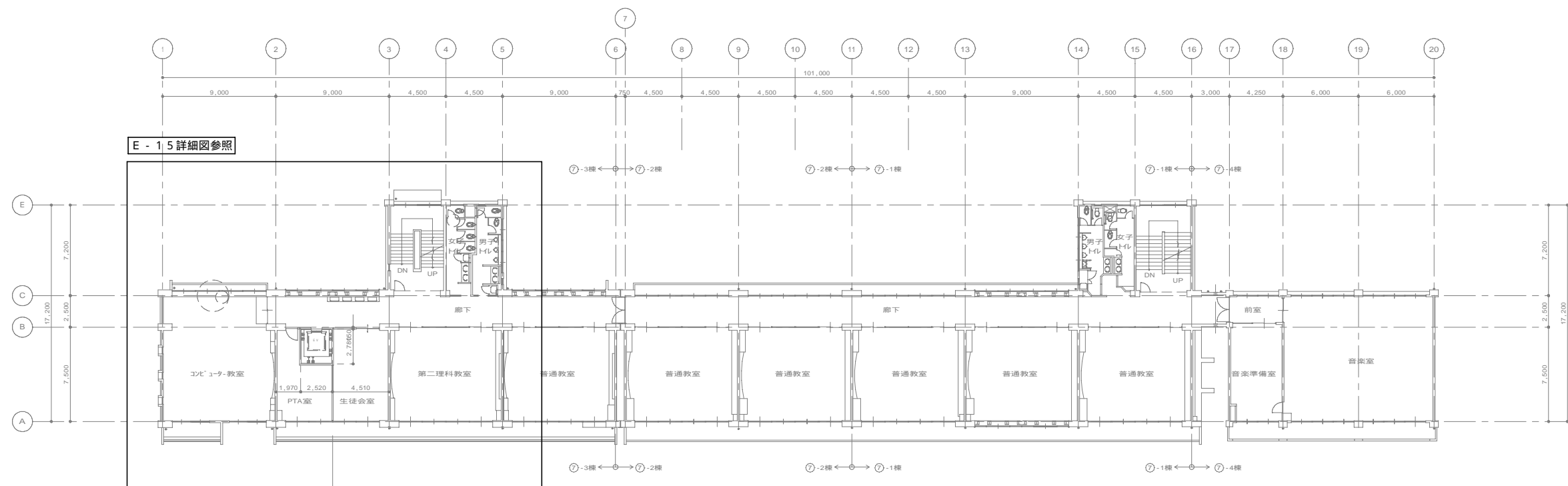




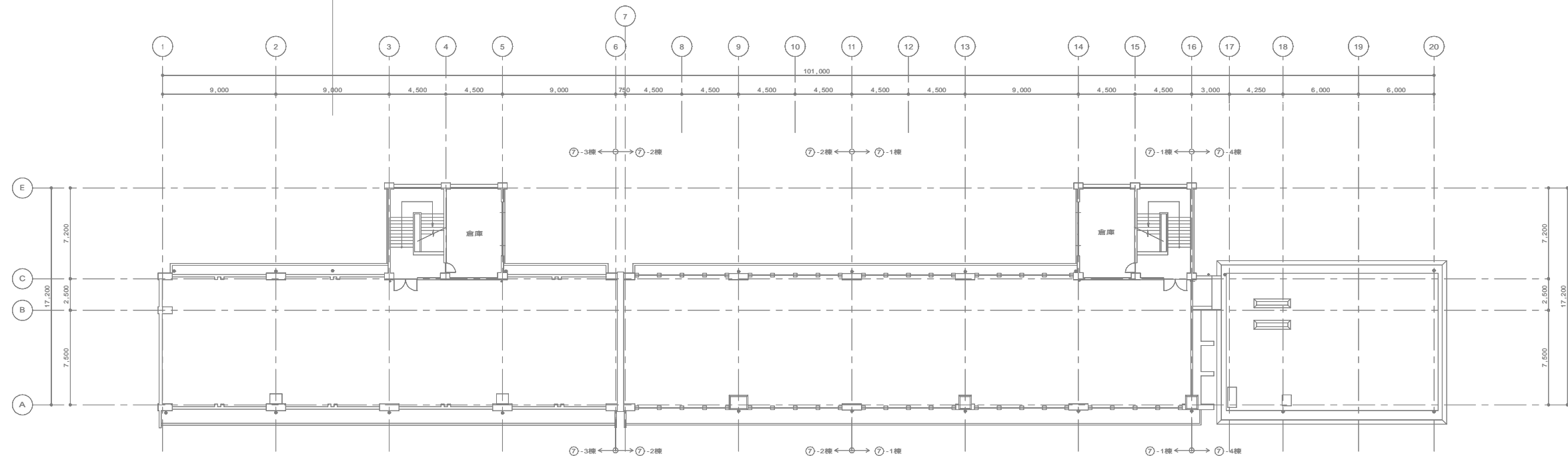




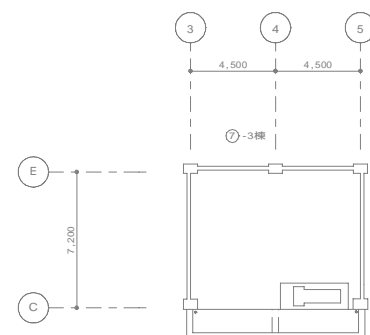




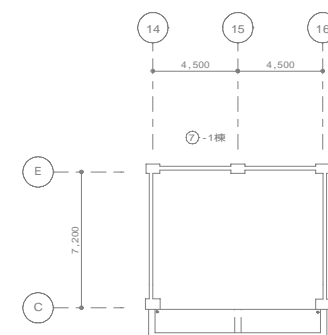
-1～4棟 既存3階平面図



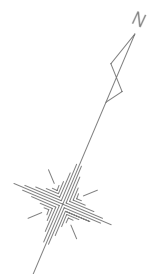
-1～4棟 既存R階平面図



-3棟 既存R階平面図



-1棟 既存R階平面図



凡例



改修箇所を示す

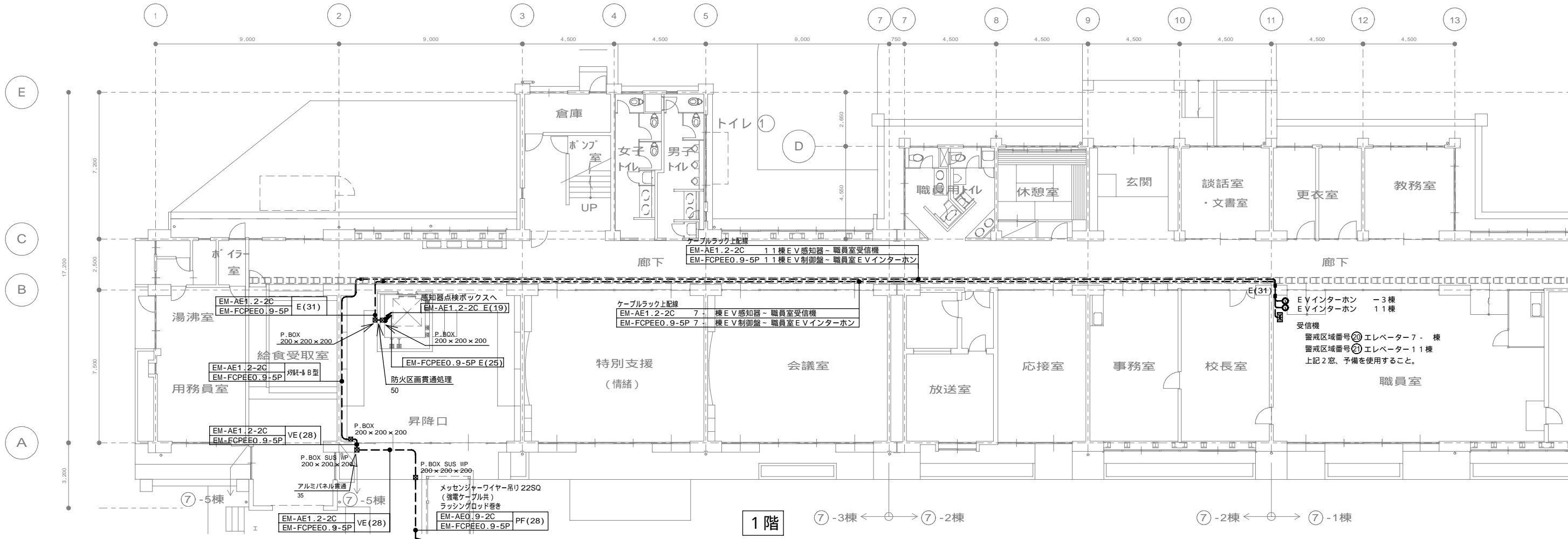
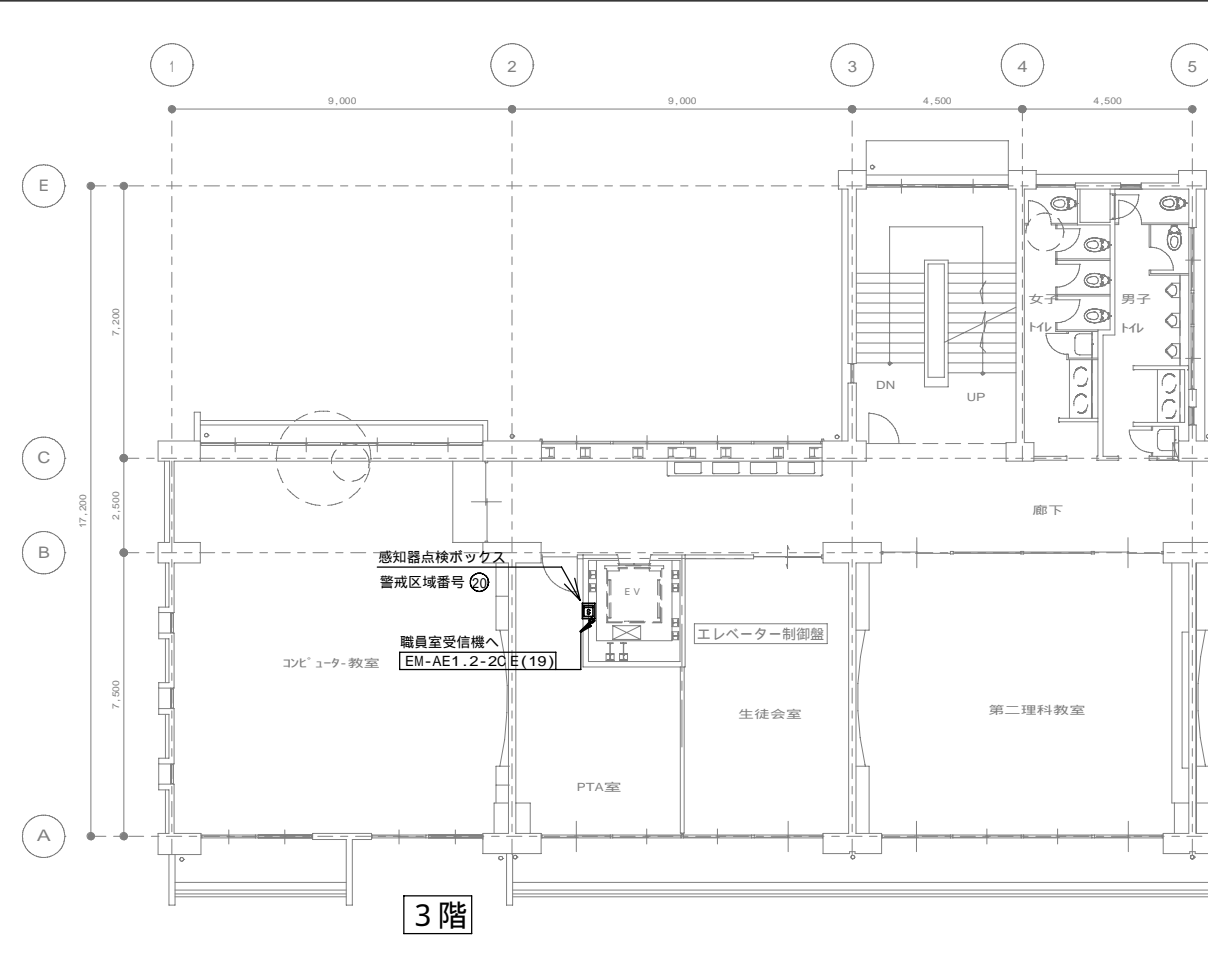
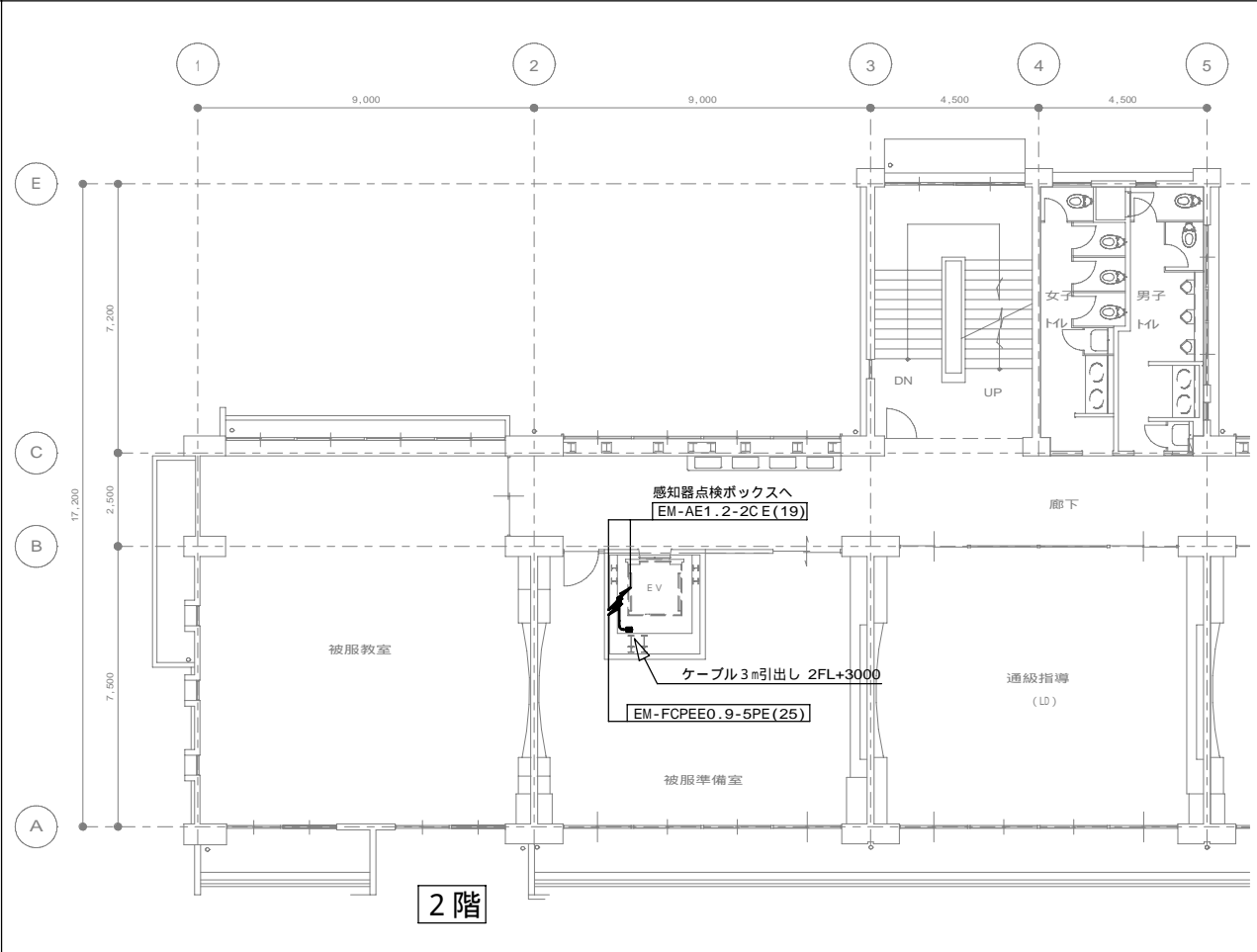


凡例		
記号	名称	備考
	エレベーター制御盤	
	煙感知器	点検ボックス付き
	既設受信機	
	インターホン	取付は別途工事
	ブルボックス	サイズは図示による

注記  
特記なき配管配線は、下記とする。

----- 露出配管  
----- ケーブル配線（ケーブルブラック上）  
----- 架空配線（メッセンジャー吊り）  
DDDDDD ケーブルラック（既設）

立下げ・立上げ配管





凡 例		
記 号	名 称	備 考
	エレベーター制御盤	
	煙感知器	点検ボックス付き
	既設受信機	
	インターホン	取付は別途工事
	ブルボックス	サイズは図示による

注 記

特記なき配管配線は、下記とする。

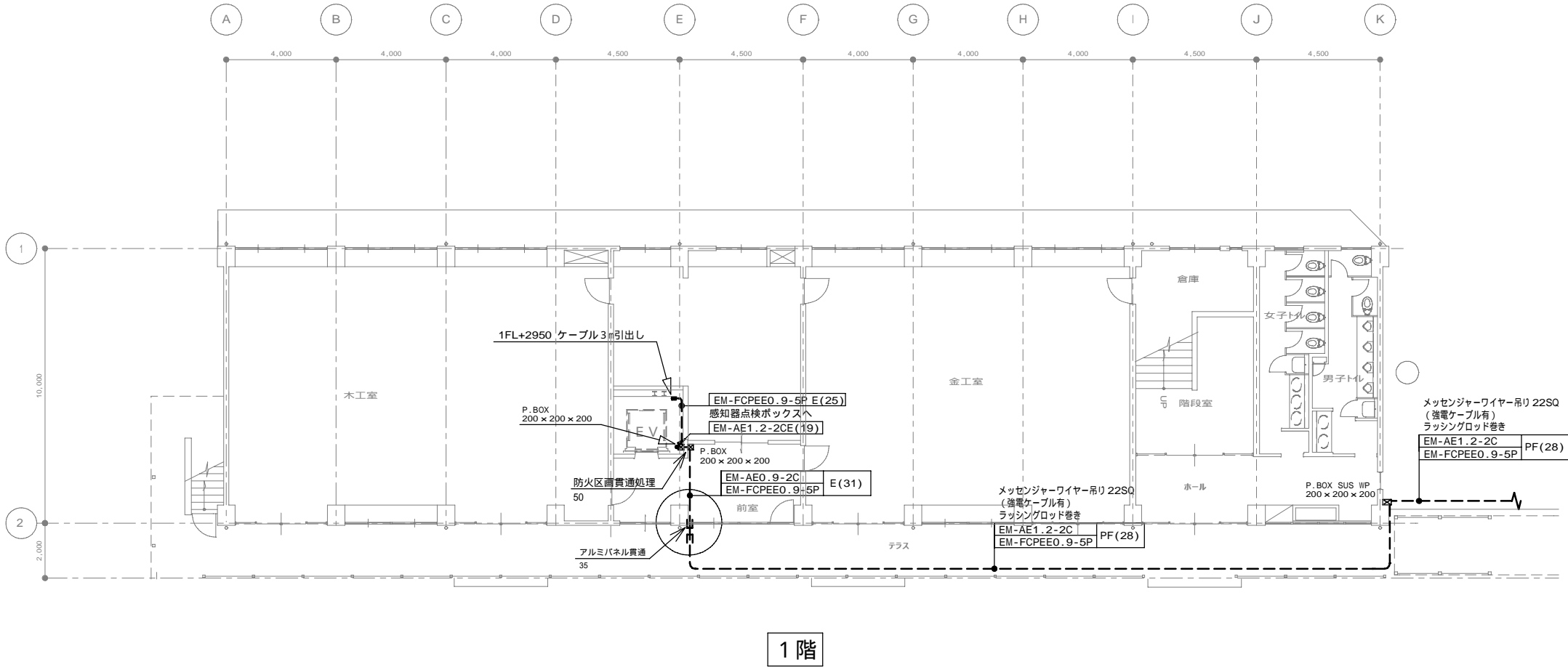
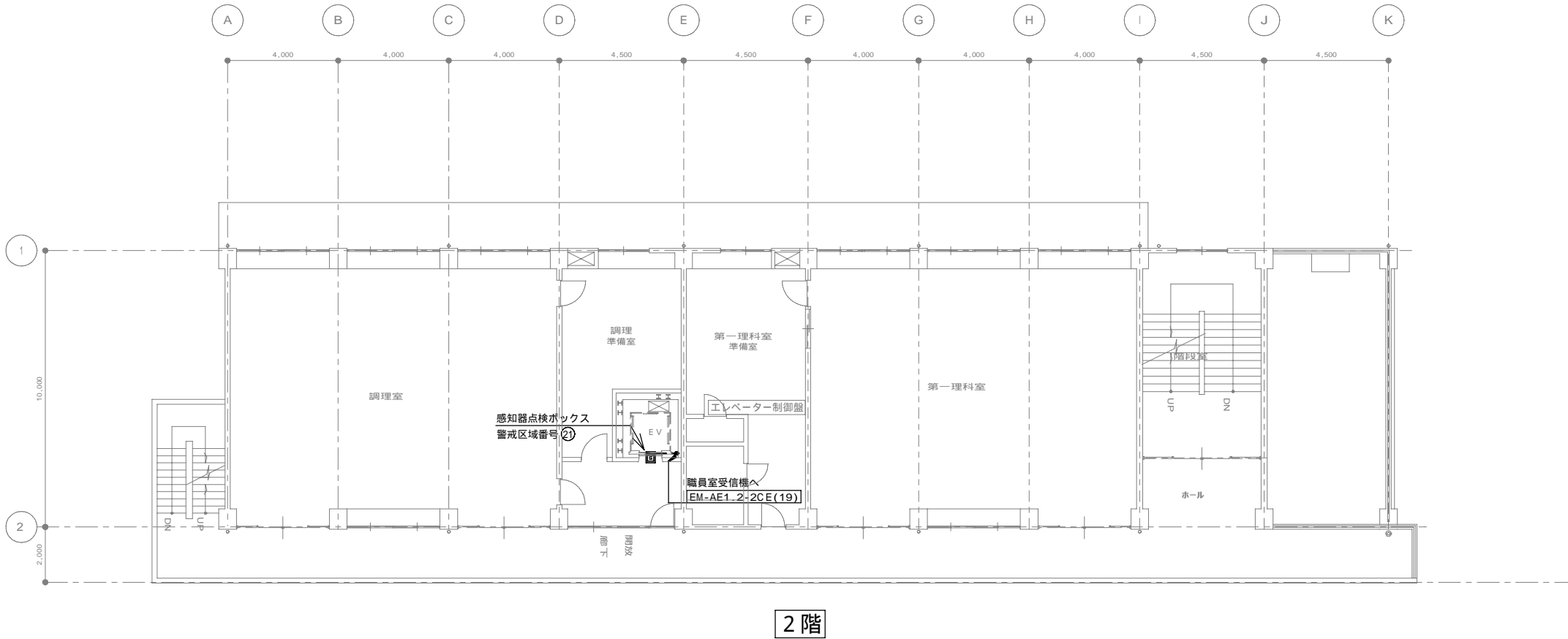
----- 露出配管

----- ケーブル配線（ケーブルブラック上）

----- 架空配線（メッセンジャー吊り）

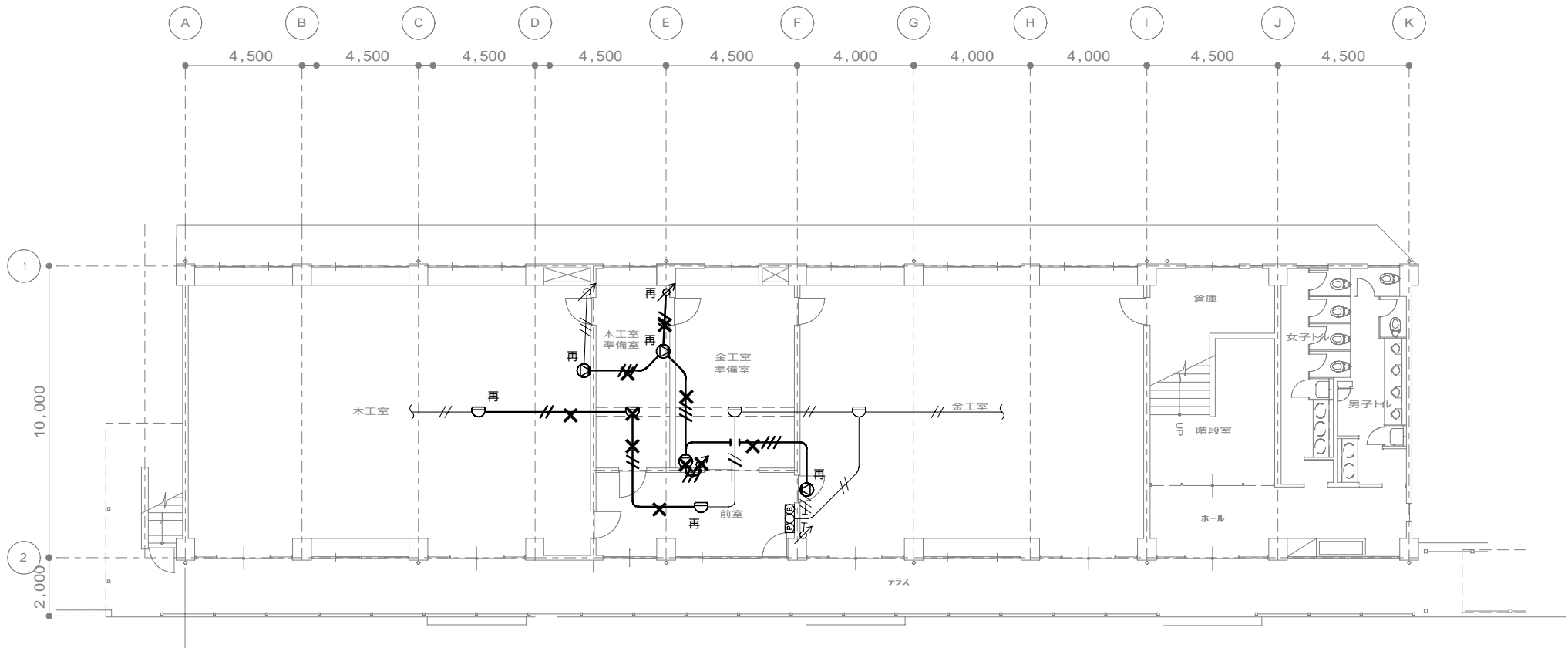
DDDDDD ケーブルラック（既設）

立下げ・立上げ配管





撤去



凡例

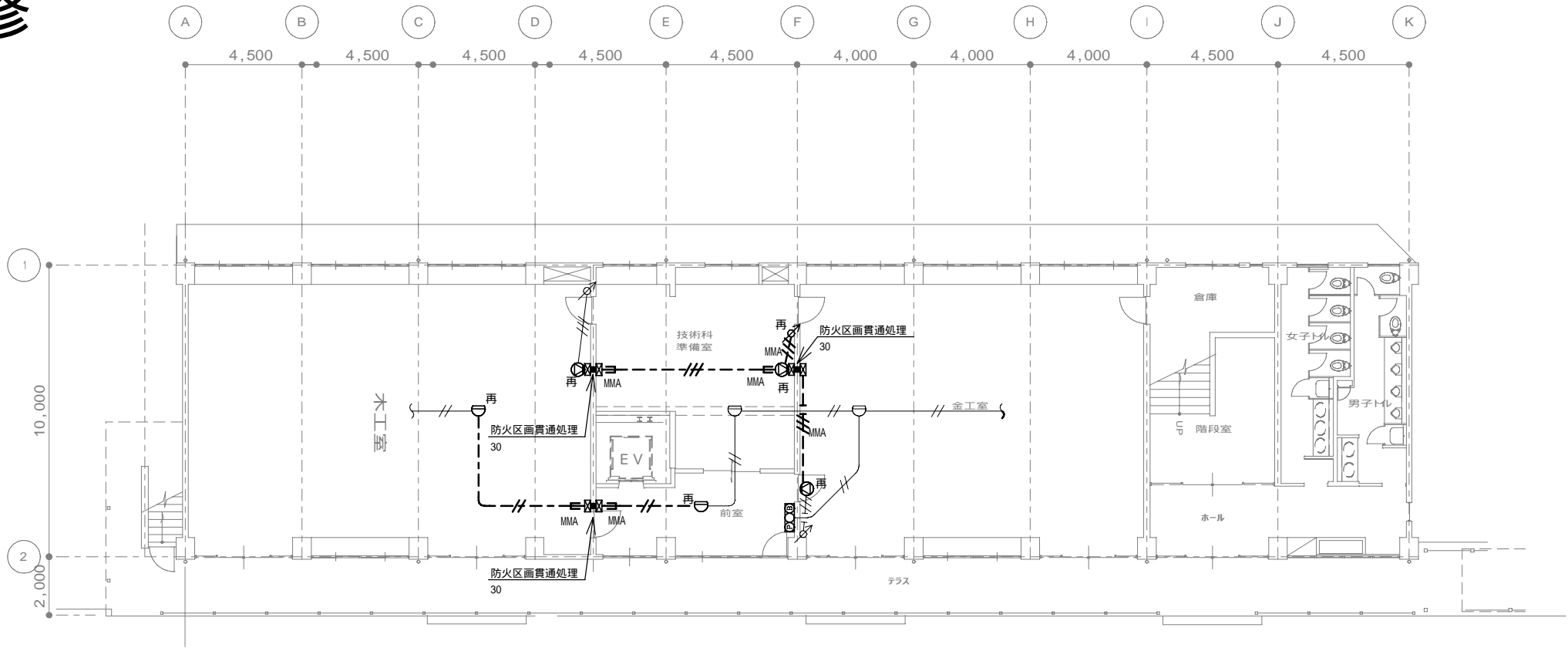
記 号	名 称	備 考
	壁掛けスピーカー	( 撤去 )
	壁掛けスピーカー	( 取外し・再取付け )
	アッテネーター	( 撤去 )
	アッテネーター	( 取外し・再取付け )
	総合盤 ( 消火栓組込 )	
	差動式スポット型感知器	( 撤去 )
	定温式スポット型感知器	( 撤去 )
	差動式スポット型感知器	( 取外し・再取付け )

注 記

特記なき配管配線は、下記とする。

- 1V1.2×2 (19) ( 打込み配管 ) ( 既設管内配線のみ撤去 )
- 1V1.2×4 (19) ( 打込み配管 ) ( 既設管内配線のみ撤去 )
- HIV1.2×3 (19) ( 打込み配管 ) ( 既設管内配線のみ撤去 )

改修



凡例

記 号	名 称	備 考
	壁掛けスピーカー	( 取外し・再取付け )
	アッテネーター	( 取外し・再取付け )
	総合盤 ( 消火栓組込 )	
	差動式スポット型感知器	( 新設 )
	差動式スポット型感知器	( 取外し・再取付け )
	メタルモジュール1ヶ用スイッチボックス	
	既存壁貫通 3 0	防火区画貫通処理

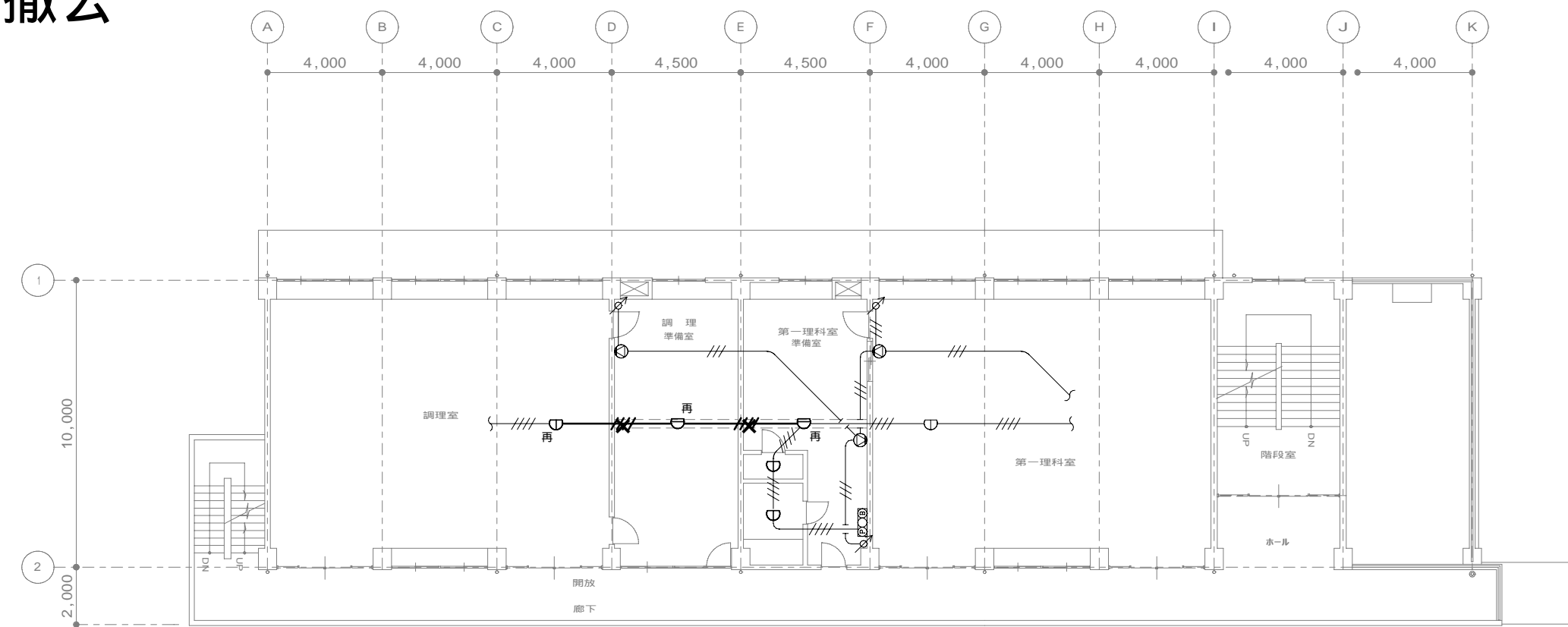
注 記

特記なき配管配線は、下記とする。

- MMA EM-AE1.2-2C    メタルモジュールA型
- MMA EM-AE1.2-4C    メタルモジュールA型
- MMA EM-HP1.2-3C    メタルモジュールA型



撤去



凡例

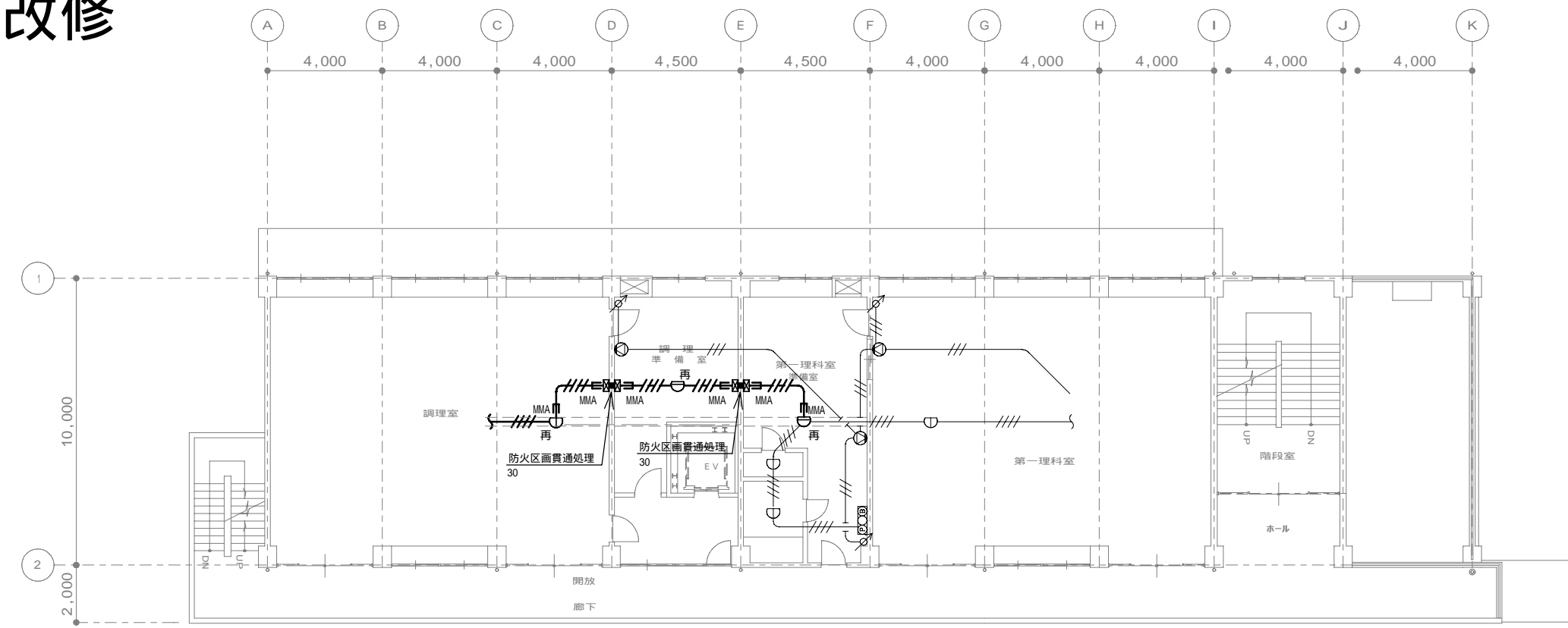
記 号	名 称	備 考
	壁掛けスピーカー	(撤去)
	壁掛けスピーカー	(取外し・再取付け)
	アッテネーター	(撤去)
	アッテネーター	(取外し・再取付け)
	総合盤(消火栓組込)	
	差動式スポット型感知器	(撤去)
	定温式スポット型感知器	
	差動式スポット型感知器	(取外し・再取付け)
	定温式スポット型感知器	(取外し・再取付け)

注 記

特記なき配管配線は、下記とする。

- IV1.2×2 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)
- IV1.2×4 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)
- HIV1.2×3 (19) (打込み配管) (既設管内配線のみ撤去)

改修



凡例

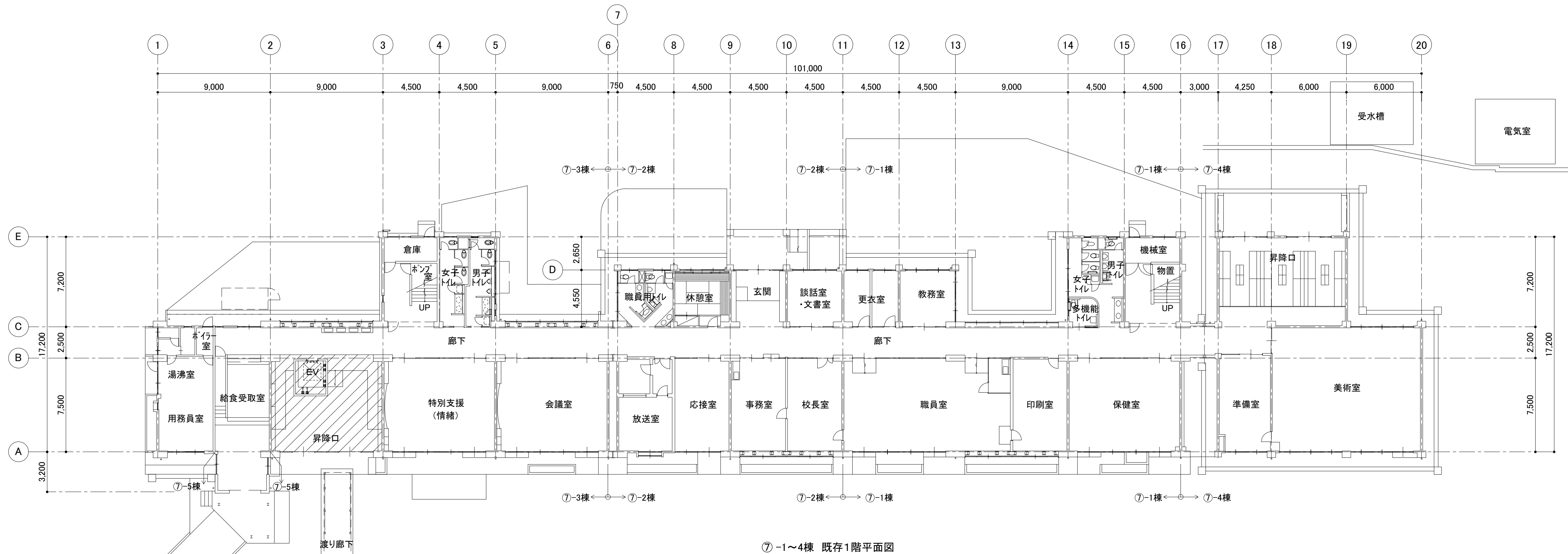
記 号	名 称	備 考
	壁掛けスピーカー	(取外し・再取付け)
	アッテネーター	(取外し・再取付け)
	総合盤(消火栓組込)	
	差動式スポット型感知器	(新設)
	差動式スポット型感知器	(取外し・再取付け)
	定温式スポット型感知器	(取外し・再取付け)
	メタルモール1ヶ用スイッチボックス	
	既存壁貫通30	防火区画貫通処理

注 記

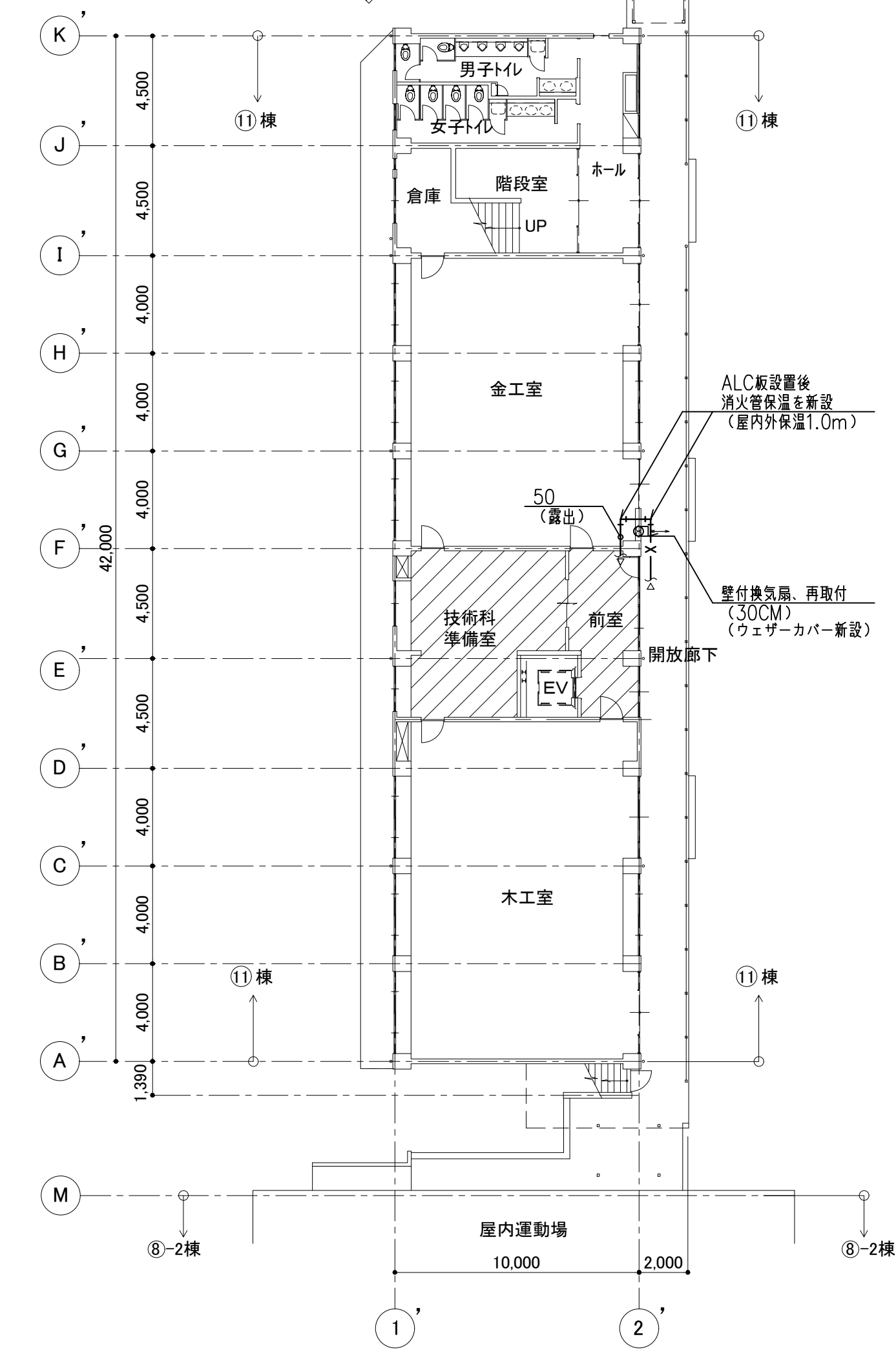
特記なき配管配線は、下記とする。

- EM-AE1.2-2C    メタルモールA型
- EM-AE1.2-4C    メタルモールA型
- EM-HP1.2-3C    メタルモールA型



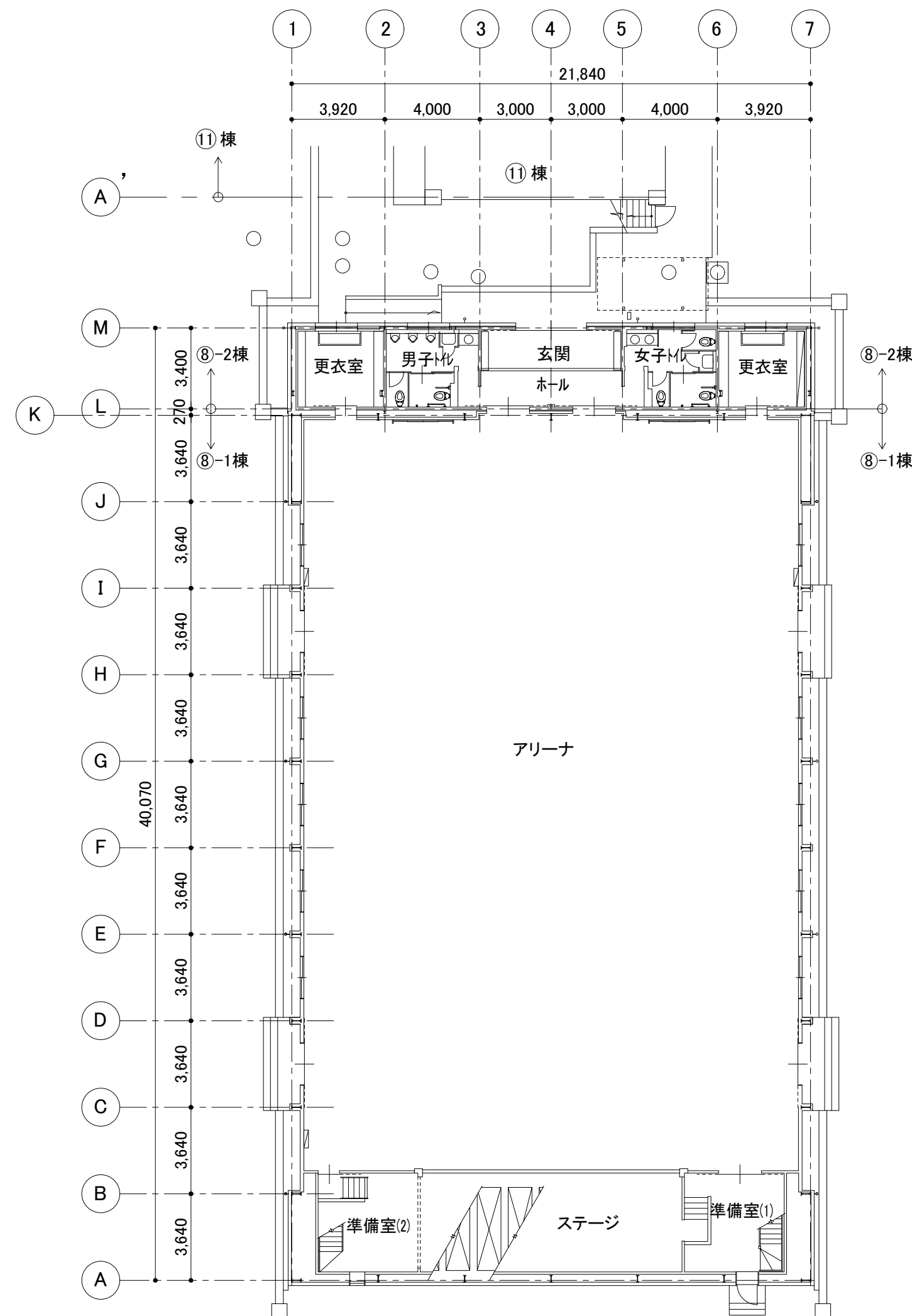


⑦-1～4棟 既存1階平面図

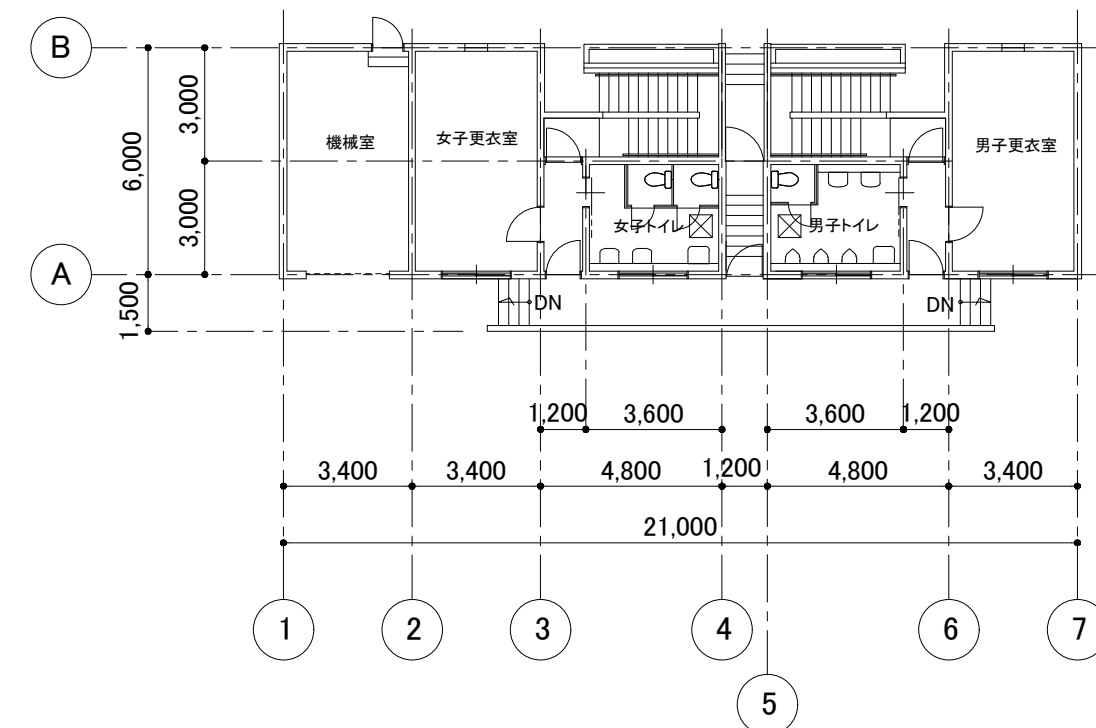


⑪棟 既存1階平面図

凡例  
改修箇所を示す

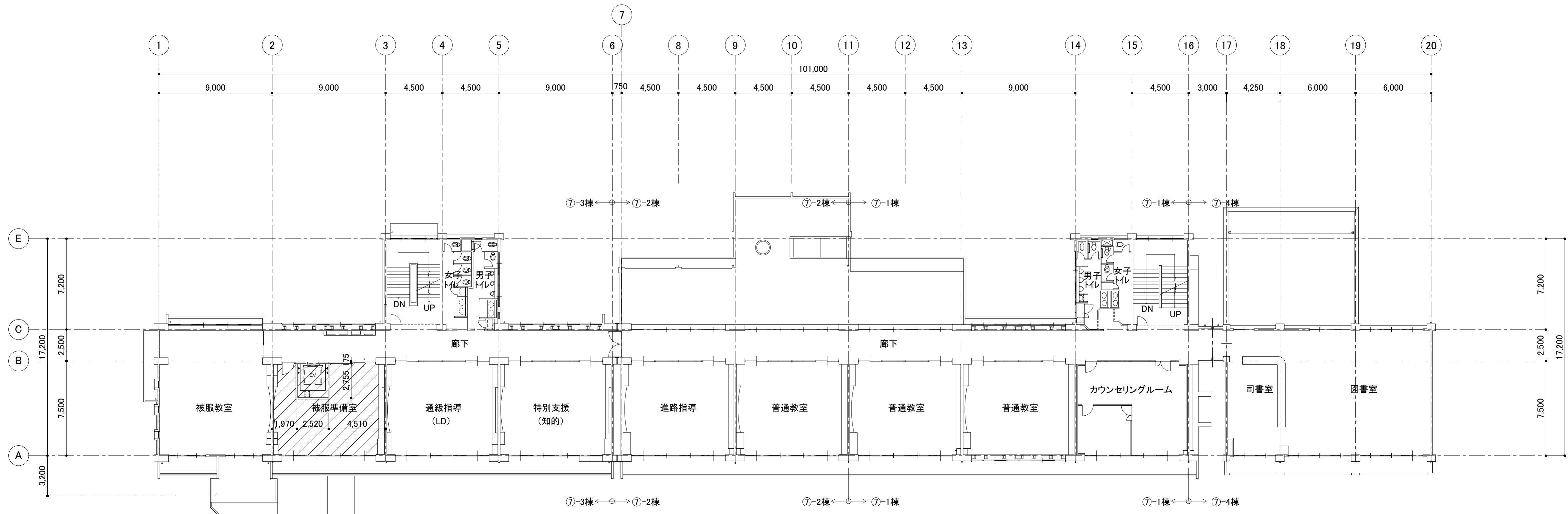


屋内運動場既存1階平面図

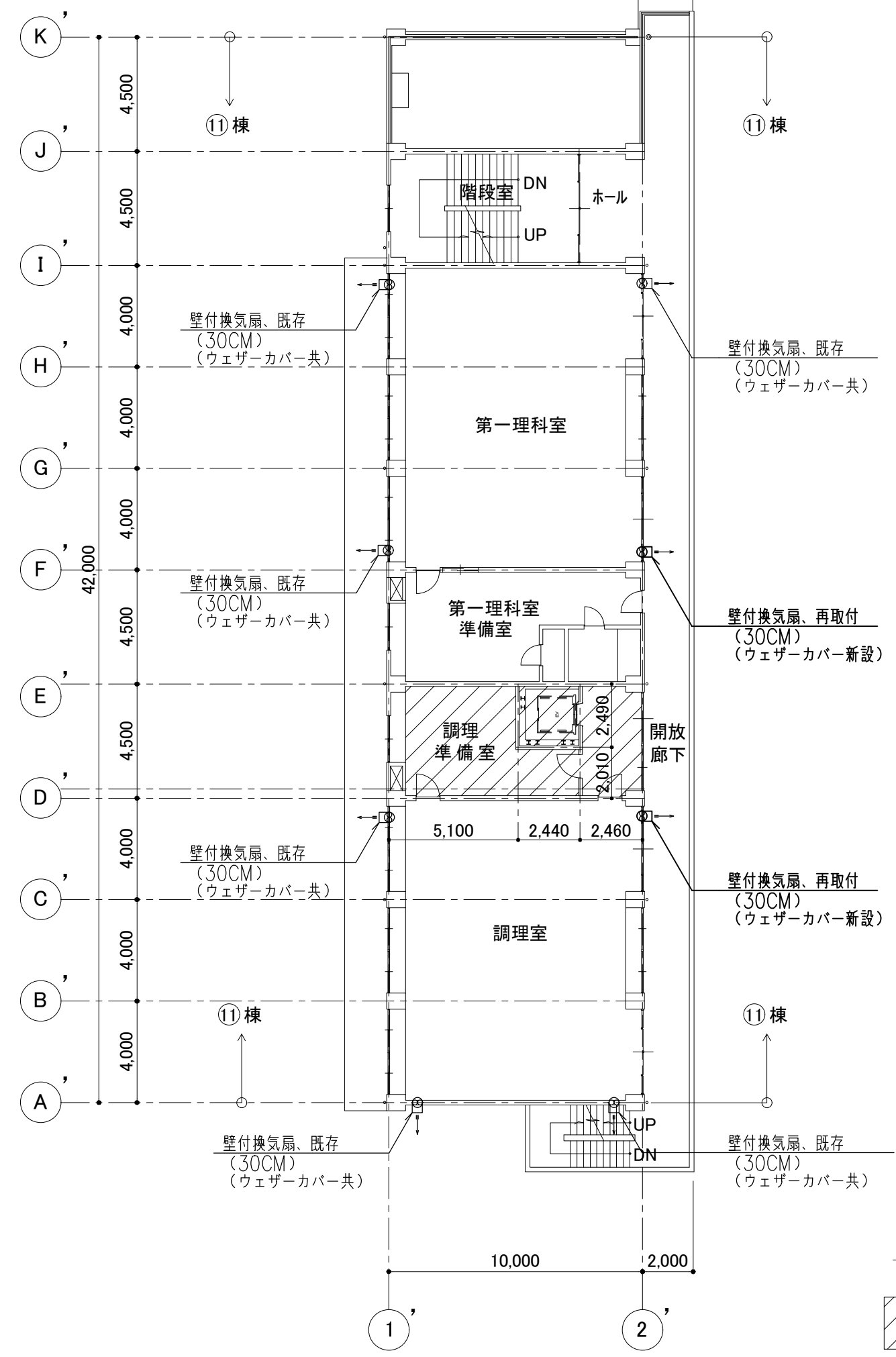


プール附属屋既存1階平面図

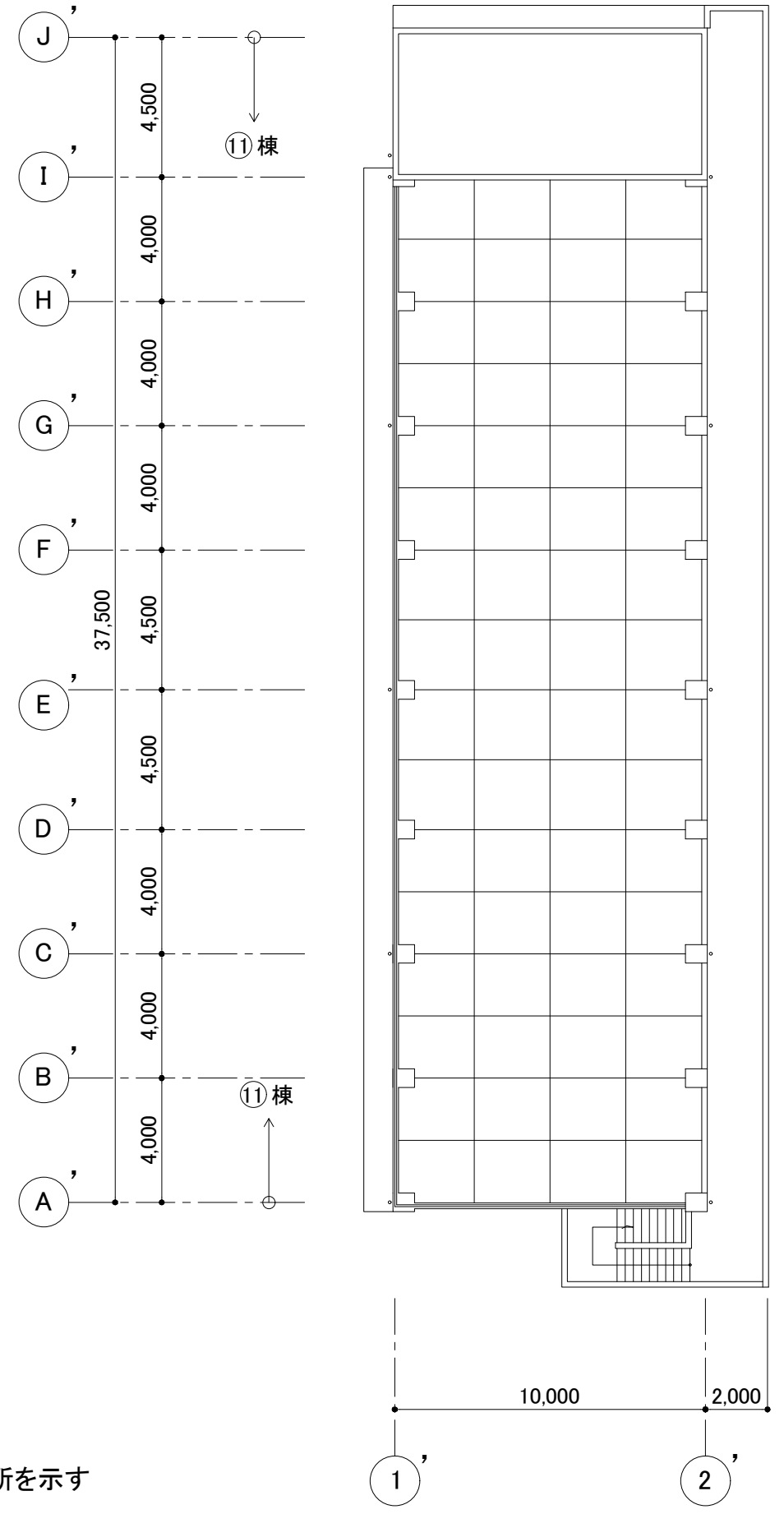




⑦-1～4棟 既存2階平面図



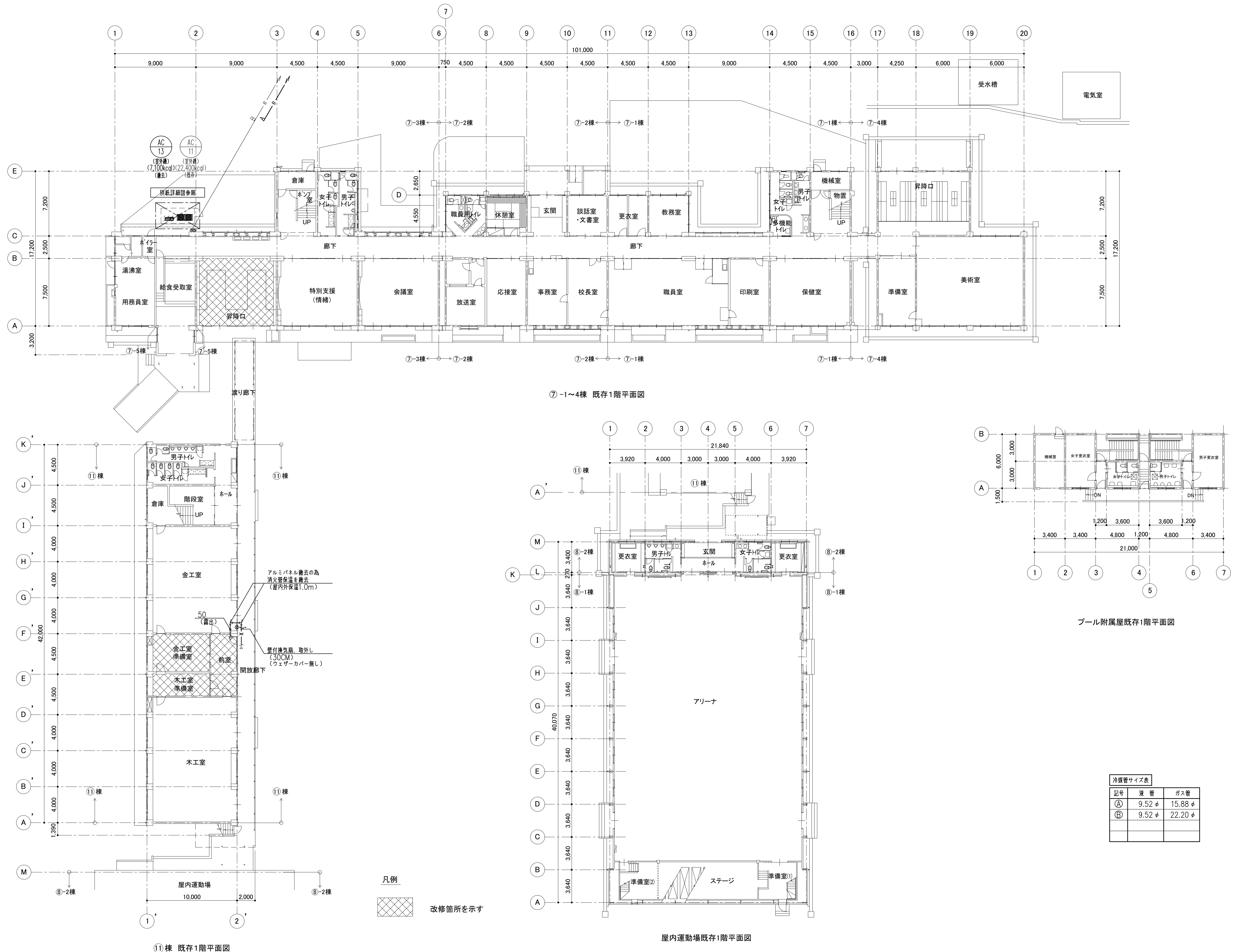
⑪棟 既存2階平面図



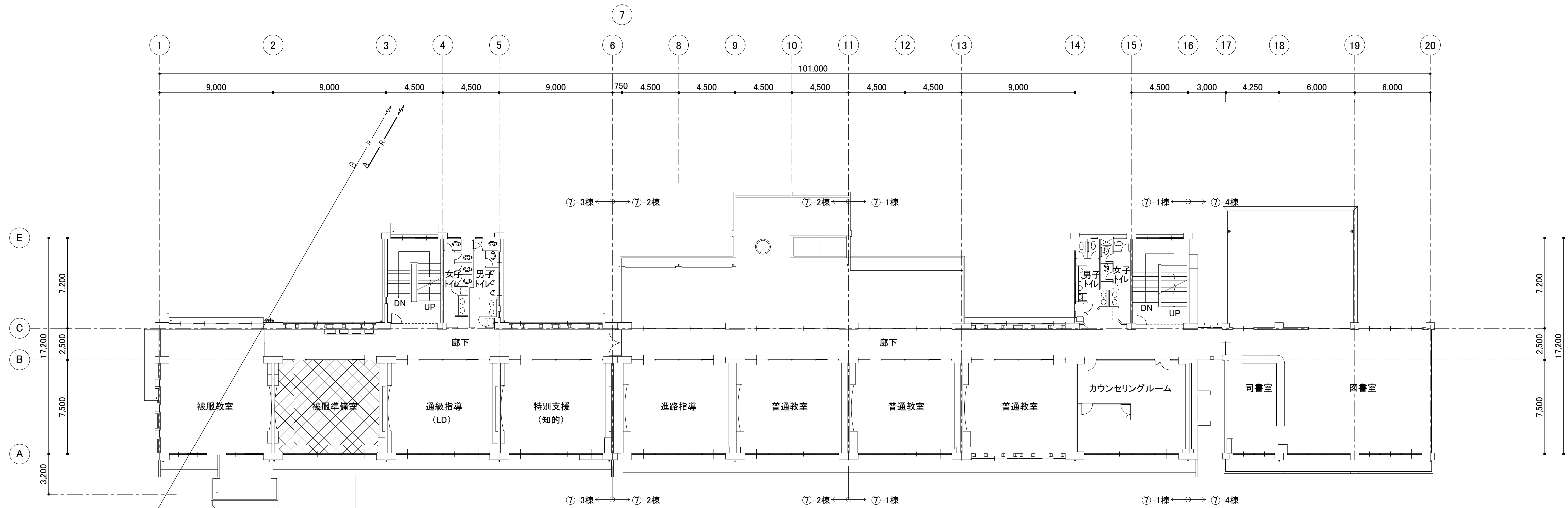
⑪棟 既存R階平面図

凡例  
改修箇所を示す

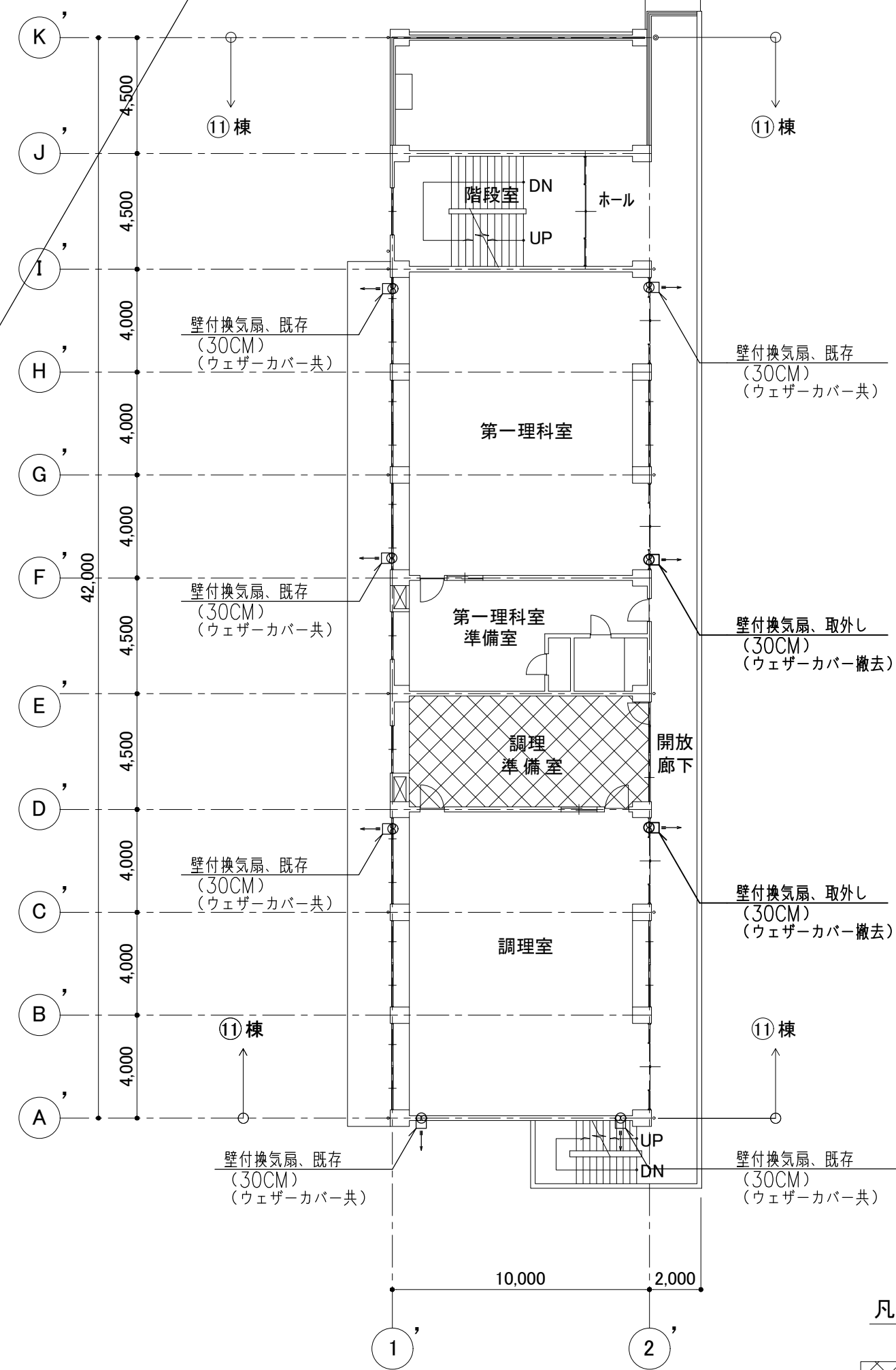




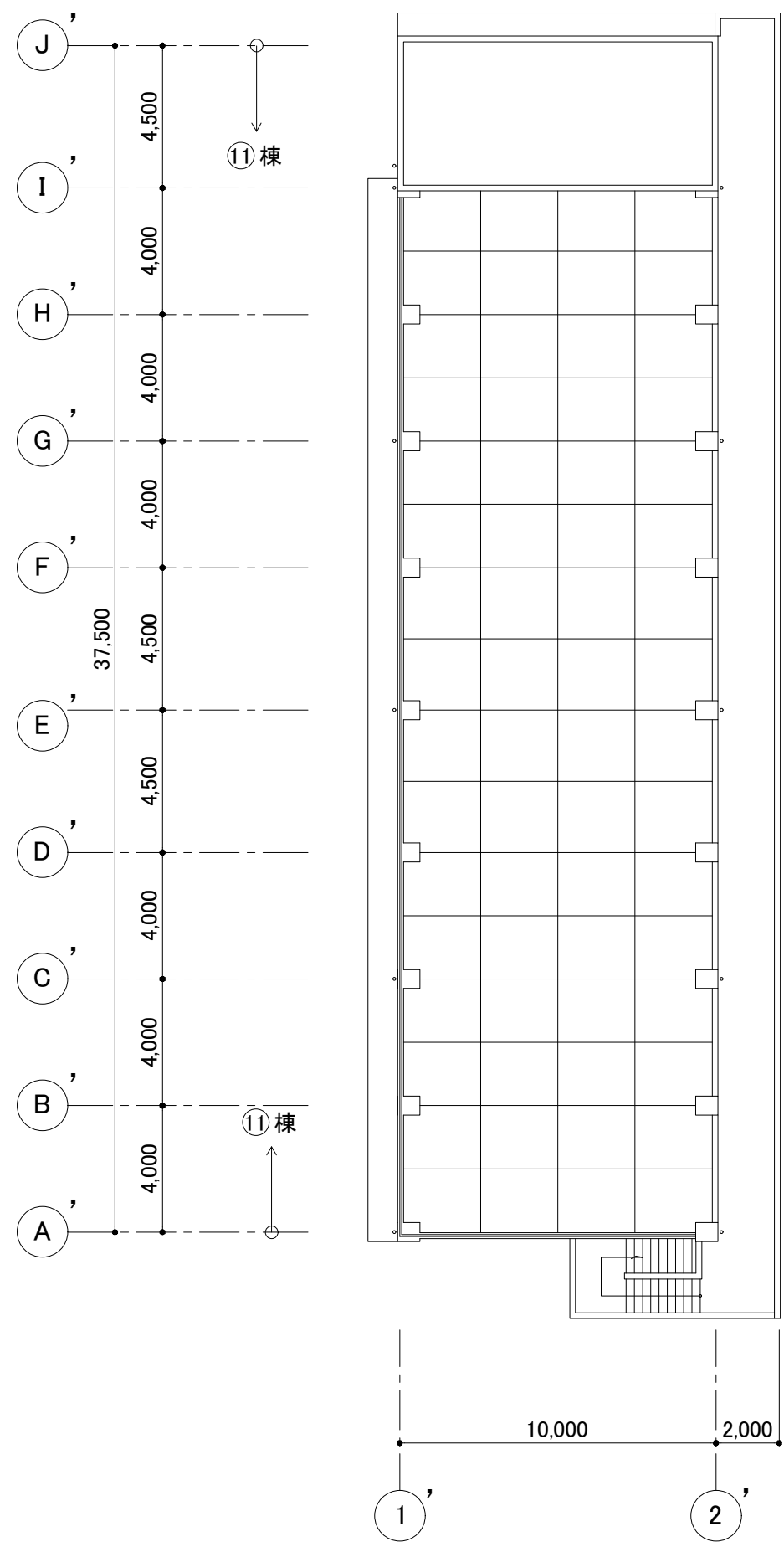




⑦-1～4棟 既存2階平面図



⑪棟 既存2階平面図



⑪棟 既存R階平面図

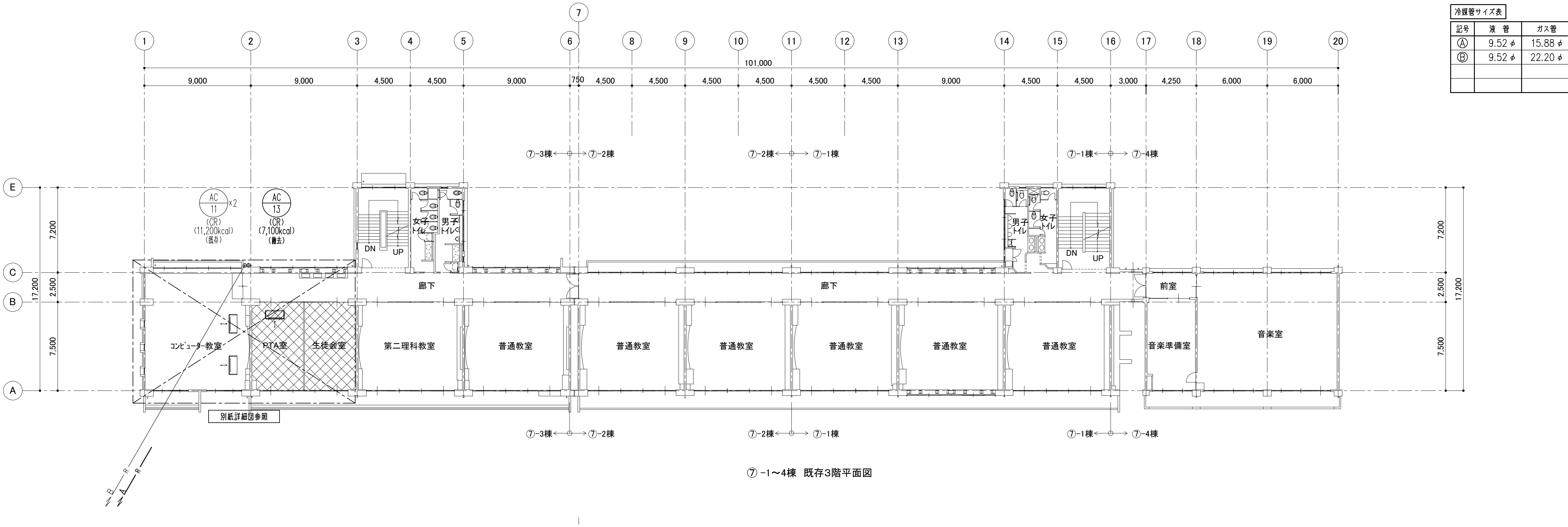
凡例  
改修箇所を示す

冷媒管サイズ表		
記号	液 管	ガス管
Ⓐ	9.52 φ	15.88 φ
Ⓑ	9.52 φ	22.20 φ

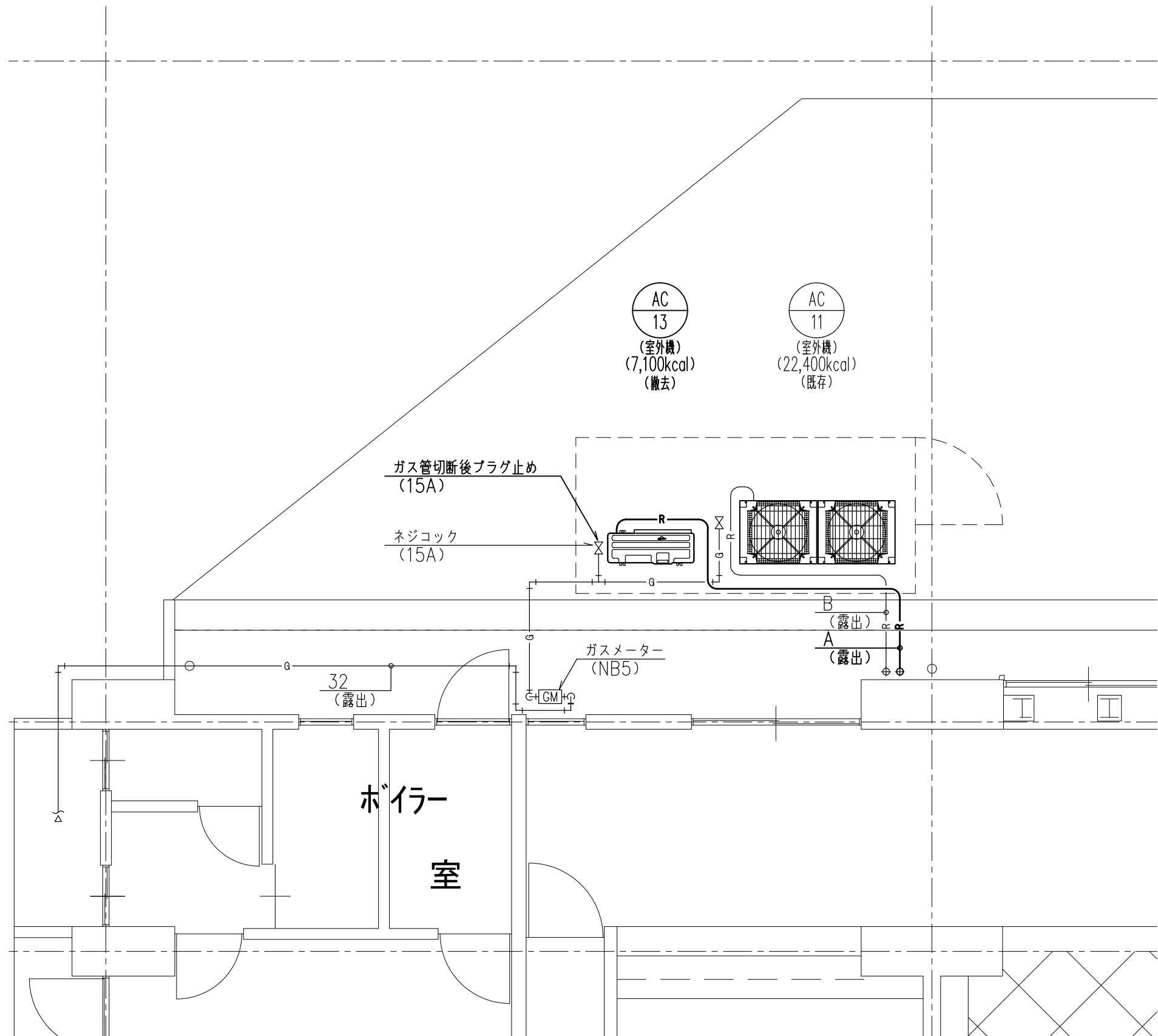


空調機器表（撤去）

記 号	名 称	型 式	台 数	設 置 場 所			冷房能力	暖房能力	送 風 機			圧 縮 機	電 気 容 量 (50Hz)		ガ ス		パワースレール (参考値)	付 属 品								防 振 装 置	備 考		
				階	系 統 名	場 所			室 内 機		室 外 機		室 外 機	φ,V	消費電力			燃料13A (発熱量45.0MJ)		フ ィ ル タ ー				加湿器	ドレンアップメカ			リモコン (ワイヤード)	風向ガイド
									風 量	機外静圧					出 力	出 力		出 力	冷 房	暖 房	冷 房	暖 房	加 湿 方 式						
															1φ200V kW	3φ200V kW		3φ200V kW								kW			
AC-11	ガスヒートポンプ1777 (室外機)	ビル用18F1777	1	GL	コンピュータ室系統	室外機置場	22,400	30,000	—	—		0.62	—	3φ,200V	—	—	0.86	0.86									—		
(既存)	(室内機)	天吊形 (CR)	2	3	コンピュータ室	コンピュータ室	11,200	15,000	—	—	—			1φ,100V	—	—	—	—		—	○					—	—		
AC-13	ガスヒートポンプ1777 (室外機)	ビル用18F1777	1	GL	PTA室系統	室外機置場	7,100	8,500	—	—		2.20	—	1φ,100V	0.230	0.230	0.86	0.86									—	YGC71 (ヤマハ)	
(撤去)	(室内機)	天吊形 (CR)	1	3	PTA室	PTA室	7,100	8,500	—	—	—			1φ,100V	—	—	—	—		—	○					—	—	YGE714 (ヤマハ)	
注 記 * 表中の特記無き機器は付属品も含め全て撤去とする。																													

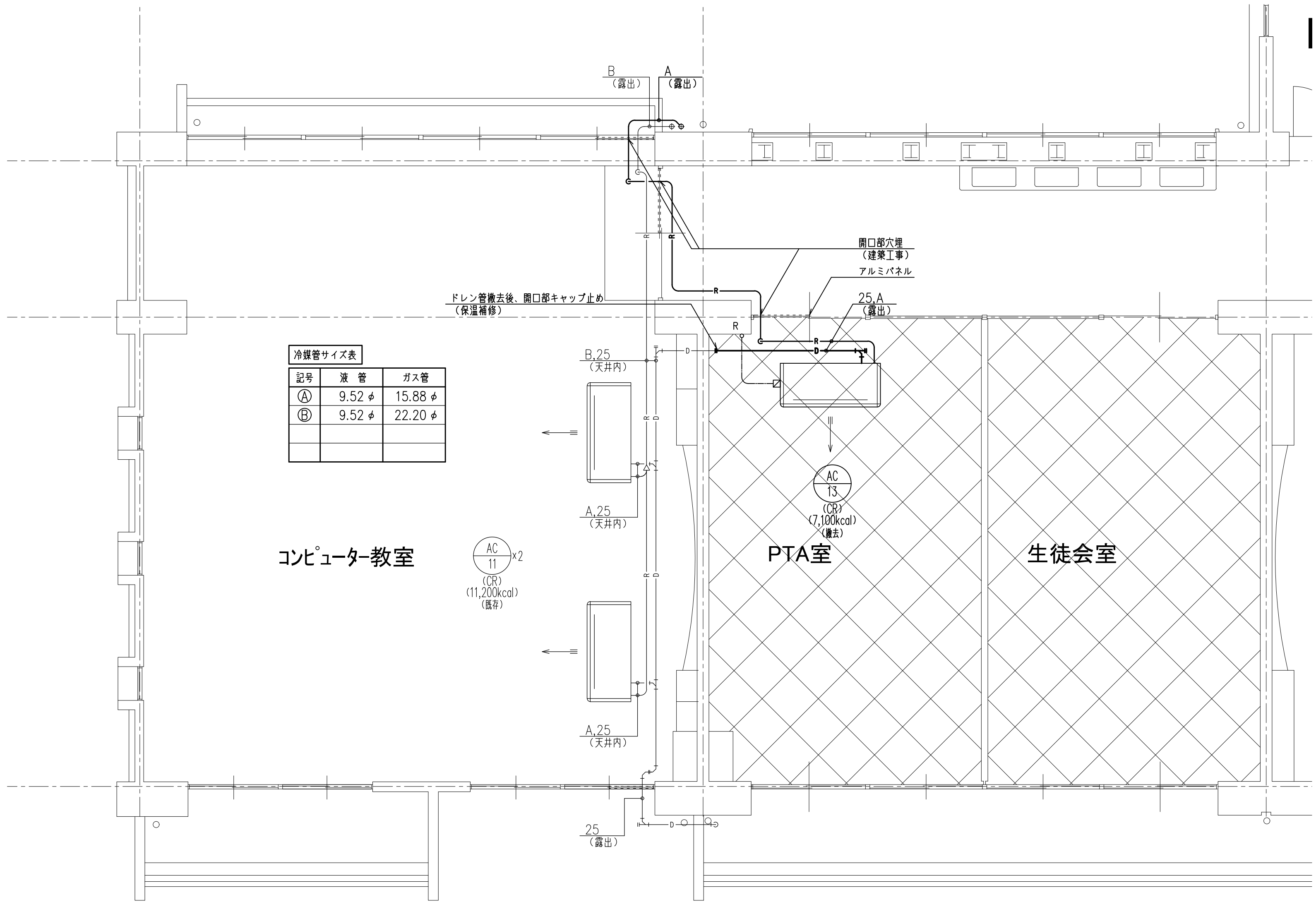






室外機廻り平面詳細図 S=1/50

- 注記
- ※ 撤去機器の冷媒ガスは回収・処理を行うこと。
  - ※ 供給ガスはコックにより閉鎖、配管切断後プラグ止めとし、立上がり配管を架台にて固定する。



PTA室廻り平面詳細図 S=1/50

- 注記
- ※ 冷媒配管撤去のアルミパネル開口は建築工事にて閉鎖処理とする。
  - ※ ドレン管、撤去範囲にて切断後キャップ止めにて開口処理とする。